

ISSN 0916-0078

相互協力研究分科会報告

第 9 号

私立大学図書館協会東地区部会研究部

相互協力研究分科会

ISSN 0916-0078

相互協力研究分科会報告

第 9 号

私立大学図書館協会東地区部会研究部

相互協力研究分科会

相互協力研究分科会第 11 期（2000・2001 年度）研究活動報告

代表 杉田 美香（文化女子大学小平図書館）

家村 真名（法政大学図書館）

第 11 期では、参加会員の所属する図書館の ILL 現状報告からスタートし、各館の現状を把握することで、統一的な関心事・テーマを検討していった。結果、これから更に依頼及び受付が増加していくと思われる海外 ILL の周縁環境について、また、近年資料費の削減や保存スペースの問題など図書館を取り巻く環境は厳しくなりつつある中で、他大学図書館とのネットワークだけではなく地域の図書館とのネットワークが重要となってくると思われることから、異館種とのネットワークについて、2 グループに分かれて研究をすすめることとなった。

2000 年度は夏期合宿にて、各自設定した研究テーマ（海外 ILL・地域開放に関すること）を全員が発表した。地域開放をテーマとしていたグループは、各自の研究テーマの発表を受けて、地域図書館とのネットワークに方向性を落ち着いた。12 月には、慶應大学三田メディアセンターの加藤好郎氏を招き、自館の相互協力の現状についてお話をいただいた。また、グループ研究と同時進行で、各大学で導入し、有益と思われるオンラインデータベースの事例報告なども行い、高額ゆえに導入がなかなか難しいデータベースについての知識を多少なりとも深めることができた。

2001 年度は 12 月に早稲田大学で行われる私立大学図書館東地区部会の研究発表大会に向け、それぞれのグループ研究が主となった。とはいえ、なかなかグループ研究の具体的な方向性・統一性が見出せず、研究作業がはかどらないグループもあり、グループ研究の難しさも多少なりと味わった。12 月の発表は「海外 ILL およびその周縁問題について」「館種を越えた図書館ネットワークについて」と題し、行った。45 分という短時間の中での 2 研究の発表であったので、内容を簡略せざるをえない点もあり、発表大会に関してはテーマを 1 つに絞るべきだったのかとも思われた。2001 年度はグループ研究とは別に、以下のような活動も行った。まず 5 月には、レファレンス研究分科会と合同で実践女子大学図書館の伊藤民雄氏を招き、自館のホームページにリンクさせているインターネットの情報収集ページの検索を中心に講演をしていただいた。6 月には東京工業大学附属図書館にて Ariel システム（画像伝送システム）の見学をさせていただき、新たな相互協力の手段について考える機会となった。7 月には早稲田大学の高橋昇氏を招き、早稲田大学における海外 ILL の受付の現状についてお話いただいた。

今回の報告書は 12 月の研究発表大会で報告したものにに基づき、詳しい事例等を加え、また発表しきれなかった部分に関して新たにこの場をかりて報告させていただくものである。研究内容に関して今一つ不十分な点があったことも否めないが、私達が 2 年間、試行錯誤しながらたどり着いたものであり、今後の相互協力研究分科会の活動や各図書館での相互協力業務のなんらかの参考になれば幸いである。

最後になりましたが、今回の研究をすすめるにあたり快くアンケートに応じていただきました各図書館様、また、報告書の発行にあたってご指導・ご協力をいただきました全ての方に、厚くお礼を申し上げます。

相互協力研究分科会報告 第9号 目次

第1章 館種を越えた図書館ネットワークについて

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. はじめに | 3 |
| 2. 図書館ネットワークとは | 3 |
| 3. 図書館ネットワークの必要性とその目的 | 4 |
| 4. 事例報告 | 5 |
| (1) 群馬県立図書館を中心とした図書館ネットワークについて | 5 |
| (2) 三重県図書館情報ネットワーク・MILAIについて | 16 |
| (3) 「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」の活動 | 28 |
| 5. これからのネットワークと課題 | 45 |
| 6. 最後に | 49 |

第2章 海外ILLとその周縁問題について

| | |
|-----------------------------------|-----|
| はじめに | 52 |
| 1. 海外ILLに役立つ所蔵確認ツールとILLの実際 | 56 |
| (1) アメリカ | 56 |
| (2) イギリス | 66 |
| (3) フランス | 84 |
| (4) ドイツ | 102 |
| (5) 中国 | 112 |
| (6) IFLA VOUCHERについて | 117 |
| 2. 海外ILL事例集 | 120 |
| 3. ILLの周縁問題としてのドキュメント・デリバリー・サービス | 130 |
| (1) ドキュメント・デリバリー・サービス(DDS)の定義 | 130 |
| (2) ドキュメント・デリバリー・サービス(DDS)の背景 | 130 |
| (3) ドキュメント・デリバリー・サービス(DDS)の種類と具体例 | 132 |
| (4) ドキュメント・デリバリー・サービス(DDS)をめぐる諸問題 | 134 |

第3章 講演会報告

| | |
|--|-----|
| 『大学図書館の相互協力の展望：グローバル・リソース・シェアリングの必要性』 —慶應義塾大学三田メディアセンター 加藤好郎氏 | 164 |
| 『大学図書館とインターネット』—実践女子大学図書館 伊藤民雄氏 | 176 |
| 『海外ILLハンドブック(補遺版)』—早稲田大学図書館 高橋昇氏 | 193 |

付録 Japanese University's International ILL Policies Directory

会員紹介

『相互協力研究分科会報告』バックナンバー目次

第1章

館種を越えた図書館ネットワークについて

1. はじめに (図書館ネットワークを研究テーマとした経緯・目的)

これまで、相互協力研究分科会では、大学図書館と地域における図書館との相互協力について研究してきた。その内容は年々変化していき、前期(第8号)の報告にもあるように、近年生涯学習に対する関心が高まり、大学図書館の専門的な資料やサービスを必要とする一般住民の方が多く見られるようになった。その傾向を受け、大学図書館は直接地域住民に開放する方向へ進んできている。また、少子化や経済状況の悪化により、大学を取り巻く環境は年々厳しさを増している。その厳しい状況を打破し、社会人に門戸を広げ、「開かれた大学」となるために、図書館の地域開放をその一つの手段として考えている大学も少なくないようである。

しかし、現実として未だ多くの大学が、なかなか地域開放に踏み出すことができず、特に首都圏にある女子大学においては、開放しているという話をほとんど聞かない。開放できない、あるいはしていない理由としては以下の点が挙げられる。

- ・ 座席数不足や女子大学の場合は男性用トイレがないなど、学外者を受け入れられる体制や設備が整っていない。またそのための資金がない。
- ・ 特に夜間など、不特定多数の人を受け入れることに不安がある。
- ・ 学内利用者へのサービスだけで手いっぱいである。人的問題。
- ・ サロン化、自習室化する恐れ。(特に都心にある大学)

では、地域開放をしたくてもできない大学図書館が、地域貢献する方法は他にないのだろうか。ひとつの方法として、地域に密接した館種を越えた図書館ネットワーク(協力、相互貸借を含めた)に加盟して行われる地域貢献があげられる。

そこで、今回は物流システムが整っている群馬県図書館ネットワーク、参加館の横断検索ができる三重県図書館情報ネットワーク、参加館が多岐にわたる千葉市図書館情報ネットワーク、という特徴ある3つのネットワークを選び、アンケートを実施し、現状を把握、調査することにより、今後のネットワークのあり方を研究会なりに考察していくこととした。

2. 図書館ネットワークとは

情報が氾濫する現代社会で、図書館利用者に豊富かつ有益な情報を少しでも早く提供するためには、図書館の機械化、ネットワーク化が不可欠となっている。「ネットワーク」とは、本来、複数のコンピュータを結び、データなどを共有し、情報処理の効率化を図るシステムのことを指す。そのことから「図書館ネットワーク」とは、図書館同士がコンピュータを結び、書誌データや蔵書、情報を共有し合う、図書館相互協力体制のひとつの形であるといえるだろう。

しかし、現在多くの図書館が WebOPAC 等を公開しており、お互いのコンピュータを結んでいなくても、冊子体目録など、何らかの形で他館の所蔵情報を確認することができる。従ってここでは、コンピュータを導入していない図書館などが含まれていたり、コンピュータを結ばずに、図書館同士が蔵書や情報を共有し合っている協力体制についても「図書館ネットワーク」に含まれると考えたい。

また、ここでいう「図書館ネットワーク」とは「国立大学と私立大学、公共図書館と大学図書館、県立図書館と市町村の図書館、市立図書館と隣の町の市立図書館、専門図書館と学校図書館といった異なった設置主体によって維持・運営されている図書館が相互に連携を保って活動しようとする」¹⁾ ものであり、同一設置主体下の、本館や分館・分室などがネッ

トワークを結ぶ場合には、相互協力関係には当たらないため、図書館ネットワークとは呼ばないこととする。

3. 図書館ネットワークの必要性とその目的

(1) 図書館ネットワークの必要性

図書館ネットワークの言葉自体はそれほど新しい言葉ではないが、それが図書館にとって不可欠な活動であると認識されたのは比較的最近である。そしてその要因としては、一般的に次のことが挙げられる。

- ・出版物の増加
- ・出版物価格の高騰（洋書・洋雑誌）
- ・図書館予算の削減
- ・自館ですべての要求を満たすことは困難であるという事実の認識

また、さらに大学図書館と公共図書館それぞれの立場からみると、以下のような要因が考えられよう。

【大学図書館】

受験生の減少などから厳しい財政状態が続き、年々資料購入費が減らされている。そして専門的な資料以外、一般書や郷土資料までを十分に揃えることができない。学生や研究者からこういった資料の利用希望があった場合、大学間の相互協力では手に入らないことも多い。また、住民に対する大学のアピール活動の一環として、地域開放に踏み出せない女子大などが地域貢献するひとつの手段としても考えられ、この効果は大きいといえる。

【公共図書館】

ここ数年に及ぶ不況により財政困難の状況が続き、多くの館で資料購入費が減らされてきている。しかしその状況に反し、貸出率は上昇している。これは利用者の資格取得や、再学習、趣味などといった生涯学習要求とともに、読書意欲とその内容が高まったためであると考えられる。その中で、公共図書館の持つ資料だけでは住民は十分に満足できず、専門的な資料を求める人々が出てきた。

このように大学図書館に一般書や郷土資料が少なく、公共図書館に専門書が少ないのは、奉仕対象者がもともと異なり、収集方針も違うためでもある。そこで、互いにネットワークを組むことで、利用者の資料に対する幅広い要求に応えようとする姿勢が重要となってきた。また、図書館のあり方が異なっていると考えられてきた大学図書館と公共図書館ではあるが、利用者の多様化により相互の情報交換・技術支援の必要性が高まっており、お互いの事情を考慮し合いながら、協力体制を作っていくことは急務であるといえる。

(2) 図書館ネットワークの目的

情報資源の増加・多様化が進みつつある現在、図書館がネットワークを組む目的には、次のような項目が挙げられる。

- ・限られた資源を有効に利用すること。（利用可能な資料の拡大化）
- ・重複する資料を少なくすることにより、経費を節約すること。
- ・単館では導入不可能な、高額のデータベースを導入すること。
- ・ネットワーク館との研修による、情報・技術の向上

そして、図書館ネットワークの最終的な目的は、参加館同士の資源共有による利用者へのサービス向上である。利用者が最も端的にサービス向上をするのは、希望の資料や情報が手に入ったときであろう。もしネットワークを結んだとしても、利用者がそのような恩恵を受

けられなければあまり意味がないといえよう。

4. 事例報告

今回のアンケート対象としては、本研究会員の事前調査により、特徴があると思われる、群馬県、三重県、千葉市のネットワークを選択した。他にも特徴あるネットワークは存在するが、時間の制約上3件のみの調査となってしまったことを先に付け加えておく。

(1) 群馬県立図書館を中心とした図書館ネットワークについて

東洋大学 前原隆三／拓殖大学 渡部和夫

群馬県立図書館を中心とした図書館ネットワークの最大の特徴は、群馬県立図書館に協力車を置き、県内に巡回させ、公共図書館だけでなく大学図書館にも送料無料で資料を配送していることである。今回は群馬県立図書館と群馬県図書館協会加盟の大学・短期大学図書館にアンケートを実施し、協力車の運用を中心に調査すると共に、群馬県における公共図書館と大学図書館の関わりについて考察した。

1) 趣旨 (目的)

県内図書館・公民館等を定期的に巡回して、資料の配布・相互連絡を行い、県内各館の協力・援助の緊密化を図る。

2) 開始年

昭和 53 年 8 月 1 日 協力車開始

3) 開始までの経緯

昭和 27 年に群馬県図書館協会が設立されて、各種研究会が持たれ、情報交換、調査研究の中から図書館間協力が必要とされ、昭和 37 年に群馬県図書館協会相互貸借協定ができた。そうした中で昭和 53 年 7 月の群馬県立図書館新館開館を機に、県内図書館への協力・援助体制強化を目的に協力車の運行が始まった。

4) 参加組織館 (2001 年 9 月現在)

群馬県図書館協会加盟館 64 館

公共図書館 37 館 図書室 17 室 専門図書館 1 館

大学図書館 9 館 (国公立 5 館、私立 2 館、短期大学 2 館)

群馬県図書館協会参加館 蔵書数約 730 万冊

5) 協力車利用要件

県内公共図書館及び群馬県図書館協会加盟のその他施設のうち、巡回を希望する施設に対して定期的に巡回させて、資料を収集し、配送する。

群馬県立図書館協力車設置運営要項に記載あり

6) 巡回コース

巡回館数が多いことから、地域毎に 5 つのコースに分けて、週に 1 度巡回している。ただ

し、大学図書館へは月に2度の巡回となっている。コースの異なる図書館間協力については、場合によっては時間がかかることもあるようである。

7) 群馬県立図書館相互貸借機関別貸出統計 (年報)

1998年度

単位 (冊)

| | 県内貸出数 | 県外貸出数 | 合計 |
|---------|-------|-------|-------|
| 県立図書館 | | 118 | 118 |
| 市町村立図書館 | 2,877 | 214 | 3,091 |
| 公民館図書館 | 938 | 2 | 940 |
| 大学図書館 | 158 | 3 | 161 |
| 学校図書館 | 603 | 0 | 603 |
| 類縁機関 | 230 | 3 | 233 |
| その他 | 208 | 1 | 209 |
| 合計 | 5,014 | 341 | 5,355 |

1999年度

| | 県内貸出数 | 県外貸出数 | 合計 |
|---------|-------|-------|-------|
| 県立図書館 | | 149 | 149 |
| 市町村立図書館 | 3,344 | 327 | 3,671 |
| 公民館図書館 | 1,022 | 3 | 1,025 |
| 大学図書館 | 125 | 2 | 127 |
| 学校図書館 | 514 | 1 | 515 |
| 類縁機関 | 162 | 1 | 163 |
| その他 | 154 | 0 | 154 |
| 合計 | 5,321 | 483 | 5,804 |

2000年度

| | 県内貸出数 | 県外貸出数 | 合計 |
|---------|-------|-------|-------|
| 県立図書館 | | 146 | 146 |
| 市町村立図書館 | 4,320 | 399 | 4,719 |
| 公民館図書館 | 1,176 | 1 | 1,177 |
| 大学図書館 | 150 | 3 | 153 |
| 学校図書館 | 450 | 2 | 452 |
| 類縁機関 | 102 | 1 | 103 |
| その他 | 288 | 6 | 294 |
| 合計 | 6,486 | 558 | 7,044 |

8) 参加組織館の所蔵検索の方法

- ・ ISBN 総合目録

(CD-ROM により公共図書館と群馬大学・高崎経済大学・育英短期大学の所蔵が検索可能)

- ・ 各図書館ホームページ上の OPAC
- ・ 群馬県立図書館の所蔵は G-LINE で検索ができる。G-LINE とは群馬県立図書館情報提供システムオンラインネットワークのことで、接続館は群馬県立図書館の所蔵の検索ができ、オンラインで貸出を依頼することができる。現在の接続館は 47 館。(市町村立図書館 26 館、県関係機関 6 館、大学図書館 15 館)
- ・ 大学図書館は NACSIS-Webcat

9) 規定の有無

群馬県図書館協会資料相互貸借規約
群馬県立図書館協力車設置運営要項

10) 協力車のメリット・デメリット

メリット・郵送料等の費用負担がない

- ・まとまった冊数の送付にも対応可能
- ・梱包などの手間がかからない
- ・相互貸借資料の搬送の他に、通知・事業案内・寄贈資料の配布等を行っている。

デメリット

- ・1週間に1度（大学は2週間に1度）のため急ぎの利用には対応できない
- ・巡回コース相互の貸借の場合、直接届けられないため、少し時間がかかる。

11) 群馬県図書館協会で行われている活動について

- ・ヤングアダルト研究会
- ・市立図書館研究会
- ・町村立図書館公民館図書室等運営研究会
- ・大学図書館研究会（群馬県図書館協会未加盟館を含む23館）
- ・調査相談研究会（大学図書館も参加）
- ・群馬県総合目録研究会（大学図書館も参加）

12) 大学図書館の関わり

群馬県図書館協会において大学図書館がどのような関わりをもっているか、協力車をどのように活用しているか、など大学図書館9館にアンケートを実施した。（回答数8、順不同）

また、地域開放している大学図書館に年間の入館者数・貸出者数・貸出冊数について追加アンケートを実施した。地域開放をしているすべての大学の統計ではないが5大学から、下記の表の通り回答をいただいた。なお、1回目のアンケート結果は、次ページ以降に掲載した。

平成12年度統計

| | 入館者数 | 貸出者数 | 貸出冊数 |
|-------------|---------|--------|--------|
| 群馬大学附属図書館 | 1,263名 | | |
| 上武大学附属図書館 | 16名 | 16名 | 40冊 |
| 高崎経済大学附属図書館 | 12,352名 | 1,195名 | 1,615冊 |
| 高崎健康福祉大学図書館 | 不明 | 40名 | 61冊 |
| 前橋工科大学附属図書館 | 1,186名 | 125名 | 394冊 |
| 合計 | 14,817名 | 1,376名 | 2,110冊 |

※ 前橋工科大学附属図書館は平成13年2月～平成14年1月の統計

高崎健康福祉大学図書館に関しては、2001年度より名称変更があり、前身の群馬女子短期大学図書館実績

| 質問項目 | 育英短期大学図書館 | 群馬県立医療短期大学図書館 | 群馬県立女子大学附属図書館 | 群馬大学附属図書館 |
|--|--|---|------------------------------------|---|
| 【1】群馬県図書館協会の加盟年月日 | 1996年10月1日 | 1993年6月8日 | 1980年4月1日 | 1952年7月17日 |
| 【2】加盟することになった経緯 | 1995年9月、G-LINEに加入し、これにより、県立図書館への貸出依頼がオンラインで処理できるようになったので利用頻度が高くなった。その為、資料送付の手間と料金負担をなくし、より簡便に利用できるよう、協力車を利用したく、加盟した。 | 記載なし | 大学設置と同時に加盟。また、当時大学図書館協議会もなかったため。 | 協会設立と同時に加盟。 |
| 【3】群馬県図書館協会以外に他の図書館と協定を結んでいるか？結んでいれば、その名称と協力内容を簡単に教えてください。 | なし | 日本図書館協会・公立短期大学図書館協議会・群馬県大学図書館協議会・看護図書館協議会 | 群馬県図書館協議会（研究会、会報発行により、情報交換等を行っている） | 放送大学との間に昭和60年8月20日付で「図書館相互利用に関する申し合わせ」。図書・雑誌の貸出。相互の図書館が利用できる。 |
| 【4】群馬県図書館協会相互貸借規約に対する独自の館内規定・マニュアルがありますか？ | 2. ない | 2. ない | 2. ない | 2. ない |
| 【5】学生や教員に対して協力車についてPRしていますか？してなければ、その方法を教えてください。 | 育英短期大学図書館NEWSに、相互貸借利用について記載するときは、協力車について記載している。 | 特に行っていない。 | していない。 | PRしていない。 |
| 【6】加盟間への相互貸借・文献複写の依頼方法を教えてください。 | 大学図書館：FAX・E-mail 公共図書館：FAX・E-mail、県立はオンライン している。 | 大学図書館：FAX 公共図書館：FAX | 大学図書館：電話・FAX・ILL 公共図書館：電話・FAX | 大学図書館：FAX、NACSIS - ILL 公共図書館：FAX |
| 【7】加盟間へ複写や貸借を依頼する場合は協力車を活用するようにしていますか？ | している。 | している。 | している。 | している。 |
| 【8】協力車のメリット・デメリットを教えてください。 | メリット：送付の手間がなく、無料。 デメリット：利用したいときと、巡回日が合わない。 | メリット：利用者負担の軽減。 デメリット：到着に時間がかかる。 | メリット：情報面でのメリット。 デメリット：記載なし | メリット：送料が無料。 デメリット：到着に日数がかかる。 |

| 質問項目 | 育英短期大学図書館 | 群馬県立医療短期大学図書館 | 群馬県立女子大学附属図書館 | 群馬大学附属図書館 |
|---|-------------------------------------|--|--------------------------------|--|
| 【9】加盟館に依頼したとき、協力車を使わない場合にかかる郵送料等の費用は利用者が負担しますか？ 1. はい 2. いいえ | 1. はい | 1. はい | 1. はい | 1. はい |
| 【10】加盟館から借りた資料は館外貸出していますか？ 1. している 2. 一部している 3. していない(理由:) | 1. している | 2. 一部している | 3. していない(著作権範囲のため) | 1. している |
| 【11】【10】で1. 2. を選択された方お伺いします。貸出の対象を教えてください。 | 特に館外貸出不可の断わりのない資料を教職員と学生に貸し出す。 | 特に規定がないが今のところ教員の利用しがなく、実績がない。 | | 教職員・学生 |
| 【12】協力車による貸出・複写等の依頼実績を教えてください。 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 不明 | 協力車による館貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 |
| 【13】【12】のうち、大学図書館以外の依頼実績があれば教えてください。 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 不明 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 |
| 【14】貴館の地域開放についてお伺いします。 1. 地域開放している 2. していないが、今後する予定 3. するつもりはない(理由:) 4. したいができない(理由:) | 4. したいができない(理由: スタッフの不足、セキュリティの問題等) | 1. 開放している | 2. 検討中 | 1. 開放している |
| 【15】【14】で1. 2. を選択された方にお伺いします。対象者とサービスクラス内容を教えてください。 | | 対象: 県内在住・在勤・在学の18歳以上の人 内容: 図書の貸出(1人3冊・2週間)・複写 | 対象: 県内在住者、在学者、在勤者 内容: 閲覧・複写 | 対象: 学術に係わる調査・研究又は学習目的で図書館資料を利用するもの。 内容: 館内での資料の閲覧・文献複写及び情報検索。 |
| 【16】群馬県図書館協会の利用者(他大学学生や地域住民、企業社員等)が直接利用を申し込んだりきた場合の対処方法について教えてください。 | 加盟館を通して依頼していただく。 | | 開館時間内であれば、閲覧のみ認めている。 | 閲覧は所定の手続の後、自由に閲覧できる。電話のレファレンスは対応しているが、メールは不可。 |

| 質問項目 | 育英短期大学図書館 | 群馬県立医療短期大学図書館 | 群馬県立女子大学附属図書館 | 群馬大学附属図書館 |
|---|---|--|--|---|
| 【17】 加盟館の資料の検索方法について教えてください。 | G-LINE、インターネットで各館のOPAC、群馬県 ISBN 総合目録(CD-ROM) | 群馬大学と県立図書館のOPACを検索。なければ、Webcat 等他県大学図書館を検索。 | 主にホームページでの所蔵検索 | OPAC 検索 |
| 【18】 群馬県図書館協会で間で行われている、研修会等についてできるだけ詳しく教えてください。 | 調査相談研究会・群馬県総合目録研究会 | 市立図書館研究会・町村立図書館研究会・大学図書館研究会・調査相談研究会・ヤングアダルト研究会・総合目録研究会 | 公共図書館中心の研修が多いが、共通的な研修には参加している。 | 群馬県大学図書館協会（23館加盟）と群馬県図書館協会と共催で年1回大学図書館研究会を開催。群馬大学図書館が常任幹事で幹事会議・運営委員会、総会を開催している。 |
| 【19】 群馬県図書館協会に参加するメリットを教えてください。 | メリット：協力車の巡回。 デメリット：加盟館の多数は公共図書館のため、大学図書館に適合する話題が少ない。 | メリット：県内図書館の動向や状況の把握。 デメリット：記載なし | メリット：協力車の効果が大い。 デメリット：公共図書館が中心であり、課題が異なる。 | メリット：群馬県図書館協会主催の各種研修会等に参加ができ、職員の資質向上を図ることができる。 デメリット：記載なし |
| 【20】 これからの課題や、こうしていきたいという目標はありますか？ | 群馬県 ISBN 総合目録へ次回よりデータを提供したい。 | 記載なし | 協力車の増便を望む。 (現在月2回を4回) | 記載なし |

| 質問項目 | 高崎経済大学図書館 | 高崎健康福祉大学図書館 | 上武大学附属図書館 | 前橋工科大学附属図書館 |
|--|---|---|---|--|
| 【1】群馬県図書館協会の加盟年月日 | 不明 | 2001年4月1日 | 1986年4月1日 | 1974年4月1日(当時は短大) |
| 【2】加盟することになった経緯 | 不明 | 相互協力等により図書館サービスを充実させるため。尚、本学前身の「群馬女子短期大学」も加盟していたので、新大学設立に伴い継続して加盟した。(群馬女子短期大学図書館は1989年4月1日より加盟) | 上武大学に新館が完成し、司書として勤務するにあたり群馬県立図書館より司書を採用したため、運営面での緒支援等考慮し加盟。 | 昭和40年代に入って同協会の大学図書館との相互協力の協議開催後、群馬大学の加盟に始まり現在は9館が加盟し、大学図書館への協力車の巡回が開始された。この協力車は、大学図書館の巡回は月2回の巡回で、相互貸借資料の搬送の他、通知・事業案内・寄贈資料などの配布もあり、図書館活動の効果と共に意義が深いと感じている。同協会は①図書館運営・職員研修と情報交換、②郷土資料の収集及び郷土資料総合目録の作成、③資料の収集と保存及び相互貸借の協定など、公共図書館から発足し、現在は64館が加盟。 |
| 【3】群馬県図書館協会以外に他の図書館と協定を結んでいるか？結んでいれば、その名称と協力内容を簡単に教えてください。 | 公立大学協会図書館協議会 (公立大学間共通閲覧証等)・群馬県大学図書館協議会 | 群馬県大学図書館協議会・大学図書館に関する研究調査・大学図書館における相互協力の推進・図書及び図書館に関する研究会、講習会等の開催 4・その他協議会目的達成に必要な事業 | なし | 他館との協定は特になし。 |
| 【4】群馬県図書館協会相互貸借規約に対する独自の館内規定・マニュアルがありますか？ 1. 有る 2. ない | 2. ない | 2. ない | 2. ない | 2. ない |
| 【5】学生や教員に対して協力車についてPRしていますか？していれば、その方法を教えてください。 | 特に行っていない。 | 特に行っていない。 | 特に行っていない。 | 図書委員へ情報提供している程度 |
| 【6】加盟間への相互貸借・文献複写の依頼方法を教えてください。 | 大学図書館：FAX 公共図書館：FAX・電話 | 大学図書館：電話・FAX・郵便・e-mail 公共図書館：電話・FAX・郵便・e-mail | 大学図書館：FAX 公共図書館：FAX | 大学図書館：電話・FAX 公共図書館：電話・FAX |
| 【7】加盟間へ複写や貸借を依頼する場合は協力車を活用するようになっていますか？ | していない。(協力車の日程による) | している。 | していない。 | している。しかし、工学部大学で公共図書館への借用依頼は極めて少なく、蔵書検索が外部からできないため貸出も少ない。 |

| 質問項目 | 高崎経済大学図書館 | 高崎健康福祉大学図書館 | 上武大学附属図書館 | 前橋工科大学附属図書館 |
|---|--|--|---|--|
| 【8】協力車のメリット・デメリットを教えてください。 | メリット：郵送料がかからない。 デメリット：月2回のため貸出など急ぐときは利用できない。 1. はい 2. いいえ | メリット：相互貸借がスムーズに行える。資料の配送に役立つ。 デメリット：記載なし 1. はい | メリット：コストがかからない。 デメリット：日数がかかる、あわない。 2. いいえ (図書館経費) | メリット：図書や文書の搬送は、宛先を記入し箱にいれておくだけで梱包が不要、送料が無料。 デメリット：到着に時間がかかる。 1. はい |
| 【9】加盟館に依頼したとき、協力車を使わない場合にかかる郵送料等の費用は利用者が負担しますか？ 1. はい 2. いいえ | 1. はい | 1. はい | 2. いいえ (図書館経費) | 1. はい |
| 【10】加盟館から借りた資料は館外貸出していますか？ 1. している 2. 一部している 3. していない (理由：) | 2. 一部している | 3. していない (理由：紛失・破損を防ぐため) | 3. していない (理由：紛失・破損を防ぐため) | 1. している |
| 【11】【10】で1、2、を選択された方にお伺いします。貸出の対象を教えてください。 | 相手館の規定に従う。 | | | 本館利用登録者 (学生・教員・一般) なお、公共図書館の場合は個人への貸出を主として貸出をしている。 |
| 【12】協力車による貸出・複写等の依頼実績を教えてください。 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 統計なし、あっても10件以下 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 |
| 【13】【12】のうち、大学図書館以外への依頼実績があれば教えてください。 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 | 統計なし、あっても10件以下 | 協力車による貸出・複写の依頼・受付実績に別途記載 |
| 【14】貴館の地域開放についてお伺いします。 1. 地域開放している 2. していないが、今後する予定 3. するつもりはない (理由：) 4. したいができない (理由：) | 1. 開放している | 1. 開放している | 1. 開放している | 1. 開放している |

| 質問項目 | 高崎経済大学図書館 | 高崎健康福祉大学図書館 | 上武大学附属図書館 | 前橋工科大学附属図書館 |
|--|--|---|--|--|
| 【15】【14】で1、2を選択された方にお伺いします。対象者とサービス内容を教えてください。 | 対象：群馬県内に在住・在勤・在学の者 注1)。ただし、児童・生徒及び大学受験のための利用者は除く。 内容：貸出は3冊・2週間。閲覧・複写は学生同様。 | 対象：大学の公開講座参加者 内容：閲覧・貸出・レファレンス・複写等 | 対象：利用希望者全員 内容：在学生と同等のサービス | 対象：前橋市及び前橋広域市町村の住民及び、通勤・通学する大学生・一般 内容：貸出と閲覧・レファレンス・複写等、学生と同じ扱い。 |
| 【16】群馬県図書館協会の利用者（他大学学生や地域住民、企業社員等）が直接利用を申し込んだ場合の対処方法について教えてください。 | 問15の対象者であれば、当館利用者として貸出・閲覧・レファレンス等通常に受けられる。 | 一般の学外者として対応。（サービス内容は、閲覧、レファレンス、複写） | すべて対応し回答している。 | サービスに学内、学外者は区別しない。回答にかかると複写代、送料等は自己負担。 |
| 【17】加盟館の資料の検索方法について教えてください。 | 大学図書館はMACSIS-CAT。公共図書館は電話等の問い合わせ。 | OPACを学外に開放している館はOPACを利用し、していない館へは、電話・FAX・E-mail等で問い合わせ。 | ホームページから所蔵の確認をし、FAXで所在の確認を行い、依頼書を送付。 | 群馬県総合目録(CD-ROM)、群馬県郷土資料総合目録、G-LINE、インターネット、電話問合せ |
| 【18】群馬県図書館協会でやっている、研修会等について詳しく教えてください。 | 調査相談研究会（インターネットを利用したレファレンス） | 市立図書館研究会・町田市立図書館研究会・大学図書館研究会・調査相談研究会・ヤングアダルト研究会・総合目録研究会 | 市立図書館研究会・町田市立図書館研究会・大学図書館研究会・調査相談研究会・ヤングアダルト研究会・総合目録研究会・図書館司書等専門講座 | 市立図書館研究会・町田市立図書館研究会・大学図書館研究会・調査相談研究会・ヤングアダルト研究会・総合目録研究会・図書館司書等専門講座 |
| 【19】群馬県図書館協会に参加するメルリットを教えてください。 | メルリット：地理的に近距離にある図書館とのネットワークや相談が容易。 デメリット：館種の差より、認識する問題点や課題が異なる。 記載なし | メルリット：会議・研修会等の参加により加盟館相互の連帯感が生まれる。相互貸借がスムーズに行う事ができる。研修会に参加し、職員のレパリアップを図ることができ。協力車を利用することができ。 デメリット：特に記載なし。 記載なし | メルリット：協力の巡回を利用できる。 デメリット：図書館の本質が異なる為、共通のテーマでの会議や研修会がない。 | メルリット：総合目録(CD-ROM)の無料配布、研修会・研究会への参加、寄贈図書、県市町村刊行物の配布。 デメリット：負担金（年会費） |
| 【20】これからの課題や、こうしていきたいという目標はありますか？ | 記載なし | 記載なし | 加盟の意義が感じられない。 | ①コンピュータシステムの一新 ②雑誌バックナンバーの貸出 ③CD-ROM利用方法、機器の充実 ④図書の定価購入による装備の無料 ⑤初回開館の無人化⑥蔵書の再選定と廃棄による蔵書構成の見直し |

協力車による貸出・複写の依頼・受付件数

単位 冊

| | | | 1998年 | 1999年 | 2000年 | 合計 |
|-------------------|------|----|--------|--------|--------|---------|
| 育英短期大学図書館 | 依頼 | 貸出 | 26(23) | 20(18) | 31(31) | 77(72) |
| | | 複写 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| | 受付 | 貸出 | 0(0) | 0(0) | 1(1) | 1(1) |
| | | 複写 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 群馬県立医療短期 大学図書館 | 依頼 | 貸出 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| | | 複写 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| | 受付 | 貸出 | 1(1) | 3(3) | 10(10) | 14(14) |
| | | 複写 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 群馬大学附属図書館 | 依頼 | 貸出 | 0(0) | 1(0) | 0(0) | 1(0) |
| | | 複写 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| | 受付 | 貸出 | 4(0) | 13(0) | 14(0) | 31(0) |
| | | 複写 | 9(0) | 2(0) | 1(0) | 12(0) |
| 高崎経済大学 附属図書館 | 依頼 | 貸出 | | 3(2) | 0(0) | 3(2) |
| | | 複写 | | 1(1) | 0(0) | 1(1) |
| | 受付 | 貸出 | | 10(6) | 7(4) | 17(10) |
| | | 複写 | | 0(0) | 3(2) | 3(2) |
| 高崎健康福祉大学 図書館 | 依頼 | 貸出 | 2(0) | 5(4) | 19(13) | 26(17) |
| | | 複写 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| | 受付 | 貸出 | 4(3) | 1(1) | 0(0) | 5(4) |
| | | 複写 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 前橋工科大学 附属図書館 | 依頼 | 貸出 | | | 1(1) | 1(1) |
| | | 複写 | | | 1(1) | 1(1) |
| | 受付 | 貸出 | | | 0(0) | 0(0) |
| | | 複写 | | | 0(0) | 0(0) |
| 依頼合計 | 貸出 | | 28(23) | 29(24) | 51(45) | 108(92) |
| | | 複写 | 0(0) | 1(1) | 1(1) | 2(2) |
| | 受付合計 | 貸出 | 9(4) | 27(10) | 35(15) | 68(29) |
| | | 複写 | 9(0) | 2(0) | 4(2) | 15(2) |

※ () 内は、大学図書館以外への依頼・受付冊数

< 考 察 >

大学図書館へアンケートを実施した結果としては、群馬県図書館協会に加盟している意義を全く感じていない館もあるほどで、それほど大学図書館が緊密に参加しているネットワークではないようであり、協力車の利用に関してもそれほど活用されていない。協力車を利用していない理由としては、大学図書館への協力車の巡回回数が月に2度のみのため、必要なときにすぐ利用できないことが挙げられる。また、地域開放をしている館が多く、単独で地域に貢献しており、一般の利用者が協力車の有無に関わらず大学図書館の資料を利用できることや、大学図書館の規模や利用者のニーズからそれほど公共図書館との協力を必要にしていることなども考えられる。

注目すべき点は、協力車による閲覧願・貸出・複写の依頼・受付実績によると、大学図書館から公共図書館への貸出依頼が、公共図書館から大学図書館への貸出依頼件数よりも3倍近く多いことである。このことは大学によって状況が違うことから一概にはいえないが、大学図書館の利用者からの公共図書館に対するニーズがあるという一面が伺える。また、地域

開放を行っている大学図書館の入館者数をみても、全体で 15,000 人近く達し、特に、立地条件等による面もあると思われるが、高崎経済大学の学外者の利用者数と貸出冊数を見ても分かるように、一般利用者から大学図書館に対してのニーズも非常に高いことが推測できる。

13) 群馬県図書館協会における問題点・今後の課題・目標

- ・ 総合目録の整備
- ・ ISBN 総合目録や各館の OPAC 公開により、県立図書館対県内図書館だけでなく、加盟館相互の貸借が盛んになっており、広域市町村圏等のブロック毎の協力体制をつくることで、より相互貸借がスムーズになるのではないかと。
- ・ 大学・短大の新設が相次いでいるが、協会加盟がないため協力関係になれない。今後これらの館の OPAC 公開・相互貸借等の協力関係を築いていく必要がある。

14) まとめ

群馬県で巡回車が運搬していて、館種を問わず無料で資料を配送する物流体制があると聞き、実際に調査してみた感想としては、公共図書館間での協力関係は活発で成果を挙げている反面、館種を越えての協力はほとんど成果を挙げていないというのが正直な印象であり、現状であった。それは、協力車の運行が大学図書館に関しては月に 2 度のため利用したくても日数が合わないことや、協力車についてほとんど広報がされていないことが理由であると考えられる。

しかし、現在の協力車による利用者の負担がかからない資料配送サービスに加えて、協力車の増便による時間のかからない物流体制と、利用者への広報が充実することができればどうであろう。利用者のニーズについては、一般利用者から大学図書館へのニーズ、大学図書館の利用者から公共図書館への要望があることは、今回調査した統計結果からも予測でき、広報により利用者へ周知し、送料も時間もかからない物流体制ができ、図書館員・利用者にとって当たり前のサービスとして認識されれば、潜在的な利用者のニーズも引き出せるのではないかと。また、総合目録の整備が今後の課題に挙がっており、研究会においても検討されている。ネットワーク内の資料であれば、容易に所蔵が確認でき、すぐに取り寄せることができれば、利用者の協力車による相互協力件数は増加すると考えられ、利用者サービスは大変向上するだろう。

現実的問題として協力車の増便をすることは、業務量の増加や費用面の問題・巡回館が多いことなどから難しいと思われる。しかし課題にもあるように、現在群馬県立図書館 1 館で行っているところをブロック毎で分散したり、大学図書館がより積極的に参加することによって改善されると考えられる。

群馬県の図書館ネットワークには、当分科会参加館は参加していないため、机上でのみの解釈であり、実情が把握できていない部分もある。しかし群馬県図書館ネットワークにおいて、協力車による物流体制が整っていることは大きな特徴であり、大変意義があり、館種を越えた図書館ネットワークにおいては一歩進んでいるといえる。群馬県立図書館相互貸借機関別貸出統計をみても、相互協力が年々盛んになり必要とされてきている中で、物流体制が当たり前の業務として存在し、実際に運営されていることは、今後の利用者サービスを拡大するための土台ができているといえる。そうした意味からもこれからさらに活発なネットワークとなっていくことを大いに期待し、今後の活動に注目していきたい。

(2) 三重県図書館情報ネットワーク・MILAI について

法政大学図書館 家村真名／関東学院大学図書館 堀川奈皇子

1) はじめに

三重県図書館情報ネットワークは、三重県立図書館を中心館としてスタートしたこともあり、ネットワーク全体に関する情報は三重県立図書館を通じていただいた。従って、ネットワークのメリットやデメリット等は公共図書館側の感じた点を叙述しており、大学図書館側については、11) 大学図書館の関わりについて、で述べることとした。

※三重県立図書館概要（図書館年鑑 2001 より）

| | |
|---------|---------------------|
| 蔵書冊数 図書 | 632,000 冊 |
| 雑誌タイトル数 | 783 タイトル |
| 職員数 | 21 人（内、司書・司書補 15 人） |

2) 趣旨（目的）

三重県が進めている、「21 世紀三重情報化社会推進プラン」の一角を担う事業であり、「新しい豊かで潤いのあるネットワーク社会」を構築するための第一歩である。そして、「全ての図書館を全ての利用者に」を目標に、県内の全図書館が一致団結してより良いサービスの提供を志向したものである。MILAI というのは、Mie Library Advanced Information Network System の略称である。

3) ネットワーク稼働開始年

1998 年

4) 経緯

1992 年当時、三重県立図書館移転の計画が進んでおり、それに伴う電算システムの導入が考えられていた。その際、県内図書館とのネットワークを視野に入れ、県立図書館の呼びかけで、三重県図書館情報ネットワーク問題研究会を発足させた。活動期間は約 1 年。4 つの部会に分かれ、情報・人・物流等のネットワークについて研究・討議し、冊子体の新聞・雑誌総合目録と、報告書を刊行した。

その最終報告書によると、三重県においてネットワークを形成しようとした背景には、以下のような事由があったとされている。

- ・全般的な高学歴化、進学率の上昇。
- ・余暇時間の増大による生涯学習志向の高まり。地位向上を目指した資格取得など、余暇時間を娯楽以外に当てることが一般化。

こうした人々の情報要求は生涯学習施設に向けられる。

しかし、交通手段の恵まれていない地域は、明らかに情報流通量も少なく、情報入手の機会にも恵まれておらず、情報入手のためにより多くの時間と費用を必要とする、という地域間格差が存在している。ネットワークの形成はこの格差を埋めるためのひとつの手段であると考えられる。

その後、1994 年 10 月 県立図書館新館が開館すると同時に、電算システムも稼働。県図書館協会ネットワーク部会で、県内全ての館が参加するネットワークの構築が不可欠であるとの認識のもと、県立図書館の機種更新のタイミングに合わせ、県立図書館を中心に据えたネットワークを構築するという基本構想が策定され、1997 年に総合目録の開発が認められる。1998 年にネットワークが稼働した。

5) 加盟館

公共図書館 42 館、学校図書館 10 館、大学図書館 6 館、短期大学図書館 1 館、高等専門学校図書館 2 館を含む全 61 館。大学図書館 6 館のうち、私立大学は 4 大学が参加している。

【ネットワーク加盟要件】

ネットワークの加盟には 3 つのクラスがある。

- A: 蔵書検索のみを行うもので、加盟手続は必要ない。誰でも利用可。
- B: 三重県内の公民館・学校および県外図書館を対象とし、ID・パスワードの発行を受けることで蔵書検索と、三重県立図書館の蔵書に対する貸借依頼をオンライン上（パソコン画面上）で行うことが可能。
- C: 県内の図書館または公民館図書室を対象とし、ID・パスワードの発行を受けることで、蔵書検索と、データ提供館全館に対する貸借依頼をオンライン上（パソコン上）で行うことが可能。

【クラス B・C 共通の加盟要件】

- ① インターネットに接続できるパソコン（Pentium133MHz 以上の CPU、32MB 以上のメモリ、800×600 ドット/256 色以上のカラー表示、MS-Windows95/98 または NT4.0 対応であること）を用意すること。
- ② Microsoft Internet Explorer 4.0 以降もしくは、Netscape Navigator 3.0 以降のブラウザソフトウェアが必要。
- ③ 電子メールによる通知・連絡が受け取れるようにすること。

【クラス C 加盟要件】

- ① 三重県内の図書館あるいは公民館図書室であり、三重県図書館協会に加盟していること。
- ② 所蔵資料データをネットワークに提供すること。
- ③ 相互貸借に関わる回答を FAX またはプッシュ（PC 画面への強制表示）で受信できるように、通信回線・機器を準備すること。

※平成 14 年 2 月現在、アンケートにご協力頂いた私立大学図書館 4 館はクラス B に、三重大学附属図書館はクラス C に属している。

6) 協力内容

- ① 検索：インターネットで 24 時間利用可。誰でも利用可。

データ提供館 38 館（2002 年 1 月現在）

※うち、公共図書館 37 館、大学図書館 1 館

書誌タイトル件数 約 246 万件

所蔵冊数 約 352 万件

- ② 相互貸借：

借受依頼できるのは、クラス B・C。但し、クラス B は三重県立図書館に対しての借受依頼のみ利用できる。

借受依頼受付時間：7 時～23 時

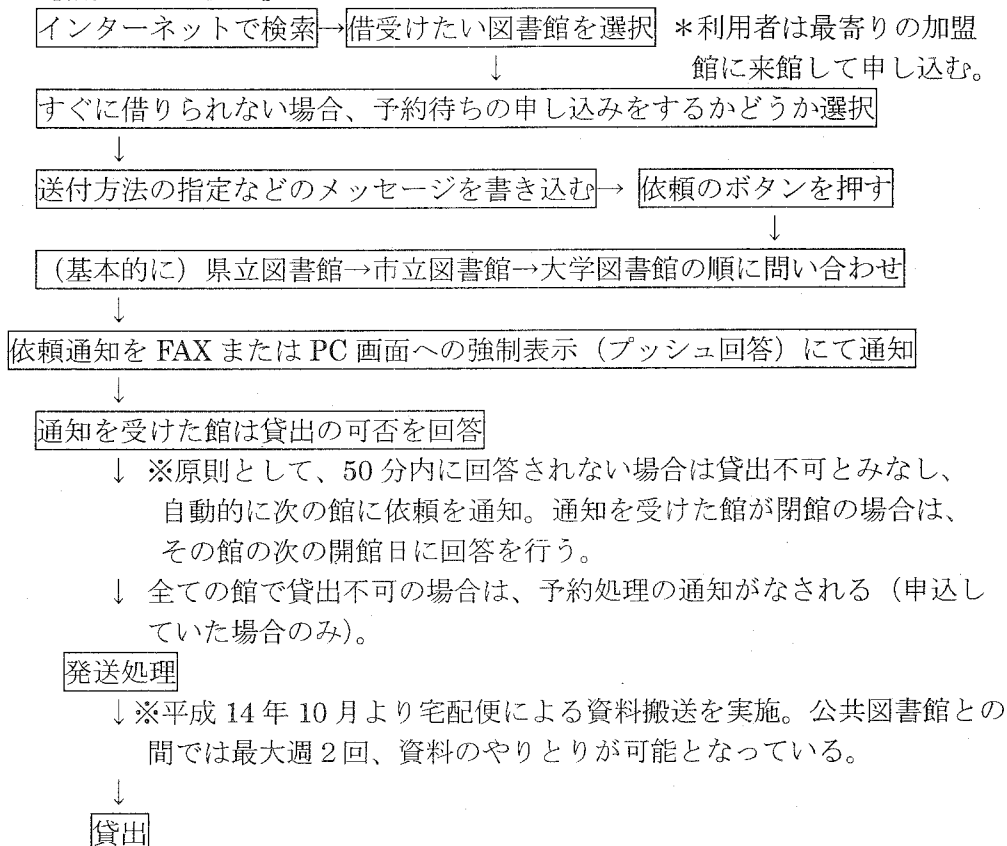
期間：1 ヶ月

冊数：貸出館側に特別の事情がない限り制限なし

送料：依頼した側が全額負担。

三重県立図書館からの借受の場合は、返却費用のみ負担

【借受までの流れ】



7) ネットワークのメリット・デメリット

・メリット

- ①総合情報目録データベースの作成により、他館の所蔵が全て分かること。
(以前は、所蔵がありそうな館に一館一館電話であたっていた)
- ②相互貸借の依頼がシステム上でできること。→資料の入手が迅速になった
- ③物流管理までが可能。
→資料が移動中なのか、相手先へ届いたのか等の状況管理ができるようになった。

・デメリット

- ①機械的に貸借が依頼できるので、新刊データを提供するとすぐに貸借の依頼がかかってしまうこと
→電話でのやりとりではないため、お互いの館の事情が分からないのがつらい
- ②依頼が特定の館に集中してしまうこと
(システムの散らす様にはしているが、やはり所蔵が多い館に集中している)
→送付にかかる費用の負担や業務量に関連してくる

8) 実績

・1998年度 相互貸借件数 810件

(貸出側)

| | 公共図書館 (40) | 大学図書館 (1) | その他 |
|------------|------------|-----------|-----|
| 公共図書館 (40) | 806 | 0 | 0 |
| 大学図書館 (4) | 4 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 |

・1999年度 相互貸借件数 4,826件

(貸出側)

| | 公共図書館 (40) | 大学図書館 (1) | その他 |
|------------|------------|-----------|-----|
| 公共図書館 (40) | 4792 | 5 | 0 |
| 大学図書館 (4) | 25 | 0 | 0 |
| その他 | 4 | 0 | 0 |

・2000年度 相互貸借件数 7,163件

(貸出側)

| | 公共図書館 (40) | 大学図書館 (1) | その他 |
|------------|------------|-----------|-----|
| 公共図書館 (40) | 7093 | 13 | 0 |
| 大学図書館 (5) | 2 | 0 | 0 |
| その他 | 55 | 0 | 0 |

※表の縦は(借受側)を意味し、縦の館が横の館より貸借した件数が記されている。

9) 広報について

- ①MILAIのホームページ開設(<http://www.milai.pref.mie.jp>)
- ②ネットワークのパフレット作成(他図書館向け)
- ③ネットワークのチラシを作成(一般市民等向け)
- ④広報誌にネットワークを特集で掲載(県立図書館)

10) 現在の問題点、これからの問題点、目標について

- ①個人からの貸出申込を可能にする
- ②県下全市町村にネットワークの窓口を設置してもらう

11) 大学図書館の関わり

MILAIには、私立4大学(鈴鹿医療科学大学附属図書館、鈴鹿国際大学図書館、松阪大学図書館、四日市大学情報センター)国立1大学(三重大学附属図書館)、県立1大学(三重県立看護大学附属図書館)の6大学が加盟している。三重大学はクラスC、その他の大学はクラスBに加盟している。今回はこのうち、私立4大学と三重大学の5機関に、2001年の7月初頭にアンケートを実施した。各大学の概要は以下の通りである。

(※数値は、大学ランキング2002年版、各大学ホームページ2月1日現在、より抜粋)

| |
|---|
| <p>《鈴鹿医療科学大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生数 1,959 名 ・学部構成 保健衛生学部：放射線技術科学科、医療栄養学科、理学療法学科（平成 14 年 4 月開設） 医用工学部：医用電子工学科（平成 14 年 4 月、臨床工学科に名称変更） 医用情報工学科 ・図書館蔵書冊数 平成 12 年度 図書 43,906 冊（和 32,204 冊、洋 11,702 冊） 平成 13 年度 雑誌 237 タイトル（和 99、洋 138） |
| <p>《鈴鹿国際大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生数 1,124 名 ・学部構成 国際学部：国際関係学科、国際文化学科 ・図書館蔵書冊数（2001 年 5 月現在） 図書 約 54,000 冊 雑誌 約 220 タイトル |
| <p>《松阪大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生数 1,886 名 ・学部構成 政策学部：政治経済学科、政策学科、地域経営学科 ・図書館蔵書冊数（2001 年 4 月現在） 図書 196,094 冊（和 159,116 冊、洋 36,978 冊） 雑誌 854 タイトル（和 599、洋 255） |
| <p>《四日市大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生数 2,693 名 ・学部構成 経済学部：経済学科、経営学科 環境情報学部：環境情報学科 総合政策学部：総合政策学科 ・図書館蔵書冊数（2001 年 4 月現在） 図書 84,068 冊（和 65,996 冊、洋 18,072 冊） 雑誌 242 タイトル（和 205、洋 137） |
| <p>《三重大学》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生数 6,451 名 ・学部構成 人文学部：文化学科、社会科学科 工学部：機械工学科、電気電子工学科、分子素材工学科、建築学科、情報工学科、物理工学科 生物資源学部：資源循環学科、共生環境学科、生物圏生命科学科 教育学部：学校教育、情報教育、生涯教育、人間発達科学（課程） 医学部：医学科、看護学科 ・図書館蔵書冊数 図書 720,038 冊（和 563,724 冊、洋 156,314 冊） 雑誌 192,242 冊（和 90,583 冊、洋 101,659 冊） |

上記5大学にとってアンケート結果は次ページ以降に掲載した。結果をみてまず驚くのは、5大学の地域住民への貢献に対する意識の高さである。私立4大学については、クラスBということでMILAIにデータ提供は行っておらず、ネットワーク上での貸借はさほど頻繁には利用されていないものの、問⑫において、5大学全てが地域開放を実施し、内4大学が館外貸出サービスを行っている」と答えており、積極的な公開が行われていることが分かる。

例えば問⑬の回答では、地域開放の登録者数が、松坂大学で1999年度、2000年度共に500名を超えており、三重大学でも2000年度には700名近い人が登録している。また、問⑭の回答、一般利用登録者への貸出件数については、鈴鹿国際大学で2000年度183件、松坂大学で2000年度596件、三重大学で2000年度1370件という回答が得られた。

これらの件数とMILAI上での大学への貸出依頼件数を比べると、なぜMILAIを通しての依頼が少ないのだろうか。やはり利用者にとっては、直接図書館で資料を手にとって、利用したい資料を選べる方が魅力的なのだろうか。

しかし、ネットワークを介しての貸借でも、特に貸出側の指定がなければ館外貸出でき、遠隔地に住む人や直接大学図書館に出向けない人たちにとっては特に有効であり、地域開放を行っていればネットワークに参加する意義はない、ということにはならないだろう。逆に、問⑬の回答にもあるように、大学図書館側からすれば、公共図書館とのネットワークに参加することのメリットとして、大学図書館では揃えきれない分野の資料の利用が可能になることが挙げられる。

また、P19の表を見ると、1998年度には公共図書館と大学図書館間での貸借件数が4件だったものが、1999年度には30件、2000年度には15件と、件数は決して多いとは言えないが増加しつつある。今後は、オリエンテーションや利用者教育の機会などにおいて、MILAIに対するアピールをさらに拡大させていけば、利用も増加していくものと思われる。

最後に、現在MILAIにデータ提供を行っていて蔵書横断検索が可能なのは三重大学のみであるが、問⑱の回答では、人的・技術的な問題や費用面での問題をクリアできれば、データ提供を行ってもよいと考えている館もある。もしもこれら私立4大学全ての蔵書がネットワーク上で借りられることになるとすれば、ネットワーク全体での蔵書数増加はもちろんのこと、4大学が様々な学科をもつことから個性ある資料群の構成が実現し、よりいっそう住民の資料利用の可能性が広がっていくであろう。

*三重大学附属図書館については、三重県立図書館以外の加盟館とも貸借を行っているため、質問文中の「県立図書館」とある部分を「MILAI加盟館」と置きかえて御回答頂きました。

| 質問項目 | 鈴鹿医療科学大学 (クラスB) | 1998年4月 | 鈴鹿国際大学 (クラスB) | 1998年4月1日 | 松坂大学 (クラスB) | 2000年5月19日 | 四日市大学 (クラスB) | 1998年10月 | 三重大学(国立) (クラスC) | 1999年 |
|--|--------------------|---|------------------|---|----------------|--|-----------------|--|--------------------|---|
| ①MILAIに加盟した年月日 | 1998年4月 | 三重県立図書館よりMILAIの企画が持ち上がり、当館も地域に対して何かサービスができればと思いい加盟した。 | 1998年4月1日 | 県内の公共図書館の多くが加盟し、三重県図書館が加盟し、三重県図書館総合目録データベースを構築するという説明が県立図書館からあったため、大学図書館もぜひ参加して図書館間の相互協力を活発化し、利用者へのサービスの向上に努めたいといっていたことから、特にしていない | 2000年5月19日 | 当初、データ提供に伴う問題もあり、加盟を見合わせていたが、データ提供せずに利用が可能となったので、加盟することとなった。 | 1998年10月 | 三重県図書館協会の方針が、大学図書館、公共図書館の一体化であることと、利用者にとって身近な存在である公共図書館の所蔵検索や貸出を受けられるメリットは大きいと考えた。 | 1999年 | MILAI以前にも実質的には公共図書館との相互貸借を実施していた。公共図書館との連携・協力を模索し始めた頃であり、大学図書館の地域社会への当然の義務として、加盟することになった。 |
| ②MILAIに加盟することになった経緯 | 1998年4月 | 三重県立図書館よりMILAIの企画が持ち上がり、当館も地域に対して何かサービスができればと思いい加盟した。 | 1998年4月1日 | 県内の公共図書館の多くが加盟し、三重県図書館が加盟し、三重県図書館総合目録データベースを構築するという説明が県立図書館からあったため、大学図書館もぜひ参加して図書館間の相互協力を活発化し、利用者へのサービスの向上に努めたいといっていたことから、特にしていない | 2000年5月19日 | 当初、データ提供に伴う問題もあり、加盟を見合わせていたが、データ提供せずに利用が可能となったので、加盟することとなった。 | 1998年10月 | 三重県図書館協会の方針が、大学図書館、公共図書館の一体化であることと、利用者にとって身近な存在である公共図書館の所蔵検索や貸出を受けられるメリットは大きいと考えた。 | 1999年 | MILAI以前にも実質的には公共図書館との相互貸借を実施していた。公共図書館との連携・協力を模索し始めた頃であり、大学図書館の地域社会への当然の義務として、加盟することになった。 |
| ③学生や教員に対して、MILAIに関するPR(県立図書館からの貸出を受けられること等の)をしているか？ していれば、その方法を | 1998年4月 | 三重県立図書館よりMILAIの企画が持ち上がり、当館も地域に対して何かサービスができればと思いい加盟した。 | 1998年4月1日 | 県内の公共図書館の多くが加盟し、三重県図書館が加盟し、三重県図書館総合目録データベースを構築するという説明が県立図書館からあったため、大学図書館もぜひ参加して図書館間の相互協力を活発化し、利用者へのサービスの向上に努めたいといっていたことから、特にしていない | 2000年5月19日 | 当初、データ提供に伴う問題もあり、加盟を見合わせていたが、データ提供せずに利用が可能となったので、加盟することとなった。 | 1998年10月 | 三重県図書館協会の方針が、大学図書館、公共図書館の一体化であることと、利用者にとって身近な存在である公共図書館の所蔵検索や貸出を受けられるメリットは大きいと考えた。 | 1999年 | MILAI以前にも実質的には公共図書館との相互貸借を実施していた。公共図書館との連携・協力を模索し始めた頃であり、大学図書館の地域社会への当然の義務として、加盟することになった。 |

| 質問項目 | 鈴鹿医療科学大学 (クラスB) | 鈴鹿国際大学 (クラスB) | 松坂大学 (クラスB) | 四日市大学 (クラスB) | 三重大学 (国立) (クラスC) |
|---|------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---|--|
| ④利用者に対し、三重県立図書館の蔵書検索ができるように端末や、冊子体の目録などを用意しているか | インターネット上で検索できる為、特別には用意していない。 | 検索専用ではないが、学生が自由に利用できるパソコンからの検索ができる。 | インターネット用端末から蔵書検索ができるようにしている。 | 館内にインターネット用端末1台あり。パスワード入力が必要なため申出により利用可能。冊子体目録は三重県図書館協会では作成されていないらしい。 | 本学の OPAC 検索画面 (Web 版) トップページから、MILAI 検索画面へリンクをしている。OPAC が検索出来る端末としては、OPAC 端末 5 台、自習用インターネット端末 16 台、学外者用タッチパネル 1 台を用意している。 |
| ⑤三重県立図書館から資料借用時、返却時の資料搬送方法 | 借用時：宅配便 返却時：冊子小包 簡易書留 | 借用時：宅急便 返却時：宅急便又は郵便パック | 借用時：宅配便 (着払い) 返却時：宅配便 (元払い) | 借用時：宅急便 返却時：宅急便 冊子小包 いずれも可 | 借用・返却時：郵便パックによる送付、切手同封による送料精算 貸出・返却時：ペリカン便による着払 以前は、公共図書館の巡回車による配送が可能であったが、現在は頻度が少なすぎるため、ペイしないという事で停止している。 利用者に実費を払ってもらう。 |
| ⑥三重県立図書館から資料を借りた場合、返却時の送料は、借りた館が負担することになっているが、学生・教員などの利用者は代金を負担するか？ | 負担する。 | 学生のみ代金を負担。 | 利用者が負担。 | 利用者が負担。 | |
| ⑦三重県立図書館から借りた図書は館外貸出していますか？ | 1 している。 | 1 している。 | 1 している | 1 している。 | 1 している。 |

| 質問項目 | 鈴鹿医科大学 (クラスB) | 鈴鹿国際大学 (クラスB) | 松坂大学 (クラスB) | 四日市大学 (クラスB) | 三重大学(国立) (クラスC) |
|---|---|---|---|--|---|
| ⑧三重県立図書館に複写依頼は可能か。可能な場合、料金はいくらか。また、MILAI 参加館から貴館に対しての複写受付代金はいくらか。 | 1 可能 (1枚 20円) 受付代金：30円 (ILL と同料金) | 1 可能 (1枚 10円) 受付代金：30円 | 1 可能 (1枚 20円) 受付代金：20円 | 1 可能 (1枚 20円?) | 1 可能 (1枚 10円 + 送料実費前払) |
| ⑨三重県立図書館に対する貸出・複写・レファレンス等の依頼、受付の実績・統計が分かれば教えて下さい。 | ※当一覧の最後に別途記載。 | | | | |
| ⑩貴図書館の地域開放について、以下の中から選んで下さい。 1 開放している 2 していないが、今後開放する予定がある 3 するつもりはない 4 したいができない また、1を選んだ場合、開放している対象者とサービス内容、過去4年の登録者数、また、登録の際の登録料はいくらか。 | 1 開放している。 対象者：制限なし サービス内容：閲覧、複写のみ。 登録者数： 貸出を行っていないため、登録は行わない。来館時に、受付で氏名・会社(学校)名・電話番号を記帳してもらおうのみで閲覧可能。 登録料：なし | 1 開放している。 対象者： サービス内容：閲覧、貸出 登録者数： 1998、1999年度 0人 2000年度 22人 2001年度 4人 登録料：なし | 1 開放している。 対象者：一般利用者 サービス内容：閲覧、貸出(3冊 2週間) 登録者数： 1998年度 95人 1999年度 589人 2000年度 533人 2001年度 215人 登録料： 閲覧・貸出登録ともに無料(貸出は磁気カード手数料として1100円をとることにしているが、当面は徴収せず無料としている) | 1 開放している。 対象者： 近隣に在勤または在住している20才以上の人 サービス内容： 閲覧、貸出 | 1 開放している。 対象者：一般市民 (年齢制限なし) サービス内容： 貸出・複写・レファレンス 登録者数： 1999年度 578人 2000年度 686人 (数値は、第18回大学図書館研究集会第1分科会資料より抜粋) |
| ⑪⑩で、サービス内容に貸出が含まれる場合、登録者に対する4年間の貸出件数 | 貸出不可 2000年度 183件 2001年度 54件 (7月31日現在) | 2000年度 59件 1999年度 504件 2000年度 596件 2001年度 235件 (8月20日現在) | 未回答 | 1999年度 1490件 2000年度 1370件 (数値は、第18回大学図書館研究集会第1分科会資料より抜粋) | |

| 質問項目 | 鈴鹿医療科学大学 (クラスB) | 鈴鹿国際大学 (クラスB) | 松坂大学 (クラスB) | 四日市大学 (クラスB) | 三重大学 (国立) (クラスC) |
|---|---|---|---|--|---|
| ②MILAI 加盟館の利用者が直接利用したいと希望した場合(来館や、電話・メールでのレファレンスなど)は利用できるか? | 貸出以外は可能 | 利用できる。 | 一般利用者として登録すれば利用できる。個人での電話等でのレファレンスではできない。 | 閲覧のみ可。貸出に関しては地域開放対象者のみ可。レファレンスに関しては全ての利用者に対して電話・メールでの受付はしていない。来館・文書でのみ可。 | 来館・電話・メールでのレファレンス |
| ③MILAI に参加している為、今の所 MILAI を使用することはほとんどないの、問題点は感じているか? | ILL に加盟している為、今の所 MILAI を使用することはほとんどないの、問題点は感じている。 | 特になし。 | 特になし。 | なし。 | 制度に関する問題点は特になし。(関連する学内規則などは、改正済み) |
| ④MILAI について、これからの課題や、こうしていきたいという目標のよなものはあるか。 | 特になし。 | 特に思いつかない。 | 特になし。 | 大学図書館としては三重大学(国立)以外の図書館が、フォーママベースの関係かデータベースを提供をしていない事。 | 各館所蔵資料の特色を生かした分担収集の実現が望まれる。 データ更新のルーチン化や、データの精度を上げる必要がある。 |
| ⑤公共図書館とのネットワークに参加するメリットは何だと思えるか。また、デメリットがあると思えば何だと思えるか。 | 今のところ、メリット・デメリットも特に感じていません。 | メリット： 利用する立場からは、資料構成等のちがいによる利用の可能性あたりでしょうか。 デメリット： 特に思いあたりません。 | メリット： 所蔵にない小説や郷土資料などの利用が広がる。 県内のネットワークに参加することの意義。 | メリット： 公共図書館の所蔵検索、貸出ができること。 | メリット： ネットワークに加盟することで一般市民にとつて敷居の高い大学図書館を身近に感じてもらえるなど、大学の地域貢献に役立つ。 ビジネス書や一般文芸書など、要望はあるが、予算や集書方針的に購入が難しいジャンルの本を、本学の利用者にも提供することが可能となる。 デメリットは特になし。 |

| 質問項目 | 鈴鹿医療科学大学 (クラスB) | 鈴鹿国際大学 (クラスB) | 松坂大学 (クラスB) | 四日市大学 (クラスB) | 三重大学(国立) (クラスC) |
|---|---|---|---|--|----------------------------------|
| ⑩現在は MILAI において私立大学図書館は、蔵書データ提供と公共図書館に対しての貸出を行っているが、今後、三重県立図書館に蔵書データを提供して公共図書館に資料を貸し出す予定はあるか？または、そうしたいと思うか。 | MILAI にデータを提供するには、MILAI 形式のデータにする必要があり、それには人手も費用もかかかってしまう為、現在蔵書データの提供はできている。当館はHP上でOPACを公開しており、ILLにも加盟している。ILL に見ても、その依頼は受け付けている。 | MILAI 上では直接検索できないが、私立大学図書館は公共図書館と OPAC のシステムが違っているが、その原因で、実際に公共図書館に資料を貸し出している。 MILAI 参加館リストの館名を Web 上でクリックすると個々の私立大学図書館の HP が検索され、OPAC で蔵書データがみられる。 蔵書データの提供は技術的な問題がクリア出来れば実施したいと考えている。 | 本学では三年前より一般開放を行っている。対象も地元のみではなく、広く公開している。個人で登録すれば、貸出は可能である。また、図書館の HP から本学のほぼすべての蔵書検索が可能である。 蔵書データの受け渡しにはまだまだ検討の余地があり、逆に提供ではなく、Web 横断検索のような形になれば、他大学ともすんなり利用できるのではないかと考えている。 | 貸出は専門書中心のためか希望がないだけで、応じる体制である。データ提供は、フォーマットが違うため、変換できないので不可という点である。 HP 上で独自に OPAC を公開しているが、ネット上での貸し出し依頼は、実施していない。 | (*クラスCのため、データ提供、公共図書館への貸出を行っている) |

*三重大学附属図書館については、三重県立図書館以外の加盟館とも貸借を行っているため、質問文中の「県立図書館」とある部分を「MILAI加盟館」と置きかえて御回答頂きました。

※問⑨の回答：三重県立図書館（※三重大学については、MILAI加盟館）に対する貸出・複写・レファレンスの依頼統計

値：件

| | 鈴鹿医療科学大学 | | | 鈴鹿国際大学 | | | 松坂大学 | | | 四日市大学 | | | 三重大学 | | | | |
|----|----------|----|----|--------|----|----|------|----|----|-------|----|----|------|----|----|----|---|
| | 98 | 99 | 00 | 01 | 98 | 99 | 00 | 01 | 98 | 99 | 00 | 01 | 98 | 99 | 00 | 01 | |
| 貸出 | ? | 0 | 2 | 0 | 貸出 | 0 | 2 | 0 | 貸出 | 0 | 2 | 0 | 1 | | | | |
| 複写 | ? | 1 | 0 | 0 | 複写 | 0 | 0 | 0 | 複写 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| レフ | ? | 0 | 0 | 0 | レフ | 0 | 0 | 0 | レフ | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 | 2 | | 1 |

12) まとめ

三重県図書館情報ネットワークは、スタート時の 1998 年に年間の貸借件数が 810 件だったものが、2000 年には 7163 件に増加しており、わずか 2 年の間に約 10 倍になっている。このことは、利用者の資料に対する欲求が高く、手軽な貸借方法があると分かれば依頼をしたいという現状がみてとれる。では、何故わずか 2 年でネットワークがここまで発達したのであろうか。そこには、以下 3 つの理由があると推測される。

まず第 1 には、「資料検索ツールの確立」があげられる。ネットワーク開始当時から総合情報目録データベースを作成し、加盟館の横断検索を可能にしている。データベースは、各館の目録データを並列検索するものではないので、検索した結果の表示は 1 画面となり、大変見やすく、利用者自身が検索を厭わないような検索画面を作成していると言える。また、この検索は MILAI の HP から可能となっており、各参加大学ではリンクを張って利用者には供している。

第 2 に、「貸出を視野に入れた利用者サービスの提供」である。三重県ネットワークでは、ネットワーク上で借受した資料は特に指定がない限り、館外貸出をしており、それは大学図書館で唯一データを提供している、三重大学附属図書館の資料も例外ではない。これは、三重大学附属図書館が地域開放していることなどから、ネットワークを介しての住民へのサービスも、その延長としてとらえてのことではないかと考えられる。通常、大学図書館間での資料の貸借は、館内閲覧に限定されることがほとんどといってもよい。だが、館内閲覧のみで利用者の要求に応えることは難しくなっているのが現状である。しかしながらこのネットワークにおいては、利用者が館外貸出不可の資料を閲覧するために何度も来館する手間を解消している点、他館の資料を貸出すことや、紛失、破損に対する不安を乗り越えて館外貸出を行っている点で、利用者の便宜を一番に考えているといえよう。

第 3 に、「時間のかからない配送・物流体制の整備」である。三重県ネットワークでは貸借の依頼をシステム上で行い、相手館が 50 分で回答しなければ自動的に依頼が次館に回るという時間的制約を設けることで、配送の短時間化が実現されている。また、「回答が早い」という事実は「頼もう」という気持ちを起こさせる要因となりうると考える。

3 つの理由を考察していくと、あるひとつの事に気付かされる。それは、三重県図書館情報ネットワークの主旨である、『「全ての図書館を全ての利用者に」を目標に、県内の全図書館が一致団結してより良いサービスの提供を志向したものである』ということである。近年、図書館館同士のネットワークの必要性が叫ばれ、事実様々なネットワークが誕生してきている。しかしながら、それはあくまでも参加館それぞれの方針の中で形成されており、「相互協力」の範疇から抜け出たものとはいえない。だが三重県図書館情報ネットワークは、異館種であることや図書館の規模に関わらず、ネットワーク全体がひとつの図書館として機能していこうとする姿勢が伺え、そこには利用者に対する幅広いサービスの提供だけではなく、図書館の新しいあり方を築いているのではないだろうか。

(3)「千葉県図書館情報ネットワーク協議会」の活動

文化女子大学小平図書館 杉田美香／清泉女子大学附属図書館 有本みさ

千葉県図書館情報ネットワーク協議会は、加盟館の多様さと全国で初めて企業図書室が参加したことが大きな特徴であり、この特徴を生かし市民に対して講演会や加盟館の蔵書展を開催するなどしてネットワークの広報に積極的に努めている。「千葉県図書館情報ネットワーク協議会」の活動を調査するにあたり、大学図書館との関わりという観点から、大学図書館を中心に、またこのネットワークの特徴である企業図書館や公共図書館から一館を選びアンケートを依頼した。アンケートでは、ネットワークの存在意義や今後の要望、企業が参加することへの意見といった項目もあり、その結果を元に大学図書館の立場から考察を加えた。

1) 趣旨 (目的)

千葉市内の公共図書館、大学図書館、専門図書館、博物館、美術館等の図書室、試験研究機関の図書室、その他これらに類する機関の相互協力を通じて、その情報提供機能を強固にし、図書館サービスの向上を図るとともに、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的とする。

2) 開始年

平成6年 (1994年)

3) 開始までの経緯

- 平成4年7月 千葉市・大学関係機関連絡懇話会 (市長、各大学学長出席)
図書館間の連携を進めていきたいとの意見あり
- 12月 千葉市図書館・情報センター交流会 (教育長出席)
30施設が出席し、将来のネットワーク化に向けて組織づくりをする
ことで合意
- 平成5年3月 千葉市生涯学習推進基本構想
生涯学習関連施設のネットワークを構築するという方向性を示す
5年中に数回の実務的な会合を経て、会則案等を作成
- 平成6年1月 設立総会
7月 相互協力に使用するため加盟館の現状を調査
- 平成7年3月 調査票の集計結果と配布
- 平成8年3月 平成8年度事業
役員館改選及び会費の決定

4) 参加組織館

千葉市内の各種図書館 計 30 館 (平成 13 年度末現在)

内訳 大学 (8)、短大 (3)、国の関連機関 (3)、財団法人 (1)、
企業 (3)、公立施設 (12)

加盟館一覧

| | | |
|----------------|------|--|
| 大学図書館 (8 館) | 国立大学 | 千葉大学附属図書館 放送大学附属図書館 |
| | 私立大学 | 神田外語大学附属図書館 敬愛大学図書館 淑徳大学附属図書館 千葉経済大学総合図書館 東京歯科大学図書館 東京情報大学教育研究情報センター |
| 短期大学図書館 (3 館) | | 千葉県立衛生短期大学図書館 千葉明德短期大学図書館 植草学園短期大学図書館 |
| 国の関連機関 (3 館) | | 独立行政法人放射線医学総合研究所図書室 メディア教育開発センター情報資料室 日本貿易振興会・アジア経済研究所図書館 |
| 財団法人 (1 館) | | (財) 海外職業訓練協会 OVTA 図書館 |
| 企業 (3 館) | | 川崎製鉄 (株) 技術研究所図書情報室 シャープ (株) 技術情報センター 昭和電工 (株) 総合研究所図書室 |
| 公立施設 (12 館) | | 千葉県立中央図書館 千葉市議会図書室 千葉市教育センター図書資料室 千葉市中央図書館 千葉市美術館美術図書館 千葉市みやこ図書館 千葉市花見川図書館 千葉市稲毛図書館 千葉市若葉図書館 千葉市緑図書館 千葉市美浜図書館 千葉市生涯学習センター調査・資料室 |

5) ネットワーク加盟要件

趣旨に賛同して加盟する千葉市内の各種図書館。「千葉市図書館情報ネットワーク協議会加入申込書」を提出し、理事会の了承を得た後、加入承認書が交付される。

6) 協力内容

- ①各種図書館の相互協力
 - ・相互貸借実施要領に基づき貸借をしている。【資料 1】
- ②図書館資料収集の調整に資するための調査研究
- ③所蔵資料に関する情報及び書誌目録などの交換
- ④相互協力に関する調査研究
- ⑤相互協力に関する研修
- ⑥その他相互協力推進に必要な事業

7) 資料の検索

横断検索システムに関する構想があったが、県立図書館の横断検索システムが先行して実施された。

8) 統計実績：アンケート結果より

①ネットワーク加盟館に対する閲覧・貸出・複写の依頼・受付件数

ネットワーク加盟館ということを区別して統計をとっているところは少なく、下記のような結果となった。

(回答のあった3大学の合計)

| | | 1998年 | 1999年 | 2000年 |
|-----|-----|-------|-------|-------|
| 依 頼 | 閲 覧 | — | 13 | 22 |
| | 貸 出 | — | 49 | 12 |
| | 複 写 | — | 20 | 35 |
| 受 付 | 閲 覧 | — | — | 1 |
| | 貸 出 | — | 3 | 6 |
| | 複 写 | — | — | 1 |

②企業への依頼・受付件数

全ての館が不明・無回答

9) 広報等について

- ・「Net Work 通信」を加盟館相互の情報交換のために年4回発行している。

内容：予定表（各館の行事予定等、3ヶ月分を掲載）

トピックス（講演会、研修会の感想、図書館紹介、図書館見学記等）

協議会からのお知らせ

- ・平成9年10月 加盟する27の公立図書館、企業図書館、大学図書館など10館が、医学、経済、文学など多方面にわたるジャンルの貴重な収蔵本を持ち寄って、市美術館市民ギャラリーで展示会を開いた。【資料2】
- ・平成13年11月「千葉市学びを楽しむ日」の共催事業として、「ねじめ正一講演会」及び加盟館の「蔵書展」を開催し、多数の市民の参加を得た。【資料3】

10) ネットワークのメリット

とかく殻に閉じ籠りがちな側面を持つ大学には他の社会を知ることができて有意義であること、館種を越えた図書館の現状や動向、問題点が把握できることをメリットとして上げている。資料面では、専門分野以外の資料のカバーができること。地域開放をしていない大学にとっては、公共図書館に一般市民への開放に関してのフィルター役になってもらい、ネットワークを通しての地域への貢献が図れること。また人的ネットワークの形成により、調査依頼や相談がしやすいなどの声もある。

11) 問題点と目標について

問題点としては、企業図書室では資料が社外秘のものもあり、加盟館内で貸出条件が違うなど資料の運用上の問題や、館種ごとに研修のテーマに対する関心が違うため工夫が必要となっている。また、横断検索システムの構築や、巡回車を運行するといった物流の制度化を望む声が多く、今後の目標とされる。

12. 企業が参加していることの意義

企業図書室は社外秘など制約がある他、企業図書室からの依頼は、図書館としてではなく市民・在勤者という一般利用者としての扱いになっていて、参加することの意義に疑問も沸くが、加盟館からは専門性もあり IT 化も進んでいる企業図書室が参加していることに対して啓発されることも多く、企業側からの視点による多様な意見により窓口が広がる意味からも有意義であると思われる。企業側からは、地域へ情報を提供するという面では困難があるが、利用者としての立場から購入図書などのアドバイスができるなどといった意見が挙げられた。

13. まとめ

千葉市図書館情報ネットワークは、千葉市内の公共図書館、大学図書館、専門図書館といった多様な館種が参加しており、特に注目すべき点は全国で初めて企業図書室が参加したことである。

企業図書室は資料が社外秘の場合があることから、閲覧・貸出の制約があるが、ネットワークに対して企業の立場から意見や情報を提示することができ、貴重な存在となっている。現在のところ大学図書館側から企業への貸出依頼はないが、企業側からは社員が地域開放をしている大学に直接利用に訪れていることや、アンケートの「利用者が大学図書館の資料を必要と感じていますか」という質問に対して「大変感じる」「感じる」という回答があったことから、企業図書室では利用者（社員）が大学図書館の資料を必要としているという実感をもっており、今のところネットワークを通しての貸出依頼を行ってはいないが、今後地域開放をしていない大学の所蔵資料を利用者が欲した時にネットワークを利用した相互貸借依頼の効果が発揮されると思われる。

今回大学図書館へのアンケートを実施して感じたことは、このネットワークが完成されたものではなく、今後の発展に期待するところが大きいということである。

アンケートには、ネットワーク加盟館に対する閲覧・貸出・複写の実績を聞く項目があったが、ほとんどの大学図書館で個別に統計を取っている所はなかった。このことは日常業務中にネットワークの存在を特別に意識させる要因がないからだと思われる。すなわち、資料の貸出や複写を依頼しようとする場合、ネットワーク内で横断検索ができず送料もかかるのであれば、現在は Nacsis-Webcat や Nacsis-III という非常に便利なシステムがあるので、相手館がネットワークに加盟している、していないを意識せずに相互協力を依頼していると考えられる。ネットワークを活性化させるには、ネットワーク加盟館に依頼することで他とは違う特別な恩恵を授けられるようにするべきであろう。例えば、加盟館に依頼をすれば送料がかからない、借りた資料は館外貸出ができる、貸出期間が通常より長いなど加盟館以外から借りるより条件が良ければ、横断検索システムがなくても利用者個人が各図書館の OPAC を検索して、ネットワーク加盟館から資料を借りたいと依頼するようになるだろう。送料の問題は具体的には巡回車の配送が考えられるが、そこにかかる費用をどこが負担するかといった金銭的な問題が一番大きいと思われる。アンケートでも資料の物流問題を上げていた大学もあったので周知のことと思われるが、巡回車を走らせるなど物流体制が確立されると、ネットワークとしての機能も活発なものとなってくるので、ネットワーク活性化のためにも早期の予算確保が重要と考えられる。

利用者に対しての広報は「Net Work 通信」を館内に置いているだけという大学がほとんどであった。積極的に広報しないというのは、まだこのネットワーク自体が完成されたものになっていないために、図書館側としても宣伝にためらう気持ちがあるのではないかと多分に推測される。しかし、広報することで利用者にネットワークの存在を知らしめることに繋がり、広く意見を聞くことで今後のネットワークの方向性が定まるのではないだろうか。

ネットワークのメリットとして、様々な図書館が参加していることにより館種を越えた図書館の動向や問題点が把握できる、人的交流が深まったという意見が多く挙がっていた。とかく閉鎖的になりがちな大学図書館が外の意見を聞く機会はなかなかないので、この事は非常に大きな意味を持つといえよう。大学図書館は公共図書館から現在市民が関心を持っている事象を聞くことにより、公開講座を開講している大学では次の開講講座計画に盛り込む、関連分野の資料の所蔵があれば紹介して地域住民に利用してもらうなどよい大学のPRになるだろう。

また広報の一環として、千葉市美術館市民ギャラリーで「西洋の日本観—フロイスからシーボルトまでを中心に」というテーマで、西洋世界に紹介された中世以降の日本の姿を記した主に初版本を中心とした64点もの資料が市民に公開された。平成13年11月にも「ねじめ正一講演会」及び加盟館の「蔵書展」を開催して協議会の存在をアピールしたところである。「蔵書展」では加盟館の代表的な資料や、通常では公開されない貴重な資料を持ち寄り、搬入から場内管理、搬出まで加盟館により実施され、各図書館とも業務に忙しい中、ネットワーク加盟館がひとつとなり地域へ貢献を果たそうとする姿勢がうかがえる。

ネットワークで最も重要とされる特色のある図書館との協力体制という意味で、千葉市図書館情報ネットワーク協議会は館種の豊富さから今後その特色を生かした幅広い活動に期待してゆきたい。

【資料1】相互貸借実施要領

(目的)

この要領は「相互協力に関する協定」の3に基づき、図書館資料（以下「資料」という。）の相互貸借について必要な事項を定めることを目的とする。

(資料の範囲)

相互貸借を行う資料の範囲は、貸出館の利用規則等による。

(資料の複写)

資料の相互貸借が困難なときは、複写をもってこれに代えることができる。

(貸借資料の数)

同時に貸借できる資料の数は、10冊以内とする。ただし、貸出館が必要と認めたときは、その数を制限又は増加することができる。

(貸借期間)

資料の貸借期間は、貸出日から返却日までを30日以内とする。ただし、貸出館が必要と認めたときは、その期間を延長又は短縮することができる。

貸出館は、業務上必要と認めたときは、貸出期間中においても資料の返還を求めることができる。

(利用の制限)

貸出館は、必要がある場合には、貸出資料の利用について制限を加えることができる。前項の制限は、貸出館が貸出の申し込みを受けたとき、あらかじめ借受館に告げるものとする。

(貸出手続)

相互貸借の手続きは、次の①から③までの手順により、速やかに行うものとする。ただし、貸出館と借受館の協議により、これを変更することができる。

- ① 資料を借受ける図書館等は、図書館資料貸出申込書又は電話によって行う。
- ② 借受館は、借受け資料を受け取ったときは、図書館資料借用書を発送する。
- ③ 貸出館は、貸出資料の返納を受けたときは、図書館資料受領書を発送する。

(資料の受け渡し)

資料の受け渡しは、直接、宅配等適当な方法によって行う。ただし、貸出館が特に指示をした場合には、借受館はその指示に従わなければならない。なお、宅配等による場合は、「相互貸借」と朱書するものとする。

(経費)

資料の相互貸借に要する諸経費は、借受館の負担とする。

(借受館の責任)

借受け資料を亡失又は損傷した場合には、貸出館の規則に従うものとする。

【資料2】

展示会資料について

| 図書館名 | 展示資料 | 著者 | 形態 (単位センチ) |
|-------------------|------------------------|-----------|--------------|
| 放射線医学総合研究所図書室 | 「原子爆弾二依ル広島戦災医学的報告」 | | 27×21, 厚さ8 |
| 川崎製鉄(株)技術研究所図書情報室 | 「αk」 | | A4 |
| | 「千葉製鉄所建設写真集」 | | |
| 神田外語大学附属図書館 | 「英字訓蒙図解」 | | 23×32 |
| | 「英語熟語集」 | | 23×32 |
| 敬愛大学図書館 | ジュボンス「経済学理論」 | | 21 |
| | ワルラス「純粹経済学要論」 | | 22 |
| 淑徳大学附属図書館 | 「免罪符」1544 インゴルスタッド判 | | 30×22 |
| | ブース「暗黒のイギリスとその出口」初版 | | 40×30 |
| 千葉経済大学総合図書館 | 「The Scots Magazine」 | | 23×30, 厚さ5 |
| | 「The Canterbury Tales」 | | 45×70, 厚さ7 |
| 千葉県立中央図書館 | 伊藤左千夫書簡 | | 22×108 |
| | 西村泊翁先生書簡 | | 21×102 |
| 千葉市教育センター図書資料室 | 「千葉市教育史・史料編」1~4巻 | | 27×20, 厚さ4.4 |
| 千葉市美術館 | 「来禽図彙」 | | 19×25 |
| | 「光琳画譜」 | | 27 |
| 放送大学附属図書館 | 「神の国」ジャンソン判 | アウグスティヌス | 29×21 厚さ6 |
| | 「命題集」第三巻註解 初版 | トマス・アクィナス | 30×22, 厚さ11 |
| | 「教会書目」初版 | トリミアス | 30×22, 4 |
| | 「時衡書」 | | 18×12, 3 |
| | 「万華園」初版 | トリー | 26×18, 2 |
| | 「1579・80年イエズス会日本年報」初版 | | 14×11, 2 |
| | 「1582・3・4年日本年報 独訳」初版 | フロイス | 16×10, 3 |
| | 「1591・2年日本年報 ラテン語」初版 | フロイス | 17×11, 2 |
| | 「ザヴィエル伝」初版 | ルセナ | 29×21, 8 |
| | 「東方布教史」2巻 初版 | ゲスマン | 31×22, 5 |
| | 「1598年 日本書簡」 | バジョ | 16×10, 1 |
| | 「1599年 日本年報」 | ヴァリニョニ | 15×9, 2 |
| | 「1599年 日本年報 仏訳」初版 | ヴァリニョニ | 16×11, 1 |
| | 「日本・インド・ペルー書簡集」初版 | ハイ | 17×12, 6 |
| | 「日本殉教史 仏訳」初版 | トリゴ | 24×18, 5 |
| | 「マルチェリロ・マストリリ伝」初版 | フィナーモー | 20×16, 2 |
| | 「日本殉教精華」初版 | カルティム | 21×15, 4 |
| | 「イグティオス・デ・ロヨラ伝」 | ニルンベルク | 30×22, 7 |

| | | | |
|--|-------------------------|----------|----------|
| | 「日本王国誌」初版 | ヴァレリウス | 12×7, 4 |
| | 「遍歴記 英訳」初版 | ピント | 28×19, 3 |
| | 「新アジア地誌」初版 | フルエ | 40×27, 5 |
| | 「1649年 日本報告 蘭訳」初版 | ロード | 13×8, 2 |
| | 「日本誌 仏訳」初版 | モンタヌス | 35×23, 5 |
| | 「世界史」5巻 初版 | マレー | 23×16, 4 |
| | 「日本教会史 英訳」初版 | クラセ | 22×18, 5 |
| | 「シドゥッティ司祭航海録」初版 | アグスティン・デ | 31×21, 1 |
| | 「東インド誌」9巻 初版 | ファレンティン | 37×24, 4 |
| | 「日本誌 仏訳」初版 | ケンゾフェル | 37×25, 6 |
| | 「日本誌」2巻 初版 | シャルルヴアワ | 26×22, 6 |
| | 「アセンション伝」初版 | アルカラ | 21×15, 5 |
| | 「全集」2巻 | マフェイ | 26×20, 4 |
| | 「中国・日本史談」初版 | カスティロン | 18×12, 5 |
| | 「日用百科辞典」16巻 蘭訳第2版・補遺 | ショメル | 28×22, 6 |
| | 「日本の鑄貨」初版 | トゥンバリー | 21×13, 1 |
| | 「ヨーロッパ・アフリカ・アジア航海記」4巻初版 | トゥンバリー | 18×12, 3 |
| | 「太平洋航海記 仏訳」2巻 初版 | ベニョフスキー | 20×14, 3 |
| | 「ザヴィエル伝」 | マッセイ | 22×14, 3 |
| | 「日本航海記 仏訳」第2版 2巻 | トゥンバリー | 22×14, 5 |
| | 「世界周航記」4巻 初版 | ラング・ストルフ | 26×22, 3 |
| | 「東方見聞録 マースデン編」初版 | マルコボロ | 28×23, 8 |
| | 「日本」初版 | フルトン | 12×9, 2 |
| | 「日本」6巻 初版 | シーボルト | 40×3, 5 |
| | 「日本動物誌」5巻 初版 | シーボルト | 40×32, 6 |
| | 「日本遠征記」3巻 初版 | ヘリー | 31×27, 7 |
| | 「日本遠征記」初版 | ハイネ | 26×19, 5 |
| | 「日本・中国・インド紀行」初版 | ジャシロン | 24×17, 4 |
| | 「日本滞在見聞記」初版 | ボッパ・ファン | 24×17, 5 |
| | 「日本キリシタン史」2巻 初版 | パジェス | 23×15, 6 |

- ◆ 初版本を中心とした展示
- ◆ デジタル処理による映像展示
- ◆ 加盟館の活動内容・事業内容等の紹介

フロイスからシーボルトまでを中心

西洋の日本観

千葉市図書館情報ネットワーク協議会加盟機関所蔵資料展

放送大学附属図書館をはじめ協議会加盟館
所蔵する貴重なコレクションを



◆10月15日(水)・午前11時～
「かわりゆく図書館」
千葉経済大学総合図書館長
竹内 紀吉

特別講演会

10月15日(水) ⇒ 10月19日(日)
10時～18時(最終日は15時まで)
入場無料

● 千葉市美術館 市民ギャラリー(9階)
● 主催 千葉市図書館情報ネットワーク協議会
千葉市教育委員会

【加盟館】 千葉市美術館 放射線医学総合研究所図書館 シヤープ(株)技術本部技術情報センター 千葉県立中央図書館 東京情報大学教育研究情報センター
川崎製鉄(株)技術研究所図書館 神田外語大学附属図書館 茨城大学附属図書館 昭和通工(株)総合研究所技術情報センター図書室 千葉大学附属図書館
敬愛大学図書館 千葉県立衛生短期大学図書館 千葉市教育センター図書資料室 東京歯科大学図書館 日本IBM葛城ライブラリー
(財)海外職業訓練協会国際情報センター 千葉経済大学総合図書館 千葉市立こてし図書館 千葉市立高洲図書館 千葉市立東部図書館 千葉市立南部図書館
千葉市立北部図書館 千葉市立みやこ図書館 千葉市明徳短期大学図書館 メディア教育開発センター情報資料室 放送大学附属図書館 (順不同)

「蔵書展」概要

- 1 日 時：平成13年11月23日～25日
10:00～17:00
- 2 場 所：千葉市生涯学習センター3階
小会議室
- 3 展示資料



| 資 料 名 | 所 蔵 館 |
|---|-------------------------|
| ちりめん本「桃太郎」他 | 放送大学附属図書館 |
| 点訳絵本「ぐりとぐら」他 | 千葉県立中央図書館 |
| ・「英字訓蒙図解」・「洋学指梯」 | 神田外語大学図書館 |
| ・「原子爆弾による広島戦災医学的調査報告」 ・「原子爆弾災害調査報告書」 | 放射線医学総合研究所 |
| ・「図案新集」(鹿島英二)、「図案」(松岡寿)、「図案」(安田祿造) | 千葉大学附属図書館 |
| ・「通貨と金融の研究」初版 ・「純粹経済学要論」初版 ・「経済学原理」初版 ・「理論経済学の本質と主要内容」初版 | 敬愛大学図書館 |
| ・DIGITAL CONTROL UYGULAMALARI ・CURSO TECNICO DE INSTRUMENTACAO INDUSTRIAL ELETRONICA DIGITAL | (財)海外職業訓練協会 OVTA 図書館 |
| ・「カンタベリー物語」(複製) ・百万塔陀羅尼 (複製) | 千葉経済大学 総合図書館 |
| ・「The History of Java」初版 ・「朝鮮地図帳」 ・「伝記と歴史における事蹟の驚くべきこと」 ・文化大革命時代の小冊子 | ジェトロ・ アジア経済研究所図書館 |
| ・淑徳大学社会学部研究紀要 ・淑徳大学社会学部研究叢書 ・淑徳大学大学院研究紀要 | 淑徳大学附属図書館 |
| ・プレーメンの音楽隊 (原画) | 千葉市中央図書館 |

| | A | B | C |
|---|--|--|------------------------|
| 【1】ネットワーク加盟年月日 | 2000年3月 | 1994年6月 | 1994年6月 |
| 【2】加盟することになった経緯 | 事務局よりお誘いがあり、本館としても他館とのネットワークをはかりたいと思っていたため。 | 本学図書館利用者にとっても有益と判断した。 | お互い切磋琢磨しようということだと思う。 |
| 【3】千葉県図書館情報ネットワーク(以下ネットワーク)以外に、他の図書館とネットワークや協定を結んでいますか？結んでいれば、その名称と協力内容を簡単に教えてください。 | ①千葉県大学図書館協議会 ②私立短期大学図書館協議会 | 千葉県大学図書館協議会：県内に所在する加盟大学図書館の相互連絡・協力を図り、お互いの発展を図る。年1回の協議会で各種テーマについて協議。 | なし |
| 【4】ネットワーク加盟館に対する独自の館内規程マニュアルがありますか？ 1. ある 2. ない | 2. ない | 2. ない | 2. ない |
| 【5】学生や教員に対してネットワークのPRをしていますか？していれば、その方法を教えてください。 | 教職員に対して「Net Work 通信」の配布。 | 「Net Work 通信」の配布。 | 「Net Work 通信」の配布。 |
| 【6】加盟館への相互貸借・文献複写の依頼方法を教えてください。 | 大学への依頼：FAX、郵便 公共への依頼：FAX、郵便 企業への依頼：まだ行っていない。 | 大学・公共・企業への依頼：郵便、FAX | 大学・公共・企業への依頼：郵便、FAX |
| 【7】相互貸借時に要する諸経費は借受館の負担になっているようですが、学生・教員などの利用者が代金を負担するのでしょうか。 | 利用者負担 | 利用者負担 | 利用者負担 |
| 【8】ネットワーク加盟館から借りた資料は館外貸出していますか。 1. している 2. 一部している 3. していない(理由:) | 2. 一部している | 2. 一部している | 3. していない(紛失) |
| 【9】【8】で1、2を選択された方にお伺いします。貸出対象を教えてください。 | 教員：研究室での閲覧のみにとどめている。 学生：図書館での館内閲覧のみ。 | 教員(研究室利用。当日返却) | |
| 【10】ネットワークに参加してから担当者の仕事量に変化はありましたか。 1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない | 2. 変わらない | 2. 変わらない | 多少増えたが、特に業務に支障は認められない。 |

| | A | B | C |
|---|---|-------------------------------------|--|
| 【11】このネットワークは企業が参加していることが、他のネットワークと大きく異なると思われますが、企業が参加していることに対する意見、または企業に対する要望をお聞かせ下さい。 | 専門性のある企業図書館が参加していることに対しては、自館での資料収集の限界をカバーできると思われる。企業として制約などあると思うが、相互に足りないところを補ってあげればよいと思う。 | 初めは企業による利用もあるかと思ったが、現実的にはこれまで利用はない。 | 多様な意見があり、窓口が広がる意味からも有意義である。 |
| 【12】貴館の地域開放についてお伺いします。 1. 地域開放している 2. していないが、今後開放する予定 3. するつもりはない(理由:) 4. したいができない(理由:) | 2. 今後開放する予定ではあるが、現状ではかなり難しい。 | 4. したいができない(設備面、制度面) | 1. 地域開放している |
| 【13】【12】で1, 2を選択された方にお伺いします。開放している対象者とサービス内容を教えてください。 | 対象者: 卒業生、地域住民(他大学生含) サービス内容: 館内閲覧、文献複写 | | 対象者: 一般市民 サービス内容: 閲覧、複写 |
| 【14】ネットワーク加盟館の利用者が直接利用を申し込んで来た場合の対処方法を教えてください。 | 改めて文書で各々利用申込みを申請する。その際身分を証明するものを提示。 | | 身分を証明するものを提示。 |
| 【15】ネットワーク加盟館で行われている、研修会についてのご意見・ご要望をお聞かせください。 | より実務的な内容も含めた研修会を希望する。 | 有益だと考える。 | 時期を得た研修が多い。 |
| 【16】ネットワークに参加している上で何か問題はありますか。 | 特になし | 特になし | 特になし |
| 【17】ネットワークに参加するメリットを教えてください。また、デメリットがあればご記入ください。 | メリット: 情報交換が行える。館種を越えた図書館の現状や動向・問題点が把握できる。 デメリット: 特になし | メリット: 加盟館図書館員との人的ネットワークの形成。 | メリット: とかく殻に閉じ籠りがちな側面をもつ大学には他の社会を知ることは有意義である。 |
| 【18】ネットワークについてこれからの課題やこうしていきたいという目標のようなものはありますか。 | 当館では学内外のネットワーク化についていまだ未整備な点も多く、「ネット協」だけでなく、今後どのようにして学術情報ネットワーク及び学内 LAN の整備など、情報通信基盤の整備を進めていくかが大きな課題であると言える。 | | 加盟館(全部とは言わないまでも)全体が広い意味で1つの図書館を形成するぐらいの意識をもつ必要があるかもしれない。加盟大学所属の学生達ももっとお互いに利用し易い環境を作る必要に迫られるかもしれない。 |

| | D | E | F |
|--|--|--|---|
| 【1】ネットワーク加盟年月日 | 1994年4月 | 1994年1月 | 1994年4月 |
| 【2】加盟することになった経緯 | 社会教育の充実を計るため。千葉県には大学図書館のネットは早く立ち上がっていたが、千葉市内の公共・大学・企業等の図書館ネットの必要性があった。 | 千葉県教育委員会社会教育課からの呼びかけに応じたもの。趣旨は市立中央図書館を核として市内の公共図書館、企業図書館間の情報の連携をめざして図書館サービスの向上を図る。 | 身近な図書館とコミュニケーションを取りたかったから。広範囲で情報がほしいため。 |
| 【3】千葉市図書館情報ネットワーク(以下ネットワーク)以外に、他の図書館とネットワークや協定を結んでいますか?結んでいれば、その名称と協力内容を簡単に教えて下さい。 | | 千葉県大学図書館協議会:県内の大学、短大の加盟図書館が相互に連絡し、協力することによって互いの発展を図ることを目的とする。 | |
| 【4】ネットワーク加盟館に対する独自の館内規程マニュアルがありますか? 1. ある 2. ない | 2. ない | 2. ない | 2. ない |
| 【5】学生や教員に対してネットワークのPRをしていますか?していれば、その方法を教えて下さい。 | 特になし。「Net Work 通信」の配布。 | 特にない | |
| 【6】加盟館への相互貸借・文献複製の依頼方法を教えて下さい。 | 大学への依頼:郵便、FAX 公共・企業への依頼:なし | 各館の規程に従う。 | 大学・公共・企業への依頼:電話、郵便、FAX、Mail いずれも可 |
| 【7】相互貸借時に要する諸経費は借受館の負担になっているようですが、学生・教員などの利用者が代金を負担するのでしょうか。 | 利用者負担 | 自己負担なし、図書館で費用をもつ。 | 利用者負担 |
| 【8】ネットワーク加盟館から借りた資料は館外貸出していますか。 1. している 2. 一部している 3. していない(理由:) | 3. していない | 3. していない(紛失を防ぐため、館内閲覧のみを許可) | 3. していない |
| 【9】【8】で1、2を選択された方にお伺いします。貸出対象を教えてください。 | | | |
| 【10】ネットワークに参加してから担当者の仕事量に変化はありましたか。 1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない | 2. 変わらない | 2. 変わらない | 2. 変わらない |

| | D | E | F |
|---|-------------------------------|---|--|
| 【11】このネットワークは企業が参加していることが、他のネットワークと大きく異なると思われませんが、企業が参加していることに対する意見、または企業に対する要望をお聞かせ下さい。 | ネットワークに加盟館という基準はなく相互利用を行っている。 | 過去に企業からの依頼は無い。現物貸借には応じられるが、複写については応じられない。 | |
| 【12】貴館の地域開放についてお伺いします。 1. 地域開放している 2. していないが、今後開放する予定 3. するつもりはない(理由:) 4. したいができない(理由:) | 1. 地域開放している | 1. 地域開放している | 1. 地域開放している |
| 【13】【12】で1, 2を選択された方にお伺いします。開放している対象者とサービス内容を教えて下さい。 | 地域住民に一般学生と変わらないサービス。 | 対象者：高校生以上の者 サービス内容：閲覧、館内コピー | 対象者：近隣の地域の子どもたち（親同伴） サービス内容：絵本コーナーの開放 |
| 【14】ネットワーク加盟館の利用者が直接利用を申し込んで来た場合の対処方法を教えてください。 | 一般学生と同じ対応。 | 地域開放の利用者と同じ扱いで対応する。 | 直接利用は致しません。加盟館を通じた利用。 |
| 【15】ネットワーク加盟館で行われている、研修会についてのご意見・ご要望をお聞かせください。 | | 参加館相互の理解が深まり啓発される。 | |
| 【16】ネットワークに参加している上で何か問題はありますか。 | 特になし | 特になし | |
| 【17】ネットワークに参加するメリットを教えてください。また、デメリットがあればご記入ください。 | 特になし | 特になし | メリット：情報交換ができる。 |
| 【18】ネットワークについてこれからの課題やこうしていきたいという目標のようなものはありますか。 | PR不足のためか、学生に充分理解されていないと思う。 | 大学図書館が生涯学習の役割を担えるなら、可能な限り地域との連携を図りたい。 | |

| | G | H | I |
|--|----------------------------|--|------------------------------------|
| 【1】ネットワーク加盟年月日 | 1994年1月 | 1994年1月 | 1994年 |
| 【2】加盟することになった経緯 | | 図書館の連携を進めて行くため。 | 不明 |
| 【3】千葉県図書館情報ネットワーク(以下ネットワーク)以外に、他の図書館とネットワークや協定を結んでいますか?結んでいれば、その名称と協力内容を簡単に教えて下さい。 | NACSIS-CAT | 1. 看護図書館協議会: 研修会の開催、重複雑誌の交換、看護雑誌総合目録の発行 2. 公立短期大学図書館協議会: 全国及び地区協議会の開催研修会の開催 | 結んでいない。 |
| 【4】ネットワーク加盟館に対する独自の館内規程マニュアルがありますか? 1. ある 2. ない | 2. ない | 2. ない | 2. ない |
| 【5】学生や教員に対してネットワークのPRをしていますか?しているれば、その方法を教えて下さい。 | 機関誌「Net Work 通信」による情報提供。 | していない | していない |
| 【6】加盟館への相互貸借・文献複写の依頼方法を教えて下さい。 | 先方の受け付け方法に対応して行う。 | 大学・公共・企業への依頼: FAX、 | 加盟館以外と同じ方法で行っている。NACSIS-ILL、電話、FAX |
| 【7】相互貸借時に要する諸経費は借受館の負担になっているようですが、学生・教員などの利用者が代金を負担するのでしょうか。 | 利用者負担 | 利用者負担 | 利用者負担 |
| 【8】ネットワーク加盟館から借りた資料は館外貸出していますか。 1. している 2. 一部している 3. していない(理由:) | 2. 一部している: 特に貸出禁止の指示のない場合。 | 2. 一部している | 2. 一部している |
| 【9】【8】で1、2を選択された方にお伺いします。貸出対象を教えてください。 | 利用者一般 | 貸出を許可された資料のみ。 | 貸出対象: 教員 |
| 【10】ネットワークに参加してから担当者の仕事量に変化はありましたか。 1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない | 2. 現在のところ変わらない。 | 4. わからない | 4. わからない |
| 【11】このネットワークは企業が参加していることが、他のネットワークと大きく異なると思われませんが、企業が参加していることに対する意見、または企業に対する要望をお聞かせ下さい。 | | お互いのおかれた状況がわかること。 | 特になし |

| | G | H | I |
|--|----------------------|--|---------------------------------------|
| <p>【12】貴館の地域開放についてお伺いします。</p> <p>1. 地域開放している</p> <p>2. していないが、今後開放する予定</p> <p>3. するつもりはない(理由:)</p> <p>4. したいができない(理由:)</p> | 1. 地域開放していない | 4. したいができない:まだ制度的・予算的に位置づけられていない。 | 1. 地域開放している |
| <p>【13】【12】で1, 2を選択された方にお伺いします。開放している対象者とサービス内容を教えて下さい。</p> | | | 対象者: 一般市民 サービス内容: 館内閲覧、レファレンス、文献複写 |
| <p>【14】ネットワーク加盟館の利用者が直接利用を申し込んで来た場合の対処方法を教えてください。</p> | 所属館を通して利用依頼をお願いしている。 | 身分証提示のうえ閲覧願いに記入。 | 加盟館以外の学外利用者と変わらない。 |
| <p>【15】ネットワーク加盟館で行われている、研修会についてのご意見・ご要望をお聞かせください。</p> | | | 特になし |
| <p>【16】ネットワークに参加している上で何か問題はありますか。</p> | | 特になし | なし |
| <p>【17】ネットワークに参加するメリットを教えてください。また、デメリットがあればご記入ください。</p> | | メリット: 相互貸借ができること (特に現物の)。 デメリット: 特になし | 特になし |
| <p>【18】ネットワークについてこれからの課題やこうしていきたいという目標のようなものはありますか。</p> | | 現物の相互貸借など、物流の制度化。 | 物流に関するコンソーシアム。 |

| | J | K |
|---|---|--|
| 【1】ネットワーク加盟年月日 | 1994年1月 | 1994年1月 |
| 【2】加盟することになった経緯 | 千葉市教育委員会から「千葉市図書館情報センター交流会」への参加の呼びかけがあり参加し、それが94年にネットワークに発展した。 | 設立以前の段階から勧誘されており、設立と同時に加盟しています。千葉市中央図書館立ち上げのデスクプランに期待を込めたものです。 |
| 【3】千葉市図書館情報ネットワーク(以下ネットワーク)以外に、他の図書館とネットワークや協定を結んでいますか? 結んでいれば、その名称と協力内容を簡単に教えて下さい。 | ①千葉県大学図書館協議会:連絡、協力。 ②国立大学図書館協議会:国立大学間相互利用 ③学習センター設置地区の国立大学附属図書館等との連携協力:直接利用など | |
| 【4】ネットワーク加盟館に対する独自の館内規程マニュアルがありますか? 1. ある 2. ない | 2. ない | 2. ない |
| 【5】学生や教員に対してネットワークのPRをしていますか? していれば、その方法を教えてください。 | 特になし | 特になし |
| 【6】加盟館への相互貸借・文献複写の依頼方法を教えてください。 | 大学への依頼:NACSIS-ILL 公共・企業への依頼:電話、郵便、FAX | 大学・公共・企業への依頼:郵便、FAX、電話は不可 |
| 【7】相互貸借時に要する諸経費は借受館の負担になっているようですが、学生・教員などの利用者が代金を負担するのでしょうか。 | 教員は基本的に公費負担 学生は送料を負担 | 利用者負担 |
| 【8】ネットワーク加盟館から借りた資料は館外貸出していますか。 1. している 2. 一部している 3. していない(理由:) | 3. していない 館内利用が原則 | 3. していない(相手館に対して責任があると思う。) |
| 【9】【8】で1、2を選択された方にお伺いします。貸出対象を教えてください。 | | |
| 【10】ネットワークに参加してから担当者の仕事量に変化はありましたか。 1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない | 2. 変わらない | 2. 変わらない |

| | J | K |
|---|--|---|
| 【11】このネットワークは企業が参加していることが、他のネットワークと大きく異なると思われるが、企業が参加していることに対する意見、または企業に対する要望をお聞かせ下さい。 | 企業図書室の情報が入ってくるメリットがある。 | 当館の側からすれば利用者の要望に対応できるのは医療分野だけです。他分野の専門的な事柄は企業の専門図書館を頼りたいと思います。企業図書館はIT化が進んでいるようですし、公共図書館の方々とは勿論、彼等と交流することで、日常業務に於いて啓発されることも多くあります。 |
| 【12】貴館の地域開放についてお伺いします。 1. 地域開放している 2. していないが、今後開放する予定 3. するつもりはない(理由:) 4. したいができない(理由:) | 1. 地域開放している | 4. したいができない 医療系図書館ですので、カルテの公開とか告知の問題など社会全体通念に歩調を合わせて進めていきたいと思っております。 |
| 【13】【12】で1, 2を選択された方にお伺いします。開放している対象者とサービス内容を教えてください。 | 対象者：18才以上の者 サービス内容：閲覧、館内コピー | |
| 【14】ネットワーク加盟館の利用者が直接利用を申し込んで来た場合の対処方法を教えてください。 | 身分を証明するものを提示させる。レファレンスは基本的に所属機関の図書館が行なうものですが、簡単なものなら電話でも対応しています。 | 謝絶申し上げております。他大学学生ならば、その大学図書館が発行する紹介状、地域住民ならば公共図書館が発行する紹介状を持参された場合のみ利用可（貸出不可） |
| 【15】ネットワーク加盟館で行われている、研修会についてのご意見・ご要望をお聞かせください。 | 年に3回ほど行われる研究会に参加している。 | 系統だっておりませんが、毎回含蓄のある講演がきけております。今はこれで充分結構だと思っています。 |
| 【16】ネットワークに参加している上で何か問題がありますか。 | 特になし | これからの協議会です。問題があるとしても、それが表面化するのもこれからです。(多少、アンケートを頂戴するのが、時期尚早でした。) |
| 【17】ネットワークに参加するメリットを教えてください。また、デメリットがあればご記入ください。 | メリット：調査依頼や相談がしやすい。 デメリット：特になし | メリット：予算の都合もあり、医療系以外はカバーできません。一般書や他分野の専門書が必要なケースもあります。 医療系図書館ですので、当館としては公共図書館に一般市民への開放に関してフィルター役になってもらえると考えています。 デメリット：なし |
| 【18】ネットワークについてこれからの課題やこうしていきたいという目標のようなものはありますか。 | 加盟館からのWebOPAC導入がすずみ、横断検索の参加館が増えることを期待している。 | 相貸こそ眼目と思いますが、この協議会では文献のコピーではなく、現物(図書そのもの)が対象となります。よって物流の問題こそクリアする必要があります。つまり、加盟館を車で巡回する方法を検討したいところです。幸い中央図書館が設立されましたので、愈々か…と期待しております。 |

| | L | M | N |
|--|--|---|--|
| 【1】ネットワーク加盟年月日 | 1994年9月 | 1994年1月12日 | 1994年1月12日 |
| 【2】加盟することになった経緯 | 千葉に移転直後新聞で千葉市ネット協の設立(準備?)を知り、地域との連携の重要性を考えて入会。 | 当ネットワークの設立準備会より案内を受け、近隣他館との交流の必要性から加盟しました。 | 「千葉市生涯学習基本構想(H5.3.)」で生涯学習関連施設のネットワークを構築するという方向性が示され、千葉市や市内、大学図書館などが準備を進めたものであり、千葉市としては設立準備会から参加している。 |
| 【3】千葉市図書館情報ネットワーク(以下ネットワーク)以外に、他の図書館とネットワークや協定を結んでいますか?結んでいれば、その名称と協力内容を簡単に教えてください。 | 神奈川県資料室研究会に加入(1993年まで弊研究所が大田区にあった為、又工場が神奈川県にいくつかあるご縁で加入)。 | ありません | 千葉県公共図書館協会 |
| 【4】利用者は大学図書館の資料を必要としていると感じますか 1. 大変感じる 2. 感じる 3. あまり感じない 4. 感じない | 2.感じる 自館で cover できない分野の資料が地域の公共機関(公共図書館、大学図書館)で利用できるが良い。 | 1.大変感じる | 2.感じる |
| 【5】利用者に対してネットワークのPRをしていますか?していれば、その方法を教えてください。 | 利用者が業務上直接千葉市ネットワーク協議会を利用して情報を得られるわけではない。どちらかというと、地域の公共図書館の存在をPRしている程度。 | ネットワークの広報誌を館内に置き、誰でも持っていけるようにしています。 | ネットワーク協議会主催の公開講演会、蔵書展などの開催。 HPでの相互リンク |
| 【6】このネットワークは企業が参加していることが、他のネットワークと大きく異なると思われませんが、企業が参加していることに対するご意見、または企業が参加することの意義をお聞かせ下さい。 | 参加企業図書館としては、館種を越えた相互協力の点に参加の意義がある。地域へ情報を提供するという面では困難がある。 | 他館への貸出については、限定的なものとならざるを得ないが、利用者としての立場から購入図書などのアドバイスができる。 | 企業図書館の視点を加えた運営ができる。 |
| 【7】ネットワーク加盟館で行われている、研修会についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。 | 情報収集という面から、なるべく参加を心掛けている。 | 公共図書館に主眼が置かれているため、関心の低いテーマが多い。 | |
| 以下の質問は企業図書室の方のみお答え下さい。 【8】相互貸借時に要する諸経費は借受館の負担となっているようですが、利用者が代金を負担するのでしょうか。 | 相互貸借は事実上不可能です。(利用者は原則として従業員が対象) | 加盟館を紹介し、利用者本人が借りに行くようにしているので、これまで送料などの問題は発生していません。 | |
| 【9】ネットワーク加盟館から借りた公共図書館の資料は館外貸出ししていますか。 1. している 2. 一部している 3. していない | 企業として借用したことがありません。 | 3.していない(利用者本人が借りに行くようにしており、他館から借りることはしていません。) | |

| | L | M | N |
|---|------|---|---|
| 【10】ネットワーク内の図書館より相互貸借の依頼があった時の対応をお答えください。 1. 貸出をする 2. 謝絶 3. その他 | 2.謝絶 | 1.貸出をする。但し社内資料など一部のものを除きます。 | |
| 【11】企業図書館は企業秘密などから非公開にならざるを得ないと思いますが、企業は公開する代わりに、ネットワークに対してどのような貢献ができていますか。 | | 加盟館の情報を社員に提供することにより、加盟館に対する認知度が高まり、利用度が高まる効果があると思います。 | |

アンケート実施館からの依頼により、名称は伏せました。

5. これからのネットワークと課題

三重県立図書館情報ネットワーク、千葉市図書館情報ネットワーク、群馬県立図書館を中心とした協力車の事例とアンケートの回答及び、その他ネットワークに関する文献などにより調査した結果、私立大学図書館の見地から今後の図書館ネットワークにおける課題を下記のように提言したい。

① 利用者の金銭的負担がなく、時間のかからない配送・物流体制の整備

現在では、利用者が送料を負担すれば、資料を他機関から取り寄せることは一般的になりつつある。しかし、簡単に資料の検索ができ、資料の所在がわかったとしても、取り寄せるのにお金がかかるのであれば諦めてしまう利用者は多い。場合によっては購入した方がよい場合さえある。しかし、ネットワークにおいて利用者が求める資料を迅速にかつ無料で取り寄せることができるとすれば、内在的な利用者の要求も引き出すことができ、確実にその需要は上がるといえる。そして、資料の構成・収書方針の異なる館同志のネットワークであれば、利用できる資料の可能性は広がる。また、通常の間図書館間の相互協力業務（貸借）において行われている梱包作業も、ネットワークでの貸借であれば、省略できる利点もある。

ここで巡回車等の物流手段を運用する費用が大きな問題となるが、参加館でのコンセンサスがとればそれほど難しくはないであろう。また、公共図書館間で地域ごとに巡回車が運搬されているケースや、数箇所キャンパスを持つ大学においてもキャンパス間を巡回する運搬車がある大学も多く、その延長のように考えればそれほど非現実的とはいえない。

三重県図書館情報ネットワークでは貸借の依頼をシステム上で行い、相手館が50分で回答しなければ自動的に依頼が次館に回るといった時間的制約を設けることで、配送の短時間化が実現されている。また、「回答が早い」という事実は「頼もう」という気持ちを起こさせる要因となりうると考えられる。物流手段としては、以前は県内の公共図書館・図書室89館を、月2回から4回の頻度で巡回車が回っていたが、費用がかさむ点や迅速さに欠け

る点から、現在は宅配便に切り替えられた。ネットワークの中での物流体制の占める比重は決して小さいものではない。今まで利用者に内在していたニーズも引き出すことができるような物流体制の構築は急務といえる。

群馬県のネットワークでも、県立図書館に協力車を置き、資料の配送・配布を無料で行っている。協力車は県費により運行し、群馬県図書館協会加盟館であれば、定期的に巡回されるシステムになっている。巡回は地域毎のコースがあり、9館ある大学図書館への巡回は月に2回となっている。確かに、協力車を使えば利用者への金銭的負担はなくなるが、現在の巡回回数では、急ぎのものにはほとんど対応できないという問題点もある。

② 貸出を視野に入れた利用者サービス

三重県図書館情報ネットワークでは、ネットワーク上で借り受けた資料は、特に指定がない限り館外貸出をしており、それは、大学図書館で唯一データを提供している三重大学附属図書館の資料も例外ではない。これは、三重大学附属図書館が地域開放していることなどから、ネットワークを介しての住民へのサービスも、その延長としてとらえてのことではないかと考えられる。利用者が、館外貸出不可の資料を閲覧するために何度も来館する手間を解消している点、他館の資料を貸出すことや、紛失に対する不安を乗り越えて館外貸出を行っている点で、利用者の便宜を一番に考えていることから、統計実績が残るのではないだろうか。

群馬県のネットワークでは、群馬県図書館協会加盟館から借りた資料は、特に指定がない限り館外貸出をしているが、破損や紛失を防ぐために貸出をしていない館もあり、各館によって対応が異なっているようである。同様に千葉市図書館情報ネットワークでも館外貸出をしていない。貸出をしていても教員のみ、公共図書館の資料のみと制約が多く、全ての利用者・資料に公平とは言い難い。ある程度の紛失・破損は覚悟の上での貸出や、貸出期日を他館より長く設定するなどの柔軟性が欲しい。もちろん大学図書館では、まず学内の利用者への資料提供が優先となるべきなので、貸出のできない資料や、試験期の依頼を受け付けない、予約が入った場合には速やかに返却してもらうなどといった制約を設け、学内の利用者に支障が出るような事態は避けなくてはならないが、ネットワークに加盟することにより、利用者が際立ったサービスの恩恵を受けられることが望ましいのではないだろうか。そしてネットワーク加盟館以外から借りた場合と違う何かを得られなければ、利用対象としてネットワーク加盟館を選択することすらしなくなるのではないだろうか。

③ 資料検索ツールの確立

近年のインターネット技術の進歩と広がり、更に各図書館の努力により、様々な方法で資料を検索することが可能になってきている。大学図書館では、国立情報学研究所を中心とした検索システムにより所蔵館を確認することができる。公共図書館においても、ISBNを検索キーとして所蔵館を確認ことができ、地域内での横断検索システムが確立しているところがある。

しかし、ネットワーク間において蔵書の横断検索システムや総合目録を確立している地域は少ない。三重県図書館情報ネットワークでは、開始当時から総合情報目録データベースを作成し、加盟館の横断検索を可能にしている。データベースは、各館の目録データを

並列検索するものではないので、検索した結果の表示は1画面となり、大変見やすく、利用者自身が検索を厭わないような検索画面を作成していると言える。また、この検索はMILAIのHPからも可能となっており、各参加大学ではリンクを張って利用者に供している。群馬県のネットワークでは、現在はCD-ROMによるISBN総合目録があり、公共図書館の他に、群馬大学・高崎経済大学・育英短期大学も参加している。その他にG-LINE（群馬県立図書館情報提供システムオンラインネットワーク）により、群馬県立図書館の資料を検索できるシステムが整備されている。また、群馬県図書館協会の中に、「群馬県総合目録研究会」があり、大学図書館も参加して、県内総合目録の整備・ISBN総合目録の運用について協議・研究されている。資料検索の手段もいろいろと考えられるが、各図書館でWebOPACが公開されつつある中で、技術的にも利用者サービス面からみても、ステップアップのひとつとして今後取り組んでいくべき課題といえる。

④ 広報の充実

ネットワークに加盟していることを積極的に広報している図書館はほとんどなかった。HPを開設している大学でもそのことについて触れているところは少なく、参加するだけで善しとしている大学が多いのが現状ではないだろうか。積極的に広報をしないというのは、特にネットワークでアピールすることがないからだろうか。ネットワーク加盟の意義として、地域貢献や利用者へのサービス向上を挙げるなら、広報活動に力を入れ広く利用者に知ってもらい、ネットワークの活性化を促すことが大変重要である。広報の方法としてはパンフレットの作成や広報誌で特集を組んだりする方法もある。

三重県図書館情報ネットワークではMILAIのHPも開設されており、その内容が一般利用者もみてとれるようになってきている点が図書館活動を鮮明にしている。大学側でも、リンクを張るだけでなく、オリエンテーションや利用案内などでPRしていけば、さらに利用が増えるのではないかと思われる。また変わったところでは、千葉市図書館情報ネットワークが行なった、各図書館の蔵書を持ち寄っての展示会も目を引くものと思われる。平成9年10月第一回展示会では、「西洋の日本観—フロイスからシーボルトまでを中心に」というテーマで加盟館所蔵の初版本を中心に4日間の展示会を開催し、初日には特別講演会を開いている。平成13年11月第2回目の展示会では統一されたテーマはないが、「蔵書展」という名称で加盟館の個性ある資料を3日間展示、「公開講演会」と共に多数の市民の参加があった。

⑤ 職員の合同研修の必要性

異館種の図書館が加盟するネットワークでは、お互いの立場や状況を理解することが最も重要であり、そのために職員の合同研修の場を設け、各館の現状報告を密に行うことが必要である。千葉市のネットワークでは、館種により研修テーマに対する関心が違うため工夫が必要とされるが、研修会を行うことにより、蔵書の特色、現在抱える問題点、利用者の読書傾向といった事柄の生の声を聞けると共に、人的ネットワークが形成され所蔵調査やレファレンス質問などを依頼しやすくなるというメリットが挙げられている。現在、大学図書館では人事異動が盛んに行われ図書館員も変動が激しく、レファレンスの経験年数の短い者が多くなってきているので、コミュニケーションを頻繁に行い、互いの不得意な

分野などの情報を交換してゆくことは欠かすことができない。

⑥ 資料の保存・分担収集

このことについては、ほとんどの図書館で抱えている問題といえる。予算の問題から自館だけですべての資料を収集することは不可能であるし、保存スペース確保の問題について直面している図書館も多い。しかし、資料傾向の似ている大学図書館同士の保存・分担収集についての可能性が叫ばれている昨今でありながら、実際にそのような取り組みをしているという事実を聞かないのは何故だろうか。それはやはり、資料の保存・分担収集をすることで、自館への利用者サービスが低下するという恐れが強いからではないだろうか。

今まで自館に所蔵があり、すぐに利用できていた資料が、取り寄せて利用しなければならぬという手間が発生すると、利用者の資料に対する欲求は変わらずに保てるであろうか。密なネットワークでつながり、大きなひとつの図書館として機能していく姿勢が確立された時に初めてなしえる、大きな課題といえる。

⑦ 加盟館の選択

参加館数が多いと、それだけネットワーク内で所蔵する資料数および利用対象冊数も増す反面、どうしても動きが鈍くなる面もある。故に、最も需要があると思われる館を絞り、お互いの恩恵を受けられるような密なネットを組むということが重要ではないか。相手館を絞る事により、物流の迅速さ頻繁さを上げることができ、相互の交流・情報交換も容易にとれるようになる。そしてその実績を踏まえて館数を増やしていくのがよいのではないか。

慶應大学藤沢湘南キャンパスにある図書館と藤沢市立図書館がネットワークを組み資料貸借を行っているが、年間の物流件数が1995年の時点で100件を超えている。その実状をみても、少数館に絞ったネットワークが上手く機能していることがわかる。またそこには、慶応側が藤沢市側の倍以上の申し込みをしているという事実もあり、大学図書館が公共図書館とのネットワークを必要としている一面もうかがうことができる。

3つのネットワークの中で、珍しい参加館をえているのは千葉市図書館情報ネットワークである。ここには、公共図書館、大学図書館、専門図書館以外に、全国で初めて企業図書館が参加している。従来利用そのものができるか不明であった企業図書館を、利用者身近にしたといえるのではないだろうか。

三重県図書館情報ネットワークでは、特に参加館の制限は設けておらず、公共、学校、大学（短大を含む）、高専、といった様々な館種が参加しているのが特徴である。今後、三重県にある図書館（異館種に関わらず）全てが、ネットワークでつながることを目的としている。群馬県図書館協会も三重県と同様に、参加館の制限を設けていない。今後の課題としては、新設の大学・短大の協会加盟と相互貸借などの協力関係を築くことが挙げられている。

⑧ 図書館の個性ある蔵書構成

⑦でもあげたように、千葉市図書館情報ネットワーク、三重県図書館情報ネットワーク双方とも様々な館種が参加しており、個性ある蔵書構成が実現している。千葉市図書館情

報ネットワークでは、企業図書館の資料が社外秘のものもあり、利用できない場合がある点が残念ではあるが、大学図書館は文学系、経済系、語学系、歯学系と多岐にわたっている。また、三重県図書館情報ネットワークでは、県内随一の蔵書数を誇る三重大学附属図書館が資料の貸出を行っており、人文学、教育学、医学、工学生物資源学といった専門的資料を、遠隔地にいても利用できるというのは住民にとっての大きなメリットといえよう。

⑨ ネットワークの評価

ネットワークの評価を内々に行っているのかどうかは、不明である。しかしながら、よりよいネットワークに発展させていくために、内からの実質的な評価、外からの客観的評価を得ることも、必要なことといえるのではないだろうか。また、ネットワークを長く続けることによるマンネリ化、担当者等の交代による目的意識の低下を防ぐことができる。

⑩ ネットワーク参加館すべてが同じ目的・問題意識を持つこと

何の目的もなくただ参加しているだけでは、何ら進展もない。より有意義で活発なネットワークにするには、参加館すべてが同じような目的・問題意識を持つことが不可欠といえる。このことは最も重要ともいえるのだが、参加館数が多くなるほど、共通の意識をもつことは難しくなる。⑤職員の合同研修の必要性で述べたこととも重なるが、研修会や広報誌の配布などによって、お互いの情報交換も容易にできるような状態にしておくことが大切だ。三重県図書館情報ネットワークでも、ネットワーク参加館での共通理解を持つことが今後の課題として挙がっている。

6. 最後に・・・

以上が本分科会の中でまとめた意見であるが、当分科会の参加館は館種を超えた図書館ネットワークに加盟していない館ばかりで、机上でのみの話となり、ほとんど実情が把握できていないかもしれない。しかし、それぞれが所属する図書館の新たな可能性を求めて、異館種の図書館のネットワークが必要となってきたのは事実である。それは、私達が当初考えた資料費の削減、蔵書スペースの不足といった負の問題面からではなく、日々多様に変化していく社会の流れであり、人々の欲求に基づいた部分にその多くがあるのではないだろうか。ネットワークが「相互協力」の範囲から飛び出して、ひとつの図書館として利用者にサービスする姿勢を持った時に、私達図書館員の在り方もまた広がっていくのだと思われる。

～ 最後になりましたが、アンケート調査にご協力をいただいた図書館の方々に

この場を借りてお礼申し上げます。～

引用文献

- 1) 「地域図書館ネットワークと大学図書館」 柴田正美 「大学図書館研究」
46号 1995 P. 1

参考文献

- 1) 「三重県の図書館ネットワーク」 中川清裕 「みんなの図書館」 285号
2001 P. 18 - 21
- 2) 「地域図書館ネットワークと大学図書館」 柴田正美 「大学図書館研究」
46号 1995 P. 1 - 5
- 3) 「大学図書館の利用者サービス：学外者への公開を中心に」 吉田憲一 「大学
図書館研究」 50号 P. 82 - 92
- 4) 「外から見た大学図書館－大学図書館の公開をめぐる－」 宇佐美眞 「情報
の科学と技術」 48巻1号 P. 27 - 30
- 5) 『「物流」=ネットワークの最重要課題について－全国トップを担う埼玉県立図書
館の動静をもとに－』 古我貞夫 みんなの図書館 262号 1999 P. 67 - 75
- 6) 「コンソーシアム概念による図書館ネットワーク」 南学 「図書館雑誌」
94巻1号 2000 P. 38 - 39
- 7) 「図書館ネットワークをめぐる問題点」 菊池しづ子 「論集・図書館学研究の
歩み第11集 図書館ネットワークの現状と課題」 日本図書館学研究委員会編
1991 P. 7 - 22
- 8) 「慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンターと藤沢市図書館との相互協力」 筒井利
子 「相互協力分科会報告第6号」 私立大学図書館協会東地区部会研究部相互
協力研究会 1996 P. 9 - 13
- 9) 「藤沢市図書館と大学図書館との相互協力」 藤沢市総合市民図書館 「図書館
雑誌」 94巻10号 2000 P. 780 - 781
- 10) 特集 大学図書館と公共図書館の接点」 神図協会報 158号 1991 P. 1 - 5
- 11) 「大学図書館の一般公開と公共図書館との協力」 藤井千年 『図書館界』
43巻1号 1991 P. 14 - 22
- 12) 「県立図書館は誰のために転換するのか－協力援助機能と堅い絆・協力車の役割
－」 斉藤文男 図書館雑誌 95巻3号 2001 P. 171 - 173
- 13) 「三重県図書館ネットワークの実現をめざして－三重県図書館ネットワーク問題
研究会最終報告書－」 三重県図書館ネットワーク問題研究会 1994
- 14) 「大学ランキング2002年版」 朝日新聞社 2001
- 15) 「図書館／情報ネットワーク論」 原田勝 1990 P. 4 - 11

第2章

海外 I L L とその周縁問題について

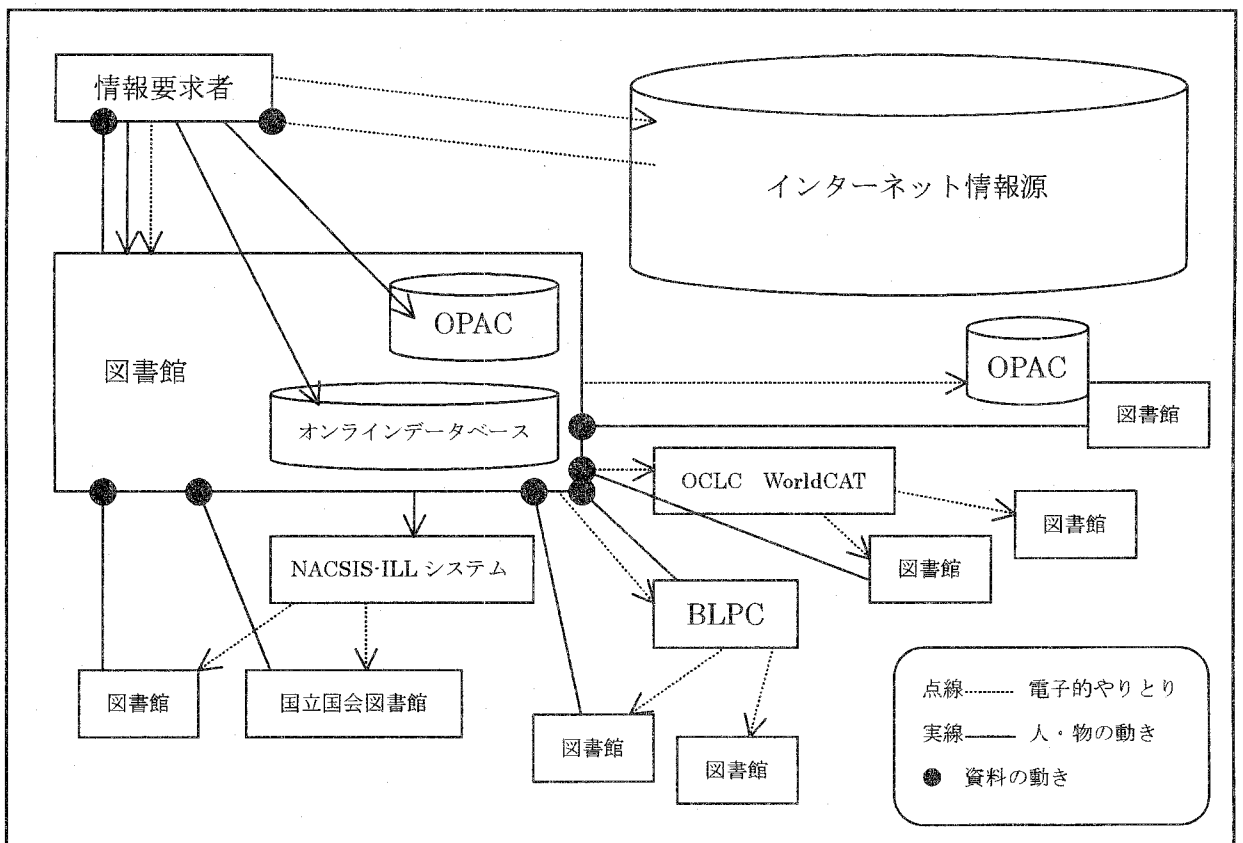
はじめに

近年、インターネットによる情報提供が活発化してきている。こうした状況は、図書館における相互協力業務にも大きな変化をもたらした。具体的には、従来、ほんの10年前までは、文献入手のために情報要求者は図書館に来館し雑誌記事索引等の二次資料から求める文献を調査し、一次資料を探し当てたものだが、今では図書館に来館しなくてもインターネット上の情報源から直接電子的に求める文献を入手したり、入手できなくても、所属図書館のWebOPACを調べて図書館に電子的に複写の申し込みを行ったりもできるようになってきている。(図1・ILLを取り巻く環境イメージおよび、表1・インターネットを利用した新たな文献入手手段 参照)

このような時代を迎え、図書館員は顧客=利用者(情報要求者)がより早く、より安く文献を入手するためにインターネット上の数ある情報源を有効に利用するための知識を十分に習得することが大切であろう。

また、図書館は、インターネットを通じて、国を問わず情報が流通している以上、海外資料といえども迅速な対応を求められることとなった。その一方で日本の図書館にも情報の公開、および資料の提供が求められており、海外から資料を借り受けるだけでなく提供していくことも視野に入れていかなければならない時代を迎えている。(最近『国際ILL』、『グローバルILL』という言葉が、従来使われてきた『海外ILL』に代わって使われるようになってきているようである。)

図1 ILLを取り巻く環境イメージ



関連する活動としては、これまで海外 ILL という利便性などの点から BLDSC を中心に行われていたが、米国との ILL 拡大の取り組みとして、日米両国の大学図書館が参加し、1999 年から 2000 年まで『ILL 改善のための試行実験プロジェクト』が設置され、2001 年に活動の評価会議が行われた他、2001 年には、早稲田大学図書館高橋昇氏による日本国内の大学図書館の海外 ILL ポリシーをまとめた『大学図書館ディレクトリー』作成のための調査が行われた。(調査結果は本報告書に掲載) また、2001 年 11 月からは国立情報学研究所(NII) NACSIS-ILL と OCLC システム間のリンクの試行運転が開始され、2002 年 3 月には本稼働の予定である。このほか、表 1 のようなインターネット上の書誌情報源および、図書館の蔵書、MARC データ等のいわゆるメタデータを組織化することも重要な課題となっている。具体的には OCLC の提唱する DublinCore (ダブリンコア) による、CORC システムがあり、日本においてもワークショップが開かれている。また、Z39.50 により各大学図書館 OPAC 横断検索を可能にしている図書館もある。

これらの活動が順調に進めば将来的には共通インターフェイスによる書誌・所蔵検索、ILL リクエストが可能になるのであろう。しかし実際に国際 ILL、メタデータの整備についてはまだまだ試行の段階である。

一方で、このような ILL をめぐる環境の変化を十分把握し、対応している図書館、および図書館員はどれだけいるだろうか？実際には担当者が試行錯誤しながら、実務のなかで習得しているというのが現状ではないだろうか。

現在のところ具体的な資料としては、『インターネットで文献探索』(伊藤民雄著) や、インターネットリソースを分類したサイト集などがあるが、図書館間相互協力業務で必要な情報(海外図書館へのインターネットを利用した依頼方法を紹介したものや、マニュアルなど)をまとめた実務的な資料がない状態であった。

そこで、この相互協力研究分科会・海外 ILL 研究班では特に海外 ILL に役立つ所蔵確認ツールと ILL の実際、海外 ILL 事例集、ILL の周縁環境としてのドキュメント・デリバリー・サービスについて各章にまとめることとした。

表1 インターネットを利用した新たな文献入手手段（代表的なものを例に）

| |
|--|
| <p>①検索エンジンで調べる</p> |
| <p>Google・Excite Japan・Goo・Infoseek Japan・Lycos Japan・Yahoo! Japan など</p> |
| <p>②テーマごとに分類したサイトから探す。</p> |
| <p>アリアドネ http://ariadne.ne.jp/index.html データベース集成 http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/DB/index.html インターネット学術情報インデックス http://resource.lib.u-tokyo.ac.jp/iri/url_search.cgi</p> |
| <p>③雑誌のリンク集から各誌のホームページを調べ、目次が公開されていないか調べる</p> |
| <p>和雑誌 名古屋大学図書館 http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/mag/index.html 洋雑誌 北海道大学と北見工業大学の図書系職員有志による研究会作成のリンク集 http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/online_journal/index.html</p> |
| <p>④記事索引系のサイトから探す</p> |
| <p>NACISIS-ELS(一部登録制) https://els.nii.ac.jp/nacsis-els-j.php3?top 国立情報学研究所が提供するサービス。日本の学協会が発行する学術雑誌から論文を探し、その頁を表示したり印刷したりすることが可能。但し、論文・雑誌のリストの検索は自由にできるが、論文のページの表示や印刷をするには料金がかかることもあり、利用者アカウントとパスワードの入力が必要。</p> |
| <p>ブックコンテンツ http://contents.lib.u-tokyo.ac.jp/contents/index_j.html 東京大学で所蔵する本の「目次情報」や「内容情報(要旨・帯・カバーからの情報)」で検索できるデータベース。</p> |
| <p>UMI Dissertations 米国 Bell&Howell が提供する、北米を中心にした Bell&Howell 所蔵の学位論文のオンラインデータベース。(株)サンメディア、(株)雄松堂で入手代行サービスを行っている他、検索結果表示画面の Shopping Cart ボタンを押せば、直接 Bell&Howell 社に対して発注することができる。(Bell&Howell 社への登録手続きが必要でカード支払いのみ)。</p> <p>「ProQuest Digital Dissertation」 http://wwwlib.umi.com/dissertations/ インターネットで雑誌・新聞などの全文を提供する「ProQuest」サービスの一部「Dissertation Abstracts」の最新2年間分のデータを無料で検索可能。検索は Keyword、Author、Publication 番号から行ない、検索結果は一覧表示から詳しい書誌事項・抄録を読むことができる。また「Preview」マークの付いた論文は、最初の 24 ページまで無料で閲覧が可能。</p> <p>「Dissertation Express」 http://wwwlib.umi.com/dxweb/ 1861 年からの約 150 万件の学位論文の検索が可能。検索項目は Order Number、Author、Title で、40 件までの検索結果が表示され、書誌事項を確認できる。</p> |

ingenta <http://www.ingenta.com/>

UNCOVER (米国の CARL 社が提供する学術雑誌の目次速報データベース。約 17,000 タイトルの学術雑誌の最新目次情報が収録され、毎日約 5,000 件の記事データが追加される。)を利用し検索する。FAX、e-mail などにより有料で送付してもらえる。

⑤図書館のツールを利用する

雑誌記事索引(有料)

(日本国内で刊行され、国立国会図書館が収集する雑誌のうち、(採録対象誌として)指定の雑誌に掲載された記事情報を収録した索引ファイル)

媒体:CD-ROM およびオンラインサービス MAGAZINE-PLUS(有料データベース) NACSIS-IR(有料データベース)を利用する。

* 但し、平成 14 年 10 月、国立国会図書館もインターネットにて公開(無料)および、複写物送付サービス(有料)開始予定。http://www.ndl.go.jp/ndl_frm_site_6_0.html

Firstsearch(有料・個別契約が必要)

OCLC がインターネット上で提供する、オンライン情報検索サービス。OCLC が作成する書誌情報データベースの「WorldCat」(4300 万件以上のユニークな書誌レコード、7 億 9000 万件以上の所蔵データを持つ世界最大の書誌データベース)、雑誌目次情報の「ContentsFirst」、雑誌記事索引の「ArticleFirst」の他、「INSPEC」「Medline」「Disclosure」など 60 以上のデータベースが搭載されている。

Social Sciences Citation Index(SSCI) (有料)

社会科学関係の雑誌記事索引データベースで、引用文献や被引用文献まで検索できる。収録対象は、社会科学関係(50 分野)の雑誌論文を、世界中の雑誌 1700 誌からは 網羅的に採録し、また 3200 誌からは選択的に採録。

媒体 CD-ROM、Web of science (ISI) (有料データベース)

⑥所属図書館が契約しているオンラインデータベース、オンラインジャーナルのサイトを利用する。

ProQuest,EBSCOhost など

⑦所属図書館の紙媒体での所蔵を検索する。

Web-OPAC を検索する。所蔵があれば来館して入手する。

⑧図書館間相互協力により入手する。

①～⑦の手段により文献入手不可能だった場合、索引情報までしか分からなかった場合、所属図書館に申し込み、所蔵図書館から取り寄せ入手する。

1. 海外 ILL に役立つ所蔵確認ツールと ILL の実際

(1) アメリカ

アメリカ合衆国の場合は、当該館が OCLC FirstSearch を契約しているのであれば、World Cat での探索を行うのが基本になるだろう。World Cat は、アメリカに限らず、世界規模での総合目録データベースであるので、一度に OCLC 加盟館の所蔵情報を検索することができる。グローバル ILL/DD 構想のもとに、近時 NII と OCLC ILL システムがリンクし、本格運用されようとしている状況では、OCLC の World Cat での検索は、海外 ILL サービスの出発点といってよい。当該館が OCLC FirstSearch の利用ができないのであれば、Web 上に公開された無料の各館の OPAC や複数館の横断検索システムを利用することが望ましい。蔵書規模からすれば、最初に国立図書館である Library of Congress (LC) の蔵書が探索の基本になるだろうが、後の ILL 処理に時間を要し、現物貸借が容易にできないといった問題がある。

(OCLC ILL か IFLA Voucher Scheme に加盟していれば、LC からの貸借は可能である。) 後の ILL 処理を考慮すると、各館の OPAC や横断検索システムを利用することになる。

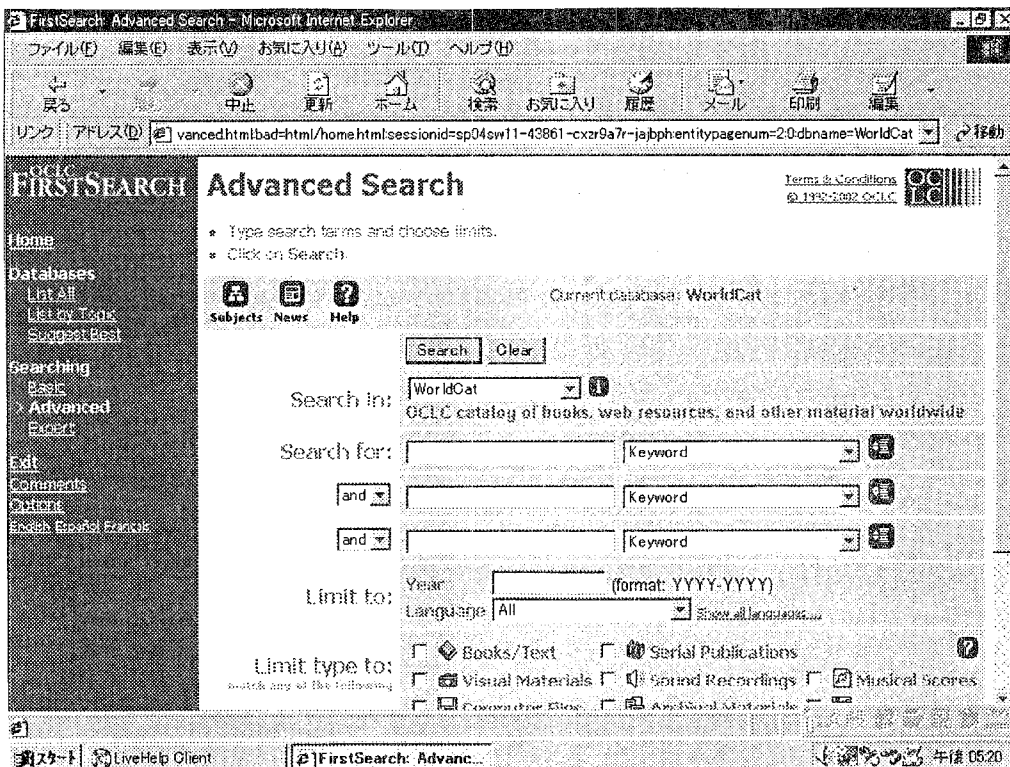
①アメリカの代表的な OPAC について

検索対象とする書誌件数が多い代表的な OPAC として、Melvyl (カリフォルニア大学 OPAC) や HOLLIS (ハーバード大学 OPAC)、ILLINET (Illinois 州内の図書館の総合目録)、OhioLink (Ohio 州内の図書館の総合目録)、ORBIS (Oregon 州内の図書館総合目録)、CATNYP と LEO (New York Public Library とその分館目録) などがあげられるだろう。

以下に代表的なアメリカの OPAC の URL と検索初期画面を例示する。

アメリカ資料1 OCLC の World Cat <http://newfirstsearch.oclc.org>

世界最大の書誌ユーティリティである OCLC の加盟館の総合目録。検索は有料制。

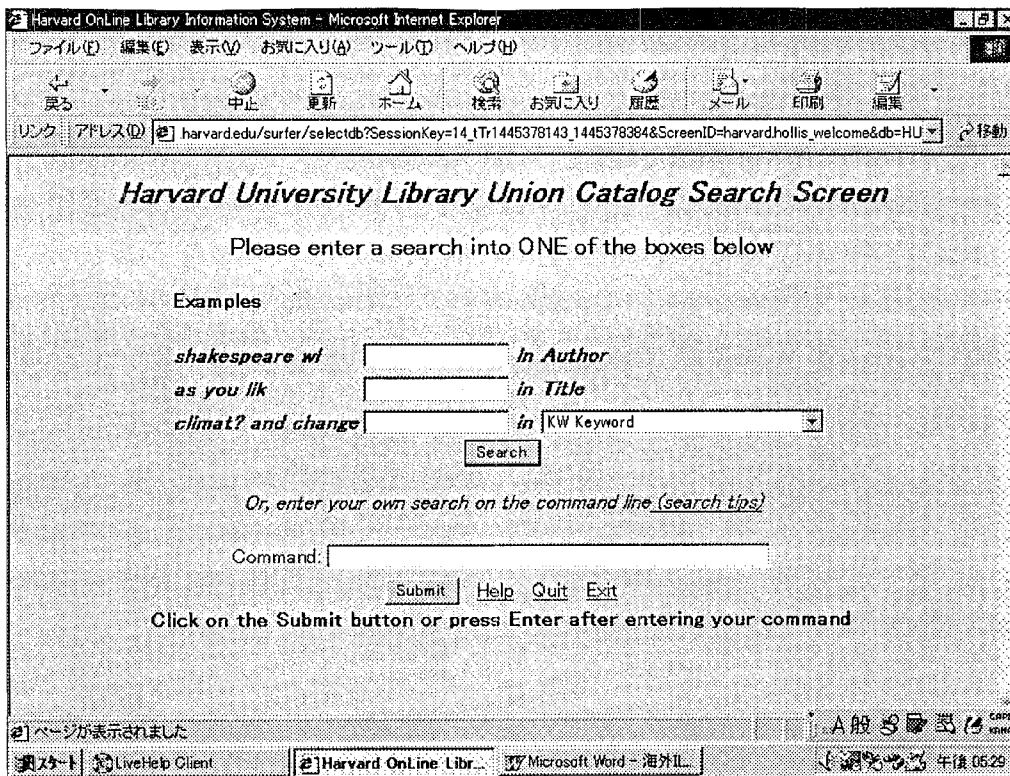


アメリカ資料2 Library Congress Catalog <http://lcweb.loc.gov/catalog/>
 米国議会図書館総合目録。世界最大の図書館のOPAC。

アメリカ資料3 MELVYL <http://www.melvyl.ucop.edu/>
 カリフォルニア大学図書館総合目録。

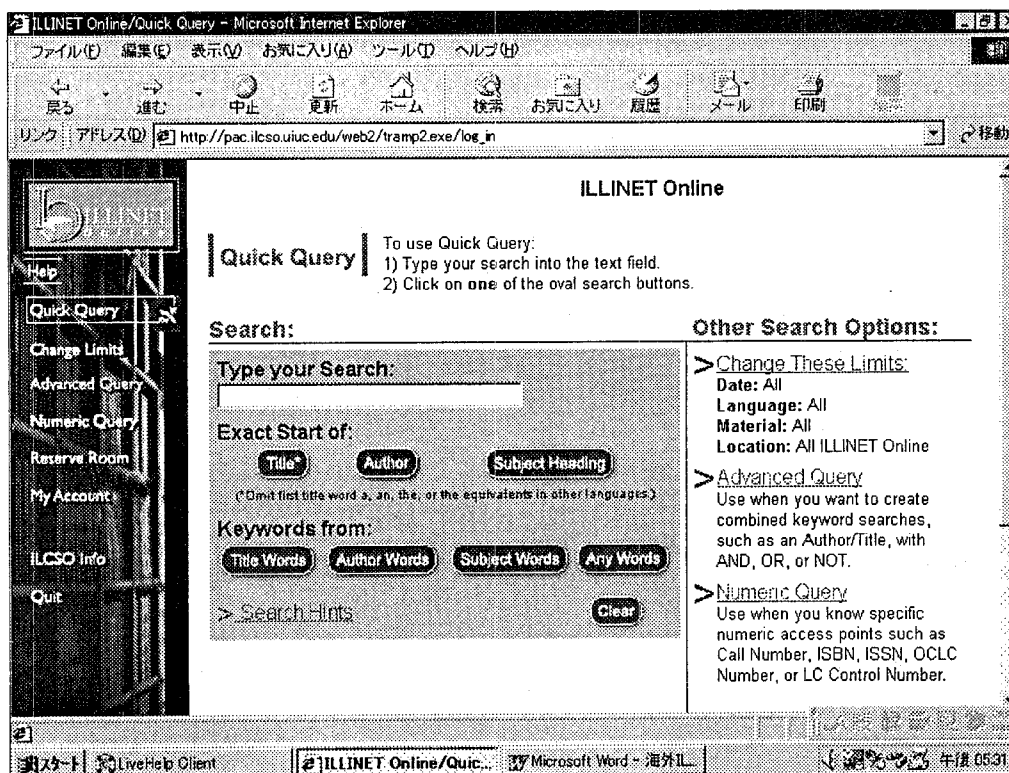
アメリカ資料4 HOLLIS <http://hplus.harvard.edu/hollischoices.html>

Harvard 大学図書館蔵書目録。



アメリカ資料5 ILLINET Online <http://pac.ilcso.uiuc.edu/>

Illinois 州内の図書館の総合目録。



アメリカ資料6 OhioLink <http://olcl.ohiolink.edu/search/>
Ohio州内の図書館の総合目録。

OhioLINK Central Catalog menu - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール 印刷 編集

リンク アドレス(D) <http://olcl.ohiolink.edu/search/> 移動

OHIO LINK CENTRAL CATALOG

OhioLINK Central Catalog

Ohio Library and Information Network

You may search Statewide for library materials using the following:

| | | | |
|--|---------------|-----------------|------------|
| TITLE | | AUTHOR | |
| SUBJECT | | MEDICAL SUBJECT | |
| WORDS In Title, Author, Subject, Notes, Publisher | | | |
| Call Number | | Other Numbers | |
| Library of Congress | Dewey Decimal | NLM SuDoc | ISBN ISSN |
| | | | OCLC Other |

[Search Tips and Information About This Catalog](#)

Microsoft Word - 海外L... 午後 05:33


アメリカ資料7 ORBIS <http://orbis.uoregon.edu/>
Oregon州内の図書館総合目録。

Orbis Academic Union Catalog - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール 印刷 編集

リンク アドレス(D) <http://orbis.uoregon.edu/> 移動



| | |
|---------------|------------------|
| Keyword | Subject |
| Author | Title |
| Journal Title | Other Searches |
| Help | Orbis via Telnet |

Orbis is a library catalog that combines information from 18 academic libraries into a single unified database.

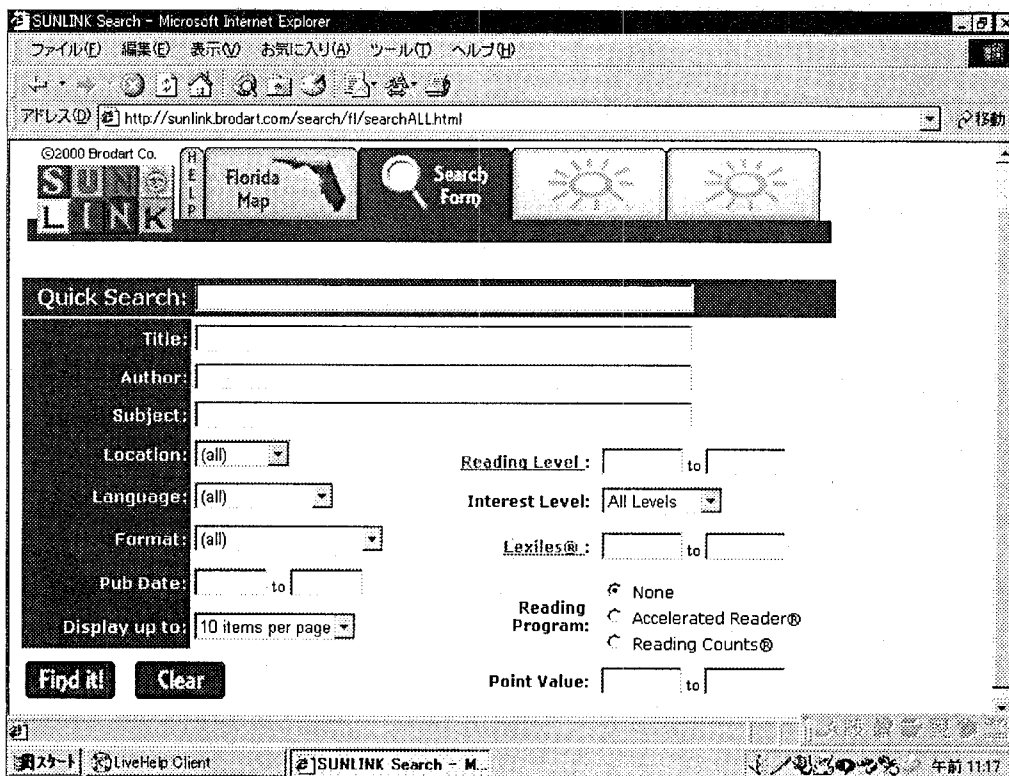
[Orbis News](#) and Newest members: Oregon Health & Science U, Portland State U

[CRL: Center for Research Libraries via Orbis](#)

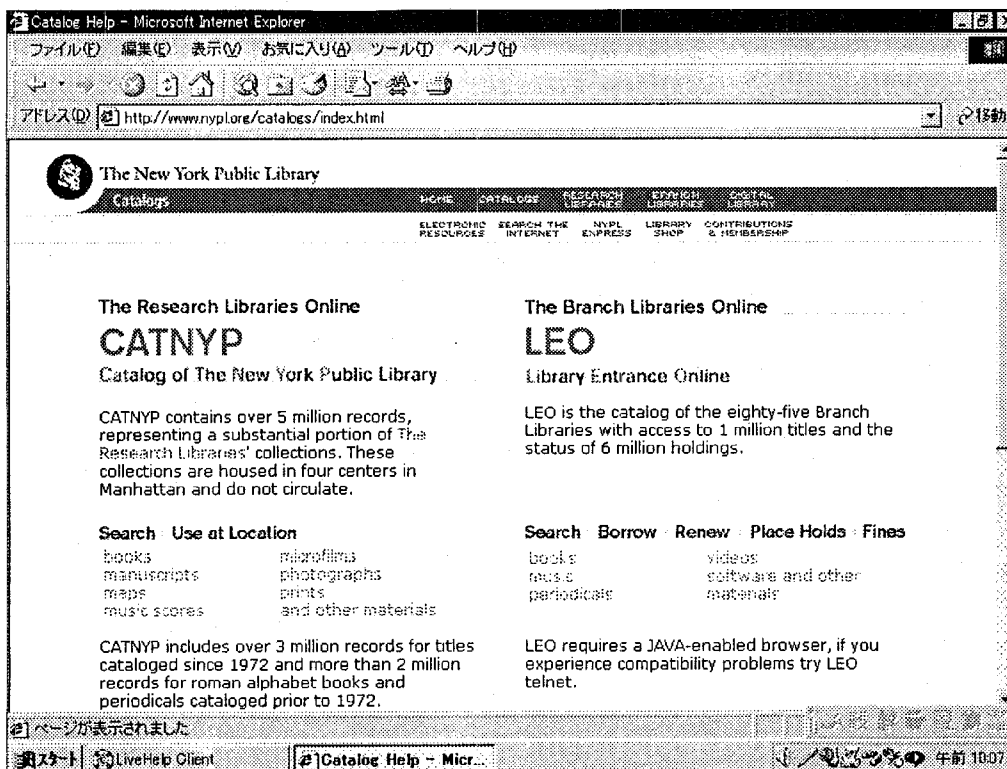
[Orbis member libraries](#) | [Borrowing Information](#)
[The Orbis Consortium](#)

Microsoft Word - 海外L... 午後 05:34

アメリカ資料8 SUNLINK <http://www.sunlink.ucf.edu/>
 Florida州内の図書館総合目録。



アメリカ資料9 CATNYPとLEO <http://www.nypl.org/catalogs/index.html>
 New York Public Libraryとその分館目録。



②OCLC ILLサービスについて

アメリカでの海外 ILL サービスの基本となる OCLC ILL サービスについて、以下に紹介する。

1. 概要

OCLC Interlibrary Loan Service は、世界最大の書誌データベースである WorldCat を利用して、参加メンバー館における ILL リクエストの作成・発信・追跡を可能とするサービスである。この ILL サービスでは、WorldCat が保有する約 4,300 万件以上の書誌レコードにあたって所蔵機関を確認し、世界の約 6,700 以上の参加館と資料の相互貸借を行うことができる。

資料の配送以外はすべてオンラインで行い、オンライン上で参加館の住所、担当者名、貸出条件等の確認ができ、一度に複数の参加館（最大 5 館まで）に依頼を送信できるため、手間と時間を大幅に節約できる。また、オプション・サービスとして、IFM (ILL Fee Management) という料金相殺のサブシステムをもっており、ILL の依頼に発生する料金の支払いを 1 件ごとではなく、月単位で OCLC ILL システム上での料金決済が可能である。

なお、OCLC ILL についての詳細な最新情報については、国内の代理店である紀伊国屋書店 OCLC センターに問い合わせていただきたい。

2. オペレーションの実際

a. 資料の検索・特定

(1)OCLC FirstSearch の WorldCat で検索する。

(2)OCLC ILL サービスで、サーチキーを使って検索する。

現在では、(1)の方法が一般的である。

b. 所蔵館の特定

(1)OCLC FirstSearch の WorldCat で所蔵館を調査する。

(2)OCLC ILL サービスの OLUC (OCLC Union Catalog) にアクセスして、所蔵館を調査する。

現在では、(1)の方法が一般的である。

所蔵館の中から申込み先となる図書館を特定するうえで、依頼実績のない館に申し込む場合は、NAD (Name-Address Directory) を参照して申込先の図書館の貸出条件や相互協力方針を確認しておくことが望ましい。

また、申込先の図書館の OPAC にあたることで、対象資料が供給可能かを調査しておくことが望ましい。とりわけ、雑誌の依頼の場合は、依頼する該当巻号を所蔵しているかの確認が必要であるため、各館の OPAC での所蔵巻号の調査は必須である。

c. 申込み画面の作成

(1)ワークフォームと呼ばれる申込み画面に、依頼内容を入力する。

申込先機関は、OCLC シンボルで記述し、最大 5 機関まで指定できる。

依頼情報作成時には、毎回使用することが予想される自館の情報（送付先住所、担当者名や支払い条件など）をあらかじめ、コンスタントデータとして登録することができ、ワークフォーム作成時に呼び出すことが可能である。

(2)ワークフォームが完成したら、編集した内容をシステムに送信する。

(3)ワークフォームをリフォーマットし、正しく送信されたかを確認する。

(4)ワークフォームをシステムに登録する。照会番号である ILL ナンバーが付与され、相手先機関に依頼内容が送信される。ステータスが PENDING となる。

d.相手館の資料の発送

相手館が資料を発送すると、ステータスが PENDING から SHIPPED に推移する。

e.資料の受領

相手館から資料が届いたら、受領コマンドを実行し、受取処理を行う。ステータスが SHIPPED から RECEIVED に推移する。

f.資料の返却

返却期限日までに資料の利用を終え、相手館に返送処理をする。ステータスが RECEIVED から RETURNRD に推移する。

j.相手館の返却資料の受領

相手館が返却資料を受領したら、ステータスは RETURNRD から COMPLETE に推移する。これにより ILL サービスの一連の処理が完了したことになる。

アメリカ資料10 OCLC ILL 依頼画面の実際

The screenshot shows a web browser window titled "OCLC Passport - [PRISM] on TCP/IP:connect.oclc.org". The main content area displays the following text:

```
Request sent.
ILL an #3094319                               Record 1 of 1
:ILL: 7098627      :Borrower:           :ReqDate: 20010327 :NeedBefore: 20010425
:Status: PENDING 20010327      :RecDate:           :RenewalReq:
:OCLC: 3094319      :Source: OCLCILL    :DueDate:         :NewDueDate:
:Lender: *WAU,IUL,CLU,BXM
:AUTHOR: O'Donnell, May G.
:TITLE: James Wilson and the natural law basis of positive law /
:EDITION:
:IMPRINT: New York : Fordham University Press, c1937.
:ARTICLE:
:VOL:             :NO:             :DATE:           :PAGES:
:VERIFIED: OCLC
:PATRON:
:SHIP TO: Attn.:
:BILL TO: same
:SHIP VIA: Air Mail      :MAXCOST:         :COPYRT COMPLIANCE:
:FAX:
:BILLING NOTES: If possible, we would like to pay by IFLA VOUCHERS.
:BORROWING NOTES:
```

The interface includes a menu bar (Session, Edit, View, Tools, Window, Help) and a toolbar with various icons. At the bottom, there is a status bar with "PRISM" and "OCLC Passport - IP..." and a system clock showing "午前 10:43".

☆上記画面で、個人情報の部分は非表示とさせていただいております。

Detailed Record

Terms & Conditions
© 1992-2002 OCLC



- Click on a checkbox to mark a record to be e-mailed or printed in Marked Records.

Subjects
 Libraries
 E-mail
 Print
 Export
 Help

WorldCat results for: **ti: james and ti: wilson and ti: natural and ti: law.** Record 4 of 4

Prev Next

James Wilson and the natural law basis of positive law /

May G O'Donnell

1937

English Book vii, 40 p. ; 23 cm.
New York : Fordham University Press,

Mark:

Database: WorldCat

Ownership: Check the catalogs in your library.
• [Libraries that Own Item: 27](#)

Title: James Wilson and the natural law basis of positive law /

Author(s): [O'Donnell, May G.](#)

Publication: New York : Fordham University Press,

Year: 1937

Description: vii, 40 p. ; p., 23 cm.

Language: English

TOC: Man, as an individual -- The social nature of man -- James Wilson's theory of law -- Natural law background of constitutional limitations.

Standard No: LCCN: 38-12670

SUBJECT(S)

Descriptor: [Natural law.](#)
[Law.](#)

Named Person: [Wilson, James, 1742-1798.](#)

Note(s): Bibliography: p. 37./ References to The works of James Wilson published 1896 (unless otherwise noted): p. 38-40.

Class Descript: LC: K457.W52; Dewey: 340.1

Responsibility: May G. O'Donnell.

Document Type: Book

Entry: 19770705

Update: 19931231

Accession No: OCLC: 3094319



Subjects
 Libraries
 E-mail
 Print
 Export
 Help

WorldCat results for: **ti: james and ti: wilson and ti: natural and ti: law.** Record 4 of 4

Libraries that Own Item

Terms & Conditions
© 1992-2002 OCLC



- This screen shows libraries that own the item you selected.



Current database: **WorldCat** Total Libraries: **27**

Libraries with Item: "James Wilson and the natu..." (Record for Item)

| <u>Location</u> | <u>Library</u> | <u>Code</u> |
|-----------------|---|-------------|
| CA | LOYOLA MARYMOUNT UNIV | LML |
| CA | SANTA CLARA UNIV | STA |
| CA | UNIV OF CALIFORNIA, LA | CLU |
| CA | UNIV OF CALIFORNIA, LAW SCH | BOL |
| CT | WESLEYAN UNIV | WLU |
| DC | GEORGETOWN UNIV, LAW LIBR | GUL |
| DC | LIBRARY OF CONGRESS | LNN |
| IA | UNIV OF IOWA LIBR | NUI |
| IL | QUINCY UNIV | IBQ |
| IL | UNIV OF CHICAGO | CGU |
| IN | INDIANA UNIV | IUL |
| IN | UNIV OF NOTRE DAME, LAW SCH | XND |
| MA | BOSTON COL | BXM |
| MA | COLLEGE OF THE HOLY CROSS | HCD |
| MA | HARVARD UNIV LAW SCH LIBR | HVL |
| MO | SAINT LOUIS UNIV, LAW LIBR | SLU |
| MO | SAINT LOUIS UNIV, PIUS XII LIBR | XII |
| NY | MANHATTAN COL LIBR | ZMC |
| NY | NEW YORK PUB LIBR RES LIBR | NYP |
| OH | CASE WESTERN RSV UNIV | CWR |
| OH | JOHN CARROLL UNIV, GRASSELLI LIBR | JCU |
| OH | OHIO STATE UNIV, COL OF LAW | OHL |
| OH | PUBLIC LIBR OF CINCINNATI/HAMILTON CNTY | OCP |
| OH | XAVIER UNIV | XAV |
| PA | SAINT JOSEPH'S UNIV | SJD |
| WA | UNIV OF WASHINGTON LIBR | WAU |
| WA | WHITMAN COL, PENROSE MEM LIBR | HTM |

Record for Item: "James Wilson and the natu..." (Libraries with Item)

Mark:

Database: WorldCat

Ownership: Check the catalogs in your library.

- Libraries that Own Item: 27

Title: James Wilson and the natural law basis of positive law /

Author(s): O'Donnell, May G.

Publication: New York : Fordham University Press,

以下の書誌データの表示は省略

③今後の国内での OCLC ILL とグローバル ILL の展望

2001年11月より、NIIとOCLC ILLとのシステム間リンクが成立し、試行実験が開始された。国際規格であるISO-ILLプロトコルにより、NACSIS-ILLシステムを利用して、OCLC参加館にILL申込みが可能となった。現時点では試行段階だが、2002年4月以降は、文献複写依頼業務から本格運用されることになる。2002年秋以降は、現物貸借業務にも拡大される予定である。ただし、このシステム連携によりILLが可能となるのは、現時点ではIFM加盟館に限定されているようである。このプロジェクトのILLサービスがIFM加盟館同士に限定されたことで、料金決済は容易にできるが、IFM加盟館がOCLC参加館のまだ一部分であり、全面的なOCLC ILL加盟館とのリンクができていないという問題はありそうである。システムが段階的に整備される中で、IFM未加盟館へのILL処理を円滑に進めるうえでは、別途、料金決済システムが構築されることが待たれる。当面の間、IFM加盟館により充足できないILLリクエストについては、従来のIFLA Request Formにより申込み処理をするか、既存のOCLC ILLシステムを活用するために、本プロジェクト用とは別にOCLCシンボルを取得（二重にプロファイル登録）することになるだろう。

今回、NACSIS-ILLという国内の標準システムにより、海外の図書館との間で簡便にILLの処理ができる方法が確立したことは、大きな進歩である。今回のOCLCに続いて、次にはRLGとのリンクも構想されている。ここ1～2年で海外ILLに関する環境には、画期的な発展があることは間違いないだろう。しかし、従来の海外ILLが海外の図書館からの文献入手に偏重した「依存型のILL」であったが、「相互協力」である以上、対等で均衡のとれた図書館間の利用を目指す必要がある。海外図書館向けに各館がLending Policyを公開し、少なくとも日本国内で刊行された文献については、責任をもって提供していくという姿勢が肝要であろう。これからは、国際的な学術情報流通のためにも、我が国図書館としても積極的に貢献していかなければならないであろう。

参考文献

- 1) 伊藤民雄「インターネットで文献探索」日本図書館協会 2000
- 2) 近藤菜穂子「OCLC ILL サービスに参加して——オンラインで海外の図書館から本を借りる」『図書館雑誌』Vol.89 No.10 p.811-813 1995
- 3) 鶴沢和往「ISO ILL プロトコルと NACSIS-ILL」『カレントアウェアネス』Vol.264 p.2-4 2001
- 4) 平成13年度新CAT/ILLシステム説明会及び学術雑誌総合目録欧文編データ更新説明会 グローバルILL/DDの実施に向けて 配布資料
- 5) 平野真紀「ILLサービスの拡充について」『Medianet』Vol.7 p.40-43 1999
- 6) 京藤貫「NACSIS-CAT・ILLの現状と将来」『私立大学図書館協会会報』Vol.115 p.112-116 2001

(2) イギリス

BLPC (The British Library Public Catalogue)について

2002.2 現在

BLPC とは The British Library (BL) が WWW 上で無料で提供するオンライン目録であり、OPAC97 をバージョンアップしたものである。検索された書籍、雑誌はそのまま複写申込みや貸出の依頼ができ、また現在 NACSIS-ILL から検索及び依頼をすることができる。

BLDSC(The British Library Document Supply Centre)にすでに利用者登録(預託金口座開設)されている場合は複写料金を口座から引き落とすことができる。また登録されていない場合でも依頼ができる。

URL <http://blpc.bl.uk>

提供時間 一日 24 時間利用することができ、週末も稼働している。

注) BLDSC への利用者登録は国内大手の代理店を通して手続きをすることができる。

利用方法

1. NACSIS-ILL から BLDSC への利用

現在 BLDSC は NACSIS-ILL を通して依頼することができ、手続の方法は大手代理店を通して利用者登録をする際に、依頼方法のなかで ILL を選択する。(依頼方法の複数選択は可能)

NACSIS-ILL から依頼をする際の画面表示は各大学の採用するシステムのフォームによって異なる。

注) 手続の詳細については、「ILL システム操作マニュアル 第4版」の9章を参照。

2. インターネット経由の BLDSC 及び BLPC への利用

1) BLPC(The British Library Public Catalogue)

BLPC は OPAC97 のバージョンアップしたもので Web を経由して、無料で自由に利用することができる。BLPC は 1000 万を超える図書とその他の資料が検索できる。

注) BLDSC URL : <http://www.bl.uk>

BLPC からの検索及び依頼の実際

① WWW を開く (URL : <http://blpc.bl.uk>)

BLPC

THE BRITISH LIBRARY PUBLIC CATALOGUE

THE BRITISH LIBRARY

Text Only
Version

| | | | | |
|--|------------------------|-------------------|---|------|
| | SEARCH | | OTHER BRITISH LIBRARY SERVICES | |
| | CONTACT INFORMATION | ORDER DOCUMENT | | HELP |

This service provides simple searching and ordering of documents from the British Library's extensive collections.

Select SEARCH to begin searching the Library's catalogues (with the option to order Document Supply material only), ORDER DOCUMENT to order photocopies or loans of known items without first searching the catalogues, HELP to find out more about the online catalogue, or select an alternative service from OTHER BRITISH LIBRARY SERVICES.


BUY GREAT BOOKS
amazon.co.uk

Buy books NOW
from our sponsor

SEARCH : 書籍・雑誌・レポートなどの所蔵目録情報が検索できる。

ORDER DOCUMENT : 貸出、複写の注文、また目録検索で該当のない資料でもここから注文することができる。

② 「SEARCH」 をクリックする。

| | |
|--|---|
| BLPC | BASIC SEARCH |
| THE BRITISH LIBRARY | |
| <input type="radio"/> All Material <input type="radio"/> Reference Material Only <input type="radio"/> Document Supply Material Only | |
| <input type="radio"/> Submit Search | Author/Editor: <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> Clear Form | Organisation: <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> Advanced | Title: <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> Help | Subject: <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> Home | Publisher Details: <input type="text"/> |
| | ISBN/ISSN: <input type="text"/> |
| | Date Of Publication: <input type="text"/> |
| <p>Choose the type of material you require (All Material, Reference Material, or Document Supply Material), then enter keywords or phrases to identify the item/s you are looking for and select 'Submit Search'. Enter individual keywords separated by a space, and phrases within double quotes. BLPC is not case-sensitive and punctuation should be omitted. Truncate a search term if you are not sure of its complete form or spelling using * (asterisk). More advanced searching facilities can be obtained by selecting the 'Advanced' button.</p> | |
|  <small>Buy books from all over the world</small> | |

・ 検索対象を選択する。

All Material

すべての資料の検索が対象

Reference Material only

主に London に所蔵する閲覧用の資料
(複写注文は出来ません)

Document Supply Material only

主に BLPC で所蔵しているもので、貸出、
文献複写の依頼を行うための所蔵検索。
(Order 画面にリンクされている)

・ 検索画面は Basic Search と Advanced Search の 2 種類がある。

Basic Search の画面から Advanced をクリックして、Advanced Search の画面に入る。

・ 検索画面の各項目にカーソルを入れるとその項目の入力方法が画面下の欄に自動的に表示されるため、いつでも help 画面をみることができる。

- ③ Advanced Search でより複雑な検索が行える。また目録を指定した検索は、この Advanced Search 画面の「 Select Individual Catalogues 」を選択することによりできる。

BLPC
Advanced Search

THE BRITISH LIBRARY

All Catalogues
 All Reference Catalogues
 All Document Supply Catalogues
 Select Individual Catalogues

Submit Search

Clear Form

Basic Search

Help

Home

| | | |
|---------------|-----|---------------|
| Author/Editor | And | Author/Editor |
| | And | |
| Title | And | Title |
| | And | |
| Subject | And | ISBN/ISSN |
| | And | |

Choose the type of material you require (All Material, Reference Material, or Document Supply Material) or Select Individual Catalogues and make your choice from the list of individual catalogues by ticking the check boxes. The drop down boxes allow you to choose any combination of Author/Editor, Organisation, Title, Subject, Publisher, ISBN/ISSN, or Date of Publication using AND, OR, or AND NOT. The links between fields on the same row take precedence over the links between rows. Enter keywords or phrases to identify the item you require and select 'Submit Search'. BLPC is not case-sensitive and punctuation should be omitted. Truncate a search term if you are not

BUY GREAT BOOKS
amazon.co.uk

Buy books NOW!
from our sponsors

「 Select Individual Catalogues 」 の画面 (複数の目録を選択することが可能)

BLPC

Advanced Search

THE BRITISH LIBRARY

- All Catalogues
 All Reference Catalogues
 All Document Supply Catalogues
 Select Individual Catalogues



Reference Catalogues

- Humanities (1975 -)
 Sciences (1974 -)
 Retrospective (Pre 1975)
 Music (1980 -)
 Music (Pre 1981)

Document Supply Catalogues

- Journals (1700 -)
 Books (Pre 1950 & 1980 -)
 Conference Proceedings (1800 -)









| | | |
|---------------|-----|---------------|
| Author/Editor | And | Author/Editor |
| A | And | B |
| Title | And | Title |
| | And | |
| Subject | And | ISBN/ISSN |
| | And | |

A と B の検索語の関係 (A and B)

→ 1 行目と 2 行目の式の関係を指定

BUY GREAT BOOKS
amazon.co.uk

Buy books from our sponsors

Choose the type of material you require (All Material, Reference Material, or Document Supply Material) or Select Individual Catalogues and make your choice from the list of individual catalogues by ticking the check boxes. The drop down boxes allow you to choose any combination of Author/Editor, Organisation, Title, Subject, Publisher, ISBN/ISSN, or Date of Publication using AND, OR, or AND NOT. The links between fields on the same row take precedence over the links between rows. Enter keywords or phrases to identify the item you require and select 'Submit Search'. BLPC is not case-sensitive and punctuation should be omitted. Truncate a search term if you are not

- ④ 「 Basic Search 」で調査したい資料名を入力し、「 Document Supply Material Only」を選び、「 Submit Search 」をクリックすると検索が開始する。

<入力上の注意>

- ・入力は大文字、小文字どちらでも使える。
- ・ Basic Search 画面ではスペースを空けて単語を入力すると「 And 検索」が行われ、フレーズを入力する場合 “ ” で囲む必要がある。

例： Geology North Sea or
Geology “ North Sea”

- ・ Advanced Search では OPAC97 と同じでスペースを空けて単語を入力するとフレーズで検索される。
- ・ トランケーションの記号が変更され BLPC では「*」になる。

例： introdu*

< 「European journal of agronomy」での検索結果> *20 件ずつ検索結果が一覧される。

BLPC BRIEF RECORD DISPLAY

Your Search has found 6 items.

[1] Perspectives for agronomy. adopting ecological principles and managing resource use. selected papers of the fourth congress of the European Society for Agronomy, Veldhoven-Wageningen, The Netherlands, 7-11 July, 1996
1997

[2] Developing sustainable agricultural production systems. agronomic approaches at different levels of scale
2000

[3] EUROPEAN JOURNAL OF AGRONOMY

[4] Nitrogen mineralization in agricultural soils. Symposium. Selected papers

[5] Perspectives for agronomy. adopting ecological principles and managing resource use. selected papers of the fourth congress of the European Society for Agronomy, Veldhoven-Wageningen, The Netherlands, 7-11 July, 1996

[6] Developing sustainable agricultural production systems. agronomic approaches at different levels of scale

Brief details of items are shown. Select a number to obtain a more detailed bibliographic citation.

 New

 Modify

 Help

 Home

BUY GREAT BOOKS
amazon.co.uk

Buy books NOW
from our sponsors

⑤ 該当する番号をクリックすると詳細項目が表示される。

BLPC

FULL RECORD DISPLAY

Record 3 of 6 item(s)

 **New**

Title: EUROPEAN JOURNAL OF AGRONOMY

Copyright fee: Current copyright fee: GBP 12.20

ISSN: 11610301

Shelfmark: 3829.722150

 **Modify**

Holdings - DSC: VOL. 1, 1992- *A=1. Currently received

Holdings - STB: VOL. 2, 1993- *A=1. (P)DY00-E(42). 595089003.
Currently received

 **Brief**

Notes - Loan Ban on loans within 26 weeks of receipt
ban:

Notes - Quarterly

Frequency:

 **Next**

 **Previous**

 **Order**

 **Help**

 **Home**

Holdings : 収録率

A=1 95%以上

A=2 75~95%

A=3 50~75%

A=4 50%以下

A=5 不明

Currently received : 現在継続中

BUY GREAT BOOKS
amazon.co.uk

Buy books direct
from our suppliers

Full details of the item you have selected are shown. This item can be obtained through the remote supply services of the Document Supply Centre. Items with shelfmarks ending with "n" are *not* in stock at the Document Supply Centre, but may be available elsewhere in the Library. Select NEXT to view full details of the next record, PREVIOUS to view full details of the previous record, BRIEF to go back to the brief display list, or ORDER to order this item from the Document Supply Centre.

左端画面の表示

| | |
|------------------------------------|---|
| New (New Search)— | 新規に検索 |
| Modify (Modify existing Search)— | もとの入力した検索画面に戻る。 |
| Brief (Brief display)— | もとの検索結果の画面に戻る。 |
| Next (Next record)— | 表示されている当該の検索結果の次の item である「 Full record display 」に戻る。 |
| Previous (Previous record)— | 表示されている当該の検索結果の前の item である「 Full record display 」に戻る。 |
| Order (Order this item)— | 注文する。 |

⑥ 注文する。

注) 検索結果のデータが Ordering の画面に必要な項目として自動的に入力される。

(Title, Author, ISSN or ISBN, Shelf mark, etc.)

自動的に「 Registered Customer(Standard Service)」が選択されるので、希望の注文方法を選択する。

1) 登録者 (Registered users) の場合—「 Standard Service 」と「 LEXICON Service 」とがある。

・ Registered Customer(Standard Service)

登録者の場合、ここがより適切な Order from である。

・ Registered Customer(LEXICON Service)

より個人的なサービスを受けたい場合はここで Order することができる。希望する注文方法などを選択することができる。

注) Customer Code と Password は必須入力項目である。

2) 未登録者 (Non- Registered users) の場合は「 Non Registered Customer」を選択して注文をする。

支払い方法は Credit などのカード支払いとなる。

*ARTWeb (<http://www.bl.uk/services/document/artwebin.html>)

より簡単な依頼方法として、ARTWeb がある。

・ UK and Ireland customers のための Order form と

International customers の Order form がある。

International customers の場合はフランス語の Version がある。双方の Order form は統一されている。

・ ARTWeb の Order 画面で Waiting List option の「 Do not add my request to a waiting list 」を選択すれば Cancel 依頼も可能である。

⑦ 必要項目に入力後「 Submit Order 」をクリックする。

注1) *のついている項目は依頼するための必須入力項目である。

「 Ordering 」の画面 < Registered Customer (Standard service) >

Registered Customer (Standard service) Registered Customer (LEXICON service)
 Non Registered Customer

* Indicates essential information

Please complete the request details as fully as possible:

Bibliographic Details

| Publication Details | | Article Details | |
|----------------------|--|-----------------|--|
| * Title | <input type="text" value="EUROPEAN JOURNAL OF"/> | Article Title | <input type="text"/> |
| Author/Editor | <input type="text"/> | Author | <input type="text"/> |
| Year | <input type="text"/> | Pages | <input type="text"/> |
| Volume | <input type="text"/> | | |
| Part/Edition | <input type="text"/> | | |
| Publisher | <input type="text"/> | ISSN/ISBN | <input type="text" value="11610301"/> |
| Place of Publication | <input type="text"/> | Shelfmark | <input type="text" value="3829.722150"/> |
| Series | <input type="text"/> | | |

Current copyright fee: GBP 13.50

Additional Details

Customer Details

* DSC Customer Code

* DSC ART Password

* Request Number

Message Keyword Code

Select a delivery method:

Select a search level:
Choose from UK and Ireland or International drop down list.

UK and Ireland customers

International customers

「 Ordering 」 の画面から続く

Reapply for an extended search:

Choose from this option only if you are reapplying for an extended search.

UK and Ireland customers

NONE

International customers

NONE

Any other requirements:

Type

NONE

Translation/microform

NONE

Waiting list options:

If the item is not immediately available, do you want to be added to a waiting list?

Add my request to a waiting list

Other reapplications, chasers, renewals, etc.:

NONE

Message (for Cancellations and Recalls only)

Alternative Delivery Address (only if different from usual address)

Address1

Address2

Town/City

County/Postcode

Country

・「 Submit Order 」 をクリックすると、「 Your Order has been submitted 」 のコメントと受付日と注文内容が表示される。

・注文完了。

⑧ 未登録者用の Order の方法

「 Non Registered Customer」を選択する

注1) *のついている項目は依頼するための必須入力項目である。

- Choose delivery method (送付方法) Mail, FAX
- Choose reply method (連絡方法) Email,...
- Payment (支払方法) Credit card, Debit card

必要項目を入力後「 Submit Order 」をクリックする。注文完了。

「 Ordering 」の画面

Registered Customer (Standard service) Registered Customer (LEXICON service)
 Non Registered Customer

* Indicates essential information

Please complete the request details as fully as possible:

Bibliographic Details

| Publication Details | | Article Details | |
|----------------------|--|-----------------|--|
| Title | <input type="text" value="EUROPEAN JOURNAL OF"/> | Article Title | <input type="text"/> |
| Author/Editor | <input type="text"/> | Author | <input type="text"/> |
| Year | <input type="text"/> | Volume | <input type="text"/> |
| Part/Edition | <input type="text"/> | Pages | <input type="text"/> |
| Publisher | <input type="text"/> | ISSN/ISBN | <input type="text" value="11610301"/> |
| Place of Publication | <input type="text"/> | Shelfmark | <input type="text" value="3829.722150"/> |

Current copyright fee: GBP 13.50

Additional Details

Requester Details

* Name

* Address

* Town/City

* County/State

「 Ordering 」 の画面から続く

| | |
|-----------------|----------------------|
| * Country | <input type="text"/> |
| * Post/Zip Code | <input type="text"/> |
| * Phone | <input type="text"/> |
| Fax | <input type="text"/> |
| Email | <input type="text"/> |

Different delivery address

If you require an alternative delivery address, complete the details below. If no alternative address is required go to delivery and payment options.

| | |
|---------------|----------------------|
| Name | <input type="text"/> |
| Address | <input type="text"/> |
| | <input type="text"/> |
| | <input type="text"/> |
| Town/City | <input type="text"/> |
| County/State | <input type="text"/> |
| Country | <input type="text"/> |
| Post/Zip Code | <input type="text"/> |
| Phone | <input type="text"/> |
| Fax | <input type="text"/> |
| Email | <input type="text"/> |

Delivery, reply and payment options

Please select a service option, followed by a delivery method. Payment is by credit or debit card only. Please complete the details below before submitting your request.

Choose service

Choose delivery method

If fax, ensure fax no. is entered in address details above.

If Ariel give IP address

Choose reply method

Credit / Debit card details:

Please note: this form is encrypted - your card details will be securely transferred to our server.

If you do not wish to send credit card information, even with a secured form, tick this box and do not complete the card details. We will contact you by telephone to arrange the transaction.

*Card account number

*Expiry date

*Card account name and initials

*Issuing bank

Security code

Start date (American Express only)

Issue no. (Switch only)

VAT/IVA/MWst/TVA (etc.) number

<その他の Order の方法>

その他 Web のなかでも注文する方法があります。

<http://www.bl.uk>

「 Help 」から入り「 Registration 」をクリックし、「Ordering documents Online 」を選択して入る。

- BLPC — Search and order document
- ARTWeb—より簡単な依頼方法

URL : <http://www.bl.uk/services/document/artwebin.html>

- Articles Direct
- The LEXICON document order form

更に Web 以外での依頼方法として、ARTTel, Email, etc. は「 Online and other document ordering methods 」を参照。

<Back-up サービス及び料金について>

* 「 Help 」から入り「 Registration 」をクリックする。

Back-up サービスについては「 register for our services」の copyrig「 International photocopy Service 」に入る。

Standard Service —Copy —Extended Search(Back-up) Service で Back-up のサービスについての案内がある。

料金については International prices と US prices を見ることができる。

[資料 1]

注文画面の入力項目

入力項目は以下が用意されています。※のマークのついた項目は必ず入力が必要です。

| Registered Customer (Standard service) | | Registered Customer (LEXICON service) | | Non Registered Customer | |
|--|---|--|-----------------------------|--|--|
| * Indicates essential information Please complete the request details as fully as possible: | | | | | |
| ① | Bibliographic Details | Publication Details | | Article Details | |
| | | Title: ACCOUNTING AND BUSINESS | | Article Title: Disclosure of proprietary information | |
| | | Author/Editor: _____ | | Author: Wagenhofer, A. | |
| | | Year: 2000 | Volume: 31 | Pages: 67-70 | |
| | | Part/Edition: 1 | | | |
| | | Publisher: Inst. of Chartered Accountants | | ISSN/ISBN: 00014788 | |
| | | Place of Publication: UK | | Shelfmark: 0573.588000 | |
| | | Series: _____ | | | |
| | | Current copyright fee: GBP 2.50 | | | |
| | Additional Details | _____ | | | |
| ② | Customer Details | | | | |
| | - DSC Customer Code | 29-0093 | | | |
| | - DSC ART Password | ***** | | | |
| | - Request Number | RZ-2001013 | | | |
| ③ | Message Keyword Code | | | | |
| ④ | Select a delivery method: | Photocopy | | | |
| ⑤ | Select a search level: Choose from UK and Ireland or International drop down list. | UK and Ireland customers Select a search level... International customers Select a search level... UK and Ireland customers NONE International customers NONE | | | |
| ⑥ | Reapply for an extended search: Choose from this option only if you are reapplying for an extended search. | UK and Ireland customers NONE International customers NONE | | | |
| ⑦ | Any other requirements: | Type: Microform unacceptable | Translation/microform: NONE | | |
| ⑧ | Waiting list options: | If the item is not immediately available, do you want to be added to a waiting list? Do not add my request to a waiting list | | | |
| ⑨ | Other reapplications, chasers, renewals, etc.: | NONE Message (for Cancellations and Recalls only) | | | |
| ⑩ | Alternative Delivery Address (only if different from usual address) | | | | |
| | Address1 | _____ | | | |
| | Address2 | _____ | | | |
| | Town/City | _____ | | | |
| | County/Postcode | _____ | | | |
| | Country | _____ | | | |

①Bibliographic Details : 用意されている項目に従い、書誌事項を入力します。

②Customer Details

DSC Customer Code : Account Number (29-XXXX)

DSC ART Password : ARTTel のパスワード

Request Number : 任意の 10 桁の注文番号を入力します。

番号の書式は決まっています。非営利団体で著作権料金の支払って複製を入手 (Copyright Fee Paid Photocopy Service を利用) する場合、注文番号は必ず「RZ」から始めます。

督促 (Chaser) ・再注文 (reapplication) の場合は、該当の注文番号を入力します。

③Message Keyword Code : 注文・依頼内容にあわせて選択します。

④Select a Delivery Method : 提供方法を選択します。FAX、ARIEL 以外は、国際郵便で送付されます。

| | |
|---------------------------------|--|
| Photocopy | ハードコピーで提供 |
| Loan※ | 貸出しサービス |
| Copyright fee paid Photocopy | 著作権料金を支払って複写を入手する場合に選択 (営利団体では指定する必要ありません) |
| Fax delivery※ | FAX で提供を受ける場合は選択 FXBK01 で登録された番号に送信する場合は delivery1、 FXBK02 は delivery2、FXBK03 は delivery3 を選択して下さい |
| Ariel delivery※ | Ariel で提供を受ける場合は選択 |

※いずれもあらかじめ利用登録が必要です。

⑤Select a search level : Backup Search (Extended Search) を行う場合は、International Customers のボックスから、「Backup search」を選択します。
Backup Search は追加料金がかかります。

⑥Reapply for an extended search : BLDSC に所蔵がないため解約された注文に対して、Backup Search の依頼を行う場合に「Reapplication for Extended Search」を選択します。

⑦Any other requirements : Type および Translation / microform から該当する項目を選択します。

Type :

| | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| NONE | 指定無し |
| Copyright fee paid photocopy | 著作権料金を支払って複写を入手する (非営利団体のみ指定が必要です。) |
| Home reading | (選択できません) |
| Music | 楽譜など音楽関連の文献を注文する場合に、指定します。 |
| Patent | 特許資料を注文する場合、選択します。 |
| UK Thesis | 学位論文を注文する場合、指定します。 |
| Microform unacceptable | マイクロフィルム・マイクロフィッシュでの提供は受けない。 |

Translation / microform : 英語の雑誌の指定、マイクロの提供の可否

| | |
|-------------------------|---|
| Translation only | 英語へ翻訳された文献の所蔵があればそれを提供。ない場合は解約とする。 |
| Translation if possible | 英語に翻訳された文献の所蔵があればそれを提供。ない場合はオリジナルの言語の文献を提供。 |
| Microform unacceptable | マイクロフィルム・マイクロフィッシュでの提供は受けない。 |

⑧Waiting list options : 該当資料が購入手続き中や貸し出し中の場合、注文は「Waiting List (順番待ちのリスト)」に載ります。
注文を行うにあたって、Waiting List に載せない (提供できない場合は、すぐ解約をする) 指定が可能です。
この場合、「Do not add my request to a waiting list」を選択します。

⑨Other reapplications : 督促・貸出しの延長などの依頼を行います。

| | |
|--------------|---|
| Cancellation | Waiting List からの解約* 選択ボックス下の「Message」に「Please remove from waiting list」と入力します。 |
| Chaser | 未着文献の督促。4週間経っても入荷しない場合、督促して下さい。 Backup Search を指定した場合、6週間経過していないと督促できません。 |

| | |
|---|---|
| Reapplication | 再注文。書誌事項を訂正、コメント付けて再注文する場合。 選択ボックス下の「Message」に「Additional cost accepted」と入力 します。 |
| Renew loan | 貸出しの更新。BLDSC から返却の督促がない場合、貸出しの更新が できます。 |
| Recall response | BLDSC から返却の督促 (DUE) を受けた場合、すでに返却した旨連 絡します。 選択ボックス下の「Message」に「This item was returned (返却 日)」と入力します。 |
| Recall - another waiting - final reminder | BLDSC から返却の督促 (DUE WAIT / DUE BILL) を受けた場合、 すでに返却した旨を必ず連絡します。選択ボックス下の「Message」 に「This item was returned (返却日)」と入力します。 |

※ 解約は Waiting List に載った注文以外、受け付けられません。

またすでに複写または現物を送付している場合、解約は受け付けられません。

⑩ Alternative Delivery Address : 注文を登録以外の住所に送付する「ADD Address」オプションを利用される
場合は、Alternative delivery address の覧に送付先所を入力します。

注) 「注文画面の入力項目」は 紀伊国屋書店 電子情報部作成の「BLPC の利用
ガイド」のものから掲載いたしました。

[資料 2]

NACSIS-ILL からの BLDSC への「複写依頼詳細表示」の例

複写依頼詳細表示

>

<LA0078133072> 未処理 OMLNM: OMLID:FA AMLNM:BLDSC AMLID:BLDSC
ACCT:pr, TYPE:電子複写 ONO:01-3.
BIB:<HB0111596X>BULLETIN- COLLEGE OF SPEECH THERAPISTS LONDON. (ISSN=09536086)
VLNO:453 PAGE:2-3 YEAR:1990
ARTCL:Burgess, J. and Bransby, G. "An evaluation of the speech and language skills
of children with emotional and behavioural problems."
HMLID:BLDSC HMLNM:BLDSC CLN:2448.760000
CLNT: CLNTP:心理教員
ODATE:20011109
[20011109.11:28:33 ORDER FA]
OSTAF:参考係 TEL= FAX=
OADRS:〒
御中
[End of Data]

[資料 3]

ARTWeb で注文後の受領確認の例

Date: Wed, 30 Jan 2002 05:13 GMT
From: ARTEmail@art.bl.uk
Message-Id: <00A08CD547D4B2D8.F834@art.bl.uk>
To:
subject: ARTEmail Transmission Reference Number: MBD11242
System: *
X-VMS-To: SMTP%"shinsaku@tamajs.chuo-u.ac.jp"
X-Virus-Scanned: by AMaViS perl-11
X-UIDL: I#c!!<g5"!i?"!W7_!!

Your file has been ACCEPTED by ARTEmail
Details follow...

Electronic Mail from Customer 29-0001
UNIVERSITY LIBRARY
REFERENCE ROOM
ATTN:

No of First and Last

Transmission Time STATE Reqs Request Nos.

30-JAN-02 05:11 ACCEPTED 1 TXMBD11287 AW105PHOTO WLX
TXMBD11287 AW105PHOTO WLX

END OF CONFIRMATION OF RECEIPT OF REQUEST TRANSMISSION

参考文献及び引用文献

- 1) 伊藤民雄「インターネットで文献探索」 2000 版 日本図書館協会 2001
- 2) 学術情報センター「ILL システム操作マニュアル」 第4 版 1999
- 3) “The British Library Public Catalogue(BLPC)に Text only Version が追加”
「KINOLINE」 Vol.23 No.1 2002 p10
- 4) “The British Library OPAC97 バージョンアップ” 「KINOLINE」 Vol.22 No.2
2001 p3

[BLPC 以外での主な英国内のユーティリティ]

COPAC について <http://www.copac.ac.uk/copac/>

COPAC は Cambridge, Edinburgh, Oxford, Glasgow, Leed university 等、UK とアイルランドを代表する大学図書館のユーティリティで、Consortium of University Research library(CURL)の23大学の内、20の大学が参加している。また COPAC は MIMAS のサービスの一つである。*MIMAS(Manchester information & Associated services)

8 million record を超える書誌レコードをもち、西暦1100年から現在に至るまで検索対象となっているが、主に1980年以降に出版された資料が42%をしめる。

検索は① Author/Title Search ② Periodical Search ③ Subject Search がある。文献複写の依頼は The British Library を通してすることができる。(FAQ Page のと所蔵及び Class mark, Status(例 : Not on Loan)等が確認できる。

COPAC の画面



COPAC Full Records

Search terms: per=11610301 (sorted on).

Displaying record 1 of 2.

- Title Details: European journal of agronomy : the journal of the European Society for Agronomy
Publisher: Colmar : Gauthier-Villars
Physical Desc.: v : ill ; 28 cm
ISSN: 11610301
Notes: Current frequency: Quarterly
Title from cover
Vol. 1, no. 1- also called: 1992, 1-
Subject(s): Agronomy - Europe - Periodicals
Document Type: Periodical
Language: Unspecified

For holdings information select a library from those below. Those marked † give current availability.

Holding Libraries: Nottingham



(3) フランス

①複写

フランス語の文献を国内で入手することができず、海外から複写を取り寄せたい場合、The British Library(BL)で所蔵している資料であればそこに依頼した方が無難である。BLで所蔵していない、謝絶されたなどの場合に、Bibliothèque Nationale de France (BNF)に依頼すればよいのではないだろうか。その大きな理由のひとつは、BLは入手期間が非常に短いということである。(詳細は(2)イギリスを参照のこと。)一方BNFは、インターネットで依頼するにしても、まず見積書が届くまで一ヶ月程かかり、それを元に支払いをすることにより依頼が確定されるのだが、BNF側が納金を確認してから2～3週間以内に発送作業に入るので、結果文献入手まで最短でも2ヶ月近くはみなければならないことになる。なお、フランス国内でより迅速に対応してくれる図書館も他にあることと思うが、ここでは一例として紹介するつもりである。

さてBNFへの依頼方法としては、郵便、FAX、電話でも可能だが、最も早くて便利であると思われるe-mailによる複写依頼の一例を紹介する。なお、BNFの依頼先住所、電話番号等のアドレスや支払方法については下記のホームページを参照されたい。

《BNFのReprographic services》

http://www.bnf.fr/site_bnf_eng/praticgb/reprogb.htm

1. BNFへe-mailにより依頼する

a.OPACで所蔵を確認する。(資料1、2)

<http://www.bnf.fr/pages/catalog/catla.htm>

b.メールにて依頼する。(資料3)

e-mail :reproduction@bnf.fr

c.受付完了のメッセージ

送信機能等に問題がなく送られた場合は、依頼受付の回答(資料4)が5分程で返信されてくる。ただし、これは機械的に受付けているようなので、依頼内容に問題がある場合は後日別途連絡が来る。なお、このメールに対して返信する必要はない。

d.3週間程して見積書(資料5)が届く。

e.国際郵便為替で支払う。

支払方法は、郵便為替、銀行小切手など様々な手段が可能である。詳細は上記ホームページ(Reprographic services)の“Payment”を参照のこと。

f.見積書(資料5)の下方部分に依頼者にサインと日付を記入してもらい、切り離してBNFに郵送する。なお、国際郵便為替の領収書のコピーを同封すれば安心である。

g.納金を確認されてから正式な依頼ということになり、2～3週間以内に複写作業が進められる。

h.複写物が到着する。(資料6:封筒の宛名)

②貸借

実際に借受した、または貸出依頼に回答があった事例を紹介する。

1. Bibliothèque interuniversitaire des langues orientales

<http://www.sudoc.abes.fr/>

このホームページは、フランスの大学図書館とその他の機関のOPAC (Sudoc-Catalogue) 及び住所録である。このOPACでは複数館の横断検索が可能である。所蔵確認と貸出可能な資料であることを確認すると同時に海外ILLを行っているかどうかも確認したほうがよい。ここでは、Bibliothèque interuniversitaire des langues orientales より資料を借受けした例を紹介する。

なお、事前にIDとパスワードを登録しておいて、インターネット経由で依頼することもできるようであるが、事例として紹介するまでに至らなかった。

a. 上記アドレスのSudoc-Catalogueで所蔵を確認する。(資料7～12)

* 左上の国旗マークをクリックすると英語バージョンになる。

b. IFLAの用紙を使って郵便で依頼する。(資料13)

c. 依頼を出してから約1ヶ月後に資料が到着する。

d. 支払いはバウチャーを送付する。(資料14)

2. Bibliothèque Sainte-Geneviève(サント・ジュヌビエーブ図書館)

<http://panoramix.univ-paris1.fr/BSG/index.html>

* この図書館の所蔵は上記1のOPACでも所蔵確認できる。

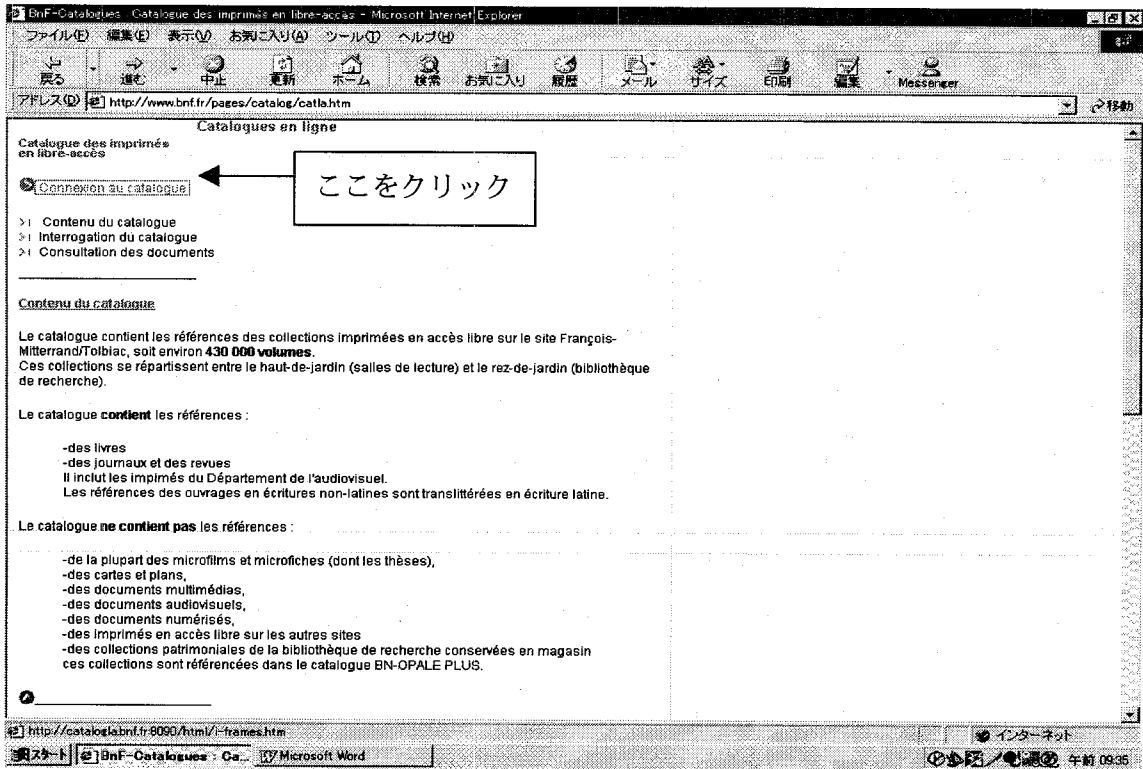
a. OPACで所蔵を確認する。上記アドレスの”Le catalogue informatisé“から検索する。(資料15～18)

b. IFLAの用紙を使って郵便で依頼する。その際資料の所在場所を明記するか、OPAC検索結果をプリントアウトしたものを同封するとよい。(資料19、20)

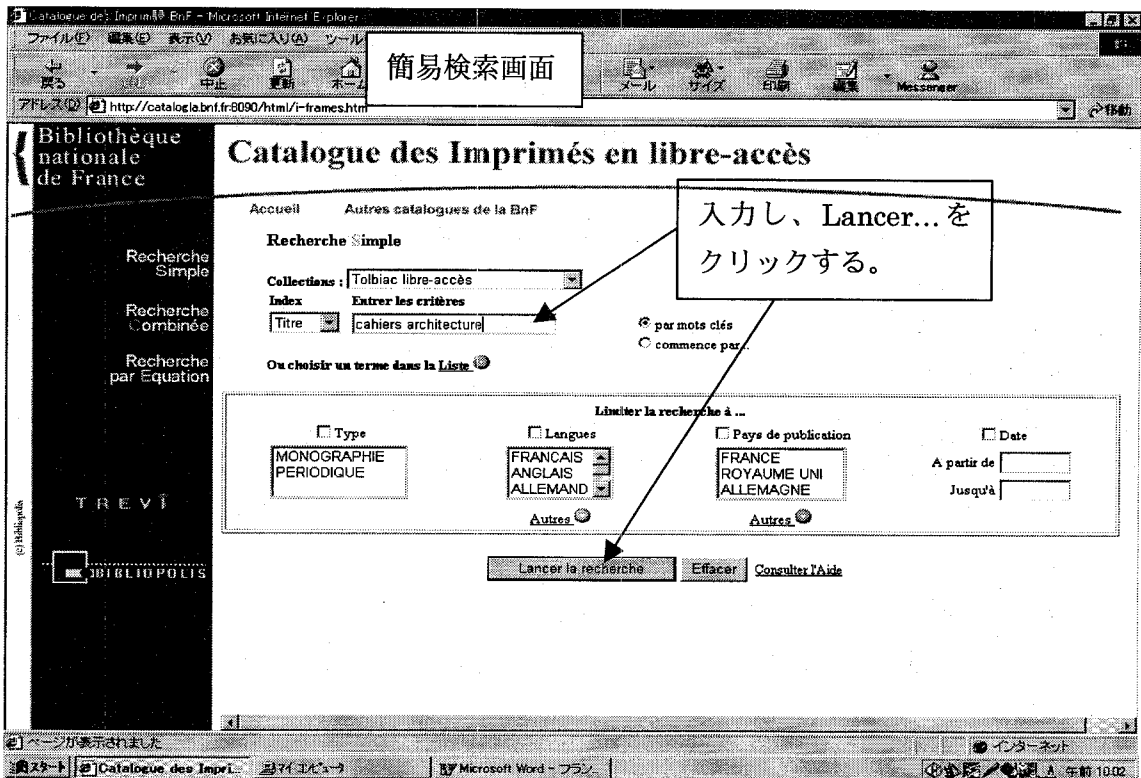
c. 郵便を送付してから、1週間くらいで受付される。見積額が記載された文書(資料21)と利用条件が記載されたもの(資料22)が送られてくるので、その条件でよければ依頼の欄にチェックをして返送する。キャンセルする場合も該当欄にチェックを入れて返送する。

d. 今回は依頼者より、キャンセルの希望が出たので最終的に貸出依頼をしなかった。(資料21のキャンセル欄にチェック、他サイン等をして文書を返送した。)

(フランス資料1)



(フランス資料2)



(2002年3月現在)

メールによる依頼画面 (依頼項目は IFLA Request Form を一部準拠した。)

宛先 : reproduction@bnf.fr

件名 : commande d'une photocopie

Bibliothèque Nationale de France
Service reproduction

Monsieur,

Un de nos usagers veut avoir une photocopie suivante.

(Périodiques)

“Les Cahiers de l'Académie d'architecture”

(Tome)

??

(Année)

1980

(Pages)

7-15

(ISSN)

0246-8824

(Notice n°)

FRBNF34366049

(Article)

A.CHASTEL “Les nouvelles dimensions du patrimoine.”

(No. de Commande)

2001-372

En attendant votre réponse, je vous prie d'agréer, monsieur, l'expression de mes sentiments distingués.

*この後に、依頼館名、住所、メールアドレス、担当者などを入力する。




CHRISTIAN.BACH@bnf.fr
2001/06/19 10:05 AM

宛先: tosho ref01
cc:
件名: R.f. : commande d' une photocopie

Nous avons bien reçu votre courrier. Nous traitons votre demande.
We've just received your mail. We will answer soon.
Hemos recibido su correo electronico y le procesamos.
Wir haben Ihr E-Mail erhalten und bemühen uns Ihren Wunsch zu befriedigen.
Service reproduction de la Bibliothèque nationale de France
Tour des Temps
Quai François Mauriac
75706 Paris cedex 13
mel : reproduction@bnf.fr
téléphone : 33 (0)1 53 79 82 22 (site François-Mitterrand)
ou 33 (0)1 53 79 82 26 (site Richelieu)
télécopie : 33 (0)1 53 79 42 60 (site François-Mitterrand)
ou 33 (0)1 42 96 93 64 (site Richelieu)
Merci de ne pas répondre à cet accusé de réception. Pour toute information
complémentaire, veuillez adresser un courrier électronique à l'adresse
"reproduction@bnf.fr"
Please don't answer this acknowledgement of receipt. For any further
information, send an e-mail to "reproduction@bnf.fr"

4カ国語で同じ内容。
このメールには返答しない。

PRIORITAIRE /
PRIORITY



€ R.F.
 30457
 LA POSTE
 BR 01087

届いた資料の封筒宛名ラベル

BIBLIOTHEQUE NATIONALE DE FRANCE
SERVICE DE REPRODUCTION
Quai François Mauriac 75013 PARIS

受付番号

REF: 2117099

DOKKO UNIV LIBRARY
REFERENCE DIVISION
GAKUEN CHO 1-1 / SOKA SHI
SAITAME KEN 340-0042
JAPON

依頼を発注した担当者名

A L'ATTENTION DE *Dokuta Soka*



Bibliothèque nationale de France

quai François Mauriac
75706 Paris cedex 13
Tél : 33 (0)1 53 79 82 22
Fax : 33 (0)1 53 79 42 60

Téléphone 180 046 252 000177
Code APE 925A
N° TVA FR 88 180 046 252
CCP Paris 30041 00001 0906364 J020 02

ORIGINAL service reproduction PROFORMA 2117099

Facture
VALABLE 3 MOIS
Travaux photographiques
A COMPTER DU : 09/11/2001

DOKKYO UNIV LIBRARY
REFERENCE DIVISION

GAKUEN CHO 1-1 / SOKA SHI
SAITAME KEN 340-0042
JAPON

adresse de livraison

DOKKYO UNIV LIBRARY
REFERENCE DIVISION

A L ATTENTION DE
MR Dokula Soka

依頼を発注した担当者名

GAKUEN CHO 1-1 / SOKA SHI
SAITAME KEN 340-0042
JAPON

受付番号

Nos références 65688
numéro de client 2117099
numéro de commande VOTRE COMMANDE DU : 29/10/2001

依頼日

vos références EUROES EUROES

| Département de collection Désignation des documents | Produit | Format | Qté | Prix unit. H.T. | Montant en FF |
|---|------------|---------|-----|--------------------|---------------|
| 01 8 0 82355 03 LES CAHIERS DE L'ACADEMIE D'ARCHITECTURE 1980 : P. 7-15 LA NOTION DE PATRIM | PHOTOCOPIE | 21x29,7 | 9 | 3,12 | 3,12 |
| TOTAL DES TRAVAUX HT en EUROS | | | | | 6,37 |
| PORT EMBALLAGE 2 en EUROS | | | | 8,96 | |
| TOTAL PORT EMBALLAGE en EUROS | | | | | 8,96 |
| TOTAL HT en EUROS | | | | | 15,33 |
| Montant TVA 0.00% en EUROS | | | | | 0,00 |
| TOTAL A PAYER en EUROS | | | | | 15,33 |
| TOTAL A PAYER EN FRANCS | | 100,56 | | | |

6,37 EUROS HT

Montant minimum des travaux :

LE PREPARATION OU UN BON DE COMMANDE POUR LES ADMINISTRATIONS FRANÇAISES EST NECESSAIRE POUR EXECUTER LES TRAVAUX.

これより下を切り離してBDFに送る。

Partie détachable à retourner obligatoirement avec le règlement (chèque ou mandat) au service reproduction à l'adresse ci-dessus.

N° de client : PF 2117099
Facture n° : 09/11/2001
Date :

Je soussigné(e) *Cen*
(nom, prénom)

依頼者のサイン

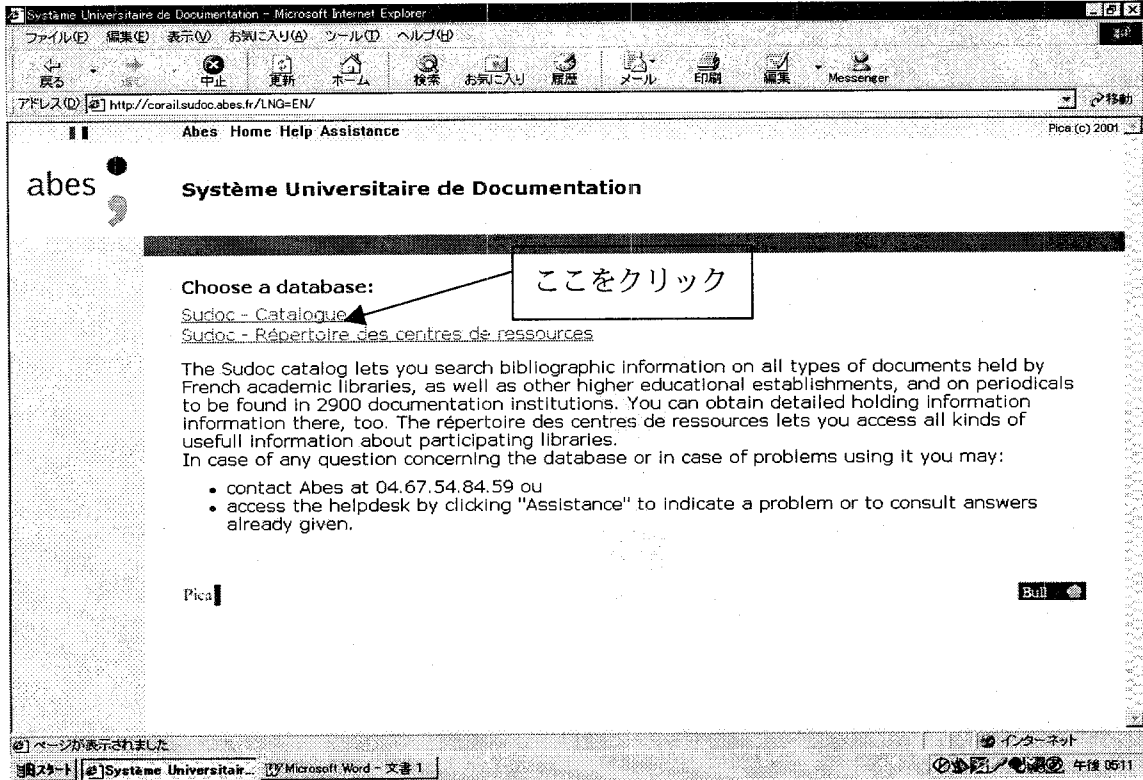
déclare avoir pris connaissance du texte au verso concernant l'usage des documents repro

Net à payer : 15,33 EUROS
100,56 FRANCS

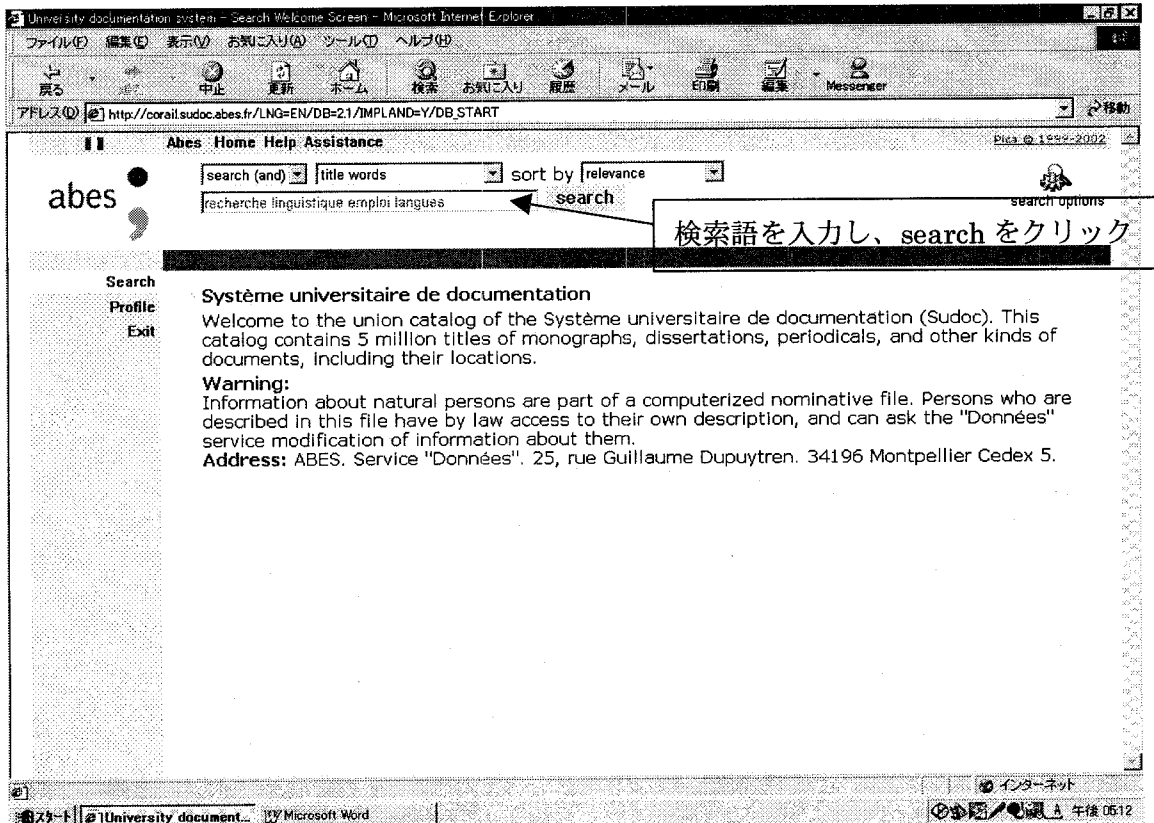
依頼者に日付とサインを記入してもらう。

Date Le 20 novembre 2001 Signature *Cen*

(フランス資料7)



(フランス資料8)



(フランス資料 9)

University documentation system - Search Full Title - Microsoft Internet Explorer

Abes Home Help Assistance

search (and) | title words | sort by | relevance

recherche linguistique emploi langues search

Search Profile Exit

Your command was:
search (and) (title words) recherche linguistique emploi langues
1 hit.
This is hit 1.

Record number: 020938837

Title: La Recherche linguistique, l'emploi et l'enseignement des langues en Afrique : les moyens de renforcer la coopération entre les états : actes de la conférence internationale, 26/30 avril 1983, Yaoundé (Cameroun)

Authors: Agence de coopération culturelle et technique
Centre régional de recherche et documentation sur les traditions orales et pour le développement des langues africaines (Yaoundé, Cameroon)

Date: [1983?]

Publisher: Paris : Agence de coopération culturelle et technique ; Yaoundé, Cameroun : CERDOTOLA

Description: 347 p. : ill. ; 21 cm

Notes: Includes bibliographical references.. - Première partie. Compte rendu des travaux. - Deuxième partie. Documents

Subjects: Langage et langues -- Etude et enseignement -- Afrique
Linguistics -- Research -- Africa
Languages, Modern -- Study and teaching -- Africa
Linguistique -- Recherche -- Afrique
Africa -- Languages
PL8005

Available を クリックする。

(フランス資料 10)

University documentation system - Holding information - Microsoft Internet Explorer

Abes Home Help Assistance

search (and) | title words | sort by | relevance

recherche linguistique emploi langues search

Search Profile Exit

Your command was:
search (and) (title words) recherche linguistique emploi langues
1 hit.
This is hit 1.

Title: La Recherche linguistique, l'emploi et l'enseignement des langues en Afrique : les moyens de renforcer la coopération entre les états : actes de la conférence internationale, 26/30 avril 1983, Yaoundé (Cameroun)

Author: Agence de coopération culturelle et technique

Availability information institutes

PARIS-Bibl.Langues Orientales

Please note that not all material is available for loan.

Download Save Loan Photocopy

クリックする

(フランス資料 11)

University documentation system - Holding information - Microsoft Internet Explorer
アドレス http://corail.sudoc.abes.fr/DB-21/SET-2/TTL-1/SHW?FRST-8PRS-HOL&INST-PICA&HLIB=751072101#751072101

Search
Profile
Exit

Your command was:
search (and) (title words) recherche linguistique emploi langues
1 hit.
This is hit 1.

Title: La Recherche linguistique, l'emploi et l'enseignement des langues en Afrique : les moyens de renforcer la coopération entre les états : actes de la conférence internationale, 26/30 avril 1983, Yaoundé (Cameroun)
Author: Agence de coopération culturelle et technique

Availability information institutes

PARIS-Bibl.Langues Orientales

Library: PARIS-Bibl.Langues Orientales
Availability: Disponible pour le PEB
Shelf number: GEN.III.31370

Please note that not all material is available for loan.

Download Save Loan Photocopy

貸出可能、請求番号などを確認

(2002年2月現在)

(フランス資料 12)

RBCCN number: 751072101
Name: BIBLIOTHEQUE INTERUNIVERSITAIRE DES LANGUES ORIENTALES
Main institution: UNIVERSITE PARIS 3 SORBONNE NOUVELLE

Address: BIBLIOTHEQUE INTERUNIVERSITAIRE DES LANGUES ORIENTALES
4, rue de Lille
75007 PARIS

Helpdesk: 01.44.77.87.20
Lending phone: 01.44.77.95.04 (PEB)
Fax: 01.44.77.87.30

Access possibilities: Réservé tous publics sur inscription obligatoire gratuite
Opening hours and periods: Du 1er octobre au 13 juillet:lundi 13h-19h, mardi a vendredi 9h-19h, samedi 10h-18h. Du 15 juillet au 11 aout et du 1 septembre au 24 septembre:du lundi au vendredi 13h-19h
Closing hours and periods: 15-31 aout ; vacances de Noel et 1 semaine pour les vacances de Paques
Lending outside institution: Lending outside institution: Oui Pret a domicile aux étudiants, enseignants et chercheurs INALCO, Paris 3, Paris 7, Paris 8 des ouvrages de moins de 20 ans

Disciplines: Dewey: 93
Branch: R05

Services: Bibliographical information: by mail
Inter library loan: Photocopies, Microcopies, Télécopies
Other services: CD-ROM : Myriade, DocTheses, Francis, B.N.F., C.G.I., Index islamicus, Internet
Domaines : Asie, Europe centrale et orientale, Moyen-Orient et Afrique, Oceanie Réseau documentaire : programme conjoint avec la BNF "pole associe" en langues orientales et particulièrement pour les langues Bengali, Birman, Hindi, Indonésiennes, Ourdou, Tamoul, Thai et Tibétaines

Other informations:

I.F.L.A. INTERNATIONAL LOAN/PHOTOCOPY REQUEST FORM
FORMULAIRE DE DEMANDE DE PRET/PHOTOCOPIE INTERNATIONALE
COPY D EXEMPLAIRE D

Request ref. no/Patron identifier
No. de Commande/identité de lecteur
B2000-80

Borrowing library's address
Adresse de la bibliothèque emprunteuse
Bibliothèque interuniversitaire des langues
orientales
4, rue de Lille
75007 PARIS
FRANCE

| | |
|------------------------------|---|
| Needed by Demande avant | Quote if cost exceeds Prix si plus que |
| Shelfmark Océanides | |
| Request for: Commande de: | <input checked="" type="checkbox"/> Loan Prêt <input checked="" type="checkbox"/> Photocopy Photocopie <input type="checkbox"/> Microform |
| Report/Response | |

Books: Author, title - Livres: Auteur, titre / Serials: Title, article title, author - Périodiques: Titre, titre de l'article, auteur

La Recherche linguistique, l'emploi et l'enseignement
des langues en Afrique: les moyens de renforcer la coopération
entre les états: Actes...

12 DEC. 2000 LENT FOR A MONTH

Place of Publication
Lieu de publication

Publisher
Editeur

FOR USE IN LIBRARY ONLY

| | | | | |
|------------|-------------|----------|-------|-----------|
| Year-Annee | Volume-Tome | Part-No. | Pages | ISBN/ISSN |
| 1983? | | | 347p | |

Edition
Source of verification/reference
Référence bibliographique/Verification

n° 000000 138

Lending library's address/adresse de la bibliothèque prêteuse

DOKKYO UNIVERSITY LIBRARY
REFERENCE DIVISION
Gakuen-cho 1-1, Soka-
Saitama-ken
340-0042
JAPAN

利用条件、期限などが記入されて返送される。

- Part not held/Volume/fascicule non detenu
- Title not held/nous n'avons pas ce titre
- Not traced/Ne figure pas dans cette bibl.
- Not for loan/Exclu de prêt
- Copyright restrictions
- Not immediately available. Reapply in weeks
Non disponible actuellement. Renouvelez la demande dans semaines
- Lent until/Prêté jusqu'au 12 janvier 2001

consultation is required only for the private study.
consultation sur place uniquement
consultation is required only for the private study.
consultation est requise uniquement pour l'étude privée

Signature: Taketoku UCHIMURA
Date: 22.11.2000

(フランス資料 14)

Université Paris III
Sorbonne Nouvelle

Paris, 12 décembre 2000

BIBLIOTHEQUE INTERUNIVERSITAIRE
DES LANGUES ORIENTALES

4, rue de Lille - 75007 PARIS

Tél. : 01.44.77.87.28 - Fax 01.44.77.87.30

DOKKYO UNIVERSITY LIBRARY
REFERENCE DIVISION Gakuen-ch
1-1, Soka-shi
Saitama-ken 340-0042
SOKA-CHI

N° Facture : N° E 41

INTERLIBRARY LOAN CHARGES :

LOAN.....1 IFLA VOUCHER COUPON
15 PAGES FOR PHOTOCOPIES.....1 IFLA VOUCHER COUPON

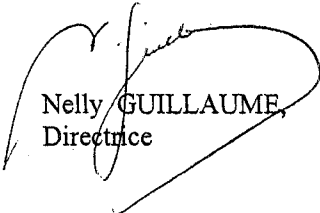
SEE ATTACHED

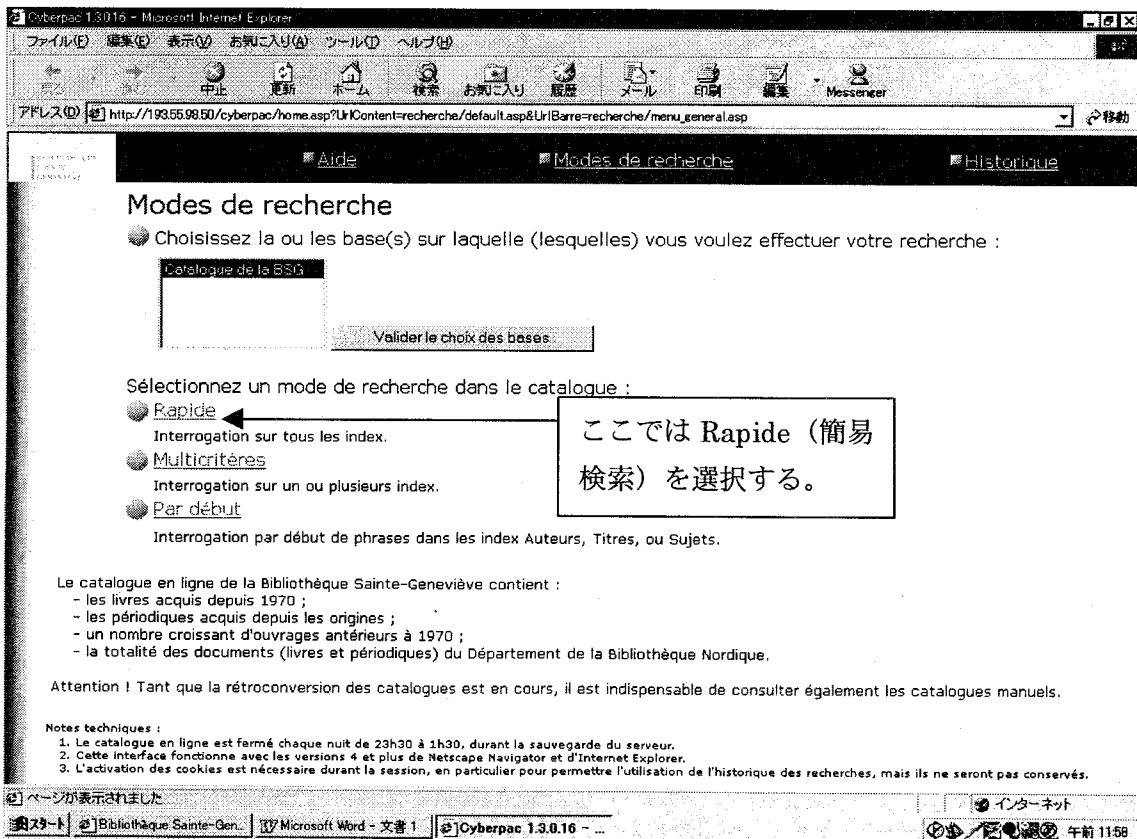
| Id pay | Num Dem | Titre | Date | Intitulé | Qté | Prix U | Coût |
|--------|-----------|------------|----------|---------------|-----|--------|------|
| | 000000138 | La recherc | 20001212 | Pret Etranger | 1 | 1.00 | 1.00 |

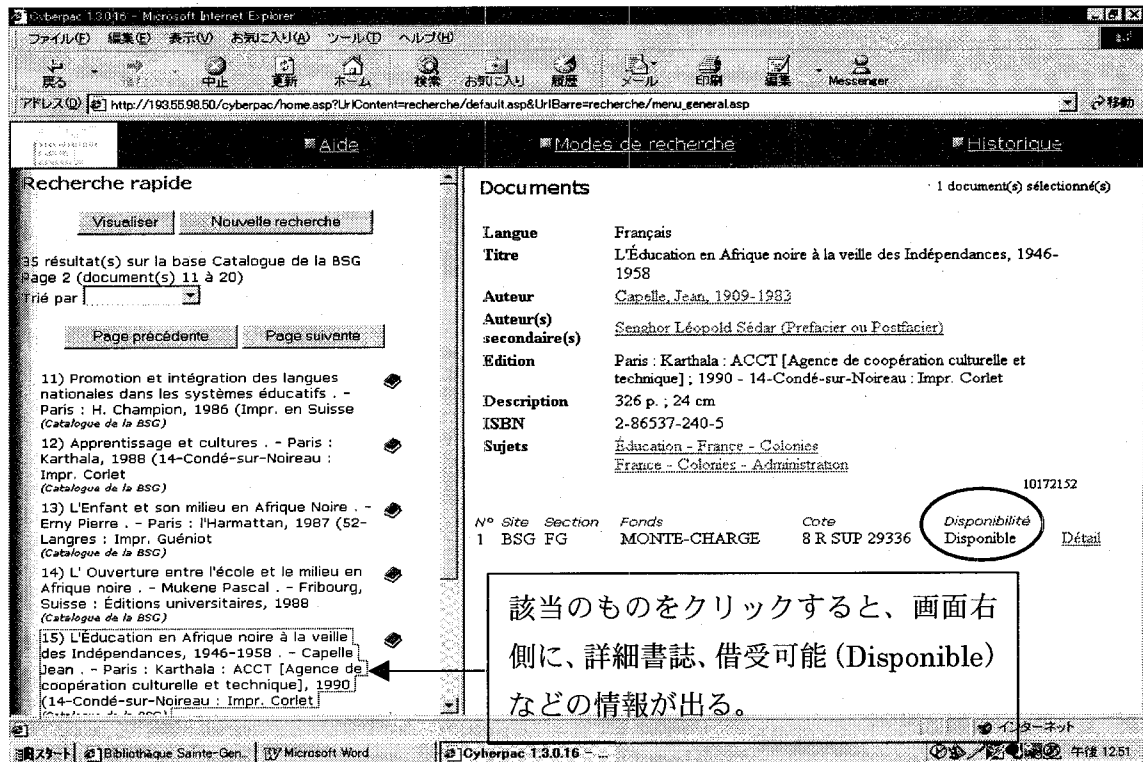
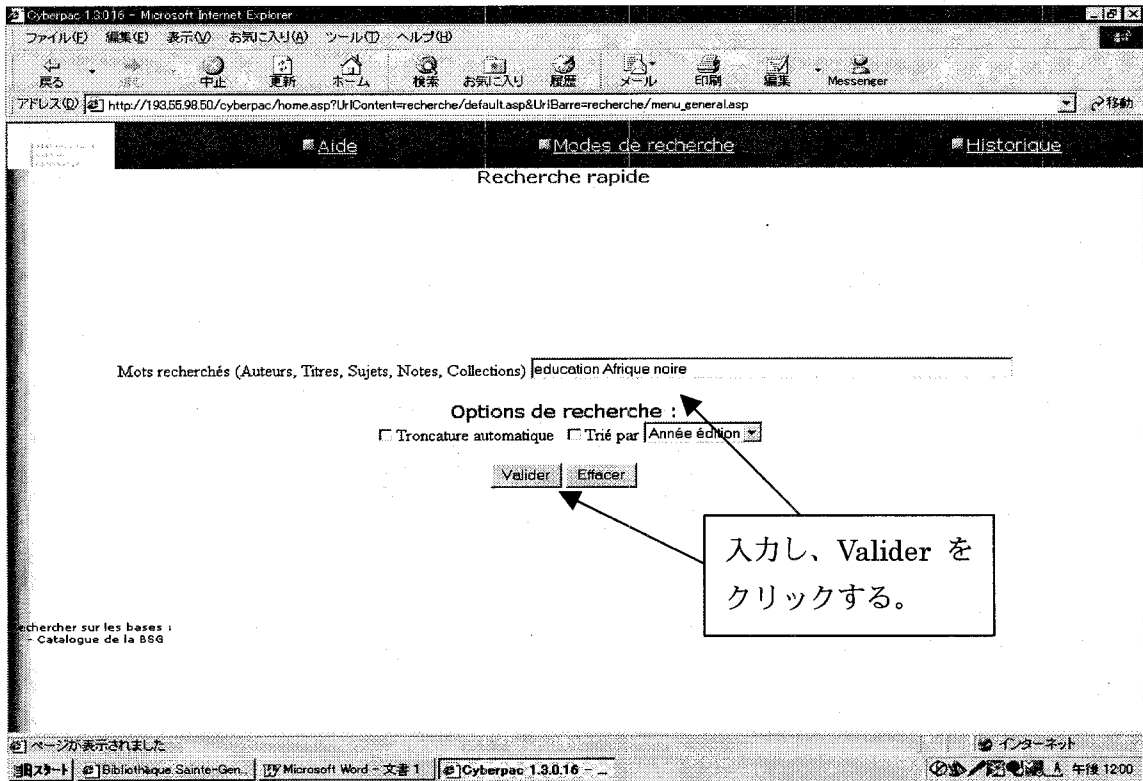
TOTAL : 1.00 IFLA VOUCHER COUPON

Please, return a copy of this invoice with your payment

Mail to : Bibliothèque Interuniversitaire des Langues Orientales
4, Rue de Lille
75007 PARIS - FRANCE


Nelly GUILLAUME,
Directrice





I.F.L.A. INTERNATIONAL LOAN/PHOTOCOPY REQUEST FORM
FORMULAIRE DE DEMANDE DE PRET/PHOTOCOPIE INTERNATIONAL
COPY B EXEMPLAIRE B

Request ref. no/Patron Identifier
No. de Commande/identité de lecteur

B2000-76

Borrowing library's address
Adresse de la bibliothèque emprunteuse

Bibliothèque Sainte-Geneviève
10, place du Panthéon, 75005 Paris
France

Needed by
Demande avant

Quote if cost exceeds
Prix si plus que

Shelfmark
Cote de placement 8 R sup 29336

Request for:
Commande de: Loan Prêt Photocopy Photocopie Microform

Report response

Books: Author, title - Livres: Auteur, titre / Serials: Titre, article titre, author - Périodiques: Titre, titre de l'article, auteur

L'Education en Afrique noire à la veille
des Indépendances, 1946-1958

Part not held/Volume/fascicule non detenu

Title not held/nous n'avons pas ce titre

Title not held/Le titre ne figure pas dans cette bibl.

Not for loan/Exclu de prêt

Copyright restrictions

Not immediately available. Reapply in week

Non disponible actuellement. Renouvelez la
demande dans semaines

Lent until/Prêté jusqu'au

Use in library only/A consulter sur place uniquement

I declare that this publication is required only for the
purpose of research or private study.
Je déclare que cette publication n'est demandée qu'à des
fins de recherche ou d'étude privée

Signature *S. de H. M.*

Date 1e 7 Novembre 2000

15 NOV 2000

Bibl. Sainte Geneviève

10, pl. du Panthéon

75005 PARIS

受付印

Place of Publication
Lieu de publication

Publisher
Editeur

Year-Année
1990

Volume-Tome

Part-No.

Pages

ISBN/ISSN
2-86537-240-5

Edition

Source of verification/reference
Référence bibliographique/Verification

Lending library's address/adresse de la bibliothèque prêteuse

DOKKYO UNIVERSITY LIBRARY
REFERENCE DIVISION
Gakuen-cho 1-1, Soka-shi
Saitama-ken 340-0042
JAPAN

Documents

document n° 3/5

Précédent Suivant

■ L'Éducation en Afrique noire à la veille des Indépendances, 1946-1958

Capelle Jean | Karthala 1990

■ Exemplaires

| | site | section | fonds | cote | disponibilité |
|---|------|---------|--------------|---------------|---------------|
| 1 | BSG | FG | MONTE-CHARGE | 8 R SUP 29336 | Disponible |

■ Notice bibliographique

Titre : L'Éducation en Afrique noire à la veille des Indépendances, 1946-1958

Auteur : Capelle Jean 1909-1983

Coauteurs : Senghor Léopold Sédar

Editeur : Karthala ACCT [Agence de coopération culturelle et technique]

Lieu d'édition : Paris

Année d'édition : 1990

Langue : Français

Collation : 326 p. ; 24 cm

ISBN : 2-86537-240-5

Sujets : Éducation - France

Sujets géographiques : France

15 NOV 2000

Bibl. Sainte Geneviève

10, pl. du Panthéon

75005 PARIS

10172152



10 PLACE DU PANTHEON, 75055 PARIS - TEL 44 41 97 97 - FAX 44 41 97 96

Paris, le 5 Nov. 2000

Réf : NJ/OA/95/199

Dokkyo Univ. Libr.
Reference Division
Gakuen-dou 1-1, Soka-shi
Saitama-ken 840-0042-Japan

Monsieur le Directeur,

La Bibliothèque Sainte-Geneviève prête des ouvrages aux bibliothèques étrangères selon les modalités précisées dans le règlement ci-joint.

Les frais de port pour l'ouvrage dont vous sollicitez le prêt

Auteur : Capelle J.

Titre : L'éducation en Afrique noire

Cote : R 29336

s'élèvent à 77⁰⁰ FF (retour non compris)

貸出料金 (送料) : 返却分は含まれない

Si vous acceptez ces conditions, vous voudrez bien me renvoyer la présente lettre, complétée, datée et signée, avec votre bulletin de demande. L'ouvrage vous sera alors expédié avec la facture. Votre règlement devra être effectué, dès réception de cette facture, soit par chèque bancaire, soit par virement postal (CCP de la Bibliothèque Sainte-Geneviève : 909891-T Paris).

依頼

J'accepte les conditions de prêt pour l'ouvrage référencé ci-dessus et je confirme la demande.

キャンセル

Je n'accepte pas les conditions de prêt pour l'ouvrage référencé ci-dessus et je renonce à la demande.

Date

Signature

Cachet

日付、サインを記入し、Cachet (公印) を押す。

Le Directeur de la Bibliothèque
Sainte-Geneviève

Nathalie JUSTAN

(フランス資料 21-2)

Bibliothèque Sainte-Geneviève(サント・ジュヌビエーブ図書館)

Réf.:NJ/OA/95/199

図書館各位

サント・ジュヌビエーブ図書館は、同封の明確にされた規定に従い海外の図書館に資料を貸出します。

貸出要請のあった資料の送料 (は以下の通り)

著者 : Capelle.J.

タイトル : L'éducation en Afrique noire

請求番号 : R sup 29336

料金 : 77 フラン (返却分は含まれていない)

この条件でよければ、本状に日付、サインを記入し、貸出要望書とともに送り返してください。資料はインボイスと共に送られます。そのインボイス受領後、直ちに銀行チェックか郵便振替により支払を行ってください。

私は上記に示された貸出条件を受け入れ、依頼する。

私は上記に示された貸出条件を受け入れないので、キャンセルする。

日付

署名

公印

* 上記訳文は、意味を損わない範囲で意識している個所があります。



10, PLACE DU PANTHEON - 75005 PARIS - Téléphone : 44 41 97 97 - Télécopie : 44 41 97 96

PRET ENTRE BIBLIOTHEQUES

NOTE A L'USAGE DES BIBLIOTHEQUES EMPRUNTEUSES ETRANGERES

- La consultation des ouvrages prêtés doit se faire exclusivement sur place sous la responsabilité de la bibliothèque emprunteuse, aucun ouvrage, quel qu'il soit, ne peut être emprunté à domicile, par qui que ce soit.
- Le délai de prêt est de 15 jours maximum, à réception de l'ouvrage.
- La bibliothèque emprunteuse s'engage à respecter les dates sous peine d'exclusion.
- La bibliothèque emprunteuse est dans tous les cas responsable du document emprunté depuis son expédition par la bibliothèque prêteuse jusqu'à son retour dans la bibliothèque prêteuse. (B.O. n° 26 du 27 juin 1985).

- Sont **EXCLUS** du prêt :
 - . les microformes
 - . les usuels
 - . les périodiques
 - . les ouvrages : précieux
en mauvais état
édités avant 1900
mis au programme de concours
dits de référence ou classiques
les ouvrages de vulgarisation, les romans
en vente à moins de 100 F.

- Nous privilégions l'envoi d'ouvrages à caractère universitaire.
- Les photocopies d'articles de périodiques sont facturées au tarif de l' Education Nationale.
- Le prêt d'un ouvrage est payant.
- Le montant des frais de port à acquitter (retour non compris) est communiqué par lettre à la bibliothèque emprunteuse.
- Après avoir reçu l'accord de la bibliothèque emprunteuse, la Bibliothèque Sainte-Geneviève expédie l'ouvrage avec la facture.
- Le règlement doit être effectué par la bibliothèque emprunteuse, dès réception de la facture, soit par chèque bancaire, soit par virement postal (CCP de la Bibliothèque Sainte-Geneviève : 909891-T Paris).
- Le non respect des conditions de prêt entraîne la suspension de ce service.

Nathalie JULLIAN

Directeur de la Bibliothèque
Sainte-Geneviève

Bibliothèque Sainte Geneviève(サント・ジュヌビエーブ図書館)

図書館間貸出

海外への資料貸出規定

- いかなる借受け資料も、いかなる利用者であろうとも借受け館の責任の下に館内で閲覧しなければならない。
- 貸出期間は資料が届いてから最長で15日間である。
- 貸出期限を守らなければ、以後の貸出は出来ない。
- 借受け館は、貸出館が発送してから(利用後)返却されて貸出館に戻るまで借りた資料に全ての責任を持たなければならない。

- 貸出除外の資料 : マイクロフィルム
 常備図書(開架の辞書、事典など)
 定期刊行物
 貴重書
 状態の悪いもの
 1900年以前に発行されたもの
 教員資格試験対象図書
 古典的な参考図書
 小説などの普及本
 100フラン以下で購入可能なもの

- 大学用研究資料の貸出を優先する。
- 定期刊行物の文献複写代は国立教育の規定料金による。
- 資料の貸出は有料である。
- 資料の送料(返却分は含まれない)は文書で通知する。
- 借受け館の同意が得られた後、セント・ジュヌビエーブ図書館はインボイスとともに資料を送る。
- 借受け館はインボイス受領後、直ちに銀行チェックか郵便振替で支払いをしなければならない。
- 利用状況に配慮がない場合はサービスの停止も考えられる。

*上記訳文は、意味を損わない範囲で意識して個所があります。

(4)ドイツ

①複写/貸借

ドイツには GBVdirekt という国内7州のネットワークによる総合目録データベースがあり、ドキュメントデリバリーサービスを行っている。これは、インターネット経由で所蔵確認、複写及び借受（一部の図書館）が可能であり、到着までの期間も非常に早い。ドイツの通常の文献ならこのシステムを利用すればほとんど入手することができる。またこのシステムを利用しなくても、ドイツは図書館間のネットワークが発達しているので、依頼した図書館で所蔵していない場合は自動転送してくれる。

subito は、同様にドキュメントデリバリーサービスを行う組織で、複写、貸借が可能である。OPAC 画面が利用しやすい。

以前ドイツは、ドイツ語の逐次刊行物および新聞の複写（20 ページまで）は無料で提供してくれることが多かったが、近年は有料化の傾向にあり、IFLA Voucher による支払（前納の場合もあり）も普及してきている。

1. GBVdirekt に登録する

依頼のために登録をしなければならない。登録は、GBVdirekt のホームページ上の登録画面に図書館名、住所等の必要事項を入力して ID、パスワードを入手する。登録は無料、即日発効される。

<http://www.gbv.de/>

a. ホームページを開き、GBVdirekt/subito をクリックする。（資料1）

* 左上の国旗マークをクリックすると英語バージョンになる。

b. Information on GBVdirekt の "Where can I find the registration form?" を開く。
（資料2）

c. Registration をクリックすると登録画面になる。（資料3）

2. GBVdirekt での複写依頼

a. ホームページ上の Databases をクリックし、Union Catalogue [GVK] i を選ぶ。
（資料4）

b. 検索する。（資料5）

c. 該当のものをクリックして、詳細表示及び所蔵館を確認する。（資料6、7）

d. Order をクリックすると（資料8）、ユーザー認証画面になるので、name/number と password を入力し、send をクリックする。（資料9）

e. Request form（資料10）に論文名等を入力し、パスワードを入力してオーダーする。

3. subito での複写依頼

ID、パスワードを登録して依頼する方法もあるようだが、ここでは OPAC で所蔵確認のみを行い、複写依頼は別途郵便で行った例に沿って紹介する。

<http://subito-doc.com>

- a. ホームページ上の Search and Order をクリックする。
- b. 画面下方にある **guest** をクリックする。(資料 11)
- c. SearchSerials 画面になるので、検索する。(資料 12)
- d. 所蔵館一覧が出るので、所蔵巻号などに注意し、依頼館を決める。(資料 13)
- e. Library short name の中の図書館名をクリックすると住所等が確認できる。
(資料 14)
- f. 先方の受付可能な方法 (郵送、FAX、メール等) で依頼する。

GBV | Gemeinsamer Bibliotheksverbund - Common Library Network - Microsoft Internet Explorer

Home | About GBV | News | Contact

GBV

Gemeinsamer Bibliotheksverbund

Welcome

to the web portal of the GBV Common Library Network of the German States Bremen, Hamburg, Mecklenburg-Vorpommern, Niedersachsen, Sachsen-Anhalt, Schleswig-Holstein und Thüringen.

You do have access to a variety of different databases with order facilities for Inter Library Loan (ILL) and Document Delivery GBVdirekt/subito. You also find detailed information for endusers and librarians and many more ...

News:

- New Service for GBVdirekt customers: Central Regulation

© VZG, Verbundzentrale des GBV

GBV | Gemeinsamer Bibliotheksverbund - Common Library Network - Microsoft Internet Explorer

Home | About GBV | News | Contact

GBV

GBVdirekt - Document Delivery Service

[GBVDIREKT](#)
[FAQ](#)
[SUPPLIERS](#)
[PRICE LIST](#)
[REGISTRATION](#)
[TECHNICAL HINTS](#)

Information on GBVdirekt

- What is GBV?
- What is GBVdirekt?
- Who is entitled to make use of this service?
- Where can I find the registration form?
- Which User group do I belong to?
- What can be ordered via GBVdirekt?
- Which databases are offered by the GBV?
- How expensive is this service?
- What are the existing modes of delivery?
- What delivery formats are available for electronic delivery?
- What kind of problems can arise with delivery via E-mail?
- Which delivery format should I choose for viewing my electronic delivery?
- How can I pay?
- How long is the processing period of a GBVdirekt order?
- What are the advantages of this ordering system?
- What information provides "Available"?
- What has to be filled in the order form?
- What is GBVdirekt/North-America?

What is GBV?

(ドイツ資料 3)

GBVdirekt - Registration Form

Please note the terms of usage for GBVdirekt orders.

Should you not yet have a GBVdirekt user ID, register here; Please fill in completely:

Name: OOUniv.
 E-mail: info.1122
 user group: university (NG1) Please note the new user group 3(NG3) for private users.
 the field you come from: humanities Please check where applicable, i.e. if you are a member of one of the following:
 delivery address:
 department: Saitama-ken
 street: Gakuen-cho
 country code: JP - Japan
 zip: 340-0042
 city: Soka-shi
 telephone: +81-48-943-1963
 fax: +81-48-946-1695
 billing address (if different from delivery address):
 department:
 street:
 country code: AF - Afghanistan
 zip:
 city:
 telephone:

下方にある Send form をクリックする。

(ドイツ資料 4)

Home | About GBV | News | Contact

GBV Main menu - Online databases ID

Databases

- ▶ Union Catalogue [GVK] ← ここをクリック
- ▶ Union Catalogue [GVK] [old interface]
- ▶ Online Resources [OLR]

Profile

- ☑ Journal article databases: OLC, OLCSSG
- ☑ Bibliographies - IBZ, IBB, IBBK, AIDA, IDZ
- ☑ Local Library Catalogues [LBS OPAC]
- ▶ MPI Library Catalogue at GBV
- ☑ Regional catalogues
- ☑ Foreign union and national library catalogues
- ☑ Miscellaneous databases
- ☑ Alphabetic list of all databases

Without Frames

GBV - Union Catalogue - Search Welcome Screen - Microsoft Internet Explorer

Home About GBV News GBVdirekt Help Contact Login

search (and) | all words <ALL> | sort by | year of publication | search options

Dioskuren search

Shortlist Available Title data Review

Welcome to GBVsearch&order

Union Catalogue (GVK)

You are accessing the Union Catalogue (GVK) of seven German States participating the Common Library Network (GBV). This multimaterial bibliographic database covers the holdings of over 15,3 million records of more than 400 GBV member and associated libraries with over 32 million separate catalogue entries of books, conference proceedings, periodicals, dissertations, microfilms and electronic resources. The periodicals catalogue of subito and some other German libraries has also been integrated. Access is free of charge. All title holdings can be ordered by [Online Inter Library Loan](#) or [GBVdirekt / subito](#) document delivery service.

Language switch | インターネット | 午後 05:40

GBV - Union Catalogue - Search Short List - Microsoft Internet Explorer

Home About GBV News GBVdirekt Help Contact Login

search (and) | all words <ALL> | sort by | year of publication | search options

Dioskuren search

Shortlist Review

Your command was:
search (and) (all words <ALL>) Dioskuren
 There are 51 hits.
 These are hits 1 - 10.

Previous Next

1. "Wie die Dioskuren" - Art und Ergebnisse literarischen Zusammenwirkens in der Romantik
 / Heinz Rölleke. - In: Literarische Zusammenarbeit (2001), S. 131-140

2. **Annäherungen an Leben und Werk der Brüder Humboldt (1801-1819)**
 / Detlef Haberland. - 1. Aufl. - Mannheim : Verl. Humboldt-Ges., 2000

3. **Feindliche Dioskuren : Theodor Lessing und Ludwig Klages : das Scheitern einer Jugendfreundschaft (1885 - 1899)**
 / Elke-Vera Kotowski. - Berlin : Jüdische Verl.-Anst., 2000

4. "Die Dioskuren" : Alexander u. Wilhelm von Humboldt
 / Wolfgang-Hagen Hein. - In: Alexander von Humboldt (1999), S.202

5. **Die Dioskuren in der griechischen Kunst von der Archaik bis zum Ende des 5. Jahrhunderts v. Chr.**
 / Eckart Köhne. - Hamburg : Kovac, 1998

6. **Castor und Pollux : Untersuchung zu den Darstellungen der Dioskuren in der römischen Kaiserzeit**
 / Stefan Geppert. - Münster : Lit, 1996

7. **Castor und Pollux : Untersuchungen zu den Darstellungen der Dioskuren in der römischen Kaiserzeit**
 / Stefan Geppert. - Münster : Lit, 1996

8. **Entführung eines Schiffes an die Dioskuren**

Language switch | インターネット | 午後 05:40

(ドイツ資料7)

Home About GBV News GBVdirekt Help Contact Login

search (and) [all words <ALL>] sort by [year of publication] search options

Dioskuren search

Shortlist Available Title data Review

Your command was:
search (and) (all words <ALL>) Dioskuren
 There are 51 hits.
 This is hit 2.

Title: [Annäherungen an Leben und Werk der Brüder Humboldt im Jahr der 200. Wiederkehr des Beginns der amerikanischen Forschungsreise Alexander v. Humboldts / hrsg. von Detlef Haberland ... Abhandlungen von: Boleslaw Andrzejewski - 1. Aufl. - Mannheim : Verl. Humboldt-Ges., 2000](#)

Collective title: [Die Dioskuren ; 2](#)

Series: [Abhandlungen der Humboldt-Gesellschaft für Wissenschaft, Kunst und Bildung e.V. ; 16](#)

ISBN: [3-927030-16-3](#)

Availability information institutes

< 8> Kiel, Universitätsbibliothek Kiel Zentralbibliothek
 < 1a> Berlin, Staatsbibliothek zu Berlin Preußischer Kulturbesitz
 < 28> Rostock, Universitätsbibliothek Rostock: UB, HMT, IAP, Ifok, IOW, LISA, FBN

Please note that not all material is available for loan.

所蔵館が表示される。

(ドイツ資料8)

Home About GBV News GBVdirekt Help Contact Login

search (and) [all words <ALL>] sort by [year of publication] search options

Dioskuren search

Shortlist Available Title data Review

Your command was:
search (and) (all words <ALL>) Dioskuren
 There are 51 hits.
 This is hit 2.

Title: [Annäherungen an Leben und Werk der Brüder Humboldt im Jahr der 200. Wiederkehr des Beginns der amerikanischen Forschungsreise Alexander v. Humboldts / hrsg. von Detlef Haberland ... Abhandlungen von: Boleslaw Andrzejewski - 1. Aufl. - Mannheim : Verl. Humboldt-Ges., 2000](#)

Collective title: [Die Dioskuren ; 2](#)

Series: [Abhandlungen der Humboldt-Gesellschaft für Wissenschaft, Kunst und Bildung e.V. ; 16](#)

ISBN: [3-927030-16-3](#)

Availability information institutes

< 8> Kiel, Universitätsbibliothek Kiel Zentralbibliothek
 < 1a> Berlin, Staatsbibliothek zu Berlin Preußischer Kulturbesitz
 < 28> Rostock, Universitätsbibliothek Rostock: UB, HMT, IAP, Ifok, IOW, LISA, FBN

Please note that not all material is available for loan.

Click

Zentralbibliothek
 各館の貸出可能情報、請求
 記号などが確認できる。

GBV Search&Order - online requests - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 停止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール 印刷 編集 Messenger

アドレス(0) http://www.gbv.de/... 移動

Home Contact

GBV

Union Catalogue

Authentication

Please identify in order to use our delivery services.

Shortlist Title data Review

▶ [Back to the previous screen](#)

You identify with an access number, which determines the delivery service you use. Access identifications beginning with 37 or with letters lead to GBVdirekt, all other will be handled by default interlibrary loan.

- **Interlibrary loan:** delivery address is always the library, where you got the access identification from. This kind of access id's is available only at your GBV-Library.
- **GBVdirekt - Subito:** delivery by e-mail, fax or mail to the given address. This service will be charged depending on the kind of service (see URL below). Registration is needed to get the access identification and is available with the following [form](#).

Please note the [terms of usage](#) for GBVdirekt-orders.

New service for GBVdirekt customers: [Central Regulation](#)

name/number

password

Please notice: After successful identification don't forget to use the EXIT-button before you leave your workstation in order to avoid other users using your personal request data.

ページが表示されました

スタート GBV Search&Order Microsoft Word - 文書1

インターネット

午後 06:42

(2002年2月現在)



GBVdirekt - Subito request

Shortlist Title data Review

Title: Annäherungen an Leben und Werk der Brüder
Humboldt im Jahr der 200

Year: 2000

Place: Kiel

Please specify the issue (at least fill out a year).

Author
 Article
 Year volume Edition
 Pages

Requestprofile

request type: Way of delivery: epress delivery alternate by postal service *
 formate: Type of invoice:

*)if chosen type is not available

Remarks

local requestnumber (if needed)

Email notification, if request can't be fulfilled ?

Your data

Name
 UNIVERSITY LIBRARY Reference
 Address
 ZIP code
 Place
 E-mail
 Fax
 FTP active
 address format: [ftp://]user:password@host[:port][/path]

Enter your password here and click the button to submit this form.

password

new: subito Library Service

Welcome to the main subito access system

subito[®]
Search and Order

subito-customer login with their user-ID and password for search and order or for modifying their profile.

User-ID Password

Are you registered with subito? Please submit your personal details, we will sent your User-ID online.

You can also use subito as a **guest**. The service features are however limited.

ここをクリック

© 2002 subito Association
E-mail: info@subito-doc.com

User ID: NIL

Search Serials

subito[®]

Freetext

ISSN

CODEN

Other

入力して search をクリックする。

Index:

© 2000 subito Association
E-Mail: info@subito-doc.de

subito-order - Detail view - Microsoft Internet Explorer

http://www.subito-doc.com/cgi-bin/subsuche.cgi

User ID: NIL
Database: subito serials database
Detail view

subito

View: Standard Full-view Stock: ZDB

Journal title: Theologische Studien und Kritiken
Extension to journal title: Beitr. zur Theologie u. Religionswissenschaft
Place of publication: Leipzig
Publisher: Klotz: Hinrichs
Print run: 1.1828 - 109.1941/47,2[?]
ISSN: 0259-7071
Document ID: 513356

所蔵巻号に注意して
所蔵館を選択する。

Stock view:

| Library short name | * Library logogram | * subito-order | * Stock details | * Location/signature |
|--------------------|--------------------|----------------|---|----------------------|
| SULB Saarbrücken | 291 | Order | 86.1913,2; 109.1941/47,1-2 | Z 55-67 f |
| SuUB Bremen | 46 | Order | 1.1828 - 109.1941/47,2 | fc 4405 |
| BSB München | 12 | Order | 1.1828; 6.1833; 8.1835 - 13.1840; 16.1843 - 29.1856; 31.1858; 43.1870; 50.1877 - 84.1911; 87.1913/14; 91.1918,2 - 92.1919/20; 95.1923/24 - 96/97.1925,1; 100.1927/28 - 103.1931,2/3; 105.1933; 107.1936; 109.1941,1-2 [[10.a] Reg. 1828 - 1837 - 20 enth.: Reg. 1838 - 1847. - [40.a] Reg. 1858 - 1867. - [50.a] Reg. 1868 - 1877 - 60 enth.: Reg. 1878 - 1887. - 70 enth.: Reg. 1888 - 1897] | Th.u. 366 m |

subito - Lieferdienst der Bibliotheken - Microsoft Internet Explorer

http://www.subito-doc.com/base/supplier.php?sigel=46

SUPPLIER PROFILE

Bremen state and university library
(Abbreviation: *SuUB Bremen* Library logogram: 46 Library lending region: *RAA*)

Bremen state and university library
P.O. Box 33 01 60
28331 Bremen

Telephone: ++49-421-218-3622
Telefax: ++49-421-218-2640
E-mail: subito@suub.uni-bremen.de
Supply service contact: Jutta Fregin

News:

Profile:
The Bremen state and university library (SuUB) basically has two areas of responsibility. It is responsible for supplying literature to the Bremen university and Bremen colleges, including the Bremerhaven college, and it makes scientific and region-related literature available to users and institutions from Bremen. As the state library of the free Hanseatic state of Bremen, it complies with deposit copy law. The SuUB holds approximately 13,000 specialist periodicals. The main areas covered are Natural Sciences, Political and Social Sciences. For further information please go to the website: <http://www.suub.uni-bremen.de>

Status:

- Delivery of copies of articles (subito.1)
- Delivery of books (subito.3)
- Book delivery to foreign countries
- Participation in Library Service (user group 4)

Supported payment methods:

subito - Library Delivery Service

subito - Lieferdienst...

(5) 中国

中国国家図書館（北京図書館）の OPAC 検索について

2002 年 1 月現在

北京図書館の蔵書が WWW 上で無料にて検索することができます。

北京図書館の OPAC を直接検索する場合の URL は、<http://opac.nlc.gov.cn>

図書館のホームページの URL は、<http://www.nlc.gov.cn>

で、図書館のトップページから中文版または英文版をクリック。例では中文版をクリック。次の画面の黄色い帯に「中西文書刊目録検索」（表示が動きます）と表示されているところをクリック。

NATIONAL LIBRARY OF CHINA

国图概况 | 动态信息 | 读者指南 | 数据库检索 | 特色服务 | 网上读书 | 书刊信息 | 业务工作
科研项目 | 合作项目 | 出版与在线展览 | 专题导航 | 数字图书馆研发 | 相关机构 | 企业

读者指南
读者入馆须知 开馆时间 办理借阅证
服务一览 馆藏一览 文明公约 借阅须知

数据库检索
中西文书刊目录检索 网上预约 敦煌资料
西文期刊篇名 中国年鉴 音像资料 电子资源
地方志人物 普通古籍 新修方志 善本古籍

特色服务
信息咨询中心 电子信息中心 音像资料中心
文献提供中心 敦煌吐鲁番学资料研究中心
资料翻译中心 地方志和家谱文献中心
剪报中心 学位论文收藏中心
为院士服务 为特聘专家服务

国图概况
国图简介 馆领导 机构设置 大事记
viewsuper

动态信息
国图动态 国内外交流 人才招聘
会展及培训 影视动态 讲座快讯

书刊信息
热门书刊推荐站 港台图书动态
外文新书动态 中华体育文化藏书票

专题导航
图书馆信息咨询业 中外法律法规
各国政府 西部开发 免费数据库检索
电子报刊导航 国内站点导航 海外中国学

科研项目
1990年以来完成的主要科研项目
目前在研的主要科研项目

NEW
国家图书馆馆藏珍品展示室现正举办“馆藏民族古文献珍品展览暨北京市民族古籍工作展”，展出馆藏16个文种余件珍贵藏品供读者免费参观，欢迎光临。
国家图书馆将于2002年4月17日至19日举办“《永

中国数字图书馆
d-library.com.cn

数字图书馆——新世纪
信息技术的机遇与
挑战国际研讨会
北京国际数字化公众信息
服务与技术展览会

次の画面では「連機公共目録館蔵查詢」をクリックすると OPAC 検索の画面になる。

联机公共目録館蔵查詢

| 检索库 | 关系词 | 检索词语 | 检索途径 | 匹配规则 |
|--|---|---------------------------------|---|-------------------------------|
| 中文图书典藏库 中文图书外借库 中文图书阅览库 西文图书库 中文期刊库 西文期刊库 博士论文文库 台港中文图书库 国际组织与外国政府出版物文库 | | <input type="text"/> | 题名 <input type="checkbox"/> | 前方一致 <input type="checkbox"/> |
| | <input type="checkbox"/> 同时 <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> | 题名 <input type="checkbox"/> | 前方一致 <input type="checkbox"/> |
| | <input type="checkbox"/> 同时 <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> | 题名 <input type="checkbox"/> | 前方一致 <input type="checkbox"/> |
| | <input type="checkbox"/> 同时 <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> | 题名 <input type="checkbox"/> | 前方一致 <input type="checkbox"/> |
| 每页显示数 <input type="text" value="20"/> | | | | |
| <input type="checkbox"/> 帮助 <input type="checkbox"/> 检索库介绍 <input type="checkbox"/> 返回系统主项 | 入藏日期 | <input type="text" value="任意"/> | 书目记录号 | <input type="text"/> |
| | 出版日期 <input type="checkbox"/> 等于 <input type="checkbox"/> | <input type="text"/> | <input type="checkbox"/> 到 <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 会议录 |

检索対象の各データベースについて

1. 中文図書典藏庫

保存本書庫（保存用図書）と基蔵書庫（貴重書）で所蔵している 1975 年以降の中国語図書目録データ。現在約 67 万件のデータがあり、年に約 6 万件ずつ増加している。

2. 中文図書外借庫

中文図書外借庫で所蔵している 1985 年以降の中国語図書関係の図書目録データで、現在約 30 万件のデータがある。

3. 中文図書阅览庫

中文社科図書阅览室所蔵の最近 8 年の中国語社会科学関係図書と中文科技図書阅览室所蔵の最近 6 年の中国語自然科学関係図書目録データ。現在約 26 万件のデータがある。

4. 西文図書庫（西洋語図書）

外文新書第一阅览室、西文図書阅览外借室と典藏大庫で所蔵している 1975 年以降の西洋語図書の目録データ。現在約 34 万件のデータがあり、年に約 3 万件ずつ増加している。

5. 中文期刊庫（中国語雑誌）

中文期刊閲覧室所蔵の中国語雑誌の目録データ。現在約1万件のデータがある。

6. 西文期刊庫（西洋語雑誌）

西文期刊閲覧室所蔵の西洋語雑誌の目録データ。現在約8千件のデータがある。

7. 博士論文文庫

博士論文文庫で所蔵している1981年以降に実施された学位制度に伴う中国博士論文目録データ。現在約6万件あり、年に約9千件ずつ増加している。

8. 台港中文図書庫

中文台港図書閲覧室で所蔵している1987年以降の中国語の台湾、香港の図書目録データ。現在約9万件のデータがある。

9. 国際組織と外国政府出版物文庫

国際組織と外国政府出版物閲覧室で所蔵している連合体制及びその17専門機構の出版物の図書目録データ。現在約2万件のデータがある。

検索のやり方

「検索詞語」にキーワードを入力後、検索のボタンをクリックすると検索結果の一覧が表示される。書名をクリックすると書誌事項等が詳細表示される。該当資料の所蔵場所の下に著者や主題などのキーワードが表示されているので該当箇所をクリックすると、そのキーワードで新規検索が行われる。

「重新検索」のボタンをクリックすると、新規検索の画面に戻る。

「返回系統主頁」のボタンをクリックすると、OPAC画面のトップページに戻る。

検索語について

検索データ入力項目に語句を入力する。「検索途径（限定子）」を指定することができる。「匹配規則（トランケーション）」を指定すれば前方一致等が選べる。

検索データの長さに制限はない。ただし検索語は26バイト（漢字13文字）しか表示できないが、カーソルを前後に移動することによって26バイト以上の文字を見ることはできる。

システムでは、大文字小文字の区別は行っていない。

国際標準図書番号 ISBN、国際標準逐次刊行物番号 ISSN で検索する時は、“-（ハイフン）”は省略できる。

ピン音による検索は、中国語書籍の題名と著者は検索ができるとヘルプ画面には記載されているがやり方が悪かったためか実際の検索のやり方は分からない。

詳細表示画面例

孔子与中国文化 / 陈卫平, 郁振华著. -- 贵阳 : 贵州人民出版社, 2000

281页 ; 20cm. -- (大思想家与中国文化丛书)
ISBN 7-221-04083-4 : CNY13.80

I. 孔... II. ①陈... ②郁... III. ①孔丘 - 研究 ②孔丘 - 影响 - 传统文化 - 中国 ③孔丘 ④传统文化 IV. B222.25

| 借阅地点 | 索书号 | 卷期号 |
|------------|-----------------|-----|
| 特藏阅览室(保存本) | 2001/B222.25/84 | |
| 阅览出纳台(基藏库) | 2001/B222.25/84 | |

相关题名:

孔子与中国文化 大思想家与中国文化丛书

相关著者:

陈卫平 郁振华

相关主题关键词:

研究 影响 中国 孔丘 传统文化

相关分类:

B222.25



字段显示

注意事項

1. ホームページを閲覧する場合は、パソコンに中国語フォント（簡体字中国語）を設定していないと文字化けしてしまう。
2. 検索語を入力する場合、日本語と同じ漢字の場合は問題ないが、異なる場合は「日中の星」等のソフトを使えば日本語から簡体字に変換でき、キーワードが入力できる。また、このようなソフトがない場合は、綴りを調べてから検索エンジンを用いて綴りを探して、コピーをし、貼り付ければキーボードから入力しなくても検索することは可能。

参考文献

- 1) 『インターネットで文献探索』 2000年版 伊藤民雄 日本図書館協会 2000

依頼事例について

英文の手紙を郵送して依頼。典拠のページをコピーし同封した。
申込用紙の下にタイプされた手紙が送られてきた。
高額なためキャンセル。それについての返事はしていない。

(申込文)

University
Library
1-9-1, _____
_____-ku
Tokyo
100-8071, JAPAN

July 22, 2000

THE NATIONAL LIBRARY OF CHINA
INTERNATIONAL LOANS
39 Baishiqiao RD., Beijing CHINA

Dear Sirs,

Mr. [REDACTED], one of the graduated of our University wants to have photocopy, zerox copy or microfilm, unavailable in our country, for personal use.

If you can supply us with the copy, would you please kindly let me know the cost (including airmail postage) that would be involved?

南阜山人詩集類纂二十一卷
數文存稿十五卷

Yours Sincerely

担当者サイン

Reference Librarian

(回答)

Dear

The price will be US\$6140, including airmail postage.

Our e-mail: dcjyb@publicf.nlc.gov.cn

Best wishes,

Wu Jingsheng

International Loans

(6) IFLA VOUCHER について

IFLA では、国際貸出・複写に関わる料金の支払い業務を簡素化するために、1997年1月より IFLA International Payment Voucher Scheme の実施を始めた。

Voucher について

Voucher には、US\$8.00 の Full Voucher と US\$4.00 の Half Voucher の 2 種類がある。

最少注文額は 100 ドルで、Full Voucher 10 枚、Half Voucher 5 枚分となっている。

購入時に、手数料はかからない。現金を扱うのは、購入時と換金時のみである。

換金は、IFLA Office for UAP にて 1 枚 8 ドルでできる。ただし換金最少単位は、管理の都合上 100 ドル以上で行って欲しいとなっている。

Voucher 使用方法

使用法は、国際貸出・複写の依頼時または Voucher による支払請求があった場合に送付する。

貸借は 1 件につき 1 枚、複写は 15 頁までを 1 枚が標準的な支払方法として推奨している。ただし、国や図書館の都合により料金が異なる場合がある。

Half Voucher は、複写の場合に、複写枚数が 15 頁を 10 頁くらい超過した分として請求する時に用いたり、サービス内容によって、Full Voucher 請求できない場合などに使用する。

Voucher はパウチされているため何度でも加盟館同志で利用できる。つまり他大学から送られてきた Voucher を後日支払いのために利用することができる。

Voucher 自体が使い古された場合は、IFLA Office for UAP に送れば綺麗なものと交換してもらえる。

BLDSC の支払手段としても利用できるが、詳しくは BLDSC の Customer Services に問い合わせのこと。

IFLA Voucher 購入までの手続き (場合によって異なる)

1. Voucher 申込先 IFLA Office for UAP (Universal Availability of Publications)
2. IFLA Voucher に参加する旨を IFLA に e-mail で送る。 ifla@bl.uk
3. IFLA から返事のメールと INVOICE が届く。
4. 銀行で送金小切手を作成し、INVOICE と手紙 (参照: 例文 1) を郵送する。
5. 送金小切手等到着後、3 週間後に Voucher、"Guidelines for use" 等が送られてくる。

IFLA Voucher 換金の手続き

1. Voucher Redemption Form を記入し、Voucher と一緒に IFLA へ郵送する。
2. IFLA 到着後約 1 ヶ月後にアメリカドルにて支払われる。
3. Voucher Redemption Form は、Voucher 購入時に同封されている。また、IFLA Office for UAP から入手できる。

Voucher の利用にあたって

Voucher を依頼館へ送る場合は、書留を用いた方が安全である。
貸借の場合は返却先と入金先が同じ場合は、一緒に送ることができる。

Voucher のメリット

銀行などの送金小切手は、手数料が送金金額より高くなってしまふ場合があり、料金の負担が多くなってしまふが、Voucher ではそういうことがない。また、交換レートの変動も関係なく、管理費が削減できる。

Voucher の将来像

今後 e-mail による ILL 依頼の増加にともない、電子マネーのような Electronic Voucher の導入を検討しているようだ。

Voucher 参加館および詳細について

IFLA のホームページにより確認することができる。

<http://www.ifla.org/VI/2/> (2002 年 1 月末現在)

参考資料

- 1) 「海外 ILL の送金方法」 『図書館雑誌』 Vol.91 No.10 1997.10 p. 823
- 2) 「IFLA International payment Voucher について」 『大学図書館協力ニュース』 Vol. 18 No.3 1997.9
- 3) 「IFLA ヴァウチャー計画と OCLC,LC」 『カレントアウェアネス』 No.229 1998.9
- 4) The IFLA Voucher Scheme -Guideline for use-
- 5) The IFLA Voucher Scheme

(例文1)

IFLA Office for UAP and International Lending
c/o The British Library
Boston Spa
Wetherby
LS237BQ
United Kingdom

20.4.2001

Dear sir,

Please find enclosed a check of \$100 for the payment of IFLA Voucher Scheme.
I also enclosed the copy the pro forma invoice for your convenience.
The address of our library is below. We will be appreciated if your send us any
information or inquiry related to international lending to the same address.

Sincerely yours

担当者のサイン

〇〇 UNIVERSITY LIBRARY
Reference Division
〇 〇-ku,
Tokyo, 100-0000
JAPAN
Email:アドレス

2. 海外 ILL 事例集

以下の事例集は、当分科会参加館から寄せられた事例の収集結果であり、普遍的な事例ではありません。貸出・複写の依頼をする場合は、該当機関の最新情報をご確認ください。

<アメリカ>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|--|-------------------|----------|------------|----------------------|-----------|
| Austin Public Library | LOAN | 郵送 | 2000.9.18 | (4ヶ月) | - |
| Bell & Howell | COPY | FAX | 2001.3.30 | 2001.4.17 (20日) | US\$295 |
| Boston University | COPY | 郵送 | 1999.11.25 | 2000.1.11 (1.5ヶ月) | US\$10 |
| Colorado States University →University of Miami | LOAN | 郵送 | 1999.1.25 | 1999.3.31 (2ヶ月) | 無料 |
| Harvard University | LOAN | 郵送 | 2000.4.14 | - | - |
| Indiana University Libraries | COPY | 郵送 | 1999.4.23 | 1999.6.7 (1.5ヶ月) | US\$11.55 |
| Indiana University Libraries | LOAN | 郵送 | 1998.8.10 | 1998.10.6 (2ヶ月) | US\$58.32 |
| John Jay College of Criminal Justice Library | LOAN | 郵送 | 2000.9.18 | 2000.10.10 (3週間) | 無料 |
| Louisiana State University | COPY → LOAN | OCLC-ILL | 2001.5.30 | 2001.7.4 (1ヶ月) | 後日(未着) |
| Louisiana State University Library | COPY | 郵送 | 2000.4.22 | 2000.5.17 (1ヶ月) | US\$56.5 |
| New York Public Library | COPY | 郵送 | 1999.7.17 | 1999.8.9 (3週間) | US\$20 |
| Princeton University | LOAN → COPY | 国内代理店 | 2000.12.4 | 2001.2.22 (3ヶ月) | - |
| Southern Illinois University | LOAN | E-mail | 1999.9.30 | 1999.10.13 (2週間) | US\$10 |
| University of California Berkeley | COPY | 郵送 | 1997.12.22 | 1998.1.28 (5週間) | US\$15 |
| University of Georgia | LOAN | OCLC-ILL | 2001.5.25 | 2001.7.13 (1.5ヶ月) | UA\$10 |
| University of Illinois | COPY | OCLC-ILL | 2001.5.10 | - | US\$15 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------|----------------|---|
| - | - | OCLC World Cat 依頼後3ヶ月経っても返事が来ない為督促の手紙を送る。約3週間後「貸出できないのでHistory Centerで所蔵している資料(貸出不可)を複写して提供できるか問い合わせしているのでEメールアドレスを教えてください」と返事が届く。Eメールアドレス通知後、翌日には「History Centerでも複写できない」と回答が届く。 |
| 後払 | クレジットカード | Dissertation Abstracts (CD-ROM) 2ヶ月後に料金未払いの督促状が到着。再調査を依頼したところE-mailにてInvoiceが添付ファイルで届く。クレジットカードでの支払いが遅れていた為に督促状が届いた。 |
| 後払 | クレジットカード | OCLC World Cat アフリカのダカール(Dakar)の発行物(英文)を依頼し入手した。 |
| - | - | OCLC World Cat World-Catの所蔵館一覧では“Non-lender”になっていたが気づかず“ILL Policies Directory”では貸出可になっていたため依頼をしたが「1997年7月28日の洪水で1999年夏まで貸出できません」と謝絶された。University of Miamiに再依頼。後日、他の私立大学に誤送されていると連絡があり転送してもらった。到着時に返却期限日が過ぎていたが20日程利用して返送し、入れ違いに督促状が届く。この時は特に文書は送らなかった。督促状が送られてきたのはちょうど返却期限日から1ヶ月後であった。 |
| - | - | OCLC World Cat 謝絶。Harvard大学のILL Policyとして国外には貸出ししないとのこと。回答到着まで一ヶ月を要した。 |
| 後払 | 銀行小切手 | NACSIS-CAT LC MARC(無料) 支払いを申込者にまかせていたが支払っておらず、4ヶ月後に督促状が送られてきた。利用者に支払いを依頼する場合は確認をとること。 |
| 後払 | 国際郵便振替 | この大学の博士論文なので直接 マイクロフィルム版を希望したところ、ないと返事がきた。再度、現物の貸出の依頼をしたら、借りることが出来た。 |
| - | - | OCLC World Cat 2件依頼を出したが1件だけ資料が届き、もう1件はその資料といっしょに申込用紙が送り返されてきた。 |
| 後払 | - | OCLC World Cat 当初、複写申し込みを3館ほど指定し注文。しかし、全てで謝絶される。貸借に変更し、他大学に注文。Louisiana State University が対応してくれたが、別物が届き、返送しクレームを行った。ところが、数日後、やはり所蔵があったとのこと、正しい現物を送付してくれた。 |
| 後払 | 国際郵便振替 | OPAC(無料) 新聞(1930年代)の複写のため、一面につき3~4枚を要し、枚数が多くなった。料金は枚数に応じて請求された。 |
| 後払 | 国際郵便振替 | CATNYP[The Online catalog of The New York Public Library] (無料) マイクロ資料の電子複写を依頼。文献は到着後追ってinvoiceが到着。NYPLはOPACも検索しやすい。 |
| - | - | OCLC World Cat OCLC-ILLでPrinceton Universityの学位論文の貸出を依頼したが謝絶。COPY依頼に変更したが謝絶。国内代理店を通してUMIから購入。 |
| 後払 | 国際郵便為替 | この大学の論文なので直接依頼 貸借担当者に直接メールで申込をした。依頼した資料はこの大学の論文だった。 |
| 後払 | 国際郵便振替 銀行振込 | New Serial Titles(LC) 1986-89 冊子体 学生に請求書を渡し、直接支払いの手続きをとってもらった。 |
| 後払 | 国際郵便為替 | OCLC World Cat 返送時にJiffy Bagを使用しないようにと注意をされた。 |
| 後払 | IFLA Voucher | OCLC World Cat OCLC ILLで申し込んだがアメリカ国内ユーザーと認識されILL Feeは国内料金の\$10とし、FEIN(会社コードのようなもの)を尋ねてきた。回答の中で日本の図書館である旨返答し、海外図書館からの取り寄せ相当分のIFLAバウチャーでの支払い決済を了承してもらった。 |

<アメリカ>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|--|------|----------|-----------|---------------------|---|
| University of Kansas | LOAN | 郵送 | 2000.5.30 | 2000.6.22 (3週間) | 1Voucher |
| University of Pennsylvania | LOAN | 郵送 | 2000.4.14 | 2000.5.22 (40日) | 1Voucher |
| University of Rochester | LOAN | 郵送 | 2000.8.18 | 2000.9.14 (1ヶ月) | US\$25 |
| University of Tennessee | LOAN | OCLC-ILL | 2000.7.10 | 2000.7.31 (3週間) | US\$10 |
| University of Wisconsin Madison General Library | LOAN | 郵送 | 2001.4.17 | 2001.5.2 (2週間) | US\$46.00 (LoanUS\$17, PostageUS\$29) |
| Youngstown State University | COPY | 郵送 | 2000.11.8 | 2000.11.22 (2週間) | 1Voucher |

<イギリス>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|--|-------------------|------------|------------|-----------------------|---------|
| BL British Thesis Service | COPY → LOAN | WEB | 2001.6.20 | 2001.7.10 (20日) | ¥2,385 |
| Miami University →BLDSC | COPY | 郵送 | 2001.1.25 | 2001.4.6 (2.5ヶ月) | £16.25 |
| BLDSC | COPY | WEB | 2001.5.16 | 2001.5.21 (5日) | ¥2,069 |
| Cardiff University(University of Wales, College of Cardiff) | マイクロ 買取 | 郵送 | 1997.5.22 | 1997.10.27 (5ヶ月) | £35 |
| BLDSC →National Library of Scotland | COPY | NACSIS-ILL | 1998.11.19 | 1998.11.30 (2週間) | 2Units |
| University of Birmingham | COPY | E-mail | 2000.8.4 | 2000.10.20 (2.5ヶ月) | ¥12,000 |

<イタリア>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|--|--------------------------|------|------------|----------------------|----------------------------------|
| Biblioteca Ambrossiana (Milano) | COPY | 郵送 | 2000.7.28 | 2000.11.1 (3ヶ月) | L31.200 |
| Biblioteca Nazionale Centrale Firenze | COPY 3件 LOAN 2件 | 郵送 | 1999.11.29 | 2000.4.11 (3.5ヶ月) | L25.570 (EUR42.00, ¥5,656) |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------------|------------------|--|
| 後払 IFLA Voucher | OCLC World Cat | 支払いについて、\$25との請求が届いたが、IFLA Voucher加盟館であることが判明したので、再度IFLA Voucherによる支払いが可能か打診したところ、了解が得られたので1 Voucherを送付した。さらに利用終了後、返送したにもかかわらず督促状が届いてしまったが、EMS送付状とともに釈明文をFAXにて送付したところ了承してくれたようである(返答なし)。 |
| 後払 IFLA Voucher | OCLC World Cat | 当初Invoiceが同封されていなかった。先方のILL部門の方にIFLA Voucherで支払いたい旨、メールで打診。回答が来る。 |
| 後払 銀行小切手 | OCLC World Cat | 支払処理について国際郵便為替での支払許可を求めたが、銀行小切手でないと困ると断られた。 |
| - | OCLC World Cat | University of California(First Search)にIFLAフォーマットで依頼。半年待っても連絡がない。アメリカではOCLC-ILLを利用していないと対応してもらえない場合があると聞きOCLC-ILLを導入。University of Tennesseeに申し込み、約3週間で入手。 |
| 後払 国際郵便為替 | この大学の博士論文なので直接依頼 | 今回は郵便で依頼したが、インターネットで申込できる旨の案内が同封されていた。(アメリカの大学の場合ホームページ見るのが得策である。) |
| 後払 IFLA Voucher | ILLNET(無料) | 最初BLDSCに依頼。(2000.7.19)次にUniversity of OxfordのNew Bodleian Libraryに依頼(2000.10.18)したが、BLDSCを通してか、出版国へ依頼するよという理由で謝絶された。(BLのBackupシステムを利用しなかった)コピーと一緒にINVOICEが送付されてきたが、支払方法が銀行振込かIFLA Voucherであったため、IFLA Voucher購入し送付した。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------|----------------|--|
| 後払 預託金 | BLPC(無料) | 学位論文をArtwebで注文したところ、所定の書式にて申し込むように返答が届く。Thesis Declaration Formにて申し込み手続きを行ったが、複写依頼で注文したにもかかわらず、マイクロ形態の現物貸出として届いてしまった。 |
| 前払 国際郵便振替 | OCLC World Cat | 1744年ロンドンにて発行された資料の為、マイクロにて所蔵しているMiami Universityに複写依頼を行うが謝絶。BLDSCのWebOPACでは所蔵が確認できなかったがロンドンの発行物ということでNACSIS-ILL経由でBLDSCに依頼した。BLからは「BLDSCの申込用紙では受け付けられないので記載されているEメールアドレスに問い合わせさせて欲しい」と回答された。問い合わせ後、申込方法についての文書と専用の申込用紙が送られてきた。前納ということで、申込用紙と郵便局で支払いに用いた「国際送金為替受領証書」のコピーと一緒に送る。3ヶ月後、複写物が届く。文献伝送は迅速だが、それ以前の処理手続きに時間を要したと思われる。 |
| 後払 預託金 | BLPC(無料) | Arielで入手を試みた。期待していたほど迅速には届かなかった。別途著作権料が課金された。(764円) |
| 前払 銀行小切手 | この大学の論文なので直接依頼 | 6/3付で見積書が送付された。複写かマイクロかの選択があったが、複写は高額なため(£115.00プラス郵送料、包装代£41.00)依頼者はマイクロを選択した。9/11,24に督促。10/1にもFAXで督促し返事がFAXで届く。コピー(一度コピーして準備しておいたもの?)が見つからなかったとのこと。すぐ再度対処するとのこと、10/27に届いた。支払いはSterling Chequeの前払いで対処した。 |
| 後払 預託金 | NACSIS-CAT(無料) | ロシア語の論文だったがNACSISのBLデータにヒットした為NACSIS-ILL経由で依頼。Back-up libraryより送付された。 |
| 前払 銀行小切手 | OPAC(無料) | University of Birminghamの学位論文入手のため利用。著作権に関する誓約書と著者本人の許諾が必要なため時間がかかった。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------|------------|--|
| 前払 銀行小切手 | アラビア語の文献目録 | アラビア語図書のため、OPACでは検索できなかったが、文献の典拠を添付して申込みをしたところ、丁寧に対応してくれた。 |
| 前払 国際郵便為替 | OPAC(無料) | OPACで確認できないものもあったがイタリアの出版物なので直接依頼を出す。複写依頼3件中2件入手。5件依頼を出した残り3件は他の図書館が指示され、そちらに問い合わせしてほしいとイタリア語の文書が届く。また、支払いは国際郵便為替か白紙小切手での支払いが指定される。入手できなかった3件分については申込者から再度依頼されなかった為、これで終了した。 |

<オーストラリア>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|-----------------------------------|------|------|----------|-------------------|-------|
| Library of Parliament of Victoria | COPY | 郵送 | 2000.3.6 | 2000.4.3 (1ヶ月) | A\$14 |

<オーストリア>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|--|------|------|----------|--------------------|-----|
| Forschungsinstitut Brenner- Archiv(Universität Innsbruck Bibliothek) | COPY | 郵送 | 1998.3.2 | 1998.3.18 (2週間) | 無料 |

<オランダ>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|---|------|------|-----------|----------------------|-----|
| Koninklijke Bibliotheek | COPY | 郵送 | 1998.3.16 | 1998.4.14 (1ヶ月) | G26 |
| University Library Utrecht (Universiteits Bibliotheek Utrecht) | COPY | | 1998.3.18 | 1998.4.27 (1.5ヶ月) | 無料 |

<カナダ>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|---|------|-------|------------|---------------------|---------|
| CISTI(Canada Institute for Scientific and Technical Information) | LOAN | 国内代理店 | 1999.5.28 | 2000.6.8 (10日) | ¥15,750 |
| Greater Victoria Public Library | COPY | 郵送 | 1998.5.9 | 1998.6.29 (2ヶ月) | 無料 |
| Nationa Library of Canada | COPY | 郵送 | 1997.10.6 | 1997.11.25 (2ヶ月) | 無料 |
| Nationa Library of Canada | COPY | 郵送 | 2000.4.13 | 2000.5.8 (1ヶ月) | 無料 |
| Redeemer College | COPY | 郵送 | 1997.10.15 | 1997.12.13 (2ヶ月) | 無料 |
| Université de Montréal | LOAN | 郵送 | 1997.6.25 | 1997.8.8 (1.5ヶ月) | IRC3枚 |

<スウェーデン>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|--|------|------|------------|----------------------|--------|
| Umeå University | COPY | 郵送 | 1999.6.28 | 1999.7.14 (2週間) | 無料 |
| University of Trondheim (Universitetet I Trondheim) | COPY | 郵送 | 1998.3.18 | 1998.5.25 (2.5ヶ月) | 無料 |
| Uppsala University Library | COPY | 郵送 | 1999.10.27 | 1999.11.17 (3週間) | SKr140 |
| Uppsala University Library | COPY | 郵送 | 2000.6.22 | 2000.9.4 (2.5ヶ月) | SKr110 |

<スペイン>

| 機 関 名 | 種 別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料 金 |
|---|------|------|----------|----------------------|-------|
| Universitat Autònoma de Barcelona Servei de Biblioteques | COPY | 郵送 | 1999.1.8 | 1999.2.17 (1.5ヶ月) | Pts50 |
| Universitat Autònoma de Barcelona Servei de Biblioteques | COPY | 郵送 | 1999.1.8 | 1999.2.17 (1.5ヶ月) | Pts75 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|----------|-------------|--|
| 前払 銀行小切手 | Eメールにて問い合わせ | 古い議会資料のためOPACでは検索できなかったが、Eメールにて所蔵調査に対応してくれた。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------|---------------|------------------------------------|
| - | インターネットで住所を確認 | ～～研究所が出版、というなら直接そこへ申し込むのも一つの方法である。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------|-------------------------|--|
| 後払 国際郵便為替 | 出版がUniversity of Leiden | タイトルに"Leiden Conference"とあり、出版もUniversity of Leidenだったので最初University of Leidenに依頼したが転送されたようで左記の図書館から送られてきた。請求書等はオランダ語だが支払いは問題なく処理できた。 |
| - | OCLC World Cat | TEXAS A&M UNIV.にも所蔵していたが、出版者である Rijksuniversiteit Groningen Bibliotheekに依頼した。ここから、Universiteit Utrechtに転送されたようで、メールで確認が来た。(1998.4.10)同時にもう一件依頼したが、文献の到着日は一緒ではなかった。支払いについてはInvoiceではないお知らせが来た。Unit数などが記入されていたが無料だったようだ。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------------|----------------------------------|---|
| 後払 その他(国内) | CISTI OPAC | LOAN期間6/8～6/18。全文コピーを断られた為、LOANになった。 |
| - | RLG | RLGで調べた結果British Columbia Archives and Record Serviceで所蔵あり、依頼したところ左記図書館より送られてきた。 |
| - | New Serial Titles(LC)1976-80 冊子体 | 無料 |
| - | National Library of Canada OPAC | 請求書が未だ届いていない。無料と思われる。 |
| - | Utlas | Utlasで検索したところBibliothèques de l'Université de Montréalに所蔵あり。そこへ依頼したところ左記大学図書館より文献が送付。Invoiceなし。E-mailで問い合わせたところ無料でよいとのこと。 |
| 後払 国際返信切手券 | この大学の論文なので直接依頼 | 複写の希望であったが現物が届いた。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|----------|-----------------|---|
| - | 依頼者が所蔵を確認して指定した | OPAC97→スウェーデンのユニオンカタログ(LIBRIS)に接続して所蔵を確認、雑誌のタイトルはスウェーデン語だが依頼の論文は英語。同じ依頼者が以前にもUmeå Universityに何度か依頼し論文を入手している。 |
| - | 出版者であるこの大学に依頼 | 以前に同じ資料(別巻)をBLに依頼して謝絶された。 |
| 後払 | 依頼者が所蔵を確認して指定した | 2論文の代金が120クローネと送料(手数料)が20クローネ。フランス語の雑誌(著者はスウェーデン人?) |
| 後払 銀行小切手 | アラビア語の東洋史系の文献目録 | スウェーデン・クローネ建ての小切手が必要であったため、City BankでChequeを作成してもらった。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------|------------------------|--|
| 後払 国際郵便為替 | NACSIS-CAT LC MARC(無料) | BLに最初依頼して謝絶された。NACSIS-CATのLCデータに所蔵館(略語)が載っていなかったが、NOTEの欄に出版者が記載されており、大学図書館だったため直接依頼した。(当会報告書第7号を参照) |
| 後払 国際郵便為替 | NACSIS-CAT LC MARC(無料) | 上記のものと同じ雑誌を同時に依頼したが、ページ数の違いから料金が異なっている。2件合わせて日本円で10,042円で利用者は「かなり高い」という反応であった。Invoiceには会計課のようなところの住所だけが記載されていたので、支払の際言語の壁を感じずに処理できた。 |

<台湾>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|---------|------|------|------------|-------|--------|
| 台湾国立図書館 | COPY | 郵送 | 2001.11.14 | (2週間) | US\$10 |

<チェコ共和国>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|--|------|------|-----------|---------------------|--------|
| National Library of the Czech Republic | LOAN | 郵送 | 1998.6.18 | 1998.9.3 (2.5ヶ月) | IRC10枚 |

<中国>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|-------|------|------|-----------|------------------------|-----------|
| 北京図書館 | COPY | 郵送 | 1997.12.2 | 1998.2 (見積り,2ヶ月) | - |
| 北京図書館 | COPY | 郵送 | 2000.7.22 | 2000.8.17 (見積り,1ヶ月) | US\$6,140 |

<デンマーク>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|--|------|------|----------|--------------------|----|
| Odense Universitet(SYDDANSK UNIVERSITET) | COPY | 郵送 | 2000.5.2 | 2000.5.15 (2週間) | 無料 |

<ドイツ>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|--|-------------------|------|------------|-----------------------|----------|
| Die Deutsche Bibliothek(Leipzig) | COPY | 郵送 | 2000.6.28 | 2000.11.13 (4.5ヶ月) | DM17.75 |
| Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz →Humbolt-Universität zu Berlin | LOAN | 郵送 | 1998.11.17 | 1999.1.8 (2ヶ月) | 2Voucher |
| Marburg Universitätsbibliothek | LOAN → マイクロ | 郵送 | 2000.9.1 | 2000.11.6 (2ヶ月) | IRC10枚 |
| Niedersächsische Landesbibliothek Hannover | COPY | WEB | 2001.6.4 | 2001.6.7 (3日) | DM15 |
| Niedersächsische Staats- und Universitätsbibliothek | COPY | 郵送 | 1999.6.25 | 1999.8.4 (1.5ヶ月) | - |
| Senckenbergische Bibliothek der Johann Wolfgang Goethe-Universität | COPY | 郵送 | 2001.4.9 | 2001.6.22 (2.5ヶ月) | DM13 |
| Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz →Technische Universtät Berlin | LOAN | 郵送 | 1998.11.17 | 1998.12.25 (1.5ヶ月) | 無料 |
| Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz →Rheinische Landesbibliothek | LOAN → COPY | 郵送 | 1998.11.17 | 1999.3.2 (3.5ヶ月) | DM53.40 |
| Universität Frankfurt | COPY | 郵送 | 1998.10.1 | 1998.11.5 (1ヶ月) | 無料 |
| Universitätsbibliothek Hannover und technische Informationsbibliothek | LOAN | 郵送 | 2001.4.17 | 2001.5.2 (2週間) | DM15 |
| Universitätsbibliothek Hannover und technische Informationsbibliothek | LOAN | 郵送 | 2001.5.1 | 2001.5.14 (2週間) | DM15 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------|---------|---|
| - | - | OPAC(無料) |
| | | 支払い上の問題が発生している。従来は申込1件ごとに課金、請求書が送付され、支払いを行っていたが、同館の事務量が煩雑とことから、累積金額が\$100を越えないと正式な請求書を送付もしないし、支払いも行わないでほしいとの変更がなされた。申込館としては累積金額の把握が必要である。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------|---------|---------------------------------------|
| 後払 | 国際返信切手券 | ブラハの国立機関の会議録のようなものだったので、チェコ共和国の図書館へ依頼 |
| | | 請求書は英語、独語なども併記されていたので、特に問題なく処理できた。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------|---------|--|
| - | - | 北京図書館 古籍善本書目 (冊子体) |
| | | 5件同時に全頁複写依頼をしたが「3件は可能だが、料金は合わせてUS\$930である。残り2件は3分の1なら複写可能」と回答。再度5件分の表紙、目次、奥付の見積もりを依頼。「US\$540」との回答。高額なためキャンセル。 |
| - | - | 北京図書館 古籍善本書目 (冊子体) |
| | | 全頁複写がマイクロ化による料金の見積りを依頼。見積りUS\$6,140、高額なためキャンセル。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------|---------|---|
| - | - | OPAC(無料) |
| | | 書誌情報の中にCopenhagenという単語があったのでデンマークの大学のOPACを検索した。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------|--------------|---|
| 前払 | 国際郵便為替 | Frankfurt-DDB (無料) |
| | | Normal-Posto料金(DM12)を選んだがLuftpost(DM30)にすれば早く着いたかもしれない。ただし今回先方が宛先に「JAPAN」と記入しなかったためスムーズに送られてこなかったようだ。10.18にE-mailでクレームしたが、8月上旬に発送されていた。フランクフルトに依頼したものが転送されてライブツツヒから届いた。 |
| 後払 | IFLA Voucher | ドイツの資料のためドイツに依頼 |
| | | 料金は1冊につきで2Voucher支払って欲しいと手紙が同封されていた。 |
| 後払 | 国際返信切手券 | KVK(無料) |
| | | 当初、Braunschweig大学に依頼(LOAN)したところ、MicrofilmがMarburg大学より届いた。 |
| 後払 | 銀行小切手 | GBV(無料) |
| | | GBVdirectを利用し申し込んだ。IFLA Voucher加盟館であるがGBVdirect経由の申込のケースでは会計上の理由からIFLA Voucherの受付は認めないという問題が発生した。 |
| - | - | OPAC(無料) |
| | | Die Deutsche Bibliothek(Frankfurt)に依頼したところ、転送されてNiedersächsische Staats- und Universitätsbibliothekから送られてき |
| 後払 | 銀行小切手 | subito(無料) |
| | | 支払で①ドイツマルク以外の小切手の場合②銀行から銀行へ送金する場合、は手数料として更にDM10プラスして支払うように指示があった。この依頼者はドイツ人教員なので、個人でCITYBANKの小切手を送ったので手数料代は必要なかった。 |
| - | - | ドイツの資料のためドイツに依頼 |
| | | 版が異なる資料が送られてきた為、返送時にクレーム文(英語)を同封したが正しい版は送られてこなかった。また、返送時の宛名に「Bibliothek」(図書館)と記載しなかった為戻ってきた。 |
| 後払 | 銀行振込 | ドイツの資料のためドイツに依頼 |
| | | 転送先から「約DM100の料金がかかるがどうするか」という手紙が届く。「送って欲しい」旨の手紙を送り、全頁複写で届く。 |
| - | - | subito(無料) |
| | | 同じ雑誌で違う巻号の論文をこれ以外に同時に5件依頼したが全て無料だった。(この当時は無料だった。) |
| 後払 | IFLA Voucher | GBV(無料) |
| | | Invoice(IFLA Voucher(2枚)の請求との回答が届いた。(申込書にメモを添付しIFLA Voucherでの支払い希望を打診。そのメモに枚数が手書きにて記入回答がなされた) |
| 後払 | IFLA Voucher | GBV(無料) |
| | | Invoice(こはLOAN Charge(DM15)の請求があった。E-mailにてIFLA Voucherでの支払いを問い合わせたところ、1枚でよいとの回答を得た。担当者の判断によりIFLA Voucherの請求枚数に違いが生じているようだ。(上記事例参照) |

<フィンランド>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|--------------------|------|------|-----------|--------------------|-------|
| Tampere University | LOAN | 郵送 | 1997.7.18 | 1997.7.28 (10日) | £6.73 |

<フランス>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|--|-------------------|------|-----------|----------------------|-----------------------|
| Bibliothèque de l'Arsenal | COPY | 郵送 | 1997.5.9 | 1997.6.20 (1.5ヶ月) | F64 |
| Bibliothèque Universitaire Centrale Droit Lettres | COPY | 郵送 | 1997.10.9 | 1997.10.27 (3週間) | IRC17枚 |
| CUJAS→BNUS | COPY | 郵送 | 2000.5.8 | 2001.1.15 (8ヶ月) | EUR81.33 (F533.50) |
| Universites de Paris Bibliothèque Cujas | COPY → LOAN | 郵送 | 1999.3.17 | 1999.6.3 (2.5ヶ月) | F285 |

<ベルギー>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|--|------|------|----------|-------------------|--------|
| Katholieke Universiteit Leuven Centrale Bibliotheek | LOAN | 郵送 | 1997.7.1 | 1997.8.1 (1ヶ月) | IRC20枚 |

<マレーシア>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|---|------|------|------------|---------------------|--------|
| University of Malaya Library (Universiti Malaya) | COPY | 郵送 | 1998.11.20 | 1998.12.10 (20日) | US\$26 |

<ロシア>

| 機関名 | 種別 | 申込方法 | 依頼年月日 | 到着年月日 | 料金 |
|-----------------------|------|------|-----------|----------------------|-------|
| Russian State Library | LOAN | 郵送 | 2000.7.10 | 2000.9.12 (2ヶ月) | IRC4枚 |
| Russian State Library | LOAN | 郵送 | 2002.1.8 | 2002.2.20 (1.5ヶ月) | - |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------|---------|--------|
| 後払 国際郵便為替 | 出版大学に依頼 | 対応が早い。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------------|---|--|
| 後払 国際郵便為替 | Catalogue collectif des périodiques(冊子) | この機関が現在も複写サービスをしているか否か未確認だが先日依頼したらBNの方へ転送してくれた。何らかの対応はしてくれる機関のようだ。 |
| 後払 国際返信切手券 | なし | 以前、他大学から借受けた資料が一部切り取られていた為、その部分を複写依頼した。 |
| 前払 国際郵便振替 | 不明 | CUJASに1891年発行の資料を複写依頼。1ヶ月半後、連絡がないので督促する。「1914年以前の資料は所蔵していない」と回答あり。BNUSに再依頼。見積書(F550)と全頁複写誓約書が届く。1ヶ月後、複写物と請求書が届く。 |
| 前払 銀行振込 | なし | 前払にて支払後1ヶ月以上経っても連絡がなかったため督促をしたところ、現物が届く。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|------------|-----------------------------|--|
| 後払 国際返信切手券 | Leuven University Press の出版 | 貸出期間は3週間となっていたが、実際到着したのは8/1で返却期限は8/12であった。複写を依頼したが現物が到着した。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------|---------------------------------------|--|
| 後払 国際郵便為替 | 資料名 "Federation of Malaya"から推測して依頼 | 同じ資料名で出版年の違う論文をもう一つ同時に依頼したが、それはUS\$20で郵送料(航空便)としてUS\$7別途に支払った。支払方法は3通り(小切手、銀行振込、国際郵便為替)可能であった。最初LOANを依頼したが謝絶された。その際「複写なら可能」という内容が見積が記載されていた。 |

| 支払方法 | 所蔵確認ツール | コメント |
|-----------------------|----------|---|
| 後払 国際返信切手券 | OPAC(無料) | 英語版のWebOPACが公開され、検索しやすくなった。刊行年の古い資料であってもカード目録が画像データ化され、蔵書検索が可能である。できれば、郵便申込の際、OPACの出力データを典拠として添付することが望ましい。 |
| - IFLA Voucher (支払予定) | OPAC(無料) | 申込んだ巻号とは異なる巻号が届き返送せざるを得なかった。Russian State LibraryではIFLA Voucherの取り扱いを始めたようである。しかし担当者に十分周知されていないのが"Voucher"という用語が使われていたり"Coupon"という用語が使われていたりしており、注意が必要である。(IRCと混同しやすい)また、宛名シールも同封してくれるようになった。 |

3. ILLの周縁問題としてのドキュメント・デリバリー・サービス

ここからは、「ILLの周縁問題」として、とりわけインターネットの進展により、急速に普及してきた「ドキュメント・デリバリー・サービス」について、取り上げることとしたい。ここでは、ドキュメント・デリバリー・サービスの背景、次いでその種類と具体例、そして最後にその諸問題について、以上の観点から考察を行うこととする。

(1) ドキュメント・デリバリー・サービス (DDS) の定義

まず「ドキュメント・デリバリー・サービス」という言葉の定義について、整理しておくこととする。なお、本稿では、これより「ドキュメント・デリバリー・サービス」のことを、DDSという省略形で表現することとする。

DDSは、日本語にそのまま訳せば、「文献送付サービス」と翻訳することができる。

「図書館情報学ハンドブック」によれば、次のように定義されている。

DDSとは、「書誌データベースの検索結果に基づき、オンライン上で発注された文献を提供する場合を想定してもよい。また、書誌データベースの検索結果に基づかなくとも、求めに応じて文献を提供するシステムを整備している機関の活動」のこととなっている。

DDSをDDSと類似したサービスで、図書館が伝統的に行ってきたILLサービスと比較して捉えると、どうだろうか。ILLは、図書館という一つの機構の枠内で展開される協力業務や活動として捉えられるのに対し、DDSは、文献提供・送付機関（つまりDS——ドキュメント・サプライヤ）の間の協力関係として捉えるのではなく、単に文献提供サービスを提供する側と受ける側との間におけるサービスそのものと考えられる。

そうしたことから、DDSは、図書館以外の情報サービス機関によって行われる場合も多く、企業や各種非営利団体によって、運営されているケースもしばしば見られる。

以上のようなDDSの定義をもとに、まずは、DDSの背景について、検討してみたい。

(2) ドキュメント・デリバリー・サービス (DDS) の背景

①インターネットの発展と図書館サービスの変容

インターネットの進歩とともに、あふれるばかりの情報が次々と生産され、紙媒体と同様のもの、あるいはそれ以上の付加価値がついたデジタル情報が出現してきている。そうした中、情報の生産者から利用者に対し、直接の情報提供が可能となった。具体的には、良質な全文データベースの登場、便利なドキュメント・サプライヤのサービスの普及、そしてさらには、著者自身による個人的な情報発信も盛んになってきている。利用者から見れば、図書館に来館しなくても自分のデスクトップから直接、情報を検索、収集できる環境が整備されるようになったといえる。近年生産された情報についていえば、図書館サービスを受けなくても、必要な情報が入手できるようになってきている。その結果、これまで情報の仲介者としての役割を果たしてきた図書館の位置づけは、相対的に低下しかねな

い危険性があるとも言える。一方で、そういった意味では、Web全体が大規模な電子図書館の機能を果たす可能性があるともいえるかもしれない。

②資料購入費の上昇と図書館の対応

多くの図書館の頭を悩ませている問題が雑誌価格の上昇に代表される資料購入費の高騰の問題である。結果的にこのことが、DDSやILLのサービスの進展を助長する形となっている。図書館としては、資料費の予算自体が伸び悩み、縮小さえされる傾向にある上に、さらには、増加し続ける資料の配架・保存スペースも厳しい状況となっている。こうした状況下では、図書館としては、雑誌の利用度を勘案して、コア・ジャーナル以外の周縁的資料は、キャンセルして、その入手はILLやDDSなどの外部情報へのアクセス手段の充実により対処せざるを得なくなっている。このことは、「所有かアクセスか」と表現されるように、図書館自体も政策転換を余儀なくさせられ、「万が一に備えて」資料を購入・保存しておくよりも、「必要な時に」アクセスして入手すればよいというコスト・パフォーマンスを重視した考え方に立たざるを得なくなっている。自館で収集できないのなら「外部情報へのアクセス手段を確保すればよい」という政策が進展すれば、各種のデータベース・サービス、とりわけフルテキストを直接提供するデータベースの需要は高くなってくる。

(3) ドキュメント・デリバリー・サービス (DDS) の種類と具体例

DDS と一口に言っても様々なサービスがあるが、ここでは特に近年増えてきた、インターネットを利用したDDSを電子ジャーナルとドキュメントサプライヤによる二つの提供方法に分け考察してみたい。

①電子ジャーナルによる DDS

DDS を提供主体から考えてみると、一つ目に、出版社が自社のジャーナルを提供する方法（いわゆる電子ジャーナルと呼ばれるもの）がある。提供方法、価格、契約方法も様々で、無料で利用できるもの、冊子体購読者が追加料金を支払うことにより利用できるもの、オンラインジャーナルのみを購読して追加料金を支払うことにより利用できるものなどがある。また、最近では大手出版社など自社のオンラインジャーナルを統合したアグリゲータとして提供するところが増えている。アグリゲータ=aggregator とは、データベースプロバイダ等が複数の出版社のオンラインジャーナルを購入し、統合して統一のインターフェイスで提供するサービスのことである。また、中小の出版社も独自に行うのではなく、ingenta などのアグリゲータに統合されつつある。（余談だが今後出版社が単独でサイトを作成して行うところは少なくなるのではないか。また、将来的に出版社は冊子を読者に売るのではなく、アグリゲータに電子論文を売り、提供していくことになるのかもしれない。または出版社そのものがなくなり、アグリゲータが論文を収集するということになるのかもしれない。すでに日本国内でも(株)雄松堂が「日本博士論文登録機構（JDR）」を発足させている。<http://www.yushodo.co.jp/center/jdr.html>）

アグリゲータの種類としては、大きく以下の三つに分けることができる。

1. 伝統的アグリゲータ

フルテキストをホスティングするアグリゲータ。

各機関で契約してから利用可能となる。

契約後はフルテキストまで閲覧することができるものがほとんど。

例・ProQuest, (ProQuest Information and Learning 社が持つ新聞・雑誌書誌データベースの検索サービスとフルイメージ、フルテキストをインターネットで提供するサービス)

EBSCOhost(米国大手雑誌取次会社の EBSCO 社が提供するデータベース検索、フルテキストサービス)

(詳しくは DDS 資料[1]~[5]参照)

2. ゲートウェイアグリゲータ (大手出版社系)

オンラインジャーナルへのリンク集としてのアグリゲータ

冊子体購読者は無料で閲覧でき、それ以外の雑誌は目次まで閲覧することができる。

例・Science Direct, LINK, Wiley Interscience

(それぞれ海外大手出版社が提供するサービス)

(詳しくは DDS 資料[6]~[8]参照)

3. ホスティングアグリゲータ

出版社の電子出版代行をし、電子化したオンラインジャーナルをホスティングし提供するアグリゲータ。参加している出版社のうち購読しているものはフルテキストにアクセスでき、他も目次まで閲覧することが可能な場合が多いので雑誌記事索引として利用することもできる。(特に ingenta は Uncover、Medline を含む。) また、pay per view で購入することもできるのでドキュメントサプライヤとしての機能もある。

例・ingenta (英国で 1998 年に設立され、米国の UnCover 社や CatchWord 社を相次いで買収するなど急成長している企業 ingenta の提供するサービス。)

HighWire Press (1995 年にスタンフォード大学図書館によって設立された非営利団体が提供するサービス。)

(詳しくは DDS 資料[9]～[11]参照)

②ドキュメントサプライヤ (以後 DS) による DDS

二つ目にドキュメントサプライヤ (以後 DS) による提供がある。DS とは主に営利を目的とした文献提供送付機関であり目次等の 2 次情報までを無料又は別途契約により公開し、文献を有料で配送 (論文の切り売り) をするサービス主体のことである。図書館や非営利の専門機関、データベース提供機関、国内代理店など、様々な機関が DDS を提供している。配送方法も郵送からファクシミリ、電子メール、PDF など多岐におよぶ。

例・BLDSC (=British Library Document Supply Centre, 世界最大規模の DS)

inside web (BL が提供するデータベース検索と DDS が統合されたサービス)

Loansome Doc by SUMMEDIA (米国国立医学図書館;NLM の DDS)

JICST 複写サービス (科学技術振興事業団;JST の複写サービス)

CAS 原報複写サービス (CA 収録誌を入手できる)

また、文献入手の最近の動向として、主に出版社がインターネット経由で提供している電子ジャーナルサイトから Pay-Per-View 方式で論文を購入するという方法も一般的になりつつある。これらは電子ジャーナルと結びついた DDS の一方式ともとれるサービスである。(3. ホスティングアグリゲータ参照)

例・DocumentWire (カーナレッジワイヤによる論文販売サービス)

OCLC FirstSeach ECO (ECO 収録の電子ジャーナルが対象)

(詳しくは DDS 資料[12]～[21]参照)

以上 DDS を 2 種類に分けて述べたが、各サービスの具体的な内容は、DDS 資料[1]～[21]にまとめたので参照頂きたい。なお、資料作成にあたり、サービス提供会社の協力をいただいた。(資料中の文章は回答内容のまま掲載。一部はホームページより抜粋して作成。詳しい内容、現在の状況については各サービス提供会社ホームページをご覧になるか、直接お問い合わせ下さい。また、あくまで代表的と考えられるものをあげたものです。)

(4) ドキュメント・デリバリー・サービス (DDS) をめぐる諸問題

ILLの周縁問題としてのDDSについて、その諸問題として、①著作権問題、②新たな伝送方法の活用と公衆送信権、③DDSが蔵書資源の代替になるか?という3つの観点から、考察することとする。

① 著作権問題

1. ILLやDDSは法に抵触?—著作権の解釈をめぐって

著作権は、工業所有権と並んで、知的所有権の一つである。著作権法の定めるところでは、著作者の許諾なしにその著作物を複製できないのが原則となっている。しかし、一方で、情報利用者のアクセス権限というものが、著作権者の権利を尊重しつつなされる公明正大な利用 (フェア・ユース) であるならば、認められなければいけない。著作権制度では、情報の生産者である著作権者の権利と情報利用者のフェア・ユースの権利の両者が尊重されることで、情報や文献の流通が促進され、文化の発展が助長されるものでなければならない。そのため、著作権法では、一定の制限を設けて、複製を認めることとしている。図書館等における複製を規定しているのが著作権法第31条第1号であり、ここで規定される一定の要件を満たせば著作権者の許諾なしに自由に複製することができるようになっている。

とりわけ図書館でのILLやDDSに深く関係するのが、第31条の第1号の「図書館等における複製」の項目になる。

著作権法の第31条では、まず次のように規定がなされている。

「図書、記録その他の資料を公衆の利用に供する事を目的とする図書館その他の施設で法令で定めるものにおいては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料を用いて著作物を複製することができる」とし、それは以下の、第31条第1号で規定される条件を満たさなければならないとされている。

その第1号では、「1. 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分 (発行後相当期間を経過した定期行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部) の複写物を一人につき1部提供する場合」と規定され、この条件を満たせば、無許諾による複製が可能である。

このように、図書館などにおいて著作物の複製を行う場合には、一定の要件を満たせば、著作権者の許諾を要することなく、自由に複製を行うことができるように規定されている。しかし、この第31条の解釈については、図書館とその利用者の側の便宜や公正利用に力点が置かれた主張がなされる場合もあれば、その一方で、著作者や出版社などの著作権者の経済的な利益が強調される場合もある。この第31条をめぐり、利用者側、著作権者側、双方の主張がせめぎ合い、その複製行為が適法か違法かの議論を巻き起こす形になっている。

出版物の著作権処理を集中して管理する日本複写権センターとその有力会員である学術

著作権協会は、DDSやILLに対しては、否定的な見解を持っているとされている。

つまり、これらの著作権管理団体の判断としては、「図書館がそもそも第三者である利用者に対して、文献の譲渡を目的とする複写サービスを提供すること自体、第31条で適法とされている公正な利用の範囲を超えるものであるとし、著作権者の許諾がない限り、違法な複写利用と判断する」としているのである。以上のような解釈は、著作者や出版社の経済的な利益を損なってはならないとする著作権者の立場を強調したものとといえるだろう。

2. 著作権問題の本質——有用な情報は「無料ではない」

このように、DDSやILLが著作権法第31条の適用外であるとの主張がなされてしまうと、図書館としても、法に抵触するか、すれすれの中で、後ろめたい気持ちを持ちつつ、サービスを行うことになってしまう。

それでは、この複写・複製問題の解決の道筋は、どのように考えられるのだろうか。

情報の仲介者である図書館としては、つい利用者への便宜ばかりを意識しがちであり、著作権の権利制限の拡大を期待したいのが本音かもしれない。しかしながら、権利者側と利用者側との間における長期にわたる交渉にもかかわらず、一向に議論が収束せず、図書館の現場としては、困惑するばかりである。利用者側からすれば厳しいかもしれないが、日本国内の利用者各人が「有用な情報は無料ではない」ということをしっかり認識すべきで、知的所有権をもっと尊重する意識を持つことが必要ではないだろうか。著作権問題の根本的な解決のためには「受益者は適正な著作権料金を負担しなければならない」という事態を受け入れる覚悟も必要なのではないだろうか。しかし、著作権処理を行うために、利用者側が必要に迫られる度に、その都度、個々の著作権者に連絡を取り、許諾を求めたり、著作権料金を支払うというのでは、あまりに煩雑なことになる。我が国でいえば、やはり日本複写権センターがしっかりと機能し、著作者、出版社、利用者、図書館、ドキュメント・デリバリー・サプライヤーのそれぞれにとって、理解と信頼が得られるような明快な著作権処理システムを提示し、構築することが大事であると思う。そういった意味でも、図書館側（国公立大学図書館協力委員会）からの日本複写権センターへの積極的な働きかけが必要であろう。

②新たな伝送方法の活用と公衆送信権

1. 文献画像伝送システム Ariel

文献自体の利用者への提供方法は、技術の進歩により FAX からインターネットを介したものと進歩してきている。このインターネットを介した代表的な文献画像伝送システムとして、Research Library Groupが開発した Ariel というソフトウェアが存在する。Ariel では、スキャナーで読み込んだ文献の画像イメージがデータ圧縮された後に相手館にインターネットを介して伝送されることになる。受信館では、やはり Ariel を使用し、圧縮データを画像に戻し、プリンターから出力することになる。なお、この際、画像データの再

利用は認められないので、利用終了後は、パソコン内からデータは消去しなければいけない。この Ariel は、日本国内の著作権法との関係で、FAX と同様の伝送方法をとることから、インターネットを介して伝送する部分で、同法の 23 条で規定される「公衆送信権」に抵触するとされている。

2. 電子的な文献伝送と著作権処理の問題

日本複写権センターの解釈では、他機関への複製提供は、郵送は許可されるが、FAX や Eメールによる電気通信回線を介した有線送信などの方法は不可としている状況がある。Ariel などの DDS の伝送システムは、文献のより迅速で、高品質な画像状態での提供を機能面では可能としてくれている。しかし、国内では、少数の国公立大学図書館間の実験段階に留まり、本格的な実用段階には至っていない。電子的な文献伝送手段の活用に向けて、障害となっている問題とは、上述の著作権問題であるわけである。著作権問題が早急に克服されることが切望される。この場合における公衆送信権の解釈に際して、図書館側に有利にとれば、不特定多数の公衆に送信する放送通信などとは違って、受信者が図書館に限定されるのであれば、図書館の責任においてデータは一部のみ出力することとして、出力後のデータを必ず廃棄すれば、著作権者の許諾は不要であるとの考え方も成り立つかもしれない。電子的な文献伝送においても、先程の第 31 条の解釈論と同様、利用者側、著作権者側、双方の主張がせめぎ合い、公衆送信権に抵触するかどうかの議論を巻き起こす形になっている。

技術の進歩は日進月歩であり、優れた電子的な文献伝送システムを DDS や ILL の業務へ活用できる可能性は大いにある。しかしながら、著作権処理の問題をクリアできずに効率のよいシステムの利用ができないというのは、遺憾なことである。先の複製権の問題同様に、利用者側と権利者側との交渉には、時間がかかることが予想される。そうした事態の打開においては、著作権問題の解決のために、やはり利用者が一定程度の著作権料金を著作権者に支払うという譲歩も場合によっては、必要かもしれない。この点でも、図書館側と日本複写権センターとの間での協議が早急に進展することを期待したいと思う。

③ DDS が蔵書資源の代替になるか？

最初にも述べた「所有よりアクセス」という考え方が図書館界で一般化する中で、本当に「所有よりアクセス」が有効か？という疑問もある。

図書館としては、「万が一に」備えて資料を収集し、「所有」すなわち蔵書を構築し、維持してゆくよりも、「必要な時に」外部情報源に「アクセス」して情報を収集するという方向に確実に移行してきている。しかし、紙媒体の資料を電子ジャーナルや DDS へと提供手段を変更していった場合、従来の紙媒体の文献収集プロセスでは得られていた「ブラウジング」の効用は、切り捨てられてしまいかねない。ブラウジングの行為では、寄り道しながらも付随的な発見があり、偶発的に貴重な情報に遭遇する喜びがあった。そういった

意味で、外部情報源への「アクセス」だけでは、従来の紙媒体の文献収集プロセスでは得られていた「ブラウジング」機能は補償されず、図書館の蔵書資源の代替機能を充分果たしているとはいえない。

電子ジャーナルやDDSへの切り替えが進展する中で、ある特定テーマや目的に直線的に向かいすぎることばかりが強調されており、果たしてこれだけでよいのだろうかという心配がある。旅行に例えるならば、新幹線の旅では、得られないものが、「青春18キップ」の鈍行列車の途中下車の旅にはあった気がする。

電子情報源へのアクセスが支配的な時代であるからこそ、図書館がその組織体としての存在意義を維持するためにも、直線的な電子図書館化の追求ばかりではなく、自館として明確な方針を持ち、譲れない中核となる蔵書部分は、堅持・充実していくことが必要であるだろう。

知的文化遺産を収集、保存し、次世代に伝承していくという従来型の図書館機能を忘れてはならないと思う。ターニング・ポイントの時期にある図書館だからこそ、紙と電子をうまくハイブリッドし、調和させていくことが重要ではないだろうか。

参考文献

(総論、館界の状況)

- 1) 木本幸子「電子出版の現状と動向」『薬学図書館』Vol. 41 No.3 p.245-249 1996
- 2) 川崎誠一「電子メディア環境の拡大と紙メディアの役割」『情報の科学と技術』Vol.46 No.2 p.74-81 1996
- 3) 横山桂「テクノロジーと図書館:大学図書館を中心に」『図書館界』Vol.51 No.5 p.276-283 2000
- 4) 諏訪敏幸「学術図書館における自足性の後退と学術情報ユーティリティ——逐次刊行物分野を中心に」『大学図書館研究』Vol.57 p.1-21 1999
- 5) 梅垣理郎「情報化の波と大学図書館」『学術月報』Vol. 50 No.3 p.234-238 1997
- 6) 森茜「変換期における大学図書館の管理と運営」『大学図書館研究』Vol. 50 p.6-13 1996
- 7) 村上泰子;北克一「図書館サービス、デジタル資料・情報、著作権」『図書館界』Vol.51 No.5 p.344-351 2000
- 8) 安達淳「学術情報センターの電子図書館サービスと学術雑誌の電子化」『薬学図書館』Vol.44No.3 p.227-234 1997
- 9) Bengtson, Betty G.「講演 ネットワーク世界における学術研究図書館の現実と選択」『情報管理』Vol.43 No.10 p.895-908 2001

(ドキュメントデリバリーサービス)

- 10) 永田治樹「大学図書館とエレクトロニック・ドキュメント・デリバリー」『情報の科学と技術』Vol.44 No.7 p.352-361 1994
- 11) 橋爪宏達「電子図書館とドキュメント・デリバリー」『薬学図書館』Vol.41 No.2 p.119-130 1996
- 12) 木本幸子「ドキュメントデリバリーサービス—その背景と現状の考察—」『大妻女子大学紀要—家政系—』No.36 p.241-257 2000
- 13) 松下茂「日本のドキュメントデリバリーサービス:現状と課題」『薬学図書館』Vol.46 No.2 p.133-138 2001
- 14) ジョーンズ, C. リー「デジタル図書館におけるドキュメント・デリバリー」『情報管理』Vol.42 No.11 p.909-924 2000
- 15) 菅利信「Document Delivery の新しい枠組を考えよう」『医学図書館』Vol.43 No.1 p.56-60 1996
- 16) 田邊稔「ドキュメントデリバリーサービスの実際と応用(概説)」『現代の図書館』Vol.39 No.3 p.159-166 2001

(電子ジャーナル)

- 17) 「特集 電子ジャーナルプロダクトレビュー」『大学の図書館』Vol.20 No.7 p.127-141 2001.7.25
- 18) 松山裕二「電子ジャーナルと文献データベースの方向」『情報の科学と技術』Vol.51 No.5 p.266-270 2001
- 19) 長谷川豊祐「印刷雑誌から電子雑誌へ:ハイブリッド図書館での関わり」『日本農学図書館協議会誌』No.119 p.1-21 2000
- 20) 時実象一「電子ジャーナルの現状と動向」『情報管理』Vol.43 No.5 p.391-410 2000
- 21) 長塚隆「電子ジャーナルの行方と医学図書館」『医学図書館』Vol.46 No.4 p.366-372 1999
- 22) 尾城孝一「電子ジャーナルの導入とサービス」『薬学図書館』Vol.44 No.3 p.217-226 1999
- 23) 大原寿人「電子ジャーナルの現状と大学図書館」『レコード・マネジメント』No.38 p.56-62 1999
- 24) 木本幸子「電子ジャーナル—インターネット上の学術雑誌について」『大妻女子大学紀要—家政系—』No.35 p.167-186 1999
- 25) 小山内正明「電子ジャーナルと学術出版の未来」『情報の科学と技術』Vol.46 No.7 p.390-396 1996

(デジタル情報源の組織化)

- 26) 「図書館の目録とメタデータ」 『ふみくら』 No.66 p.6-7 2000.12.15
<http://www.wul.waseda.ac.jp/PUBS/fumi/66/66-08.html>
- 27) 「目録所在情報サービスの今後の展開」 『オンライン・システムニュースレター』
No.70
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/n1/n1-70-01.htm>
- 28) 「総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱い（暫定案）」
『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』 No.1 p.4 2000.8.10
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/n12/No1/0103.htm>
- 29) 「総合目録データベースの電子ジャーナルの登録」 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』
No.2 p.6 2000.12.25
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/n12/No2/0206.htm>
- 30) 「電子ジャーナルに関するコーディングマニュアルの改訂」 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』
No.5 p.9 2001.12.20
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/n12/No5/0507.htm>

(相互協力、資源共有)

- 31) 佐藤淑子 「相互貸借における文献入手の現状と今後」 『医学図書館』 Vol.47 No.3
p.251-255 2000
- 32) 石井啓豊 「資料共有の新展開と ILL/DD サービスの展望」 『情報の科学と技術』 Vol.49
No.8 p.378-386 1999
- 33) 金沢みどり 「日本の大学図書館における ILL の現状とその問題点」 『図書館学会年報』
Vol.40 No.3 p.110-117 1994
- 34) 石井啓豊 「ILL ネットワーク・モデルに基づくサービスの集中と分散の限界」 『図書館
学会年報』 Vol.41 No.3 p.130-144 1995
- 35) 井上如 「リソース・シェアリングと図書館——ILL の心と形」 『情報の科学と技術』
Vol.43 No.11 p.978-985 1993
- 36) 平成 13 年度新 CAT/ILL システム説明会及び学術雑誌総合目録欧文編データ更新説明会
グローバル ILL/DD の実施に向けて 配布資料
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/setumei-h13.html>
- 37) 佐藤義則 「電子化資料とコンソーシアム:コンソーシアム・ライセンシングの可能性」
『情報の科学と技術』 Vol.47 No.11 p.574-583 1997
- 38) 原田隆史 「図書館コンソーシアムとドキュメント・デリバリー」 『同志社大学図書館年
報』 27 別冊 p.1-18 2001
- 39) 「電子ジャーナル・コンソーシアムの形成—JIOC/NU の現状と課題—」 『大学図書館研
究』 No.61 p.65~67 2001

- 40) 山口直比古「電子ジャーナル利用のためのコンソーシアム」『医学図書館』Vol.46 No.3
p.296-299 1999

(著作権問題)

- 41) 黒澤節男「ILLと著作権」『情報の科学と技術』Vol.49 No.8 p.399-404 1999
- 42) 山本順一「図書館と著作権」『図書館界』Vol. 53 No.3 p.355-363 2001
- 43) 大口欣一「図書館における複製サービスと著作権」『図書館雑誌』Vol.94 No.2 p.94-96
2000
- 44) 千原秀昭「図書館サービスと著作権」『大学図書館研究』Vol. 53 p.1-7 1998
- 45) 南亮一「図書館資料の貸出しと複写の法的裏付けについて」『情報の科学と技術』Vol.51
No.11 p.573-578 2001
- 46) 南亮一「我が国の著作権法と図書館サービスとの関係」『国立国会図書館月報』No.452
p.3-10 1998
- 47) 三浦勲「外国文献複写と著作権」『情報の科学と技術』Vol.51 No.11 p.579-584 2001
- 48) 三浦勲「ドキュメントデリバリー・サービスと著作権処理」『実践女子短大評論』No.22
p.13-26 2001
- 49) 前園主計「著作権に係る専門図書館の現状と問題点——文化審議会著作権分科会情報小
委員会図書館 WG における専門図書館からの発表」『専門図書館』Vol.188 p.15-18
2001
- 50) 加藤好郎「講演 日本複写権センターと大学図書館との交渉経過と今後の見通し」『私立
大学図書館協会会報』Vol.116 p.101-106 2001
- 51) 日本複写権センター「図書館におけるコピーサービス——厳格な運用で共存共栄の關係
に」『出版ニュース』Vol.1891 p.10-12 2001

(Ariel 関係)

- 52) 大山努「Document Delivery Service への Ariel 導入の試行」『医学図書館』Vol.44 No.2
p.230-235 1997
- 53) 松下茂「プロダクトレビュー:Ariel のインターネット相互貸借」『ほすびたるらいぶら
りあん』Vol. 26 No.1 p.56-58 2001
- 54) 豊田裕昭「文献画像伝送システム:Ariel2.1 と EpicWin3000」『薬学図書館』Vol.44
No.4 .10 p.370-376 1999
- 55) 高野幸三「東京工業大学附属図書館における Ariel システムの導入」『大学図書館研究』
Vol.46 p.26-33 1995

DDS資料[1]

EBSCOhost, EBSCO Online Journal

| | |
|--------------|--|
| 提供元 | E.P.(EBSC Publishing Co. Ltd.) & E.S.S.(EBSCO SUBSCRIPTION SERVICE Co. Ltd.) |
| サービス内容 | 英米を中心とした約4000タイトルの雑誌全文テキストデータベースと世界の約8000タイトルの電子ジャーナルの提供 |
| 分野 | 雑誌全文テキストデータベースは人文社会と経済経営を中心に教育、理工、新聞雑誌など。電子ジャーナルは主要学術分野をすべてカバーしている。 |
| データベース数 | EBSCOhostは約100種類近くあるが、全文テキストデータは70種類以上そろえている。 |
| 出版社数 | 比較的小さな出版社もカバーしているので、1000社近くカバーする。電子ジャーナルは500社以上。 |
| ジャーナルタイトル数 | もっとも大きな全文テキストデータベースのAcademic Search Premierでは、2300誌(全文誌)、3100(抄録誌)。全体で見ると、抄録(Abstract,Citation Index)だけでは1万タイトル近く。 |
| アクセスポイント検索機能 | 数種類用意されます。キーワードを入れるのはBasic, Buided, Expertの3種類。他に雑誌名(複数可)や米国会図書館に準拠した主題も用意されている。著者、引用文献、画像説明文なども可能。電子ジャーナルの場合も、誌名、記事名の横断検索が可能。 |
| アクセス方式 | EBSCOhostもしくは、NOL(NaukaOnLine)のアイコンをつかって学内からIPアドレスの自動認証によってデータベース画面に入る。ご自宅や出張先用のID,PWも配布可能。電子ジャーナルではごく一部、User IDとPasswordを入力します。 |
| ファイル形式 | すべてにテキストが付きま(HTMLおよびXML with JIF or JPEG)。全文テキストの頭からつま先まで検索できます。同時に画像ファイル(PDFを採用)がほとんどのタイトルに付いています。電子ジャーナルの場合も各出版社が提供するHTMLとPDFが一般的ですが、Acrobat Readerによって読み出せる他の方式もかなり含まれます。 |
| 価格体系 | サイトごとの年間固定制。アクセス数の制限なし。複数キャンパスも1サイトで括れる場合があります。オンライン利用に不可欠のタイトル増減、OPAC管理などのメンテナンスが付きま(当社の無料サービス)。安定した価格で提供するように心がけています。 |
| その他特徴 | 人文社会と経済経営系には、10年から30年近くの遡及データがほぼ備わりました。各論文がとDOIによって管理されているため、複数のEBSCOhostデータベース間でもEBSCO電子ジャーナルの間でもタイトル名と号数からのアプローチに加えて、論文索引と論文全文が直結。CD,DVDのバックアップあり。 |
| URL | EBSCO社(EP, ESS)のホームページは、 http://www.epnet.com オンライン事業部のホームページは、 http://www.nauka.co.jp/ebSCO/html です。このほかに現顧客に限定したURLがあります。 |
| その他 | ご契約をいただくと、各校さますべてに日本語での「スクリーン」、「オンライン・ヘルプ」、「NOLインフォメーション」等を提供いたします。また、Web版タイトルリスト(電子データ&電子ジャーナル)も用意できます。コンソーシアムによる複数の相互のOPACリンクが必要な折はお申し出ください。ご契約のない大学へ全文情報を配信することはできません。 |

回答: ナウカ(株)オンライン事業部

DDS資料[2]

ProQuest

| | |
|------------------|--|
| 提供元 | ProQuest Information and Learning社 |
| サービス内容 | インターネット経由で学術雑誌・新聞の索引と記事全文を提供 |
| 分野 | 全分野 |
| データベース数 | 50以上 |
| 出版社数 | 2000社以上 |
| ジャーナル タイトル数 | 7000誌以上 |
| アクセスポイント 検索機能 | 記事のタイトル、著者名、著者の所属機関、主題、画像キャプション等、約30の項目から検索が可能。雑誌名からの検索、検索語のブラウジングも可能。 |
| アクセス方式 | IPアドレス認証、またはユーザーID/パスワードによる認証。 |
| ファイル形式 | HTML、JPEG、PDF |
| 価格体系 | 年間利用契約(同時アクセス数無制限) |
| その他特徴 | 一部にはバックアップCD-ROMあり |
| URL | http://www.proquest.com |
| その他 | |

回答:株式会社 紀伊国屋書店

DDS資料[3]

INFOTRAC(=総合インターフェイス名)

| | |
|------------------|--|
| 提供元 | THOMSON LEARNING, GALE Group |
| サービス内容 | ジャーナルや新聞のデータベース、分野別に包括情報を盛り込んだデータベース(リソースセンター)の提供 |
| 分野 | 人文、社会科学、科学/テクノロジー、ビジネス |
| データベース数 | 約100 |
| 出版社数 | |
| ジャーナル タイトル数 | 約7000 |
| アクセスポイント 検索機能 | 主題検索、キーワード検索、適合率検索、アドバンス検索、 ジャーナルタイトルからブラウザ等 |
| アクセス方式 | インターネット IP認証またはID/パスワード認証 |
| ファイル形式 | HTML,PDF(一部) |
| 価格体系 | 同時アクセス数に基づく年間固定料金制 |
| その他特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・RPAS機能(機関外からのアクセスも可能一別設定必要) ・infoMarks機能(文献や検索結果画面をブックマーク) |
| URL | http://www.galegroup.com/ |
| その他 | |

回答:ユサコ株式会社

DDS資料[4]

Journals@Ovid (略名: J@O)

| | |
|------------------|---|
| 提供元 | Ovid Technologies, Inc |
| サービス内容 | 電子ジャーナル(フルテキスト)提供 |
| 分野 | 科学・技術・医学 |
| データベース数 | |
| 出版社数 | 50以上 |
| ジャーナル タイトル数 | 約530誌(2002年内には2000誌になる予定) |
| アクセスポイント 検索機能 | http://gateway.ovid.com |
| アクセス方式 | インターネット |
| ファイル形式 | SGML、PDF |
| 価格体系 | 年間固定料金(「Access Free」+「J@O年間利用料金」) ・「Access Fee」はOvid Onlineのサーバを年間利用する料金です。 ・「J@O年間利用料金」はジャーナルの年間購読料金です。 |
| その他特徴 | ・1回の契約で複数の出版社の電子ジャーナルと契約可能 ・1回アクセスすれば共通のインターフェイスでJ@O全タイトルを検索閲覧可能 ・Ovid版MEDLINE、CINAL、PpsycINFO、BIOSIS、EBMRとリンク可能。 |
| URL | http://www.usaco.co.jp/ovid/j@o.htm |
| その他 | 一誌のみの購読でも、J@O収録の全タイトル(530誌)の書誌事項が閲覧可能です。 また、J@O全タイトル中の全文検索が可能です。 |

回答:ユサコ株式会社

DDS資料[5]

JSTOR

| | |
|------------------|---|
| 提供元 | JSTOR(米国The Andrew W.Mellow 財団により設立された非営利団体) |
| サービス内容 | 電子化されたコアな学術誌のバックナンバーを初号よりオンラインにて提供。 |
| 分野 | 人文(文学、経済学、社会学、史学等15分野) |
| データベース数 | 5 |
| 出版社数 | 約100社 |
| ジャーナル タイトル数 | 234 |
| アクセスポイント 検索機能 | ①雑誌タイトルからのブラウズ ②keyword(語句、著者、抄録、タイトル等から)検索 |
| アクセス方式 | インターネット、IP認証 |
| ファイル形式 | HTML、PDF |
| 価格体系 | アーカイブ利用料と年間アクセス料の2つからなり、初年は両方、次年からは後者のみ。 機関規模により価格は変わる。サイトライセンスのみ。 |
| その他特徴 | フルテキストをGIFで提供。イメージで提供しているので冊子体を忠実に再現し、冊子体 を見ている感じで利用できる。 |
| URL | http://www.jstor.org |
| その他 | http://www.jstor.org より'DEMO'画面に入るとトライアルサイトになり内容の一部をお試し頂けます。 |

回答:ユサコ株式会社

DDS資料[6]

LINK

| | |
|------------------|---|
| 提供元 | Springer-Verlag |
| サービス内容 | インターネット経由で学術雑誌・書籍の索引と記事を提供 |
| 分野 | 全分野(理工学系中心) |
| データベース数 | |
| 出版社数 | Springer-Verlagおよびそのグループを含め10社ほど。 |
| ジャーナル タイトル数 | 約480 |
| アクセスポイント 検索機能 | |
| アクセス方式 | IPアドレス認証、またはユーザーID/パスワードによる認証。 |
| ファイル形式 | PDF, HTML |
| 価格体系 | 冊子体購読者は同時アクセス3台まで無料、4台以上の場合、冊子体購読料の25%の追加料金 |
| その他特徴 | |
| URL | http://link.springer.de/ |
| その他 | |

回答: イースタン・ブック・サービス株式会社

DDS資料[7]

ScienceDirect サイエンス・ダイレクト

| | |
|------------------|--|
| 提供元 | ScienceDirect/Elsevier Science |
| サービス内容 | フルテキスト および書誌データベース |
| 分野 | 全分野 |
| データベース数 | 1 フルテキストデータベース および 13書誌データベース |
| 出版社数 | 1 |
| ジャーナル タイトル数 | 1200 |
| アクセスポイント 検索機能 | アクセスポイントなし・検索機能有り |
| アクセス方式 | IP |
| ファイル形式 | HTML/PDF |
| 価格体系 | 見積もりベース |
| その他特徴 | 検索結果からフルテキストへのリンク。フルテキスト内での検索とリンク。CrossRefによる外部サイトへのリンク。化学ファクトデータベースへのリンク。 |
| URL | http://www.sciencedirect.com |
| その他 | 非購読誌の論文抄録への無料アクセスが可能。当年分とバックファイル4年分へアクセスを提供。現在1995年から150万件以上の論文を掲載。今後2年以内に全ての分野のバックファイル(創刊号から1994年)を掲載の予定。化学分野のバックファイルは掲載済み。また、大型参考文献も掲載されている。 |

回答: Elsevier Science エルゼビア・サイエンス

DDS資料[8]

WileyInterScience

| | |
|------------------|---|
| 提供元 | John Wiley and Sons Inc. |
| サービス内容 | インターネット経由で学術雑誌・参考図書・一般図書の索引と全文を提供 |
| 分野 | 全分野 |
| データベース数 | 1 |
| 出版社数 | 1 |
| ジャーナル タイトル数 | ジャーナル340誌、参考図書25冊、一般図書300冊(順次追加予定) |
| アクセスポイント 検索機能 | 雑誌タイトルからのブラウジング、及びキーワード検索により個々の論文へのアクセスが可能。 雑誌・参考図書・一般図書すべての資料への横断検索が可能。 検索機能は、誰でも(契約していなくとも)利用可能。 |
| アクセス方式 | IPアドレス認証が原則。 |
| ファイル形式 | HTML/PDF |
| 価格体系 | BAL (Basic Access License)・・・シングルサイトのお客様対象。同時ユーザ数1。雑誌毎に電子ジャーナルのみ、あるいは電子ジャーナル+冊子体で契約。電子ジャーナル+冊子体の場合、通常価格の5%増。 EAL (Enhanced Access License)・・・マルチサイトのお客様対象。ご購入雑誌全体で契約。同時ユーザ数無制限。価格はお問い合わせ下さい。 |
| その他特徴 | 登録ユーザにはメールによるアラートサービス・検索式保存機能などを提供。 EALユーザは、利用統計の参照が随時可能。 またEALユーザには、サイト外からのリモートアクセス機能や、非購読資料の利用が可能なトークンなどが提供される。 |
| URL | http://www.interscience.wiley.com/ |
| その他 | |

回答: John Wiley and Sons Inc.

DDS資料[9]

ingenta

| | |
|------------------|--|
| 提供元 | ingenta |
| サービス内容 | 出版社のもつジャーナルのデータ変換、安全なオンラインホスティングの提供および、これら購読者、Pay-per viewカスタマーへの提供。Web検索利用者への文献配送。Uncover、Medlineなどの書誌情報データベースおよび雑誌目次の公開。 |
| 分野 | 全分野 |
| データベース数 | 170出版社。書誌データベースUncover,Medline |
| 出版社数 | 170 |
| ジャーナル タイトル数 | 25000誌を超える。内フルテキストを含むタイトル5200誌(ただし、フルテキストの閲覧は各出版社との契約が必要。ただし非購読者もFAX、Ariel等により有料で配送してもらえる。) |
| アクセスポイント 検索機能 | |
| アクセス方式 | 各出版社により異なる |
| ファイル形式 | |
| 価格体系 | 各出版社により異なる。詳細はホームページ内のfull text accessを参照のこと。 |
| その他特徴 | |
| URL | http://www.ingenta.com |
| その他 | |

ホームページより作成

DDS資料[10]

HighWire Press

| | |
|--------------|--|
| 提供元 | Stanford University Library |
| サービス内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジャーナルの電子化処理。(対出版社) ・電子ジャーナルの提供。 ・書誌検索サービスの提供。 |
| 分野 | 科学、技術、医学 |
| データベース数 | |
| 出版社数 | 102社 |
| ジャーナルタイトル数 | <ul style="list-style-type: none"> ・297誌(HighWireの作成)内 148誌Pay-per view/107誌 free back issue/10誌 free journal ・4500誌を超える医学雑誌(Medlineによる) |
| アクセスポイント検索機能 | 雑誌タイトル、著者、キーワード、出版年、巻号数、論文の主題。ブラウズ機能あり。 |
| アクセス方式 | ID/PW方式(ただし、フルテキストを閲覧するには、購読が前提。) |
| ファイル形式 | PDF, ART Online による |
| 価格体系 | Pay-per view PDF US\$8.00 / APT Online US\$15.00 |
| その他特徴 | |
| URL | http://highwire.stanford.edu/ |
| その他 | 検索ページのカスタマイズが可能。(My favorite journals機能) |

ホームページより作成

DDS資料[11]

NACISIS-ELS

| | |
|------------------|---|
| 提供元 | 国立情報学研究所 |
| サービス内容 | インターネットにより、日本の学協会が発行する学術雑誌から論文を探し、その頁を表示したり印刷したりすることができるサービス。 |
| 分野 | 全分野 |
| データベース数 | |
| 出版社数 | 約160学協会 |
| ジャーナル タイトル数 | 約300誌 |
| アクセスポイント 検索機能 | 論文名、著者名、雑誌名から。 |
| アクセス方式 | IP/PW認証 |
| ファイル形式 | 専用のプラグインソフトウェアによる。 |
| 価格体系 | システム使用料は無料。論文のページを表示、印刷する場合は著作権使用料がかかるものもある。(学会によって有料のものと無料のものがある。)利用料金＝著作権料金 |
| その他特徴 | 論文・雑誌のリストの検索は自由。(論文のページ表示、印刷には利用登録が必要。利用登録が可能なのは大学および研究機関所属の者に限られる。) |
| URL | http://els.nii.ac.jp/nacsis-els-i.php3?top |
| その他 | |

ホームページより作成

DDS資料[12]

BLDSC

| | |
|-----------------|--|
| 提供元 | The British Library |
| URL | http://www.bl.uk/ |
| 対象分野 | 全分野 |
| 対象資料数 | 学術雑誌25万タイトル、書籍300万冊、レポート460万件、 会議録37万件、学位論文59万件等 |
| データベース /検索手段 | BLPC(http://blpc.bl.uk/) |
| 申込方法 | Web, E-mail, Fax, ARTTel, Tel, NACSIS-ILL経由 |
| 文献提供方法 | 郵送(Arimail)/FAX/Ariel/クーリエ |
| 複写料金 | 郵送 1,305円/文献 FAX 1,770円/文献 至急FAX 4,250円/文献 貸出サービス 2,385円/文献 |
| 著作権料金 | 実費(非営利団体は免除) |
| その他の料金 | Backup Search(BLの提携機関への調査依頼)720円/文献 |
| 特徴・その他 | 世界最大級の文献提供期間です。世界中から毎日約15,000件の注文が入り、その内約90%を所蔵資料で充足しています。 |
| 問い合わせ先 | 丸善株式会社 学術情報ナビゲーション事業部 法人営業推進室アウトソーシング部 TEL:03-3272-3526 FAX:03-3273-2124 E-mail:dds@maruzen.co.jp |

回答:丸善株式会社 *データベース/検索手段は追加記入

DDS資料[13]

CAS 原報複写サービス

| | |
|-----------------|---|
| 提供元 | Chemical Abstracts Service (CAS) |
| URL | 社団法人 化学情報協会 http://www.jaici.or.jp/ Chemical Abstracts Service http://www.cas.org/ |
| 対象分野 | 科学技術 |
| 対象資料数 | ・1975年以降のCAの収録対象誌(約9000種類) ・33カ国および2国際機関が発行する特許明細書 ・BLDSC保有資料 |
| データベース /検索手段 | CA |
| 申込方法 | STN International 等のオンライン、ChemPort、FAX、CASホームページ等 |
| 文献提供方法 | 郵送/FAX/E-mail/クーリエ |
| 複写料金 | 特許 ¥2,550/件 非特許文献 ¥3,300/件(化学情報協会に申し込んだ場合) |
| 著作権料金 | 出版社に依存 |
| その他の料金 | 原報貸出料:¥2,000/件 国際郵便料:¥550/件 FAX(1-10分):¥1,150 FAX(11-40分):¥2,100 FAX(41-100分):¥3,450 国際宅急便(クーリエ)手数料:¥1,900/件 キャンセル料:¥600/件 (全て化学情報協会に申し込んだ場合) |
| 特徴・その他 | CAS自身が保有する8000誌以上のCA収録対象誌の論文と特許、ならびにBLDSC保有資料もサービスの対象にしている。著作権処理のできない資料については原本を貸し出す。 |
| 問い合わせ先 | 社団法人 化学情報協会 情報事業部 原報複写係 〒113-0021 東京都文京区本駒込6-25-4 TEL:03-5978-3621 FAX:03-5978-3600 E-mail: cas-stn@jaici.or.jp |

:社団法人 化学情報協会 *データベース/検索手段は追加記入 複写料金・その他料金はホームページより作成

DDS資料[14]

CICTIDキュメントデリバリーサービス

| | |
|-----------------|--|
| 提供元 | CISTI (The Canada Institute for Scientific and Technical Information) |
| URL | http://www.sunmedia.co.jp/e-port/CISTI/ |
| 対象分野 | 科学技術、農学、薬学、生物学、医学 |
| 対象資料数 | CISTI : 逐次刊行物5400タイトル 書籍・会議録70万タイトル テクニカルレポート200万タイトル カナダ農学図書館 : 逐次刊行物約3万タイトル 書籍・会議録約6万タイトル |
| データベース /検索手段 | CISTI Catalogue(http://cat.cisti.nrc.ca/screens/opacmenu.html) |
| 申込方法 | WEBオーダー(専用のご利用パスワードを発行いたします) |
| 文献提供方法 | FAX/Ariel |
| 複写料金 | 1論文 1400円 |
| 著作権料金 | 商業目的の利用には、学術著作権協会を通じてCCCに1ページ50円の著作権料金が 必要です。 |
| その他の料金 | 年間登録料 1万円 |
| 特徴・その他 | BLDSCと並ぶ著名なドキュメントデリバリー機関です。NLNの姉妹艦として、DOCLINE の加盟館。WEBを通してのステータス確認、24時間受付、24時間以内の送付、ご請求 は日本円にて弊社からご請求いたします。 |
| 問い合わせ先 | 弊社e-Portまで Email e-port@sunmedia.co.jp |

回答:株式会社サンメディア *データベース/検索手段は追加記入

DDS資料[15]

DocumentWire

| | |
|-----------------|--|
| 提供元 | 株式会社 ナレッジワイヤ |
| URL | http://www.kwire.co.jp |
| 対象分野 | 医学、薬学、化学、理工学 |
| 対象資料数 | 約210 (2001年12月末現在) |
| データベース /検索手段 | WEBページより、収録の全論文を対象に、 論文タイトル・著者・発行年・雑誌名から検索できる |
| 申込方法 | 弊社Webサイトから |
| 文献提供方法 | 郵送/FAX/宅急便 |
| 複写料金 | 資料(雑誌)によって異なる。価格は弊社サイトを参照。 |
| 著作権料金 | 料金に含む |
| その他の料金 | なし |
| 特徴・その他 | 弊社のサービスはいわゆる「複写サービス」ではなく、契約している出版社の論文PDFファイルをプリントしてお届けする「論文販売サービス」です。PDFファイルからのカラープリンタによる出力で画質も優れています。また出版社の電子ジャーナルを元に提供しますのでオンライン版のみの論文も提供可能。契約出版社、提供可能雑誌は今後も順次追加される予定です。お支払いはカード支払いだけでなく、円建て決済、銀行振込、郵便振替、見積・納品書提出などといった国内標準の決済方法が可能です。 |
| 問い合わせ先 | 160-0022 東京都新宿区新宿1-6-8 鈴木ビル A-9F 株式会社ナレッジワイヤ TEL:03-5367-1969、Email:info@kwire.co.jp |

回答:株式会社 ナレッジワイヤ * データベース/検索手段は追加記入

DDS資料[16]

IMICOrder (アイミックオーダー)

| | |
|-------------|---|
| 提供元 | (財)国際医学情報センター |
| URL | https://www31.imic.or.jp/scripts/us000110.asp |
| 対象分野 | 医学・薬学を中心とした科学技術全般の分野 |
| 対象資料数 | 内部資料: 当財団および提携図書館所蔵資料 雑誌 約9000誌(カレント誌は約3600誌)、単行本 約5万冊 外部資料: 国内外の外部関連機関所蔵資料 |
| データベース/検索手段 | 所蔵資料についてはWEBページ上に一覧あり |
| 申込方法 | インターネットによる申込のみ(ユーザー登録要; 無料) |
| 文献提供方法 | 郵送・FAX |
| 複写料金 | 1論文30ページ毎の固定料金制(送料込・消費税別・著作権料金別) 内部発送 900円 内部FAX 1800円 内部当日FAX 1800円 外部発送 2200円 |
| 著作権料金 | 平成14年4月1日納品分より対応予定です。 |
| その他の料金 | 郵送やFAX・電子メールによる複写申込は上記とは異なる料金体系が適用となります。 詳細は下記にお問い合わせください。 |
| 特徴・その他 | ①1件毎の固定料金制です。 ②どなたでも簡単に登録でき、ご登録後すぐにご利用可能です。 ③24時間お申込ができます。 ④お申込後の作業状況・納品状況、申込履歴が簡単に確認できます。 ⑤ご利用料金は郵便振替または銀行振込による後納方式です。 |
| 問い合わせ先 | 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館 (財)国際医学情報センター 資料サービス課 e-mail copy@imic.or.jp TEL 03-5361-7088 FAX 03-5361-7150 |

回答:(財)国際医学情報センター *データベース/検索手段は追加記入

DDS資料[17]

inside web

| | |
|-----------------|--|
| 提供元 | The British Library |
| URL | http://www.bl.uk/services/current/inside.html |
| 対象分野 | 全分野 主に自然科学/医学/技術関係 |
| 対象資料数 | 学術雑誌2万タイトル 会議録10万タイトル |
| データベース /検索手段 | Inside Web独自データベース(1993~) |
| 申込方法 | Web |
| 文献提供方法 | 郵送(Arimail)/FAX/Ariel/PDF(download)/クーリエ |
| 複写料金 | 郵送:1,305円/文献 クーリエ:2,520円/文献 2時間FAX・Ariel:1,620円/文献 12時間FAX・Ariel:1,305円/文献 PDF:1,305円/文献 |
| 著作権料金 | 実費 |
| その他の料金 | 年会費 1エンドユーザーのみ10万円 10エンドユーザーまで20万円 25エンドユーザーまで25万円 26エンドユーザー以上25万円+1,000円/追加エンドユーザー |
| 特徴・その他 | <ul style="list-style-type: none"> データベースに収録されている文献はほとんど入手可能である。 管理者用とエンドユーザー用と機能が分かれていて、管理者がユーザーの利用管理できる。 雑誌の最新目次情報や登録した検索式を自動実行した検索結果をE-mailで受け取れる。(アラートサービス) |
| 問い合わせ先 | 丸善株式会社 学術情報ナビゲーション事業部 法人営業推進室アウトソーシング部 TEL:03-3272-3526 FAX:03-3273-2124 E-mail:dds@maruzen.co.jp |

回答:丸善株式会社 *データベース/検索手段は追加記入

DDS資料[18]

JAPIC 複写サービス

| | |
|-----------------|---|
| 提供元 | JAPIC[(財)日本医薬情報センター] |
| URL | http://www.japic.or.jp/ |
| 対象分野 | 医学・薬学 |
| 対象資料数 | 所蔵資料 国内誌327誌(JAPIDOC収録誌数;2002年2月現在) 他非所蔵資料も取り寄せ可 |
| データベース /検索手段 | JAPICDOC,ADVISEなど独自データベース(有料) 所蔵資料は「JAPIC医薬資料ガイド」(冊子体)。希望すれば送料負担で送付可 |
| 申込方法 | 郵送・FAX |
| 文献提供方法 | 郵送 |
| 複写料金 | <非会員>JAPIC所蔵資料 基本料¥1,200 + 複写料¥80/頁 他機関からの取り寄せ 基本料¥3,000/論文 + 複写料実費 |
| 著作権料金 | - |
| その他の料金 | 上記複写料に消費税が加算される。 基本料には手数料と送料が含まれる。 速達又は宅急便での送付は至急料金として¥500加算 |
| 特徴・その他 | 会員限定でインターネットでの申込、FAX出力サービスを行っている。 |
| 問い合わせ先 | (財)日本医薬情報センター附属図書館 TEL:03-5466-1827 FAX:03-5466-1818 |

ホームページより作成

DDS[19]

JICST複写サービス

| | |
|-----------------|---|
| 提供元 | JST[科学技術振興事業団] |
| URL | http://www.pr.jst.go.jp/ |
| 対象分野 | 科学技術・医学・化学など |
| 対象資料数 | 雑誌 約3万・会議録 約5万・テクニカル・ペーパー等 |
| データベース /検索手段 | JICST,JCATALOGなど(有料) 資料所蔵目録(冊子体) JST資料所蔵目録 Web検索 (http://opac.jst.go.jp/) |
| 申込方法 | Web,オンライン(JOISコマンドライン、Enjoy JOISより),FAX,郵送 |
| 文献提供方法 | 郵送/FAX/E-mail(PDF) |
| 複写料金 | <ul style="list-style-type: none"> ・内部複写サービス(JST所蔵資料の複写、郵送)¥650+¥65/頁 ・エクスプレス複写サービス(JST所蔵資料の複写、FAX)¥1,800+¥130/頁 ・電子フォーマットデリバリーサービス¥2,500(100頁まで)+著作権料600円 (FIZ-K提携図書館所蔵約8.5万タイトルの文献をPDF化しE-mail納品、 *FIZ-KとはドイツのFIK-KarlsruheでSTNサービスセンターの1つ) ・外部手配サービス(郵送)¥2,350+¥65/頁 |
| 著作権料金 | 含まれる |
| その他の料金 | - |
| 特徴・その他 | 1957年以前の資料は所蔵していない。1958-1972年までの資料は他機関へ移管しているため入手まで約1週間程度かかる。JSTでの所蔵の有無については専用電話でも照会できる。(03-3977-7444) |
| 問い合わせ先 | 科学技術振興事業団 情報資料館 複写センター TEL:0120-004381 |

ホームページより作成

DDS資料[20]

Loansome Doc by SUNMEDIA

| | |
|-------------|---|
| 提供元 | NLM(National Library of Medicine) |
| URL | http://pubmed.sunmedia.co.jp/ |
| 対象分野 | 医学、薬学、生物学 |
| 対象資料数 | PubMed収録対象誌で、CISTI(The Canada Institute for Scientific and Technical Information)に所蔵があるもの |
| データベース/検索手段 | PubMed |
| 申込方法 | PubMedのLoansome Doc画面からwebオーダー (専用のご利用パスワードを発行いたします) |
| 文献提供方法 | 郵送(Arimail)/FAX/Ariel |
| 複写料金 | 1論文 1400円 |
| 著作権料金 | 商業目的の利用には、学術著作権協会を通じてCCCに1ページ50円の著作権料金が 必要です。 |
| その他の料金 | 年間登録料金1万円 2パスワード以降は、1パスワードにつき年間2000円 |
| 特徴・その他 | PubMedの検索結果からそのままドキュメントデリバリーサービスが出来ます。もちろん24 時間対応、WEBでのステータス確認が可能です。 |
| 問い合わせ先 | 弊社e-Portまで Email e-port@sunmedia.co.jp |

回答:株式会社サンメディア * データベース/検索手段は追加記入

DDS資料[21]

OCLC FirstSearch ECO Per-Use Purchase

| | |
|-----------------|---|
| 提供元 | OCLC(Online Computer Library Center Inc.) |
| URL | http://www.oclc.org/home/ |
| 対象分野 | 全分野 |
| 対象資料数 | 22出版社約1,100誌(2001年12月現在) ※42出版社約2,400誌までのサービス拡大予定は既に発表済。 対象出版社リスト: http://www.oclc.org/firstsearch/documentation/pappublishers.htm |
| データベース /検索手段 | OCLC FirstSearch ECO(有料) |
| 申込方法 | OCLC FirstSearch ECOのインターフェイスより直接申込(記事単位) |
| 文献提供方法 | Webインターフェイスより直接提供(PDFファイル) |
| 複写料金 | 記事の価格は参加出版社によって決定される。 (ジャーナル単位で価格固定、ページ数には依存しない。) 一記事あたり約US\$10からUS\$35位が多い。 (円建てで、紀伊國屋書店より月次請求。) |
| 著作権料金 | 含まれる |
| その他の料金 | OCLC FirstSearchからの入手になるため、OCLC FirstSearch ECOまたはOCLC FirstSearchブロック購入が必要(500サーチ、約10万円/ブロック) ※FirstSearchのブロックユーザーであれば即利用可能 また、ジャーナルごとの年間購読契約や事前申込は不要 |
| 特徴・その他 | ・パスワード設定が可能(特定の認証ユーザーのみの利用が可能) ・アクセスを許可する記事の上限価格の設定や、月間記事購入予算の上限の設定など価格に関する設定が可能。 ・ジャーナル単位のWeb版利用統計を提供。 |
| 問い合わせ先 | 株式会社紀伊國屋書店 システム営業本部 OCLCセンター TEL:03-5469-5923 |

回答:株式会社 紀伊國屋書店 *データベース/検索手段は追加記入

以上、資料にまとめたが、これらのサービスを比較することはむずかしく、伝統的アグリゲータを比較した論文^{注1}もあるが、はっきりとした比較ファクターとなるものはないのが現状であり、各図書館の予算および利用状況や目的に応じての選択が重要となるだろう。

また、ILLとの関係からみると、今後電子ジャーナルを所蔵とみなし、ILLにも対応していくことが可能かについて課題となるだろう。

電子ジャーナルの書誌記述については、現在 NACSIS-CAT コーディングマニュアルの6章として、暫定的に書誌レコードの作成が提示されており、また17章で電子ジャーナルの所蔵記述が提示されている。これにより利用契約をしている図書館は今後、NACSIS-CATへの電子ジャーナル書誌レコード作成および、所蔵登録も行っていくことが必要となるのだろう。現時点では Elsevier 社の ScienceDirect、Academic Press 社の IDEAL の電子ジャーナル(計約1600タイトル)につき総合目録データベースの雑誌書誌レコードをNIIが作成している。また、電子ジャーナルも所蔵資料とみなし、所蔵情報を公開すると次にILLでの利用の可能性がでてくるため、2001年12月17章で電子ジャーナルの所蔵記述においてILL可否情報の記述が追加されコーディングマニュアルが改訂されている。(以前業務で調査したところによれば、電子ジャーナルを紙に印刷すれば図書館間相互協力(ILL)で利用してよいが、電子情報のままの送付は不可(公衆送信権の関係から)としているところ。オンラインジャーナル契約上、図書館間相互協力(ILL)での利用は不可とするところが多いようである。)

注1 Black, Steve “An assessment of social sciences coverage by four prominent full-text online aggregated journal packages, EBSCOhost, ProQuest, Expanded Academic ASAP and OmniFile” *Library collections acquisitions and technical services* Vol.23 No.4 Winter1999 p.411-419

第3章

講演会報告

『大学図書館の相互協力の展望：グローバル・リソース・シェアリングの必要性』

慶應義塾大学三田メディアセンター 事務次長 加藤好郎氏

日時： 2000年12月21日（木）

場所： 清泉女子大学

1. はじめに

頂いたタイトルが私立大学図書館の相互協力の展望についてですが、私立大学では視野が狭いので、大学図書館の相互協力の展望とし、サブタイトルとしてグローバル・リソース・シェアリングの必要性ということで話を進めていきます。

リソース・シェアリングの定義

リソース・シェアリングとは何か。今日は ILL(Inter Library Loan)、DDS(Document Delivery Service)、分担収集の3つに絞り、この3つと一緒に展開していくことをリソース・シェアリングと呼びたいと思います。では、何故リソース・シェアリングが必要なのか。

2. 情報提供サービスの概念

①収集方針の見直し

私立大学の経営の危機ということが叫ばれて久しくなるのですが、18歳人口の減少が2007年でピークになります。アメリカでもこういった現象が20年前にありましたが、統廃合という形で乗り切りました。例えば、Carnegie大学とMellon大学が統合し、Carnegie Mellon大学になりました。その時は統合するだけではなく、ターゲットを18歳から22歳に上げ、一度卒業した学生を受け入れるという方針を打ち出しました。大学院大学という構想です。今後日本の大学も多分そうなるだろうし、そうなると、利用者の対象が変わって来て、蔵書構成も18歳から22歳までの学生と修士、博士を対象としたものを考えていく必要が出てくるかもしれません。

私立大学の経営の話をして、図書費を授業料収入の30%に押さえるのが望ましいです。皆さんの大学も3月に収支決算が出ると思いますが、大学全体の経常収支を見て、その中で授業料収入の何%に依存しているのかを大学職員として見てください。

昨今は図書費の伸び悩みという問題が当然あります。慶應義塾の場合、図書館図書予算と学部図書予算とに分かれていて、図書館側はゼロベースを提示しました。近頃は紙の時代からCD-ROM、インターネット、電子ジャーナルという資料費が膨らんできています。そこで図書支出からの組み替えをします。三田キャンパスの場合、各々3億5千万円の図書館図書予算と学部図書予算があり、合計約7億円の予算があります。ところが図書館図書予算の3億5千万円のうち5千万円を電子ジャーナルの契約やインターネットのプロバイダーとの契約に切り替えています。すると当然、紙の資料が買えなくなり、CD-ROMも紙も電子ジャーナルも全ては揃えられないので、情報は1つという考え方を押し進めるようになります。我々はプロフェッショナルとして、どれをユーザーに対して提供すれば良いかを考えていかなければなりません。限られた図書予算の中で新しいメディアへの組替えをいかに

やっていくかが必要になってきてます。

洋雑誌の高騰が当然あります。何故雑誌が高くなるかというと、全世界で研究者が増えているからです。研究者が増えれば論文を沢山書きます。大量に論文を書いて発表すると、一冊の雑誌のページ数も増えます。ページ数が増えれば価格も上がります。雑誌の価格が上がれば買わない人も出てきてもっと高くなり、その悪循環で雑誌の価格が上がります。図書館としてはどうするか。切るかデジタル化に切り替えるかを考えなければなりません。

外国雑誌のタイトル数の減少については、学術雑誌総合目録データベースに基づく日本の図書館の外国雑誌受入タイトル数（資料 1-1、1-2）によると、1989 年は 38,328 タイトルでピークでしたが、1996 年には 21,034 タイトルで 1960 年代と一緒というショッキングなデータになっています。これで私たちは仕事ができるのかという状況になってきています。雑誌の高騰という原因もあるし、他の要素もあるかもしれません。ライブラリアンはこういった現状を知り、どうやって対応していくかを考える必要があります。

その結果として、収書方針も「とりあえず買っておこう」から「今、必要なものを買おう」へ変化してきています。特に人文社会系は 100 年に 1 回使われれば良い、という考えで購入をしてきた資料もありましたが、今後はそういう時代ではなくなり、今必要なものだけを購入するようになっていきます。そして、今後はリソース・シェアリング、ILL、分担収集で補っていかうという時代になってきました。

アメリカの ARL (Association of Research Library) という団体が 1986 年から 1996 年に調査した報告によると、貸与の伸び率が 61%、借用が 116% で 2 倍以上に伸びていました。何故アメリカで ILL が活発になったかというと、アメリカの図書館の価格高騰に原因があります。1963 年から 1990 年の 30 年の間に図書は 5 倍、そのうち社会科学系は 3.4 倍、雑誌は 14 倍、社会学関係の雑誌でも 8 倍と価格が上がりました。これでは当然購入できませんから、持っているところから借りようということで ILL が盛んになったと思われます。

先程予算の話をしました。アメリカは非常に厳しく、大学図書館の予算はどの程度あれば良いと考えているかというと、大学総予算の 3~5% が図書館の予算（人件費も含めて）としています。アメリカでも 3% を削られている所がでてきています。慶応義塾の場合は全体で一千億円の経常経費があり、図書館の話をししますと、経常経費（人件費を含め）35 億円、これに 5 地区、三田、日吉、理工学、医学、SFC で図書予算が 17 億円、合計 52 億円の予算で 5.2% になり、かろうじてクリアしています。人件費がかなり減っています。その分アウトソーシングに出している分もありますが、それが一つの目安ですので 3 月の収支決算が出たときに自分の大学が何% ぐらい図書館予算にかけてくれているのかを是非見ていただきたい。

② コーポレーション・サービスの拡充

相互貸借 (ILL) 概念の見直しということがあります。いままでの相互貸借というのは、Mutual benefits (互惠)、お互いにメリットがあるということでやってきましたが、もうこれでは遅いという時代に入ってきています。今までは早稲田大学と慶應義塾 (2 校で 700 万冊) だけで相互協力をしてきましたが、慶應義塾では 6 月から三田だけですが、他大学にも現物の貸出しを開始しました。それは、持っている大学が出すという考えです。まず貸しましょう。貸せば貸してくれるだろうと期待しているのです。相互貸借の概念の見直しをしていかなければならない、ということになります。

国公立大学図書館間文献複写に関する協定についてですが（資料 2-1）、2 番目（利用の範囲）について、「文献複写の資料の範囲、その他の事項については、受付館の規定するところによる。」とありましたが、10 月に国公立大学図書館相互貸借に関する協定（案）（資料 2-2）で、改定案として「相互貸借は、現物貸借、文献複写からなり、相互貸借の資料の範囲、そのほかの事項については、受付館の規定するところによる。」に承認され、変更されることになりました。

③ 分担収集

次に分担収集の件ですが、Core journal から Rear journal へという方向に変わってきています。学内調整でも重複しているものをカットするのではなく、めったに使わない Rear journal をこそコンソーシアムとして共有に持とうという考え、そして相互貸借の対象にした方が有効と思われれます。

3. 情報提供サービスの利便性の追求

① 外国資料に対する出版、図書館そして研究者

研究者の生産性と学術出版がどのように関係あるかと申しますと、研究者が 1 年にどのくらいの本を読み、利用するかという調査を 1998 年に国立国会図書館がしました。それによると図書が 80 件、そのうち洋書が 25%、雑誌論文が 264 件です。また、資料は全体の 25%しか大学図書館から入手していないことが分かりました。この数字で満足するかわからないかは個々に考える余地のあることですが、基準にはなると思われます。さて、その入手方法ですが、1. 自館で調達 2. 学内 LAN や索引等データベース 3. インターネットの利用となっています。学会などの HP も現在 228 団体あり、これからは研究者が直接学会 HP に発表、アクセスする時代になると考えられるので、ますますインターネット利用が増えるだろうと考えられています。

② DDS システムの構築

日米 DDS はアメリカにある日本関係図書館が、日本に対して現物貸借や、複写サービスをして欲しいということで発足し、試行実験が行われています。（資料 3-1、3-2）

(1) 目的

1. 日米両国間の情報アクセスの改善を図る。
2. 日米両国間の現状の相互利用の促進をし、諸問題の解決を図るというものです。

(2) 実行機関

1. 日本：国立大学図書館協議会、国公立大学図書館協力委員会
2. 米国：North American Coordinating Council on Japanese Library Resources (日本語資料調整委員会)

(3) 実験期間

1 当初予定機関は 1999 年 7 月 1 日～2000 年 3 月 31 日まででしたが、実際には 1999 年 11 月からの開始となりました。その後 2000 年 6 月、2000 年 12 月と 2 回にわたり再延長されました。

(4) ドキュメント・デリバリーの対象と伝送方法

対象は文献複写で伝送方法は、アメリカは Ariel、日本は Epic-Win というインターネットを経由する電子的文献画像伝送システムを使用して行われています。

(5) 実験経費

文献の提供は無償とし、双方で負担をしています。

(6) 参加機関

日本側は国立大学図書館協議会が中心に北海道大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、京都大学、国立情報学研究所、慶応義塾の7大学が参加しています。アメリカ側は Univ. of California-Berkeley 他16大学が参加しています。

日米 DDS 試行実験実施状況

2000年8月までの統計によると、米国からの受付件数は32件、日本から米国への依頼件数は460件となっています。この数字をどう評価し何故こうなったかを考えると、複写物で現物でない、そして他にもやり方(OCLCでの依頼だと書誌データが80万件ある)があり、そのやり方の方が便利であるためと考えられます。しかし、近々NACSISとOCLCがリンクするので一気に増えると考えられます。1月31日から2月1日にアメリカより人を招いての会議があり、このことを評価することになっています。

電子ジャーナルの導入

DDSの一つとして位置付けしています。電子ジャーナルの現状はどうか。Science citation indexに収録されている雑誌の30%、900誌が電子ジャーナル化されています。アメリカでは電子ジャーナルのコンソーシアムがすでに200以上存在しており、日本でも千葉大学と国立5大学がしています。コンソーシアムで電子ジャーナルを契約すると有利である一方、文科系の場合ARLの調査によると、ILLで複写申込みをされた半分以上が10年以上前の論文に対して行われています。ところが、電子ジャーナルは過去2~3年しかないのです。文科系は電子ジャーナルを使つてのDDSまでは至っていないというのが調査の結果です。ただ、これからこれも少しづつ解消されると考えられます。

電子ジャーナルがどこまで信頼性があり、どこまで供給していくか。

電子ジャーナル全盛になってきていますが、今の業者の冊子体を購入していれば4分の1の価格にするという商売の仕方、これは結局いらぬタイトルも購入していることになります。利用者にとって何が一番良いか、利用者の利便性を考えながら進めていく必要があります。

4. リソース・シェアリングの時代の到来：アメリカの動向から見て

①アメリカにおけるILL/DDSの現状

アメリカのILLの動向はアクセスの最大化、費用の最小化が上げられます。その現状は下記の通りです。

・ILLの処理件数

アメリカ全体のILL件数は2500~3000万件を処理しています。

・ILLシステム

OCLCが年間580万件の処理をし、RLINが年間580万件弱を処理しています。その他医学系のILLシステムとしてDOCLINEがあります。

・ILLの支払処理

IFLAの支払処理に1000館が加盟していて、支払い相殺制度により年間3千万ドルの節

約がされている。

・現物の配送

ペンシルバニア、コネチカット、ニュージャージーの3つの州には会員制の無料配送システムがあります。これは州と連邦が基金で賄って助成しており、複写権の話になりますが、企業とか商売を抜きにした研究者の利用に対してFair useという考えがあり、著作権の問題も学術的なものであれば、あまり難しいことは言いません。配送サービスにしても、州が補助をしています。アメリカは日本とは逆に非常に積極的です。

ARLの調査結果

1996年のARLの調査結果によると、民間のDDSで充足している率は12%です。残りの88%は大学間のILLで、お金のかからない形で運営をしています。商売としている民間のDDSの1回の支払いは、アクセス料金が10~15ドルです。10ドルのうち、借用の場合はその経費の3分の2が人件費、貸し出す場合は4分の3が人件費です。このことから、費用を少なくしてアクセスを増やすためにはどうしたら良いか。アメリカでは利用者の直接申込システムを開発しました。代表的なものを紹介します。

オハイオ州にあるOhio LINK、イリノイ州にあるILL NET、オレゴン州とワシントン州の11大学が集まったORBIS、ペンシルバニアの学術図書館が行っているPACLIC、図書館が仲介するものとしてOCLC、RLIN、WLN(ワシントン大学ネット)、DOCLINE(医学系のILLシステム)があります。

今ISOのILL Protocolというのがありますが、これはILLの為に国際標準を決めていこうというもので

IPIG (Inter library loan Protocol Implementers Group) という機関が動いています。

これはISOのProtocol実

装している10カ国で共有しています。つまり、この10カ国に関しては何も変換しなくてもインターネット上で

交換ができるということです。IPIGは10カ国で50近い機関がありますが、それを代表したグループです。こ

のことをどんどん広げていけば、日本でもArielを実装すれば、アメリカと交換ができようになります。すでに東京工業大学では実装をしています。ArielソフトウェアをISOのProtocolに完全に準拠させてしまうというのがアメリカの動きです。そうすれば、Z39.50みたいなものもいらなくなります。これは図書館が仲介するものですが、いずれは利用者が直接アクセスし、人件費はなるべく削減していくという考えになるでしょう。

②ILL/DDSの改善の要素

経費を押さえ、ILL業務の所要時間を短縮させることで、借り手に高い充足率を生みだしています。アメリカ

で、最大の効果を上げている図書館の特徴としては、テクノロジーの広範な利用ということで、ILL、DDSが非常に上手にっていますので、その特徴を述べます。

・利用者の電子媒体による申込が可能。(慶應義塾でも2000年12月15日からH.P.からILLの申込みができるサービスを開始)

- ・OCLC の ILL に自動電送できるシステムを持っている。(利用者が直接の申込みなのでスタッフが再入力しない。)
- ・OCLC の IFLA システムに加盟し、料金の相殺制度を利用しているところ。
- ・ILL のスタッフに対して1人1台のワークステーションを確保しているところ。
- ・アメリカだから、複写の受理に際しては、Ariel や FAX での授与をしているところ。ところが日本は送信権で著者に対して許諾をとらなければならないため FAX が出来ない。
- ・リベラルな貸出規定である。(申込みには制限がなく、どんな申込者でも、またどんな貸出対象資料でも許可しよう)

以上のような大学が上手く動いている。

5. 慶應義塾図書館(三田メディアセンター)の試み

では、海外のことばかりに触れてきましたが、慶應義塾図書館、三田メディアセンターがどういう試みをしているかを話します。

① 現物の他大学への貸出を6月より開始した。

申し込み総件数 444件 (6月1日～11月29日までの統計データ)

| | 受付件数 | 貸出件数 | 謝絶 |
|----------|------|------|-----|
| 国公立大学図書館 | 254 | 107 | 147 |
| 私立大学図書館 | 183 | 78 | 105 |
| その他 | 7 | 0 | 7 |
| 計 | 444 | 185 | 259 |

謝絶の259件は対象外の学部図書予算で購入したもので、現在貸出しは図書館図書予算で購入したも

のみとしているためです。将来的には、すべてのものを貸出し出来るように進めて行く予定です。

主な貸出大学

| 国立大学 | 件数 | 私立大学 | 件数 |
|------------|----|-------|----|
| 防衛大学 | 21 | 成城大学 | 7 |
| 京都大学 | 13 | 名古屋大学 | 6 |
| 大阪大学 | 20 | 明浄大学 | ? |
| 神戸大学人文社会科学 | 14 | | |

今後は京都大学に一方的に貸すだけでなく、とりあえず京都大学に対しても貸出しているのだから、京都大学も慶應義塾大学だけはいいじゃないか、というようにやっていき、だんだん膨らませて互恵の考え方を変えていき、持てる大学がどんどん出していくのが望ましいと思います。そして、有機的に情報をやり取りしていく時代になってきていると思います。

塾内でどこでも貸出し、どこでも返却ができるようにしました。今までは、三田の学生

が日吉の資料を借りるとき、日吉まで利用者に行ってもらっていましたが、これを止めるサービスを1998年5月から開始しました。これをする為には組織を作らなければなりません。1993年4月にILLの担当部署をレファレンス内に作り、担当者1人を任命し、責任をもって流れを見るよう命じました。また、1997年3月には相互貸借の部署を独立させました。スタッフは7名(専任1名、嘱託1人、アルバイト5名+アウトソーシングで外部委託業者)ですが、梱包等は外部委託会社に1回10円で梱包をしてもらっています。1999年の3月にはメインカウンター内にILL担当のカウンターを作りました。今まではレファレンスがILLをしていましたが、それはレファレンスの本来の仕事ではありません。その為に事項調査が出来ない現状にあり完全に独立させました。このことでレファレンスの質の向上も図れました。

② E-MailでのILL申し込み

H.P.からの申し込みを2000年12月15日から開始し、すでに18件の申し込みがありました。今後いつでも、どこでも申し込みができるという利便性から増加すると考えられます。

③ 日米DDS試行実験への参加

日米DDSに参加しない早稲田大学と慶應義塾は方針の違いがあります。他大学がどちらを選ぶかはこれから考えることです。所蔵している資料を、アメリカ、あるいは他大学にどの様に提供していくかが問題となります。相変わらず、自分のところは自分のところでいいんだ、と思っていたら、ある意味で孤立してしまいます。

コンソーシアムという言葉が流行っていますが、日本のコンソーシアムはまだ未成熟していません。財源の問題をはじめ、継続的な仕事をする為には組織を作らなければなりません。早稲田大学と慶應義塾の相互協力は1982年に始まりましたが、まだまだそれを逸脱したものではないような気がします。そのときは早慶がよければよいという考えがありました。それをもう少し広げる為には、書庫の問題も含め、組織と財源が重要です。根本的には、学問の仕方、学生がどこまでそれに動きをしめしてくるかが問題になります。慶應義塾図書館は学部の本も全部1つの館の中に収めていますが、早稲田大学は学部ごとに図書館や研究室ごとに分かれています。その分慶應の方が使い易いと言えます。

それぞれコンソーシアムを組むのはいいのですが、ニーズにこたえるシステムをつくりたいかなければなりません。そうしなければ、その制度そのものが陳腐化していくおそれがあると思われまます。ニーズが上がってきて初めて組むのが良いでしょう。慶應義塾だって音楽や服飾部門が弱いので、そういうところが強いところと組めば、慶應義塾はそういった本は一切買わなくて良くなります。ただ闇雲に地域が近いからということは意味がないと思います。主題や利用者が重要です。そういう考え方をしてほしいですね。一つの大学で何かをやるというのは無理なので、コンソーシアムを組むなり、協力体制でやらなければいけないと思います。そういった視野でものを考えていただきたい。

6. おわりに

大学図書館経営の見地から

プロフェッショナル・ライブラリアンの養成・育成の必要性和アウトソーシングの必要性

先日、国公立大学図書館協力委員会のシンポジウムを慶應義塾でやりました。千葉大学の若熊先生は図書館に行っ仕事をする、図書館に座席がないといけないという保守的

な考えです。一方、立命館大学の長先生は合理化を進めています。レファレンスのアウトソーシングも考える程ですが、私はレファレンスをアウトソーシングする考えはありません。しかし、アウトソーシングはしなければならないと思います。3年前から三田では閲覧部門で始めました。そのことで専任を貼り付ける必要が無くなり、その為の余裕を研修にまわしています。アウトソーシングは目的ではなく、スタッフを育てるためにアウトソーシングをするという理念でやっています。では、どうやったらアウトソーシングの予算が出てくるかという、数人の専任に学内の他部署に移動してもらい補っています。その為には組織の再編成が必要です。簡単に言うと、ピラミッド式の組織を崩し、5年前にフラットにしました。そのことが良いか悪いかはわかりませんが、良い面はスタッフに対して研修の機会を設けることが出来たことです。年間12名ぐらいを百聞は一見にしかず、千の論文を読むよりは実際に見て来い、ということで外国に研修させています。『大学図書館研究』の60号にそのことについて報告を書いたので読んでください。9つの研修を今やっています。和装本目録研修と称して資料文庫という古文書を扱っているところで研修をさせています。余裕があるからできるのです。そういう余裕を持たないとダメですね。多少の贅肉を落としながら、仕事の内容そのもの、プロセスを変えていく、という作業をしないと余裕は生まれません。要はわれわれは色々なところで仕事をしていて、行き詰まる場合があります。その原因は何かという、私の考えではプロフェッショナルリズムというか、専門職性が確立していないからです。図書館員になりたいという子どもは少ないように思います。アメリカには多くいます。プロフェッショナルライブラリアンを公共図書館で見ている、彼等の職業感を見ているからです。

重要なのは人を育てていって、そういうベースの中で物事を考えていき、そして共有していくように思っています。そういう意味でもアウトソーシングは必要です。それは刺激を与えてくれるし、その分軒を貸して母屋をとられないように専任はプロフェッショナルライブラリアンとして頑張っていく事だと思います。その為に多めに研修をすることだと思し、実践を備えていくことだと思います。

最終的には人材養成の為のコンソーシアムを作りたい。もう一つはライブラリアンがいつ一般事務に異動になるかもわからない。それでは育つ訳がない。阻止するだけの専門職性のある仕事をしているのか？いなくなっても動く。何故うごくか？教育支援だけが目的ならばいなくても動く。対象が学生だから動く。本を貸し出し、ILLをやリ、そのレベルではだれでも出来る。そうではなくて、われわれ大学図書館員は研究支援をしなければならない。教員と対等にやれる技能と資質、感性を持たなければならない。それをもつためには、しばらく毎日抱えている業務から離れて、余裕をもって育てていく必要があります。

今後図書予算も人件費も頭打ち、増員もありえないので、それをどうしよう、どうしようではなく、解決するためにはアウトソーシングとリエンジニアリングが必要です。だれでもできる仕事はだれにでもやってもらう。今までのピラミッド式の組織を見直してリエンジニアリングすることも必要です。28歳の女性がマルチメディアサービスのチーフをしています。先輩もいますが、出来るからやらせています。直属の上司は私で、4つを兼務しています。そのことで物事の流れがすごく良くなります。必ず自分の業務だけではなくて、ILLとレファレンスサービスはどうか、書庫管理と閲覧サービスはどうか、いつも周りを見ている感性、バランス感覚、これさえ持っていればアウトソーシングに絶対負けな

い、というような運営をしています。組織というのは流動的であるので、その都度修正する目を養っていく必要があります。

以上

参考資料；

- 1) 加藤好郎「慶應義塾図書館が21世紀に目指すもの—専門職としての図書館員」『大学図書館研究』 No. 60 p. 24-28 2001
- 2) 加藤好郎；保坂睦「慶應義塾図書館（メディアセンター）における図書館員の国際交流」『大学図書館研究』 No. 59 p. 40-49 2000
- 3) 加藤好郎「専門職としての図書館員の育成—コンソーシアムへの展望」『図書館雑誌』 Vol. 95 No. 2 p. 102 2001
- 4) 加藤好郎「専門職としての大学図書館員の現状と将来」『現代の図書館』 Vol. 39 No. 1 p. 38-44 2001
- 5) 加藤好郎「大学図書館の日本複写権センターへの対応について」『私立大学図書館協会会報』 No. 114 p. 77~82 2000

日本における外国雑誌受入れ状況の変遷

近年における日本の外国雑誌受入れ状況の急激な減少は、学術雑誌総合目録データベースにより知ることができる。このデータベースは日本のほぼすべての大学図書館及び主要な研究図書館を網羅した総合目録で、日本でどれだけの異なるタイトルの(同じ雑誌を複数の図書館で買っている)と数える。)を購入、受け入れられているかがわかる。

表 1: 学術雑誌総合目録データベースに基づく日本の図書館の外国雑誌受入れタイトル数

| 年 | タイトル数 |
|------|--------|
| 1945 | 11,834 |
| 1950 | 15,138 |
| 1955 | 18,961 |
| 1960 | 23,495 |
| 1965 | 27,002 |
| 1970 | 30,334 |
| 1975 | 31,783 |
| 1980 | 35,718 |
| 1985 | 37,537 |
| 1986 | 37,845 |
| 1987 | 38,200 |
| 1988 | 38,477 |
| 1989 | 38,328 |
| 1990 | 37,708 |
| 1991 | 36,099 |
| 1992 | 33,787 |
| 1993 | 28,627 |
| 1994 | 26,139 |
| 1995 | 24,257 |
| 1996 | 21,034 |

(98年3月のデータベースに基づく数値、受入れの選れ、調査上の選れにより、94年以降の数値は実際より小さくなっている可能性がある)

(現行)

国公立大学図書館間文献複写に関する協定

(目的)

- この協定は、国立大学図書館協議会、公立大学図書館協議会、及び私立大学図書館協会に加盟する図書館相互の文献複写業務の円滑化を図り、もって、わが国の学術研究・教育の発展に寄与することを目的とする。

(利用の範囲)

- 文献複写の資料の範囲、その他の事項については、受付館の規定するところによる。

(著作権)

- 文献複写の依頼及び受付に当たっては、著作権の保護に留意し、その運用に当たらないければならない。

(経費)

- 文献複写に係る経費の支払は、依頼館の責任とする。

(手続等)

- 文献複写の依頼、受付等に関する事項は、別に定める「国公立大学図書館間文献複写マニュアル」により処理するものとする。

(付則)

- この協定の改廃は、国公立大学図書館協力委員会において決定する。
- この協定は昭和62年2月6日より実施する。

(改定案)

国公立大学図書館相互貸借に関する協定 (案)

- (目的)
- この協定は、国立大学図書館協議会、公立大学協会図書館協議会、及び私立大学図書館協会に加盟する図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もって、わが国の学術研究教育の発展に寄与することを目的とする。
- (利用の範囲)
- 相互貸借は、現物貸借、文献複写からなり、相互貸借の資料の範囲、その他の事項については、受付館の規定するところによる。

- (著作権)
- 文献複写の依頼及び受付に当たっては、著作権の保護に留意し、その運用に当たらないければならない。
- (経費)
- 相互貸借に係る経費の支払いは、依頼館の責任とする。

- (文献複写の手続等)
- 文献複写の手続き等に関する事項は、別に定める「国公立大学図書館文献複写マニュアル」により処理するものとする。

- (付則)
- 大学共同利用機関、短期大学、高等専門学校等の図書館及び海外の大学図書館等との相互貸借については、この協定を適用できるものとする。
 - この協定の改廃は、国公立大学図書館協力委員会において決定する。
 - この協定は平成 年 月 日より実施する。
 - 「国公立大学図書館間文献複写に関する協定」(昭和 62 年 2 月 6 日より実施)は廃止する。

2. 日米 DDS 試行実験計画の概要

- (1) 目的
- 日米両国間の情報アクセスの改善を図る。
 - 日米両国間の現状の相互利用を促進し、諸問題の解決を図る。
- (2) 実施機関
- 日本：国立大学図書館協議会・国公立大学図書館協力委員会
 - 米国：North
- (3) 実験期間
- 当初予定期間 1999 年 7 月 1 日～2000 年 3 月 31 日
(実験は、準備期間のため、1999 年 11 月から開始となった。)
 - 期間延長 2000 年 3 月のサンディエゴの会議で 2000 年 6 月 30 日まで延長した。
 - 再延長 5 月に再延長を米国側に申し入れ 2000 年 12 月 31 日まで再延長した。
(7 月から米国側参加機関が増加した。)
- (4) ドキュメント・ゼリバリーの対象と伝送方法
- 対象：文献複写 (コピー)
 - 伝送方式：インターネットを経由する電子的文献画像伝送システムを使用する。
- (5) 実験経費
- 双方が負担する。文献の提供は無償とする。
- (6) 参加機関

* : 2000 年 7 月から参加
** : 2000 年 6 月まで参加

| 日本側 | 米国側 |
|---|---|
| 北海道大学 千葉大学 東京大学 東京工業大学 京都大学 国立情報学研究所 慶應義塾大学 | University of California Berkeley * University of California Santa Barbara University of Chicago * Columbia University Duke University * * Harvard University * University of Iowa * University of Kansas * University of Massachusetts North Carolina State University * Ohio State University University of Oregon University of Pittsburgh University of Texas * University of Toronto University of Washington Seattle |

日米 DDS 試行実験実施状況（～2000年8月）

2. 日本からアメリカへの依頼

資料3-2

期間別統計米国への依頼

(1) 米国への依頼

| 日本→米国 | 11月～ | | 2月19日～ 4月30日 | 5月～6月 | 7月～8月 | 依頼総数 |
|----------|-------|-----|-----------------|-------|-------|------|
| | 2月18日 | 8 | | | | |
| 北海道大学 | 11 | 8 | 22 | 1 | 42 | |
| 千葉大学 | 13 | 18 | 4 | 13 | 48 | |
| 東京大学 | 55 | 72 | 49 | 44 | 220 | |
| 東京工業大学 | 6 | 0 | 0 | 1 | 7 | |
| 京都大学 | 46 | 20 | 5 | 9 | 80 | |
| 国立情報学研究所 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 慶應義塾大学 | 11 | 21 | 18 | 10 | 60 | |
| 合計 | 145 | 139 | 98 | 78 | 460 | |

(2) 米国からの受付

| 米国→米国 | 11月～ | | 2月19日～ 4月30日 | 5月～6月 | 7月～8月 | 依頼総数 |
|----------------|-------|---|-----------------|-------|-------|------|
| | 2月18日 | 0 | | | | |
| Chicago | 1 | 0 | | | | 1 |
| *Cornell | | | | 2 | | 2 |
| *Iowa | | | | 4 | | 4 |
| Oregon | 1 | 4 | | | | 5 |
| *assachusetts | | | | 1 | | 1 |
| North Carolina | 1 | 0 | | | | 1 |
| Pittsburgh | | | 2 | | | 2 |
| UC Berkeley | | | | 10 | | 10 |
| Washington | | | | 6 | | 6 |
| 合計 | 3 | 4 | 2 | 23 | | 32 |

凡例：*：7月からのアメリカ側新参加館

(1) 依頼元別統計

| 依頼先 | 依頼総数 | 内訳 | | |
|----------|------|-----|----|-----|
| | | 受領 | 謝絶 | その他 |
| 北海道大学 | 42 | 22 | 9 | 11 |
| 千葉大学 | 48 | 33 | 10 | 8 |
| 東京大学 | 220 | 139 | 49 | 32 |
| 東京工業大学 | 7 | 5 | 2 | 0 |
| 京都大学 | 80 | 55 | 5 | 20 |
| 国立情報学研究所 | 3 | 1 | 0 | 2 |
| 慶應義塾大学 | 60 | 40 | 8 | 12 |
| 合計 | 460 | 292 | 83 | 85 |

(2) 依頼先別統計

| 依頼先 | 依頼総数 | 内訳 | | |
|----------------|------|-----|----|-----|
| | | 受領 | 謝絶 | その他 |
| Chicago | 48 | 29 | 10 | 9 |
| Columbia | 24 | 6 | 9 | 9 |
| *Cornell | 5 | 1 | 3 | 1 |
| Duke | 19 | 4 | 10 | 5 |
| Harvard | 71 | 48 | 13 | 10 |
| *Kansas | 2 | 2 | 0 | 0 |
| *Massachusetts | 4 | 1 | 0 | 3 |
| North Carolina | 20 | 11 | 5 | 4 |
| *Ohio | 1 | 1 | 0 | 0 |
| Oregon | 13 | 9 | 0 | 4 |
| Pittsburgh | 27 | 12 | 5 | 10 |
| Texas | 42 | 26 | 9 | 7 |
| *Tronto | 1 | 0 | 0 | 1 |
| UC Berkeley | 110 | 87 | 16 | 7 |
| Washington | 73 | 55 | 3 | 15 |
| 合計 | 460 | 292 | 83 | 85 |

『大学図書館とインターネット』

実践女子大学図書館 伊藤民雄氏

(相互協力研究・レファレンス研究分科会合同発表)

日時： 2001年5月17日

場所： 文化女子大学

【伊藤】

はじめに

まず「発表の概要」について説明いたします。大項目1番目として「実践女子大学図書館ホームページ作成について」を説明し、続いて大項目2番目に「情報組織化私論」、そして、大項目3番目として「現在進行中の調査から」百科事典サイト、Web翻訳を紹介いたします。大項目4番目に、「英国図書館のInside Informationのサービスが他でも？」ということでインターネット上のデータベースの周辺事情を紹介していきたいと思います。最後の大項目5番目として「東アジア圏の書誌ユーティリティ」を取り上げて説明していきたいと思います。

1. 実践女子大学図書館のホームページ作成について

大項目1番目の「実践女子大学図書館ホームページ作成について」は、資料1をご覧ください。これは、大学図書館問題研究会発行の「大学の図書館」239号(2001.4)に書いたものです。ホームページについての説明は、これを基に話します。

「実践女子大学図書館『インターネットで文献探索』Internet Editionについて」の文章には、最初の段落「はじめに」については省略させていただきますけれども、『インターネットで文献探索』という日本図書館協会から発行された図書と、プロジェクターにより前の画面に投影されておりますリンク集の「図書・雑誌探索ページ」のことについて書かれております。

では、2番目の段落を読んでいきます。インターネットの資源を探るということで、「インターネット上の有用な情報資源を探るという作業を開始したのは、1997年中頃で、当初は冊子をつくるのが目的ではなく、洋図書の海外からの直接購入や、整理業務の参照マークとして使えないかというのがたまかな目的でした。この当初の目的ですが、諸般の事情でほとんど達成されていません。最初は、洋図書の業務で使うのがメインで、冊子作成はおまけ程度と考えていましたが、おまけのほう独走してゴールしてしまったのが何ともおかしいことです。

それで、インターネットの情報資源を探るようになってから感じたのは、日本の図書館の教科書で紹介されている世界とちょっと違うじゃないかということです。例えば、教科書では、日本には学術情報センター、現在の国立情報学研究所があって、アメリカにはOCLCをはじめとする北米4大書誌ユーティリティがあることになっています。それではこれらしか存在しないのかなというのが教科書を読むと感ずるのですが、実はそうではなく、どの国にも総目録プロジェクトがあったり、書誌ユーティリティが存在するということが分かり、かなり戸惑った記憶があります。インターネットは、教科書に例示されてい

るような常識的な世界ではなくて、非常識な世界だったということで驚きがありました。

3番目の段落「サイトの収集方針」について。リンク集の収集方針は厳密に決めていたわけではありませんが、図書館が扱う資料（図書・雑誌・新聞・視聴覚資料）に限定しました。それを踏まえて当館にとって有用で、さらに無料のものであることがいつの間にか収集方針になりました。無料ということについて説明すると、商用データベースよりは無料データベースを紹介したほうが冊子を読んでもらえる可能性が高いのではないかと考えているからで、特に商用データベースを否定するものではありません。

さて、当館にとって有用な情報ということですが、これは、個人に有用な情報とはちょっと違います。例えば、朝日新聞のウェブ版、アサヒドットコムは、どのインターネット本や雑誌を見ても、超有用サイト、超優良サイトとして評価されていますけれども、過去を調べるツールという観点から見ると、無料で記事検索できないこともあり、当館にとっては全く必要ないサイトとなってしまいます。このように、超有用サイトが、必ずしも欲する情報ではなかったわけです。

当館にとって有用な情報とは、当面は、書誌情報（の蓄積されているところ）になるかと考えました。なぜなら、図書館は、ある程度の蔵書を持っていることと、図書館に所蔵されていなくとも文献を入手できる長年のノウハウ、ILLによる文献複写や相互貸借があり、インターネットを文献入手のために、最初から最後まで使わなくてもいいと考えるからです。

さて、その有用な情報をどう判断するかという問題になりますが、この判断は難しいです。図書館の看板を背負っている以上、自分の主観だけで判断するわけにはいかないのがつらいところです。そこで、図書館の定番ツール、レファレンスブック等と、収集してきたサイトを比較することを思いつきました。例えば、オンライン書店の目録であれば、よりBooks in Printに近い、あるいはOPACであれば、全国書誌や国立図書館の蔵書目録に近ければ近いほど、自分の意図する情報なのだと考えました。

4番目の段落「ホームページ作成上のポリシー」について。収集するサイトに関しては制限を設けました。先程申し上げたように、図書館が扱う資料に限定しましたが、ホームページ作成に関しては特に設けてはいません。ただ、日本でいう資料（サイト）は、外国では、この資料サイトに相当しますというスタイルで統一したつもりです。更新は、未知のサイトを発見したらその都度行うようにしています。なぜかという、発見したときにリンクしておかないと、後から見つからないという事態に陥らないようにです。

更新について付け加えますと、イントラネットでは即時に反映されるわけですがけれども、インターネットだと、月1回の更新のため、たまに作業終了前の中途半端な状態で1カ月くらい放置されてしまうことがあります。全体のデザインについては外注に出したいところなんですけれども、デザインに時間やお金をかけるよりは、未知のサイト発見に時間を多く割くことを優先しています。

5番目の段落「収集方法」について。玉石混淆と言われるインターネットの世界から有用な情報を拾い集めてくる有効な手段は多分ないと思います。それで、どうしたかということ、先程申し上げたように、冊子体などを対象に情報組織化された図書、例えばWalford's Guide to Reference Material等に紹介されている参考図書を、検索エンジンを使って、一つずつ、タイトルや出版社、図書館名などから探すというローラー作戦を行いました。冊

子体がインターネットに移行していないかを突きとめた後に、インターネットだけで提供されている情報を定番ツールと比較して、取捨選択していきました。ですので、手元に残るのは、信頼性、質ともに高いものばかりだと思っています。

試行錯誤した結果、インターネット時代にふさわしからぬ原始的な方法ですけども、結局、一番確実な方法なのではないかという気がしております。このローラー作戦を用いて、最近ではインターネット上の百科事典・辞書を調査しましたが、予想以上に定評あるものが無料で公開されていたので、後程、百科事典サイトについて紹介していきたいと思えます。

6番目の段落「評価」について。アクセス・カウンターを特に設けていないので、1日にどれほどの利用があるかは全くわかりません。リンク集にアクセスした人が、どのリンク先を選択したかを追跡調査したいと考えていますが、手間がかかるので行っていません。追跡調査を行えば、もっとリンク集が充実したものになると、同僚と話をしたことはあります。他サイトにリンクされているのを見つけて喜ぶ一方で、「迷子にならないように注意」や「分かりにくい」という説明が、たまにされていますので、苦笑いすることも結構あります。もともと業務用に使えればいい程度に考え、無計画・無戦略に増ページを行った結果、予想以上のページの交錯を生んでいるようです。何とかせねばと思うのですが、ほとんど手のつけられぬ状態になってしまっています。その対策として、検索エンジンgooを用いるサイト内検索をトップページ下部につけてもらいました。ただ、どの程度アクセスが改善されたかというのは、ちょっとわからないところです。

冊子『インターネットで文献探索』については、好評価をいただいたが、その評価の陰にある批判を常に意識し、もっと身を引きしめなければならないと感じております。次版改訂の機会に恵まれるならば、より一層信頼性、質ともに高い情報を発見・掲載しなくてはならないと思っています。前々から、索引をつけてくださいという話がありましたが、結局、時間がなくてつけられなかったというので、次の機会には是非つけたいと思えます。

また、インターネットの情報は一つ一つでは完全ではないので、より完全に近づくように、どう組み合わせ、どう使っていけばいいのか、その提案を押しつけるのではなく、今後の課題にしたいと考えています。以上、「大学の図書館」329号掲載「ホームページ制作の現場から」を基に話しを進めてきました。

それでは、レジュメに戻りましょう。「大学の図書館」に書かれていないことを二～三補足したいと思います。それは、「紙によるPRは絶対に必要」ということです。日本図書館協会から、『インターネットで文献探索』という図書が出版される前に、フリーソフトウェアのように、大学図書館で作成・印刷した図書を2年間に渡って外部にも無料配布しました。結果的に、これがホームページの知名度を上げるのに役立ったと感じております。ホームページを外部や世間に知っていただくためには、紙によるPRも必要ではないかと強く感じています。

3. 情報組織化私論

大項目2番目に掲げました「情報組織化私論」を説明いたします。資料2をご用意下さい。この「インターネットの情報組織化と検索の考え方」は、専門図書館協議会の平成13年度全国研究集会で発表するための予行集に掲載予定の文章です。この文章を読んでいき

たいと思います。

1 番目の段落「はじめに」。当館では、1997年よりインターネット上（世界約50カ国）における情報探索・情報検索に有効な無料ウェブサイト、データベースの調査を行ってきた。これは、先ほど説明したことと全く同じことです。その調査結果は、冊子『インターネットで文献探索』、リンク集「図書・雑誌探索ページ」という2通りの方法で公開した。当初、雑誌のフィードバックの対象者として想定したのは、冊子は教員であり、リンク集は当館自体であったが、調査を進めながら、インターネットにアクセスする不特定多数に対象者を拡大していった。

当館が調査を進める上で欲した情報は、まずインターネットに散在する書誌情報であった。個人レベルでは、「検索—書誌情報—全文入手」までインターネットに期待しなくてはいけないのに対し、図書館には蔵書があり、かつILLなどによる文献（全文）入手のノウハウを既に持っていることもあり、文献入手を全面的にインターネットに依存する必要はないと考えたからである、これは先程申し上げたことと同じです。

2つ目の段落「インターネットの情報組織化私論」ということになりますが、なぜ私論としたのかは、あくまで私個人の考えだからです。

標題「2.1 無料サイトと有料サイト」について。インターネット上で情報が得られるサイトは、有料サイト、例えばDIALOGやJOISやG-Search等のような商業データベース、及び、無料サイトの2つに分けることができます。一般に、インターネットの無料サイトは、有料サイトに比べて情報の質（信頼性）と関連性が低く、情報入手に要する時間がかかなり必要と考えられています。また、収録期間なども短く、サイトの永続性が有料サイトほど保証されていないなど、多くの欠点を抱えています。

しかし、無料サイトにも有料サイト並みの高品質を保つものがある。それならば、質が高い無料サイトだけを拾い集め組み合わせることで、より質を高め、不完全をより完全にし、要する時間をより短縮する、つまり有料サイトに少しでも近づけられるのではないかと考えました。これは、先程申し上げたことと別の表現をしております。

今、前方画面にOHPで投影している図は、資料2と同じものです。この図は、無料サイトと有料サイトの関係を表しています。無料サイトというのは、Y軸とした「情報の質、信頼性、関連性」が高いとは言えず低いです。また、X軸とした「求める情報にたどりつくまでの時間」というのが、複数サイトの参照を行わなくてはなりませんので、非常に時間がかかると考えられています。一方、有料サイトというのは、質の信頼性、関連性が高く、求める情報までに辿り着く時間は短いと一般的に考えられています。これら無料サイトを有料サイトに近づけること、ここに図書館員の力を発揮する場、ここに何か情報組織化する上でのヒントがあると考えました。

標題「2.2 図書館の情報組織化（整理整頓）の意義」について。整理整頓と書いてあるのは、これは自分自身がやっていることは、情報組織化というよりは整理整頓のほうに近いので、整理整頓と書いております。

インターネットの情報組織化の意義は3つある。一つ目として、紙媒体、電子媒体(CD-ROM)などの資料のインターネットへの移行を明らかにする。二つ目として、インターネットの限界を知ることによって、インターネット、紙媒体・電子媒体の蔵書、商用データベース（有料サイトも含む）、この三者を融合した図書館業務が可能になります。三つ目として、

前もって情報探索法を準備・提示・例示することにより、利用者が欲する情報を「より見つけやすく、導きやすくする」ことが可能になるということになります。

こういう情報組織化を行うことで一番の恩恵を受けると考えられるのは、中規模以下の図書館あるいは個人であると思います。例えば、インターネット上に散在するOPACなど図書書誌検索サイトが明らかにできれば、それだけで、国立国会図書館の目録ホールに匹敵する検索能力を書誌、冊子体とその書庫なしで所有することができます。また、商用データベースと異なって、場所と時間も限定されませんし、データベースへの課金も全くありませんので、空間、場所、時間、及びコストの面からかなり有利になってくると思います。

大規模図書館についても効果はあると思います。但し、最初から多くの有料サイトが使えることと、豊富な蔵書があるということで、目に見える効果が実感しにくいのではないかと思います。恐らく、中規模以下の図書館の方が、情報組織化の恩恵を受けやすいのではないかと思います。

資料2には書いておりませんが、情報組織化による入手可能性についてお話しします。中規模以下の図書館は、情報組織化を行いますと調査能力が上がります。つまり、これまで調べることができなかつた書誌事項等調査が容易になります。すると、調査能力に関しましては大規模図書館にかなりの所まで近づくことは可能になってきます。調査能力が上がると相乗的に入手可能性は高くなります。もちろん、NACSIS-ILL等を大活用するのが前提ですよ。但し、入手可能性に関して付け加えるなら、文献入手のルートやノウハウに関しては大規模図書館の方が多くを蓄積しておりますので、結局、中規模図書館と大規模図書館の差を縮めるのは短期間では不可能です。

最後の段落「以下予定している内容です」について。専門図書館協議会での全国研究集会で発表すべきこの中身については、まだ考えておりませんが、取り上げる予定のことを交えながら、中項目として3つ程お話ししたいと思います。

中項目の1番目として「インターネット検索についての考え方」について。「ウェブサイトの傾向」を説明したいと思います。仮にAというサービス・サイトがありますと、次に、そのAによく似たB、C、D、Eという、よく似たサービス・サイト（類似・競合サイト）が生まれてきます。類似サイトが増えてくると、メタサイトという、情報を統合したり、総合的に情報を発信するサイト、あるいは横断検索したり価格比較するサイトが出現します。これが、メタサイト、あるいはメタサーチです。このメタサイトは、その国家の法律や制度の違いにより存在しないものもあります。例を挙げると、日本には図書価格再販維持制度があることにより、どの書店も値引きできませんので、各店舗の価格を横断比較する価格比較サイトはあり得ないです。

メタサイトとメタサーチの具体例を挙げたいと思います。パソコンA店というのがあり、続いてパソコンB店、C店というのがあります。これの価格を比較するところが絶対に出てくるわけで、例えば、横断検索はできませんが、パソコン価格を機種別に一覧表示してくれる価格.com (www.kakaku.com/)や、横断検索して最安値を表示するBest Gate (www.bestgate.net/)等がメタサイトやメタサーチの例です。

次に、他の例としてオンライン書店を取り上げます。Amazon.comというのがありますが、

これが成功したということで、Barnes&Noble.comとかBorders.comというのが生まれてきました。Borders.comは、アマゾンコム傘下に入ってしまうことが決定しており、もうすぐ消滅します。それらのメタサーチの例は、図書タイトル別で価格比較できるDeal Time(www.dealtime.com/) やベストブックバイズ(www.bestbookbuys.com/)があります。

あと、図書館にはあまり関係のない例をあげましょうか。旅行会社サイトのメタサーチ、メタサイトの例は、一つ目として、リクルート社の『AB・ROAD』と『じゃらん』という雑誌相当の情報を発信するIsize Travelが挙げられます。これは旅行価格等の比較検討が可能です。また、JTB、近畿日本ツーリスト、京王観光、東急観光、大手四社は独自にサイトを立ち上げる一方で、Travel Town(www.traveltown.ne.jp)という四社共同の総合情報サイトというのを立ち上げています。

このように、オリジナルなサイトが成功すると、同種・競合サイトができ、最終的にメタサイト、メタサーチというのができると思います。ですので、インターネット上で効率的に情報を探する場合、このようなサイトを見つけだすことも必要だと思います。

二つ目の傾向として「日本にあれば他の国にもある」を説明します。あるサービスが、日本にあれば、他の国にもあり、またその逆の、他の国にもあれば当然日本にもあるだろうと推測できます。例えば、特許庁はどの国にもあります。日本特許庁、アメリカ特許庁USPTO、韓国特許庁…。すると、それらを横断検索するメタサイトも当然あります。シンガポールの特許庁が作成したSurfIP (www.surfip.gov.sg/) は、世界数カ国の特許を横断検索します(注：現在、詳細検索を使うには、無料会員登録が必要)。

三つ目の傾向として「日本で無料なら他国でも無料」が挙げられます。日本で無料サービスがあれば、他国でも大体無料サービスと考えられます。ただその逆、他国で無料であっても、日本だと無料でないというのが結構あります。例としては、MEDLINEというのは無料検索が可能ですが、それに相当する医学中央雑誌サイトは無料検索できません。この例に当てはまると思います。

二つ目の中項目として、レファレンス研究分科会で検討されているサブジェクト・ゲートウェイについて取り上げたいと思います。これらは、恐らく図書館界の将来の究極的目標になると思います。メタデータのフォーマットはダブリンコアに準拠して記述されており、未来の情報組織化の姿といえます。ここから個人的な意見を申し上げますと、業務で使うには非常に厳しいというのが率直な意見です。確かに、情報の質に関しては信頼性の高いものが揃えられて、整理されておりますが、それにも関わらず、サイトの一つ一つがばらばらの印象を受けます。選択・収集されたサイトの質は高いにも関わらず、それぞれのサイトの関連づけが十分でないことと、どう使うかの具体的な提案も十分でないため、欲する情報に辿り着くまでの時間を短縮しているとは言い難いかもかもしれません。これはあくまで個人的な意見であり、私個人の考えの方が間違っているのかもしれませんが(注：リンク集はパスファインダー(主題別文献案内)と共に行うのが望ましい)。

三つ目の中項目としては、いくら情報を組織化しても、答えるのが難しいということもあります。検索エンジンのgooに、レファレンス(過去事例)データベースの見本になりそうなサービス「教えて!goo」というものがあります。一つ質問を紹介しましょうか。質問

「サーカスで綱渡りをする少年の絵本」。文章を読み上げますと、「タイトルが思い出せません。15年くらい前の絵本です。少年は綱渡りの最中に足を滑らせ、落ちて死んでしまいます。ラストは、少年が天使になったという感じだったと思います。とても絵がきれいだったということはよく覚えているんですが」。このような質問に対しては、情報をいくら組織化しても回答不能です。これは読んだ人でないとわからない。個人の知識が求められません。個人の知識の結集、つまりメーリングリストなどを使って、人的ネットワークでこのような質問に答えなくてはいけないと思います。これは大学図書館界の中では結構実現されていることではあるので、深くは取り上げません。やはり、いくら情報を組織化しても、回答がきつい質問はあると思います。

人為的ネットワークのほかには、内容から図書検索できる、TRC内容細目ファイルのようなデータベースがオンライン書店に組み込まれてくれたらという希望があります（注：オンライン書店bk1にはTRC内容細目ファイルが、本やタウンとイーショッピングブックス等には『ブックページ』相当のデータベースが組み込まれており、キーワードからその内容（要旨や内容細目）も検索可能である）。

3. 現在進行中の調査から

3.1 百科事典サイト

それでは大項目に戻り、大項目3番目の「現在進行中の調査から」を説明していきたいと思います。レジュメの3枚目の表2「百科事典サイト」をご覧ください。百科事典サイトは意外にも多くの無料サイト（検索・全文無料）が公開されております。表中には検索無料であるが全文有料や、デモ公開サイトも含んでいます。デモ公開例を挙げますと、『日本大百科全書』（注：www.JapanKnowledge.com/）というのは、2001年6月3日まで無料で使用できるのでお試しいただきたいと思います（注：現在、Lycos Japanで簡易版が検索可能）。また、表中の『世界大百科事典』というのは「ネットで百科」で公開されておりますが、最初の5分間だけは無料で使用することができます。検索戦略さえ十分にたてれば役に立つと思います（注：現在は最初の3分間のみ無料）。

「森喜朗」、「橋本龍太郎」、「クリントン」、「ブッシュ Jr.」、この4人をこの世界中の無料百科事典サイトで検索してみました。するといくつかの傾向が出てきました。クリントンさんは結構どこの百科事典でもヒットします。橋本さんも、日本とか、アメリカ、イギリス、あとはドイツぐらいの百科事典だと独立の項目が「Ryutaro Hashimoto」で大体掲載されていたりします。また、ブッシュ Jr. もまだ大統領に就任したばかりなのに、掲載されていたりするとビックリします。森さんの場合は首相をやっておられたのが、1年という期間だったこともあります。掲載されているものもあります。珍しいところでは、スペインのエンツァイクロネット(www.Enciclonet.com/)と読むんでしょうか。これはDVD-ROMが基になったサイトですが、これに森さんが既に掲載されており、非常にビックリしました。日本の百科事典サイトにも掲載されていないのに、です。後ほど、翻訳サイトと絡めて再度森さんを取り上げたいと思います。小泉新首相は就任一ヶ月ですからまだどれにもみつけることはできませんでした。やっぱり1カ月程度だと載せてくれないのかなという気はしました（注：現在では数サイトに掲載）。

こうしてみると、四人の名前の収録状況から大体、どの版次、どの年代の百科事典

がベースになっているかというのは推定できるのではないかと思います。大体、橋本さんが載っていて森さんが載っていなければ、橋本さんが総理をやめたぐらいまでの情報かなと判断できると思います。

百科事典の執筆者は大学教授等の専門家であり、情報の質の高さは格別です。「インターネットは百科事典である」と例える人がいますが、百科事典サイトはまさに「百科事典の中の百科事典」だと思います。使い方には色々ありますが、個人的には、インターネット上にはあまり良い人名事典がないと聞きますので、人名事典の代替として使うことができるのではないかと考えています。

今後の傾向としては、Britanica.comのような完全無料制（注：現在、全文は有料制に移行）ではなく、世界大百科事典（ネットで百科）のような数分間無料とか、フランスのEncyclopaedia universalisのような、全文途中まで無料のようになるのではないかと思います。何故かと言えば、これだけ質の高いものがいつまでも無料であるはずがないと考えるからです。

あと、当然これだけの百科事典、単体の百科事典がありますと、メタ・サイトみたいなものが絶対に出てくるはずです。結構優秀なのが四つぐらいありますので紹介していきたいと思います。

アメリカのInformation Pleaseというのは、多分ご存じの方がいると思いますが、Columbia Encyclopedia第6版とか、Prentice-Hall系のAlmanac、Longman系Dictionaryや、Atlasなどが検索できます。

Bartleby.com、これもアメリカだと思いますが、先程も出ましたけれどもColumbia Encyclopedia第6版、American Heritage Dictionary 4版など、参考図書11タイトルが検索可能です。

イギリスのXrefer.comというイギリス系Oxford、Penguin、Macmillan等の50タイトル以上の参考図書が検索可能です。アメリカとかイギリスでは、普段、質が高いと思われるようなレファレンスブックが、無料で検索できたりするのに、驚かれた方も多いのではないかと思います。

Xrefer.comの周辺が騒がしいので参考に付け足します。KnowUK.coという、Bell & HowellとChadwyck-Healeyという二つの会社で立ち上げているサービスは、『Who's who』など80タイトルのレファレンスブックが検索できます。が、これは年間3,500ポンドかかります。現在、このKnowUK.comが、Xrefer.comに対して裁判を起こしています。Xrefer.comの無料サービスが継続されると、KnowUK.comに人が寄りつかないから止めてくれというような裁判です。

ドイツでは、Xipolis.netジポリスと読むのでしょうか。これはドイツ系のBrockhausなど20タイトル以上の参考図書が検索可能です。「抄録」と書いていますけれども、簡単な説明までは無料で表示してくれます。全文は有料です。

3.2 ウェブ翻訳

「ウェブ翻訳」ということで、資料3をお願いいたします。資料3を見ながら説明していきたいと思います。資料3には、翻訳サイトを「他言語から日本語に翻訳」、「他言語から英語に翻訳」、及び「テキスト翻訳」の三つに分けて挙げています。

完全に無料で、他言語から日本語にウェブ翻訳可能言語は英語と韓国語のみということになっています（注：現在、主要数言語増加）。翻訳精度が低くても構わないなら、InterTranは27言語を日本語にウェブ翻訳することができます。他言語から英語にウェブ翻訳可能な言語は、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、ロシア語、中国語、韓国語の8言語です。中国語については、中国語から日本語に翻訳してくれるところは残念ながらなく（注：現在は存在）、英語翻訳のみ対応しています。1日デモサイトのBestiLandとJ-Serverを使えば、一日だけ英語、中国語、韓国語等数言語を日本語にウェブ翻訳してくれます。

テキスト翻訳に枠を広げると、ウクライナ語、マレー語、ポーランド語、アフリカ諸語が英語に翻訳可能になってきますので、調べるとき、かなり楽になる気がします。

ウェブ翻訳の実演を行います。先ほど、森さんの名前がスペイン語の百科事典に載っているというのがありました。Enciclonet.comに掲載された森さんのページをウェブ翻訳してみたいと思います。翻訳に多少時間がかかるかもしれないので、大項目の4番目に進みたいと思います。

4. 英国図書館のInside Informationサービスが他でも？

レジュメの大項目4番に戻ります。本題に入る前に二つほど周辺話題について触れたいと思います。一つ目は、「インターネットによる図書館業務の変化」について述べたいと思います。業務で一番影響を受けたのは、まず洋図書の価格だったのではないのでしょうか。インターネットが完全に周知された1997年ぐらいだったと思いますが、洋図書係の仕事がかなり変化したと思います。次に影響を受けたのがレファレンス（参考調査）業務だったと思います。しかし、そうした中で、あまり影響を受けていないように感じるのが洋雑誌の価格です。未来的願望を申し上げると、RoweComという、EBSCOや欧州Swets-Blackwellと並んで三大雑誌購読代理店と呼ばれている、RoweComが日本に上陸してこないかと考えています。

RoweComは、既にフランスやカナダ、イギリス、スペイン、オーストラリア、韓国に支社があり、これはウェブ上で雑誌発注ができます。K-Library方式を取っており、価格は、RoweCom社が出版社から受けとるディスカウント価格をベースに計算されます。そして、1タイトルにつき、均一手数料5ドル上乘せされますが、出版社のカタログ定価と同等、それ以下で購入することが可能です。上陸してきてくれれば、丸善や紀伊國屋の強力な競争相手になってくれるのではないかと思います。ただ、上陸してきてもデメリットがあります。これは恐らく海外直送方式をとっていると考えられるため、（丸善のMACSIIと紀伊國屋のACCESSに馴れた）図書館にとっては時計の針を過去に戻すことになることがネックです。

ところで、このRoweComのデータを用いて外国雑誌定期購読サイトを立ち上げているAsiaSmart.comがあります。自称20万タイトルを扱うとトップページに書いてありますが、数万タイトルではないかと思います。これを用いれば雑誌を安く買うことは可能かもしれませんが、配送基地がシンガポールか、香港にあるので、日本への送料が安くないというのがネックです。香港まできているのなら早く日本に来てくれというのが切なる願いです。AsiaSmart.comでも、RoweComでもいいので、丸善や紀伊國屋、あるいはSwets社とかへの対抗勢力がもう一つ出てきて欲しいと思い、RoweComを取り上げました（注：RoweComはDivine

という会社を買収されたことにより今後のサービスは不透明です)。

二つ目は、「データベースの切り売り？」が始まっていることについてお話ししたいと思います。Hoovers.comというのがあります。Powerize.comというビジネス誌中心に2,400誌の記事検索が可能でしたが、これにアクセスした途端、Hoovers.comに接続されてしまいました。どうも買収されたいらしいのです。そのHoovers.comのオンライン・サービスHoover's Onlineの中に4,600誌の雑誌記事検索があるのですが、その下部分にBell & Howell社のマークが入っています。ここでピンと来た方もおられると思いますが、これはあのProQuest?ではないか。ただし、Powerize.comは無料でしたが、Hoover's Onlineは有料です。無料ではありません。月額29.95ドル、年額199.95ドルのサービスです。それでは個人会員になれば使い放題かと思いついたところ、企業・法人向けで、図書館の館種や利用者数で価格が決まるとのことです。紹介するには不適當だったかもしれませんが、紀伊國屋さんより安ければ、検討する価値はあると思います(註:例が不適當だった。現在、Dialogが一部データベースの検索を無料にしている。但し、全文は有料。また、結果表示の書誌データの一部を表示しないようにもしている)。

ここで本題にはいります。英国図書館の雑誌記事検索データベースInside Informationは、英国図書館のサービスを利用するとかなり高額なデータベースです(ドキュメント・デリバリも含むからか)。しかし、これは資料を見ていただくとお分かりのように数サイトで無料検索することができます。まずは、アメリカのInfotrieve.comですが、これもドキュメント・デリバリ・サービスがあります。また、ドイツでも全国的規模のドキュメント・デリバリ・サービスのSubito-doc.de(註:ゲスト・アクセス)と、ノルトライン＝ウェストファレン州のドキュメント・デリバリ・サービスJADEにおいても組み込まれています。また、バイエルン州立図書館のGateway BVBでもJADEが検索可能です。このように、都合四サイトがInside Informationを無料検索することができますので、探せば、結構な数あることが分かります。

資料に「Subito-doc.deが意外に面白い?」と書いてあります。どこが面白いのか。私自身、そして所属する図書館においてもSubito-doc.deを導入しておりませんので、運用面に関しては申し上げることはできません。早稲田大学図書館さんが導入しておられるということで、7月の相互協力研究分科会で高橋昇さんが、このSubito-doc.deと旧ドイツ図書館研究所DBIの運用面、ドキュメント・デリバリについてお話し下さるそうなので楽しみにして下さい。

さて、このSubito-doc.deは、日本の大学図書館であっても導入できることです。Subito-doc.deにおいて、(ドイツの)大学図書館はUser Group1に属していますが、うれしいことに日本の図書館でもこれは適用されます。日本の図書館であってもUser1なのです。

「サービスと受取期日」について触れましょう。Normal Serviceは土曜日を除く3日以内に配達され、Express Serviceは超特急で配達されるのでしょう(土曜日除く)。そして、「Delivery方法とコスト」です。面白いのは、電子メールやFTPを用いてのドキュメント・デリバリでしょうか。記事20ページまでなら3.58ユーロ、日本円に換算すると約500円~600円で全文がパソコンに配達されます。Post、郵便でも5ユーロ、Faxだとちょっと割高にな

りますが15.34ユーロで届きます（注：20ページを越えると、電子メール、FTPと郵便は1ページ毎に0.1ユーロ、Faxだと0.26ユーロ加算される）。資料3-1に他のドキュメント・デリバリ・サービス、BLDSC（紀伊國屋価格）、InfotrieveやUncoverとの比較を行っていますが、これらよりずっと安く文献取り寄せできます。ということで、このSubito-doc.deの運用を真剣に考えてもよいのではないかと思います。詳しくは、7月の高橋さんの発表をお聞きいただけたらと思います。ところで、このInside Information（注：21,000誌、1993-）と、他のデータベース、Uncover（注：18,000誌、1988秋-）とCurrent Contents（注：8,400誌、1990s-）の重複雑誌を調べてみました。古い資料を参照していますが、Uncoverの自然科学分野とInsideの重複は5,000誌。Current ContentsとInsideの重複が7,000誌ということで、意外に重複が多いことが分かりました。ただ、もっと詳しいところまでは分からなかったもので、参考にもならなかったかもしれません。あと、Current Contentsが過去1カ月分検索できるサイトがありますので紹介します。使ってみると面白いのではないかと思いますので書いておきます（注：現在、利用不可）。

5. 東アジアの書誌ユーティリティ

大項目5番目の「大学図書館を対象とした東アジア圏の書誌ユーティリティ」を説明していきます。資料4をご覧ください。

大学図書館を対象とした東アジア圏の書誌ユーティリティということで、日本の国立情報学研究所（旧学術情報センター）NII。中国は、中国高等教育文献保障系統CALIS。CALISだからと言って丸善製の図書館システムを使っているわけではありません。台湾が、全国図書書目资讯网NBINet。そして韓国が、韓国教育學術情報院のKERISです。括弧としてRISS4Uとしていますけれども、機関の英文略称がKERISであり、学術情報サービスはRiss4u.netと呼ばれています。

資料4をご覧くださいと、意外なことが分かります。日本の国立情報学研究所、前身は東京大学図書館学研究センターが出发点で1976年5月に設置されました。1986年に学術情報センターになり、それから16年続いてきました。一方、韓国のKERISの前身は1996年にできました。現在の図書書誌数は540万件です。わずか6年で国立情報学研究所の書誌を抜かしています。これは意外なことでした（注：KERISは、各図書館のOPACを機械的な処理によって総合目録を編纂しているらしく、そのためかなりの重複書誌が含まれていた。この発表段階ではKERISの書誌数の方が多かったが、KERISで重複書誌の削除が行われた結果、現在の書誌数は国立情報学研究所の方が多し）。

資料4で、韓国KERISの注目点として、「海外データベースは外国人登録すれば日本からでも検索可能」を挙げましたが、具体的に説明したいと思います。ここで、先程ウェブ翻訳させていた森さんの文章が英語に翻訳されたようですが、このKERISの注目点の話を先に進めたいと思います。KERISの情報検索サービスRISS4Uは外国人登録さえすれば、日本からでも検索することができます。それではOCLCのFirstSearchに入りたいと思います（中略）。このように外国人登録さえすれば、日本からでも検索可能なのは驚きです。私自身はハングルを読むことはできませんが、外国人登録さえすれば検索できるわけです。

レジュメのほうに戻りたいと思います。この韓国ですが、金大中大統領が『知識情報十大強国』に入ると宣言しました。昨年（注：2000年）の3月1日のことです。韓国のインタ

一ネット事情は、常時接続は当たり前で、日本の二～三年先を確実にに行っていると、河信基氏による『韓国IT革命の勝利』（宝島社新書、2000）に書かれています。金大中大統領は、2000年2月に図書館事業に特別予算を交付するという政策を発表しました。図書館がITの目玉と位置づけられたということで、多額の予算がついたそうです。多額の予算がついたわけではないでしょうが、「国立国会図書館月報」の2000年12月号には、電子図書館においては日本を既に追い越している、と関係者が語っています。日本とかなり違った背景があることがお分かりになったと思います。

KERISでは、高級海外データベース共同購入及び共同基盤構築で学術情報使用のために国家経済負担の70%以上を軽減し、研究競争力を引き上げるとしています。このKERISについてはJSTの機関誌「情報管理」の42巻5号(2001)に李錫浩氏らによる「韓国における大学の電子図書館と情報政策」で紹介されています。その中で印象的な文章が、「われわれが最終的に期待しているのは、共同収集の実施によって得られるプラス効果である。しかしながら、大学が最も歓迎するサービスは海外の学術データベースを購入するためのコンソーシアムを形成することである。KERISは会員図書館のために共同資料収集を割引価格で推進している。KERISはまた、全大学からアクセスできるように、全学術サイトのための国家ライセンスを獲得している」です。

データベース共同購入については、韓国や台湾には、電子ジャーナルや海外学術データベースの共同購入を奨励する機関が存在します。台湾だと、CONCERTがあり、これは電子ジャーナル、四つの電子定期刊行物データベース（IDEAL, IEL, Springer LINK, SDOS）と、五つの全文型電子データベース（EBSCOhost, ASE, BSP, ProQuest, ABI Inform）など、現在20近い図書館で約5,000誌以上の電子ジャーナルが共同購入されているそうです。韓国だとKAISTという機関が、KAISTもCONCERTも日本のJSTに相当する機関です。このKAISTという機関でも、日本から海外学術データベースが検索できたと思います。

先述した『韓国IT革命の勝利』を読んでもみると、リアル図書館というか、従来の図書館の貧弱さ、暗くてじめじめしているという、何かそんなことが書かれています。どこへ行っても図書館のイメージは同じなのかなとは思いますが、（最近まで）旧来の図書館であったから、かえって急激な電子化を成し遂げる、コンソーシアムの形成をしやすいかと思えます。例えば、海外データベースの購入については、つい数年前に紹介・一括導入が行われた韓国に対して、日本は1970年代、1980年代から、丸善・紀伊國屋さんによって、継続的に海外データベースが紹介されてはきました。このことが結果的に、日本の共同購入を妨げる一因になったと言えれば皮肉なことです。

日本の共同購入の事例については、国公立系の機関が電子ジャーナル共同購入コンソーシアムを組んでいます。非常に長ったらしいのですが、国立大学図書館協議会図書館電子化システム特別委員会による「コンソーシアムに関するワーキング・グループ」、あるいは、長岡技術科学大学と国立高専間によるコンソーシアムの例が報告されています。一方、これに対して私立大学では、多摩アカデミックコンソーシアムや山手線沿線私立大学図書館コンソーシアムを組んでいます。人的交流と相互協力が中心で大学図書館間の垣根が取り払われつつありますが、大学の成り立ちの違いからか、共同購入までには至っていないのが現状です。

OCLCの創始者のキルガーさんが、「少ない[図書館]数での共同プロジェクトはやるまい

と学んだ」と語っています。今後、共同購入を考えるなら多くの図書館を集める必要があると思います。

ところで、故小渕元首相がミレニアム・プロジェクトとかいうのを何年か前に発表しましたが、韓国とは異なり、図書館のITへの位置づけが非常に弱いと感じられます。そのため、国立情報学研究所の政策と国のIT政策とどの程度接点があるのか気になるところです。また、サービス対象者が曖昧だと思います。以前は、共同利用機関、あるいは大学共同機関と名乗っておりましたが、現在は国立を冠する機関になりました。国立と名乗るなら、大学図書館や国立機関、研究者だけでなく、国民全体にサービス対象者は拡大されなくてはならないと思います。更に、情報学への傾倒が非常に気になります。どこか図書館を切り捨てたい意図があるのではないかと感じられます。あと一つ加えるとすればPR不足でしょうか。雑誌「アエラ」の2001年4月9日号に掲載された記事を資料として用意したので見て下さい。資料は「大学が崩壊している。総私立化のほかには救済の道なし」という記事です。この記事の中味については昔から言われているようなことなので特に目新しいことはありません。その2枚目をお願いします。26ページです。「慶応大、東大はナッシング……、論文の……」、この部分は今回の話とは特に関係ありませんが、丸で囲った「吉家氏がとりわけ感嘆したのは、大学図書館の充実とサービスの良さだった。全米の大学図書館を繋ぐネットがあり、希望した文献はたいてい見つかり、すぐに届けられた（中略）向こうのような大学図書館の機能は日本では考えられない」と書かれています。この記事を書いた記者が知らないだけかもしれませんが、日本には、現に、図書館ネットワーク、国立情報学研究所によるNACSIS-CAT、ILLというシステムがあります。それさえ知られていないのは非常に残念。20年以上も稼働しているシステムがあるのにも関わらず、国家レベルのネットワークさえないと思われている…。この20年間の実績をもっとアピールする必要があります。この記事のような「向こうのような大学図書館の機能は日本では考えられない…」などと書かれないように図書館員自身も努力しなければならないと思います。

NIIには、「後進有利とは言え、他の3書誌ユーティリティへのアドバンスト」と書いてありますが、「アドバンテージ」の間違いです。すみません。「アドバンテージが感じられない」というのは、これはホームページを見た印象です。特に国立情報学研究所に先進性がないというわけではありません。ホームページ上のサービスの充実度から考えると、他の三書誌ユーティリティへのアドバンテージは考えられない、ということです。

あと、NIIの今後計画についてちょっと不明なところがあります（註：グローバルILLなど目白押しですが…）。韓国のように、高級海外データベース共同購入及び共同基盤構築で学術情報使用のために国家経済負担の70%以上を軽減するような、数値的目標を持つべきではないかと思います。ただ、〇月×日までに書誌を百万件登録しましょう、というような目標を立てられてはちょっと困ってしまいますが、国家規模の数値的目標がないのは残念です。

個人的な希望の一つ目ですが、先程、ドイツとかアメリカのドキュメント・デリバリーを紹介しましたが、欧米偏重からアジアにも学ぶべき時代が来ているのではないかと思います。国立情報学研究所を含め、東アジアの書誌ユーティリティ代表者を集めて、今後の展望を聞く機会を要望したいと思っています。そうすれば、（何が望まれているか気づいた）国立情報学研究所、何らかの手をもっと打ってくれるのではないかという甘い期待も

あります。ただ、韓国のKERISに関しては、何回も日本に代表者が来ているようなので、台湾と中国の代表者を呼んで、話を聞く機会があってもいいのではないかと思います。

先程の甘い期待ですが、それは国立情報学研究所NIIの音頭による海外データベースやオンライン・ジャーナル共同購入の可能性です。韓国等の例を見て、このような可能性を探ってもいいのではないのでしょうか。「データベース・ベンダーもその方が売りやすいのでは？」というのは、例えば10図書館に50万円で売ると、極端な例ですが、コンソーシアムを組んで5万円の価格で100館に売るのが、参加する図書館も多いし、継続率、何年も継続購入しようとする図書館も絶対あるわけなので、こういう可能性は絶対にさぐらなくてはいけないと思います。国立大学図書館協議会理事会（平成11年度第3回）の議事要録によりますと、東北大学・小田館長が、日本学術会議数学研究連絡委員会の出版社系学術雑誌の高騰を憂慮する資料が提示され、「Web of Science」はアジアでは国単位でコンソーシアムが組まれており、わが国でもそのような海外の状況を検討し対応すべきではないか、という提言がなされています。

個人的な希望の二つ目は、東アジアの書誌ユーティリティ間での欧米文献のILL。各国の母国語は文字化けの恐れがありますが、アルファベット文字ならできるのではないのでしょうか。三つ目の希望は、NACSIS-IRなどの専用回線からウェブ・ベースへの移行（註：大多数移行？）で、そこに高級な海外データベースの導入等。四つ目は、NACSIS-IRの利用者資格制限の緩和です。現行では、学術研究を行う研究者、または参考調査業務を行う図書館職員となっているが、「国立」と名乗る以上、昔は大学共同利用機関だったが、国民にもサービスする義務が生じたのではないかと思います。現在の話しとは全く関係ありませんが、世界のコンソーシアムと総合目録事業について知りたい方は、Enllacos d'Interes (www.cbuc.es/)にアクセスして下さい。

さて、話しをウェブ翻訳に戻します。現在、スペイン語の百科事典サイト Enciclonet.comに掲載された森前首相の項目がスペイン語から英語にページ翻訳されました。この英語に翻訳された文章を今度はExcite JapanのTranslationを用いて、日本語にテキスト翻訳を行いたいと思います。少し待っていて下さい。翻訳されましたのでその文章を読みましようか。「森喜朗の……」、何か、うまく訳せていませんけれども、（中略）と、全く意味がなっていません。「1937年7月14日の石川の日本の州、貿易の部で早稲田の大学によって1960年に次第に変化する…」と目茶苦茶な訳です。

スペイン語から英語にして、英語から日本語にすると目茶苦茶な訳になりますので、大半の方は英語で読まれるのではないかと思います。英語の文章を直接日本語に翻訳するのは何とか意味を取ることができますが、英語を介して、例えば、スペイン語－英語－日本語のようにするとちょっと無理かな…。このウェブ翻訳が、どの場で、どの様にすれば使える、業務に役立つかを今後考えていきたいと思います。

ということで、20分ぐらいオーバーしてしまいましたけれども私の話を終わりにします。どうもありがとうございました。（拍手）

【司会】 どうもありがとうございました。目新しいことばかりでとてもよかったと思います。個人的な発見もさせていただきました。

時間が押していますけれども、質疑応答ということになっていますので、今のお話を聞

いて、伊藤さんにお尋ねしたいことがあったらぜひ、いかがでしょうか。こういうことができるのかと知って関心してしまっただんですが、アジアの各国の動き等は、かなり私たちにとっても鬼気迫ることがあったのではないかと私は思いましたが。

【A】 質問ではありませんが、つい最近、NIIからアンケートが来て、OUP(Oxford University Press)などいくつかのオンライン・ジャーナルを、国単位での購入というようなことでコンソーシアム契約を始めるので、モニターを募集しますという内容だったように記憶しています。そういうような動きが多少あるみたいですね。

【伊藤】 本当ですか。どのような動きが？

【A】 目録小委員会の委員をしていたことがあり、オンライン・ジャーナルについても、総合目録に収録するか、また、その場合どのように扱うかという議題の中だったのですが、目録の取り方云々だけでなく、やはり伊藤さんがおっしゃっているように、NACSIS(当時はNIIになっていなかった)が今後コンソーシアムとして機能することが望まれるという意見をいったところ、国単位でそういうものを買っていくような方向も、考えましょうという反応でした。総合目録だけでなく、両方やっていかなくちやいけないんだよねという意識がNIIの中にもあるというのが1つ。

それから、NACSIS-IRの方も、それはIRの研修実施館に実施状況を聞く会であったのですが、機関単位での定額契約ができるような形にして欲しいという意見が数人から出され、今後検討していきますよみたいなことを言っていました。その後、最近になってアンケートが来て、実施の方向で考えられているのだと思います。

【伊藤】 ありがとうございます。実は、原稿には書いてありましたが発表では読み忘れました。ここで読ませていただきます。「書誌ユーティリティに求められることは、一番目に共同分担方式による総合目録の編纂。二番目に相互貸借、文献複写といったILLで、この一番と二番は既に実現しています。三番目が海外データベースの共同購入と提供です。国立情報学研究所では、英国物理学会IOP、オックスフォード大学出版会OUPのトライアルは行ったが、その先に何があるのか不明である。NIIの考えが中途半端に感じられましたので、先程、NIIが共同購入の窓口になれないか、という希望を出したわけです。ただ、機関単位というのはどういう……、図書館単位なのですか、これは。

【A】 それは(機関単位というのは)IRの方なのですが、皆さんのところにアンケートは届いていませんか。

【伊藤】 届いていました。確かにOUPのアンケートが来ていたのは私も見ました。

【D】 うろ覚えですが、機関単位というのは、機関単位で定額料金制のサイドライセンス契約というような方向を考えているので、アンケートで投書するというようなことが、ちょうど前年の夏ぐらいにあったと思います。

【A】 但し、伊藤さんが言っているほどの先まではいっていなかったかなと思います。利用資格を緩和するというよりも、料金体系を変えて、エンドユーザーにとっては従量制ほどお金を気にせずに使ってもらえる環境を提供しようということは考えているみたいです。

【伊藤】 個人的には、無料で使わせて頂きたいという気持ちはありますが、せめて、コンソーシアム参加館だけでも、と私は思っています。そういう動きがあるというのはいいと思います。ありがとうございます。

【A】 やはり最初におっしゃったように、無料でないと、なかなかそれがエンドユーザーには広まっていけないというのがあると私も思います。有料のデータベースを使えるんですよと学生に言ってもなかなか広まっていけない。こちらも（従量制では）緊張しますし……。

また、図書館がはたして無料なのか有料なのかというような議論も、盛んになっているかと思えます。貸出はただだけれども、データベースに関してはお金を取らざるを得ないよというようなことが、本当は図書館の理念から言っていいいのか。受益者負担の考え方や、情報はただじゃないんだと教えることを主張する考えもあり、最初におっしゃった有料か無料かという問題は、今日的な課題ですね。

【司会】 わかりました。何かほかにありますか。

【B】 伊藤さんの場合、ご自身が構築する「リンク集」の収集対象が無料の情報源であるというのを1つの方針として、掲げられていると思うのですがけれども、大学図書館にとって、研究・教育の両面に資する有用なサイトを探索し、分類し、組織化するということは、極めて労働集約型の大変な仕事であると思えますし、頭が下がる思いです。伊藤さんの著書『インターネットで文献探索』の巻頭言での記述でも、西暦2000年現在で、どのような文献探索行動が行われていたのかを記録に残すことが1つの目的であると述べられていました。しかし今後、現在無料のサイトであったものが、有用なものであればあるほど、将来的に有料サイトに移行していくのではないかという懸念もあるわけなのです。例えば百科事典などは数ページ程度は無料でも、途中からは有料になるといった傾向もあるという話題も出ました。そこで伊藤さんにお伺いしたいのですが、『インターネットで文献探索』の未来予想図としまして、Web情報源の有料化の方向性について、どのような展開があり得るのか、お考えなどがあれば、お聞かせ願いたいのですが、よろしくお願いいたします。

【伊藤】 当初は、図書館のOPACが有料になることは考えにくいような気はします。オンライン書店も、本を買わせるという意味では、有料制、有料会員制にした途端、使わなくなる人が多くなると思うので、オンライン書店の利用も有料になるとは考えにくいかなと。そうすると、図書に関しては、多分10年、20年後までは無料で検索できるのではないかという気がします。しかし、雑誌記事とかになると、これはちょっと予測不能です。課金方法さえ確立されれば、（検索さえ）多分有料になる可能性が高いと感じます。但し、国立国会図書館のように、（2002年から）雑誌記事索引を無料で提供するという話も出ています。雑誌記事が無料で公開継続される可能性があるのは、検索＋ドキュメント・デリバリ・サービスが確立されているところでしょう。有名どころではUncover（註：現Ingenta）やInfotrieve、ただMedlineは分かりませんが、これらは当分、検索無料が続くのではないかと思います。しかし、記事検索だけというところは多分、課金制に移行し、継続すると思います。ですから、記事検索＋ドキュメント・デリバリ・サービスは、オンライン書店のような書誌＋現物配達システムが確立されたところは、そのまま検索無料でいくのではないかという気がします。国立国会図書館の雑誌記事索引については関西館で、英国図書館のドキュメント・サプライ・センター（BLDSC）のようなドキュメント・デリバリを行う予定があるので無料公開するのではないかと思います。

【B】 おそらく、検索とドキュメント・デリバリ・サービスとが一体になったものに

については、検索部分の無料制が存続するというのは、同感です。しかし利用者が最終的に入手したいのは、2次情報ではなく、やはり1次情報であるわけです。研究・教育に必要な原文献の入手が安価にかつ容易にでき、情報流通の利便性が向上することを期待したいところです。先ほどの議論の中でも、国家単位の規模でコンソーシアムを形成して、電子ジャーナルを共同購入したらどうかということが話題となりました。我が国でも韓国にならって、NIIが中枢機関となって、実現可能なジャーナルからでもナショナル・サイト・ライセンス契約のプランを提示してくれることを期待したいです。国家レベルで教育や研究に資する情報入手のための環境整備をしようという政策が本格的に確立され、推進されれば、自ずと国内の図書館界における相互協力や資源共有の活動も促進され、将来展望が開けるのではないのでしょうか。

【司会】 先ほど、書誌ユーティリティ、コンソーシアムでの共同購入というお話を伺って、私の職場が加盟している、山手線沿線私立大学図書館コンソーシアムの話し合いでも、少し話題になったようでしたが、どこかの大学さんから、共同購入という話題がちらっと出ていたようでした。

【C】 リンク集のメンテナンスの件で質問させていただきます。現在私は図書館でリンク集の作成を担当しておりますが、一度登録したサイトでも時間の経過と共にリンク切れを起こしてしまうものがありますので、定期的なチェックが必要だと感じております。伊藤さんはどのようにチェックをしていらっしゃるのでしょうか。また、どのくらいの頻度で行っていらっしゃるのですか。

【伊藤】 三ヶ月か四ヶ月ぐらいに1回ぐらい（アトランダムに）見直すようにしています。ここはどうだろうかとか、そこはどうか、と一つずつアクセスしています。いつリンクチェックを行っているか……。大体、年に四回か五回は行っているような気がします。リンク切れが見つければその都度リンクを変更するようにしています。

【司会】 ほかに何かありますか。

【C】 今のお話なのですが、サイトの情報を提供して下さる方がいらっしゃるのでしょうか。それからリンク集の更新担当の方は何人いらっしゃるのでしょうか。

【伊藤】 情報提供者が何人かいます。また、更新に関しては、リンクが切れているよ、と指摘していただくことにより、その都度見えていますので、私個人一人で行っているわけではありません。

【C】 そのようなホームページの担当者が、何人もいらっしゃるわけではないのですね。

【伊藤】 そうですね、実際というか、ホームページにさわるのは、僕ともう一人の人間だけなので、あとは口頭で教えてもらおうとか、「雑誌に載っていましたよ」とか、そういう感じですかね、教えてもらうというのは。

【司会】 他に伊藤先生に聞きたいこと、何かありますか。無いようでしたら、また後で個人的に尋ねていただくということで、お忙しい中、どうもありがとうございました。

（拍手）

— 了 —

紙面の都合上、当日配布資料は割愛させていただきます。

また、文章中の註の現在とは、2002年3月6日現在のことです。

『海外 I L Lハンドブック (補遺版)』

早稲田大学図書館 高橋昇氏

日時： 2001年7月19日(木)

場所： 日本女子大学目白キャンパス

『海外IRLハンドブック』補遺版

早稲田大学図書館 高橋 昇

目 次

0. はじめに

— 提 供 編 —

1. 海外 ILL の受付事例

1.1. 本学の状況

1.2. 依頼される資料

1.3. 受付事例

2. 事前準備と注意事項

2.1. 合意形成

2.2. マニュアル等の準備

2.3. 貸出資料の範囲・貸出期間の設定

2.4. 料金の設定

2.5. データベースや帳票の準備

2.5.1. データベース

2.5.2. 請求書の例

2.5.3. 館内限定利用スリップ

2.5.4. 宛名シール (往復用 2 種)

2.6. 送付時の注意事項

3. トラブルと対処法

3.1. 謝絶

3.1.1. 非所蔵資料への依頼

3.1.2. 貸出対象外資料への依頼

3.2. 転送

3.3. トラブル

3.3.1. 期限切れ

3.3.2. 支払方法

3.3.3. トラブルへの対処法

3.3.4. クレーム用紙の例

3.3.5. 早稲田大学図書館英文ホームページ海外 ILL ポリシー

4. OCLC での受付手順

— 依 頼 編 —

5. 海外 ILL の依頼

5.1. OCLC の ILL 依頼手順

5.2. BLDSC/BL の依頼手順

5.3. GBV-Direkt の依頼手順

5.4. DBI-LINK の依頼

5.5. Online 発注を可能にする方法

5.6. Online 発注の出来ない所蔵館への依頼

0. はじめに

この補遺版は、2001年7月18日の相互協力研究分科会月例会における講演に基づくものである。内容に関して、下記の点にご留意頂きたい。

この内容は、早稲田大学図書館の業務マニュアルではないということ。説明に使用している帳票類は、実際に早稲田大学図書館で使用されているものとは、レイアウト等で異なる。さらに、海外 ILL の受付業務を担当して来た、私個人の経験に基づく「私見」も加えた内容となっている、という三点である。

—提供編—

1. 海外 ILL の受付事例

1.1. 本学の状況

本学では、1970年頃から海外との相互貸借業務を行ってきた。学内には5つの図書館と20以上の図書室があるが、2001年度において海外へ依頼している学内の図書館は、中央図書館、理工学図書館、所沢図書館の3館である。そして、海外からの依頼を受付けているのは、2001年度からは中央図書館のみとなった。今回の発表は、中央図書館における過去の事例を中心としたものである。

1995年に早稲田大学図書館の和書データが約28万件 OCLC へ提供された。2001年7月には、さらに約14万件のデータがロードされる。ただし、重複分も含むので、実質的な書誌の増加数は2001年7月の時点では不明。OCLC のデータベースに書誌が登録されたことで、アメリカを中心として、世界中から本学へ申込まれる相互貸借の件数が急速に増大した。このデータ登録と相互貸借の実績により、1997年の秋に AAU (Association of American Universities) の後援により設置された、ARL (Association of Research Libraries) から ARL Japan Project 参加の申し入れがあった。本プロジェクトは、北米・日本間の情報流通を拡大することを目的とする。ARL 加盟館のうち、本プロジェクトへの北米における参加館は12機関から始まり、2000年末で25館にまで増加した。本学では ARL のグループに対して、相互貸借を OCLC の ILL システムで行い、料金決済も同様に IFM システムで行なっている。早稲田大学中央図書館における実績は、1999年度の海外への提供図書は218冊で、複写物は125件で、2000年度には、それぞれ268冊と216件へと増加している。

1.2. 依頼される資料

どのような資料が求められるかといっても、早稲田大学中央図書館の場合では、貸出については、人文社会科学系の資料が圧倒的に多い。幾つか例を挙げると、『弘法大師伝全集』『桃山時代の工芸』『中央アジア探検史』『明治軍歌』などの宗教、芸術、歴史書などに加え、『トヨタ自動車30年史』『現代金権史』『発展途上経済の研究』などの社会科学分野が多い。時には『蘭学生前父』『分裂病の精神病理』などの自然科学系の資料の請求もあり、どの分野が多いかについての判断はできない。また、雑誌論文の依頼される分野については、図書の貸出以上に多岐にわたる。

北米の大学図書館で所蔵しているような、近年に出版された英文資料の依頼も多い。それらの資料について謝絶するために、OCLC の World Cat 等で検索するようなことをしなければならないケースがかなりある。また、非貸出資料のリクエストも多い。例えば、ビデオ資料で大島渚監督の『帰ってきたヨッパライ』の貸出依頼が来た事もある。

1.3. 受付事例

当然のことであるが、海外の図書館から日本語で申し込んで来ることはない。OCLC のオンラインでは当然の事であるし、IFLA の申込用紙などでも、海外からのリクエストには、日本語で書誌事項

が書かれていない。このことにより、以下に述べるような担当者を困惑させるような事態が生じることがあるので注意が必要である。

随分前の事であるが、アメリカから来たリクエストの中に『Banzai Suicide Island, Saipan』という図書の貸出依頼があった。著者から検索すると、英文の著作物は無い。次に、書名を頼りに種々のデータベースで検索するが、ヒットするものがない。様々な疑問が、頭の中を駆け巡る。

この書名の図書は、本当に存在するのだろうか？リクエストをした利用者は、どのようにしてこの図書を知ったのだろうか？英語で書かれた図書に引用されていたのだろうか？邦語文献の書名を英訳したのだろうか？何かの文献に引用されていたのだろうか？

結局は、著者名から再度検索をして『サイパン島の最期』が申し込まれた図書であると判断した。そこでその図書を送付した。先方の図書館や利用者からのクレームも無く返却されてきたので、貸し出した本は正しかったようである。海外の大学図書館の中には、利用者のリクエストがあると、そのまま、申込先の図書館の所蔵データも確認せずにOrder Formを送ってくる場合もある。

もう一つの事例を紹介する。日本人の英文学者の記念論文集に収録されている論文のリクエストが来たこともある。英語で書かれたOrder Formを見て、上記の申し込みがあった直後であったので、日本語の論文集であると誤って判断してしまった。書誌が確認できたので書架へ行き、当該号を探した。しかし、該当頁を見ても該当するものがない。目次にも該当するものが無い。そこで、一番最初に行うべき書誌事項の確認作業から再度、調査を開始することにした。

同教授に関しては、和文と英文の両方で記念論文集が出て居ることが判明。早速、英文の記念論文集に当たってみたら、申し込みの書誌事項の通りに論文が掲載されていた。このように、英文表記で申し込みが来ることにより、担当者の判断の誤りを誘発することもあるので、十分に注意を払うことが必要である。

2. 事前準備と注意事項

2.1. 合意形成

個々の図書館において海外ILL(貸出)に対する業務方針を確立し、海外ILLを図書館の業務の一環として位置付けることが必要となるので、館内での合意を形成しておく必要がある。特に海外へ依頼件数の多い図書館では、借受件数に対して応分の提供を考えるべきではないだろうか。

海外からの依頼方法も、従来のIFLAの申込用紙による場合に加え、FAXやE-mailによる場合もあるが、自館の事情を考慮して受付方法を決めておく方が良いだろう。料金の決済が簡便なOCLCによる受付方法もあるが、World Catに書誌データを登録していることが前提となる。(OCLCとNACSISの間でのILLも

会計処理については、海外ILLに対応した業務を開始する前に図書館の経理担当とは勿論のこと、学内の関連箇所と経理処理について、十分に打ち合わせておくことが必要である。

2.2. マニュアル等の準備

どのような簡単なものでも良いから、マニュアルを準備しておくことが必要。海外への申込み際に使っているマニュアルを、逆の視点で考えれば、第1段階のものは作成できるだろう。参考になる資料として、Interlibrary loan practices handbook / Virginia Boucher. 2nd ed. American Library Association, 1997がある。状況は常に変化するので、日常的にマニュアルも更新できるような形式にしておく事が必要である。

それに加えて、相手館との連絡をするための、ILL業務用のメールアドレスも準備しておくことと便利である。外国の図書館とのILLは、料金の督促や発注・発送などに伴ない、相手館とのメールのやりとりが必要になることも多い。発注・請求・督促などが発生するILLは、一種の商取引であると考えられることもできる。その為の参考文献として、『英文ビジネスレター文例大辞典』などを用意しておく

と、適切な英文例を参考にすることができる。

2.3. 貸出資料の範囲・貸出期間の設定

複写については、図書であれ雑誌であれ、著作権法を遵守して国内 ILL の場合と同様に処理すれば良いが、貸出に関しては一定の基準が必要となる。貸し出す図書については、図書の刊行時期を限定しておくが良い。これは、国内の ILL で定めている基準に合わせておく、混乱しなくて良いだろう。おおむね明治期と、第二次世界大戦の戦中戦後の時期に刊行されたものについては、避けたほうが良いだろう。というのも、酸性紙の劣化が進行しており、海外への郵送により修復しがたい破損が生じかねない。雑誌、マイクロ資料や、AV資料、マイクロ資料や CD-ROM 等についても、申込が来る来ないは別として、図書館としての方針を決めておく必要がある。

2.4. 料金の設定

料金計算は、国内 ILL 同様に各館で必要経費を考慮して定めることになる。一番簡単な方法としては、国内 ILL の料金体系と同じにし、その金額に郵送に掛かる段ボールの費用や保険金額を加算して算出する。料金の支払い方法は、IRC(International Reply Coupon)と IPMO(International Postal Money Order)および銀行小切手です。この三種類の支払い額を併記した請求書を出している。銀行小切手の場合は、換金手数料として¥3,000 を上乗せした額となる。クレジットカードでの支払いについては、会計処理上の問題があるので採用していない。IFLA voucher での支払も受けられるようになった。本学の料金は、ホームページにもあるように次のように定めている。

貸出料金 (Credit cards での支払いは認めていない)

国内刊行物の場合

IPMO = International postal money order : 1,800 円 + 郵送料

IRC = International reply coupon IRCs : 1,800 円 + 郵送料

円建て小切手 : 4,800 円 (3,000 円の銀行手数料込) + 郵送料

OCLC-IFM : \$15 IFM + 郵送料

国外刊行物

IPMO = International postal money order : 3,600 円 + 郵送料

IRC = International reply coupon : 3,600 円 + 郵送料

円建て小切手 : 6,600 円 (3,000 円の銀行手数料込) + 郵送料

OCLC-IFM : \$30 IFM + 郵送料

複写料金

国内刊行物

IPMO = International postal money order : 1,200 円

(10 頁を超え 20 頁まで +600 円)

IRC = International reply coupon IRCs : 10 IRC

(10 頁を超え 20 頁まで +600 円)

円建て小切手 : 4,200 円 (3,000 円の銀行手数料込)

(10 頁を超え 20 頁まで +600 円)

OCLC-IFM : \$10 IFM

(10 頁を超え 20 頁まで + \$5 IFM)

国外刊行物

- IPMO = International postal money order : 2,400 円
(10 頁を超え 20 頁まで +1,200 円)
IRC = International reply coupon : 20 IRC
(10 頁を超え 20 頁まで + 10 IRC)
円建て小切手 : 5,400 円 (3,000 円の銀行手数料込)
(10 頁を超え 20 頁まで +1,200 円)
OCLC-IFM : 20 IFM
(10 頁を超え 20 頁まで + \$10 IFM)

2.5. データベースや帳票の準備

海外 ILL の依頼業務と同様に、必要な帳票類を準備しておく必要がある。以下にその主なものを示し、解説を加えたい。

2.5.1. データベース

データベースを設計して、リクエストの受付から請求書、クレームシートの出力、入金管理はもとより、統計も全てシステム化すると事務的業務については省力化できる。しかし、年間の受付件数が少ない場合には、敢えてシステムの設計に時間と労力を費やす必要は無い。簡単な計算ソフトを利用すれば充分であろう。

それらに盛り込まれるべきデータとして、次のような項目が考えられる。

- 1) 受付番号
- 2) 機関名
- 3) 申込番号
- 4) 申込日
- 5) 依頼種別
- 6) 資料名
- 7) 請求記号
- 8) 料金
- 9) IRC 枚数 / IFLA Voucher
- 10) 送付日
- 11) 返却期限
- 12) 期限延長日
- 13) 料金受領日
- 14) 図書受領日
- 15) 備考欄

これらの項目で不足であるならば、必要な項目を付け加えれば良い。データベースでクレームシートを、条件付けで出力することをしない場合には、最後の備考の項目等を利用して、請求・支払・督促等々の管理をすると良い。

2.5.2.請求書の例



Waseda University Library
Department of Accession Service

Invoice

Date: 7th Mar 02

To: University of Abc. Interlibrary Loans & Document Delivery

| | | |
|--------------------|-------------------------|-----------------------------|
| Your Request No.: | F0123456 | Patron Name : Anonymous, B. |
| Request Date: | 6 th Mar. 02 | |
| Our Reference No.: | 1-0011 | Supply: Loan |
| Title: | 我輩は犬である | |

- > Due for Return: 5th April 02 *Use a box, not a jiffy bag, to protect the book
> Due for Remittance: 6th May 02 Amount of charge and postage: 3,620 JPY
Please make your remittance in JAPANESE YEN by one of the following methods:

| | | |
|--|--------|--------------|
| 1. International Postal Money Order: | 3,620 | Japanese yen |
| 2. International Reply Coupon: | 28 | IRC |
| 1 or 2 is desirable for us. You can order IPMO or IRC at every post office. | | |
| 3. IFLA voucher: | 4 full | IFLA voucher |
| 4. Bank-Check Payable in Tokyo: | 6,620 | Japanese yen |
| Please enter sum of our charge and the bank charge of 3,000 yen on the check | | |

Please quote our reference no. for our identification or send a copy of this invoice,
with your remittance to : Waseda University Library

Mail to :

Waseda University Library
ILL-Lending
Dept. of Accession Services
6-1, Nishiwaseda 1-Chome
Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050
JAPAN

E-mail to : ill@list.waseda.ac.jp
FAX: 81-3-5291-8703

2.5.3.館内利用限定スリップ

実際はもう少し上下に長い寸法にする。
A4の用紙にプリントアウトして、さらにA3の用紙に拡大コピーをすると使い易いものが出来あがる。

1頁に二三行の印刷原稿を作成し裁断すると良い。

貸出館の名称・住所⇒

これを図書の表紙に巻いて、余白の重なる部分をテープで止めて、はずれないようにして、依頼して来た図書館へ発送する。

はずさない旨の指示⇒

ILL 受付番号⇒

図書館が返送されてきた時に便利。

返却期限日⇒

館内利用に限定する旨の指示⇒

相手館で利用者への館外貸出を認める方針の図書館であれば不要。

早稲田大学の場合は、返却の際の事故が起きた際の責任や、ついても明記してある。

JiffyBag を使用しない旨の注意⇒

大型の本に使用する場合には、コピーの反故紙などを同じ幅に裁断しておくとう便利。

This book is cheked out from:



Waseda University Library
6-1, Nishiwaseda 1-Chome,
Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050
JAPAN

Do Not Remove This Slip

WUL Ref. No.01-234

Due Date : Oct./ 21st/ 2001

For Use In Library Only

Borrowing Library assumes
responsibility for replacement or
charges for lost material
and may wish to insure return.

No Jiffy Bags.

Please use our package or
a box to protect this loan.

2.5.4.宛名シール (往復用 2種)

図書を貸し出した場合には、相手館の為に、図書の返送用と料金の支払い用の2枚を、複写の場合には、後者のための1枚を同封する。

剥離紙が付いたものや、濡らして貼れる糊付けの用紙が望ましいが、経費を考えると普通紙に印刷するかコピーしたものを利用するので十分であろう。

受付館からの送付用の宛名シール

IFLA や ALA の Order Form を使って郵送で依頼がある場合には、To : 以下に先方の宛先が印刷されたものが同封されていることが多い。

まれに、同封されてこない場合もあるので、あらかじめ用意しておく、あわてることがない。

オンラインや E-mail での依頼の場合には、ほとんど添付されない。

| |
|---|
| From : Dept. of Accessio Services Waseda University Library 6-1, Nishiwaseda 1-Chome, Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050 JAPAN |
| To : |

依頼館からの返送用宛名シール

これは、依頼してきた図書館から返送の際に使用するものである。

資料を返送する場合と、料金を送付してくる場合に利用してもらおう。この宛名シールを使ってもらうとことで間違いなく、担当個所へ送付されてくるからである。

| |
|--|
| From : |
| To : Dept. of Accessio Services Waseda University Library 6-1, Nishiwaseda 1-Chome, Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050 <u>JAPAN</u> |

上述した Boucher の Handbook によれば、縦 7.6 cm × 横 12.7 cm の大きさであるが、厳密にこの大きさにこだわらず、おおむねこれに近いサイズであれば良いであろう。

2.6. 送付時の注意事項

図書や複写物を送付する際には、必ず「書留」で送る事の他に、幾つか留意すべき事柄がある。図書を貸し出す際の梱包には、段ボールを使用すると良い。クッションの入った Jiffy Bag が良さそうに思えるが、郵送時の取り扱いには耐えないので不適合である。

複写物を送付する場合には、国内 ILL 同様の普通の封筒を使用する。複写物や図書に加えて、申込書のコピー、請求書、料金送付用、返送用の宛名シールも同封する。

図書や複写物を送付する際には、必ず「書留」で送る事の他に、いくつか留意すべき事柄がある。複写物、または図書に加え、申込書のコピー、請求書を同封する。相手館が料金を郵送する際に使用する、宛名シールも同封する。

宛名シール (Shipping Label) は、申込館が IFLA や ALA の申込用紙を郵送で申し込んで来る場合には同封してくる事が多いが、そうでない場合もあるので、事前に準備しておく。(FAX での依頼の際にも申込書の隅に、Shipping Label を用意している図書館もある。) 貸出の場合には、図書の返送用にもう 1 枚必要となる。宛名シールには、自館の住所、図書館名、部署名を記入しておく。参考になる見本は “Interlibrary Loan Practices Handbook/ Virginia Boucher.” の初版、第二版にあるので参考にすると良い。

貸し出す図書には、相手館への注意事項を明記したスリッパを扉に巻いて送付する。そこには、先方の申込番号はもとより、本を貸し出すこちら側の情報としては図書館名、住所のほかに、受付番号、貸出期限、館内利用限定や借受館の責任事項なども明記しておく。2.2.4. 館内限定用スリッパ参照

3. トラブルと対処法

申し込んで来る図書館に司書はいないのか、と思えるような依頼が届く場合もある。特にアメリカでは、OCLC の ILL リクエスト件数が、年間数万件に上る図書館もあり、通常の ILL 業務には司書が従事していない。とにかく日本の ILL 件数とは桁違いに多く、司書自身が ILL 業務にタッチするのは、トラブルがあった時のみであると考えたほうが良さそうである。

2000 年に来館した、ワシントン州の名門私立大学図書館の ILL 担当者から話を聞く機会があった。彼の話では、「通常は学生スタッフなどに依頼業務は任せている。申込んだ相手館から謝絶されて入手できなかったり、何かトラブルがあった場合のみ、自分が処理する」とのことであった。

上記の情報から類推すると、膨大な処理件数にのぼる ILL に関しては、人件費を書けずに行うのがアメリカの現状で、その結果が前述してきたような現象を生んでいるのではないだろうか。

3.1. 謝絶

3.1.1 非所蔵資料への依頼

どのようなリクエストが来ても、申込を受け付けることを図書館のポリシーにしているのであれば別だが、業務処理の増大を防ぐ意味でも、申込国、例えばアメリカの大学出版局が刊行している資料まで、受け付けなくても良いであろう。その種の図書は、北米大陸の多くの大学図書館で所蔵されている場合が大半である。そちらへ依頼するように回答する。その方が、依頼してきた図書館の経費は削減される。ただし、そのための検索料金は回答する受付館で負担する事になる。

謝絶するのは、いとも簡単である。しかし、それで良いのだろうか？もしこれが、逆の立場だった場合の事を考えてみて欲しい。自分たちが海外へ依頼する場合に、ある資料を所蔵している図書館を調査することを想定して考えてみたい。

幾つものデータベースを調査しても所蔵館が見つけれない。そこで、個々の図書館の OPAC を幾つも検索し、やっとある図書館の所蔵を確認することができたとする。やっとの思いで、依頼を出したところ、「謝絶」の返事が返ってきたら、

どのような思いにとらわれるだろう。

インキュナブラや、マニュスクリプトならまだしも、ごく普通の図書や、雑誌論文だったら、なぜ提供してくれないのだろうかと思ってしまうことだろう。その図書館の方針であるから仕方が無いと言えばそれまでであるが、所蔵している図書館をやっとの思いで探し出すまでの苦労を考えると暗澹たる気持ちになってしまう。

再度、所蔵館を調査する時間が許されれば良いが、その依頼にばかり時間を割かれ、他の業務が滞ってしまうとなると、その時点で打ち切りにせざるを得ない。利用者自身にそのことを理解してもらうための努力が必要になる。また、どうしても入手したいのであれば、利用者自身に所蔵館の調査をするようにと伝えねばならない。1件の依頼に関して、割く事ができる時間は限られているのであるから、仕方が無いと割り切ることもできるかも知れない。

しかし、長い目で見たら図書館に対する信頼を失うことにつながるし、その司書自身も利用者から見限られるかもしれない。全文データベースの発達した今日において、図書館の存在理由の一つに、機械ではできないサービスをすることがあると思うのは、私ひとりだけだろうか。

3.1.2.貸出対象外資料への依頼

海外 ILL の受付方法や料金の支払方法について、図書館の英文のホームページに掲載しておくが良い。それにも係わらず、貸出対象外の資料に対して依頼が届く事も多い。例えば、参考図書に指定されている図書や、雑誌のバックナンバーの貸出依頼については謝絶する。雑誌については、貸し出さない旨の返事をして、目次や記事の複製物は提供するので、再度申し込むように伝えれば良い。

3.2. 転送

そこで、上記のような状況に至ったときには、どのようにすれば良いのだろうか？オンラインでの依頼ではなく、IFLAやALAのOrder Form、もしくはFAXのような紙媒体での依頼である場合には、所蔵館へその申込書を転送するのが望ましい。

転送先として、国立国会図書館がまず考えられる。国立国会図書館は、1960 年度から国際的な相互貸借を開始している。「国際図書館連盟 (IFLA) が提唱する図書館間貸借制度に参加し、同連盟加盟の世界各国の図書館とのあいだに、国際的な図書の貸借を行なう道を開いた」(『国立国会図書館年報』昭和 35 年度 38 頁) のである。国立図書館としては、当然の姿勢であるが、なんと云っても頼りになる存在である。

国会図書館で所蔵していない場合は、NACSIS を検索して、国内の所蔵館を調べるのが通常の手順である。複数の図書館が所蔵している場合、どの図書館に転送するのが良いのだろうか。どの図書館が、海外への提供を行っているのかを、どういう方法で調べるのだろうか？『相互協方便覧』を見ても判らない。『大学図書館実態調査』を見れば、ある年度について、海外へ提供した大学図書館は判明するだろう。それらを何年にもわたって、調べ上げた結果を書き出して、リスト化しておく作業をすべきなのだろうか？

印刷されたものとしては、本稿を納めた『相互協力研究分科会報告』第 9 号に掲載されている“Japanese University's International ILL Policies Directory”を参照すると良い。Web 上では CEAL のホームページ (http://home.talkcity.com/NonProfitBlvd/hideyuki_morimoto/home.htm) から、このディレクトリーを開けば、どの図書館がいかなる条件で海外へ資料の提供をしているかが一目瞭然である。残念なことには、50 館に満たない図書館しか掲載されていない。しかし、これが、日本の大学図書館が海外 ILL において実施している貸出と複写物の提供に関する 2001 年の実態なのである。

3.3.トラブル

かなり以前の事例ではあるが、違う図書館の図書を返却してくるということがあった。アメリカの C 大学図書館から貸出依頼があったので、手続きをすまして翌日に航空便で発送した。しばらくして、その大学図書館より、未着のためすぐに貸し出しをして欲しい旨の督促が来た。すでに貸出したので、確認をして欲しい旨の連絡をした。1 ヶ月経ち、返却期限が来たので督促状を送った。

ほどなく図書が返却されてきて開封したところ、それは本学の蔵書ではなく、アメリカ東海岸にある H 大学図書館の蔵書であった。その図書を送り返す際に、我々の貸出した図書を返却するように再度督促をしたところ、かなりの日数が経ってから返却された。このようなことも起こり得ることを知っている、全てに「余裕」を持って対応することが大切である。

3.3.1 期限切れ

通常の図書館業務における貸出・返却同様に、海外 ILL においてもこちらで指定した返却期限までに、支払いや図書が返却されない場合もある。学内の利用者に対するように、メールで督促するのが一番手軽である。そのための書式を用意しておき、ケースごとにデータを張り込めば後は、送信するだけで済む。文書で出す場合も同様であるが、月初めや月末など時期を決めておいて定期的に督促するか、データベース化しておけば、期限切れの発生時にクレーム文書を自動出力することも可能である。

3.3.2. 支払方法

アメリカには、郵便局の数が非常に少なく日本や欧州のように利用し易いわけではない。そのため、IRC や IPMO での請求に対しては、通常の会計処理が困難な場合も見受けられる。そのため、小切手での支払いも可能な請求方法も考慮しておかないと、請求金額を回収できなくなる恐れがある。E-mail を使って連絡できるようになったとはいえ、回収の事務手続きが、煩瑣になる恐れがある。

3.3.3. トラブルへの対処法

対処法 1 : 上記のトラブルが解消するまでは、「こちらの条件に従うまでは、貸出・複写依頼のすべてを謝絶する」という強い姿勢で望む必要がある。この方法はかなり効果が高い。

対処法 2 : 上記に述べた図書館に対しては、それらの図書館に対して連絡を出す場合には、通常の ILL 担当者宛では、効果が無い場合も多い。その際には、手数が掛かるのだが、当該大学図書館のホームページから、担当司書の名前、メールアドレス等々をしらべる。その際に、担当司書のみではなく、図書館の事務責任者や図書館長についても記録しておく。一度の督促や、注意の喚起で効果がなかった場合には上位者へ、次にはさらにその上位者へとその旨の連絡をする。

対処法 3 : 海外 ILL におけるトラブルの発生を抑止するため、自館の ILL の方針を英文のホームページ上で公開することも一つの方法である。早稲田大学図書館は、2001 年 4 月 7 日に、海外向けに図書館のホームページで以下のように ILL の方針を公開するに至った。また、同年 12 月 6 日に方針の一部変更に伴い更新した。

3.3.4.クレーム用紙の例



Waseda University Library
Department of Accession Service

Claim

Date: 7th July 01

To: University of Abc. Interlibrary Loans & Document Delivery

YOUR REQUEST: 530131 cf. Attached your order form
PATRON'S NAME: Anonymous, B.
OUR REFERENCE NO. : 1-0130
TITLE:
OVERDUE FOR RETURN: 2nd May 01 *Return the book immediately*

Please send a copy of the invoice with your return to

Mail to :

ILL-Lending
Dept. of Accession Services
Waseda University Library
6-1, Nishiwaseda 1-Chome
Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050
JAPAN

E-mail to : ill@list.waseda.ac.jp
FAX: 81-3-5291-8703

3.3.5.海外 ILL ポリシー (早稲田大学図書館英文ホームページ)

Waseda University Library: Interlibrary Loans

Lending Policy to Foreign Libraries

(as of December 6, 2001)

Requests are accepted via

Fax: +81-3-5291-8703

Mail: Dept. of Accessing Services

Waseda University Library

1-6-1, Nishi Waseda

Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050

JAPAN

OCLC: *ARL-Japan-Project-Waseda members only

Note:

1. We do not accept E-mail or telephone requests.
2. We do not accept requests from individual persons.

Books

Loan period: 4 weeks. No renewals are allowed, as a rule.

A single 4-week renewal will be permitted for exceptional cases.

Restriction: Library use only

Return: Return the loaned item via air mail, boxed (no jiffy bags, please) for protection.

The returned book must reach us by the due date.

Charge: Invoices will be sent with the loaned item(s).

Due date for remittance: Within 60 days of the mailing date

| Method of remittance | Materials published In Japan | Materials published Outsise Japan |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| IPMO = International Postal money order | 1,800 yen + postage | 3,600 yen + postage |
| IRC = International reply Coupon | IRCs covering 1,800 yen + postage | IRCs covering 3,600 yen + postage |
| Bank cheques payable in Japanese yen (including 3,000 yen as bank handling charge) | 4,800 yen + postage | 6,600 yen + postage |
| OCLC-IFM | \$15IFM + postage | \$30IFM + postage |
| IFLA vouchers | Acceptable | Acceptable |
| Credit cards | Not acceptable | Not acceptable |

Non-circulating material:

1. Items stored in certain libraries that do not permit lending (ex. Science-Engineering, Theater Museum, International Center Library, Student Reading Room)
2. Rare and antique books (special collection items)

3. Books published in the Meiji era
4. Reference books
5. Journals and periodicals
6. Microform and audiovisual items
7. CD-ROM and other machine-readable items
8. Items stored in multiple libraries in the requesting institution's country
9. Items in poor condition (ex. published between 1930-1950)
10. Oversized books (including items weighting more than 5 kilograms)
11. Theses and dissertations (including UMI dissertations)
12. Other items as designated by the Director

Photocopies

Restrictions: We provide copies of library items according to the copyright laws of Japan.

Our library regulations apply to all requests for copying entire pages of rare books or books published in the Meiji era.

Charge: Invoices will be sent with the item(s).

Due date for remittance: Within 60 days of the mailing date

| Method of remittance | Materials published in Japan | | Materials published Outside Japan | |
|--|------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|----------------|
| | Up to 20 pages | Every 10 pages above 20 pages | Up to 20 pages | Every 10 pages |
| IPMO = International Postal money order | 1,200 yen | +600 yen | 2,400 yen | + 1,200 yen |
| IRC = International Reply coupon | 10 IRCs | +5 IRC | 20 IRC | + 10 IRC |
| Bank cheques payable in Japanese yen (including 3,000 yen as bank handling charge) | 4,200 yen | + 600 yen | 5,400 yen | + 1,200 yen |
| OCLC-IFM | \$10 IFM | + \$5 IFM | \$20 IFM | + \$10 IFM |
| IFLA vouchers | Acceptable | | Acceptable | |
| Credit cards | Not acceptable | | Not acceptable | |

Regulations:

We will stop the service when books and payments could not be received by the due date.

General inquiries may be addressed to

Fax: +81-3-5291-8703

E-mail: ill@list.waseda.ac.jp

Mail: Dept. of Accessing Services

Waseda University Library

1-6-1, Nishi Waseda

Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050

JAPAN

4. OCLCでの受付手順

近く開始されることになる NACSIS からの受付手順ではなく、直接 OCLC と ILL の契約した際の受付方法について紹介する。

1. 依頼確認

- (1) Passport for windows の起動により、ログイン。
- (2) ホームポジションで、「mf」と入力後、[F11]
- (3) ホームポジションで、PENDING の項目 No.(1)を入力後、[F11]
--->リクエストリスト（1件の場合はレコード）が表示される。
- (4) ホームポジションで、件 No.を入力後、[F11]
--->リクエストレコードが表示される。
- (5) TITLE: について、WINE などで所蔵を確認。
* DESERTATION: 項目があり、「THESIS」の場合は、謝絶。（謝絶理由はその他にも有る）
- (6) Need Before, MAXCOST, BORROWING NOTES などを確認。
- (7) 回答(NO, COND, or YES)を決める。
- (8) 回答せずリストに戻る場合は、ホームポジションで[CTRL]+[F9]。
このときレコード更新への問い合わせには、[ignore]を選択。

※リクエストレコードは2週間で削除されるので、毎朝チェックする。

2. NO (謝絶) ... オプションで謝絶理由を添付する

- (1) ホームポジションで、No [謝絶理由 (ISO CODE TEXT)] を記入。

1. Thesis・貴重書など貸出不可: No non circulating
2. 貸出中: No in use on loan
3. 整理中: No in process
4. 未所蔵: Not owned

★ISO CODE 一覧は、<http://www.oclc.org/oclc/tb/tb233/tb233.htm> に記載。

- (2) 印刷する

- (3) No [謝絶理由] の後ろにカーソルを置き[F11]

---> NO 回答が送信され、該当する PEND ファイルが消える。

"ILL# ____ has been deleted from your Message File."

3. COND (条件提示) ... MAXCOST 不足、日程不適などの場合

- (1) CAN YOU SUPPLY? >COND の後ろにカーソルを置き、[F11]

- (2) LWU Cond Suuply 画面で、LENDING NOTE を記入。（ページ移動は、[F4][F5]）

ex. "Wref. 1-001 Please change your MAXCOST to \$30 IFM "

- (3) 入力した文章内にカーソルを置き、[F10] (←このキーは次の編集記号までを更新する)

--->フィールドが更新される。

"1 field(s) modified."

- (4) [F2]で、LENDING NOTE への入力が正しいかを確認する。（ページ移動は、[F4][F5]）

- (5) 印刷する。[F12]で1件のデータをすべて印刷できる。

- (6) ホームポジションにカーソルを置き、「rep」と入力し、[F11]

---> COND 回答が送信され、該当する PEND ファイルが消える。

"ILL# ____ Updated."

4. YES (承諾) ... 条件・図書の状態ともに問題がない場合
事前の設定 (常時使用する項目の内、次のものは事前に設定しておく)

Ship insurance: Need

Lending restrictions: For Use In Library Only/ Return in a Box.
Do not use a Jiffy Bag.

Lending Notes : W. ref. No.1-0001
(定型の先頭部分)

Return to : 6-1, Nishiwaseda 1-Chome, Shinjuku-ku, Tokyo
169-8050 JAPAN

Return via : Air mail

(0-1) 貸出図書・コピーの用意をする。(借用、取寄、複写など)

(0-2) 梱包材とともに図書の重さを計り、郵送料金を計算する。

(0-3) 海外 ILL データベースに入力をする。

(1) CAN YOU SUPPLY? >YES の後ろにカーソルを置き、[F11]

-->ステータスが "LWU will supply" に変わる

(2) "LWU will supply." 画面で貸出事項を入力する。

1. DueDate: 19990327

-->[F10] を押す → 1 field(s) modified

2. CALLNO: F689/18/4

-->[F10] を押す → 1 field(s) modified

3. LENDING CHARGE: 20.00IFM

-->[F10] を押す → 1 field(s) modified

4. LENDING NOTES

-->[F10] を押す → 1 field(s) modified

SHIPPED: 記入しなくても自動的に

に入る

* 午前中の早い時間 (米国時間で昨日の場合は、日本時間の前日しか入力できない)

5. 印刷する。[F12] で 1 件のデータをすべて印刷できる。

6. ホームポジションにカーソルを置き、"rep" と入力し、[F11] * 画面左上部に rep を入力
→

[F10] を押す → ILL# 9006843 Updated. と表示され、申込館へデータが送信される。

図書に注意書きのスリップを巻く。返送用ラベルと上記データシートのコピーを同封して
梱包する。相手先の住所を記入した Shipping Label を貼付する。

5. Yes to Renewal (借用延長依頼などへの回答)

(1) リストで RENEWAL の項目 No. を入力、[F11]

-->レコードリストが (1 件の場合、レコードが) 表示される

(2) 回答するレコードの no. を入力し、[F11]

-->レコードが表示される。

(3) New Due Date : 1999**** 新しい返却期限を入力し、[F10]

(4) ホームポジションで、rep と入力し、[F11]

-->"Renewal response sent" 回答が返信され、"Renewal OK" status に。

6. NO to renewal (借用延長依頼などへの回答)

- (1) リストで RENEWAL の項目 No. を入力、[F11]
--->レコードリストが（1件の場合、レコードが）表示される。
- (2) 回答するレコードの no. を入力し、[F10]
--->レコードが表示される。
- (3) New Due Date: No と入力し、[F10]
- (4) ホームポジションで、rep と入力し、[F11]
--->"Renewal response sent" 回答が返信され、"No Renewal" status に。

7. Complete (取引の終了) ...returned または complete?への返信

- (1) 貸し出した図書が正しく返却されているかを確認する。
- (2) ホームポジションで、com と入力し、[F11]
--->レコードがクリアされ、削除される。

—依頼編—

5. 海外への依頼

『海外 ILL ハンドブック』の刊行時点では、オンラインによる発注は BLDSC に限られていたが、その後、OCLC や GBV などをはじめ、単独の図書館でもオンラインによる ILL を開始して、状況に大きな変化が生じてきている。同ハンドブックの改訂には、いま暫く時間が掛かるので、今回の機会に主なシステムについての申込手順を紹介することにする。

5.1. OCLC の ILL 依頼手順

ILL 利用マニュアル（依頼）操作方法をキー入力で簡単に説明する。詳細は紀伊国屋書店の「OCLC PRISM ILL サービス利用ガイド」及び英文マニュアル参照すること。

A. はじめて依頼を出す場合

1. #----- [F11]
#に続けて OCLC 番号を入力して、データを表示する
2. wf△×××、××× [F11]
wf のあとスペース一つあけて依頼館のシンボル（英字 3）を、で区切って入力する。
1 回に 5 まで可。
ワークフォームに OCLC データが入力されたものが表示される。必要項目を入力し、1 項目ごとに [F11] を押して確定する。
3. ●必須項目
Patron 99-×× (shimei)
Maxcost \$30ifm (限度額によって異なるが、必ず入力する。でないと会計処理が ifm システムできなくなってしまう)
○複写等の場合は、article, vol. 等必要に応じ入力する
4. 全項目入力したら、ホームポジションで [F2] (=rf [F11]) とし、正しく送信されたか確認する。消えてしまったところは、再入力。この時も一項目ごと [F11]

5. 全部きちんと表示され、確認できたら p F11 とする。送信され、ILL 番号がつく
6. F12 で全画面をプリントアウトする。プリントアイコンで印刷するとそのページのみとなってしまうので必ず F12 で印刷する。

B. 資料が届いた場合

1. il:-----F11 と該当 ILL 番号を入力し、画面を表示させる
2. 内容を確認し、問題がなければ F12 でプリントアウト (料金確認のため)
3. r F11 で受け取りとする。(データが変更される)
* コピーの場合はこれでデータが完了となり、消える。

C. 資料を返送する場合

1. il:-----F11 と該当 ILL 番号を入力し、画面を表示させる
2. rd F11 とし、返却に変更する。

D. メッセージファイルの確認

1. 毎日最低 1 回は mf でメッセージファイルを確認する。
内容を確認したいものの行番号 (先頭の数字) を入力し、F11 でその画面にとぶ。
次の ILL データをみたい時は for F11
前の ILL データをみたい時は bac F11
最初の画面に戻りたい時は gob F11
2. 次の場合はそれぞれ処理が必要なので、内容を確認する。
conditional
unfilled
special message (lender)
3. conditional の場合は、先方からのメッセージを確認する。
 - ①こちらが同意できる内容であれば、Yes にカーソルをもっていき、F10 とし、その後必要事項を追加または修正する。
例 Maxcost の変更等
すべての必要項目を修正や追加したら、ホームポジションで rp F11 updated となれば、修正されている。
 - ②同意できなければ基本的にはそのデータは何もしなくてもいずれ削除される。ただし、納得できない場合は、Borrower's note に必要事項を記入して前と同様に返送することもできる。
 - ③同意できず、納得できた場合はそこへの依頼はあきらめることとなる。
他へ転送するか、データを削除する。転送する場合はホームポジションで new△×××、×××F11 のように相手機関名をいれる。5 まで可。
 - ④データ削除はそのデータを表示している画面で del F11
4. unfilled の場合も他へ転送できる。転送しない場合は削除する。

5. special message (lender)がある時は conditional の場合と同様に内容を確認し、必要に応じて返事をする。

E. 貸出期間延長方法

1. il: で該当レコードを表示
2. :RenewalReq:フィールドに any **F10** と入力する。特に返却希望日を指定したい場合は、同じところに、991216 のように年月日の順に2桁ずつ入力するか、+14 のように数字であと何日借りたいかを入力する。
3. ホームポジションで rep **F11** で送信。updated され、スタイタスが renewal request に変更される。

F. その他

1. 次画面がみたい **F4**
2. 前画面にもどる **F2**
3. ひとつ前に戻る gob

5.2. BLDSC / B L の依頼手順

BLDSC 所蔵資料

1. 発注

BLPC Search Form で、BLDSC の所蔵を検索する。所蔵の簡略画面が出て、検索した資料が三番目に表示されていれば、[3] をクリックして、詳細画面にしてからオンラインで発注する。ID とパスワードを入力する

2. 学位論文

The BRIT index を検索し DX 番号を調べる。同番号でない場合は、右下の Signed の欄に、申込者に直筆で記入してもらったら請求できる。請求用紙は、学位論文の申込用紙 “BRITISH THESIS SERVICE” の用紙があるのでそれを使用し、FAX で送信する。+44 1937 546286

3. 借用料金

図書の借用は、13.25 ポンド (約 2,385 円) である。
論文の複写は、一論文単位で 7.25 ポンド (約 1,305 円) とリーズナブルである。

4. 預託金

預託金の引き落とし確認

毎月送付されるレポートの内容を確認し、本学の依頼内容に相違がないか照合する

預託金の補充

残額が少なくなったら、(株)紀伊国屋書店 電子情報部へ、ファックスで依頼する。年度内で消費する金額を、毎年三月初旬に同様に追加発注する。

British Library 所蔵資料

1. 発注

FAX で依頼すると、所定の用紙「The British Library / International Standar Service Order-Form & Tariff 2000/2001 Reproductions」と料金表が届く。

2. 小切手作成

料金表に従い、小切手を作成する。

3. 送金

小切手を、上記の所定用紙に同封し、書留で送付する。

5.3. GBV-Direkt の依頼手順

A. はじめに

早く確実な処理、預託金利用で送金の手間が省けていたが、暫く前より海外からは、預託金制度の利用が不可能となった。問い合わせ先 gbvdirekt@gbv.de 及び picasel@brzn1.gbv.de

B. 接続方法

1. www.gbv.de/又はリンク集から GBV に接続
2. English page
3. Online databases
4. ID (画面右端)
5. number と password を入力してログイン
6. GBV Union catalogue online retrieval and ordersystem (incl. ZDB-databases) (上からふたつめ)
7. データ検索
8. 多巻本の場合は related publication ボタンを押して、巻を特定し表示
9. order <水色>
10. GBV-direkt-Subito (注: ILL は通常のシステムで 260 館が加盟しているが、預託金システムはない。加入するには harms@mail.sub.uni-goettingen.de にメールで申込が必要)
11. ID number と password を再度入力
12. 必要事項選択及び記入
 - 1) 送付方法と *invoice single* 及びこちらの *request number* は必ず記入する。送付方法は先方としては e-mail を推奨しているが、当面これは利用しない。また、fax はやはり鮮明度が劣るので急ぎの時に限定した方が良い。
 - 2) 発注先は指定しなければ自動的に最初の表示館に行く。特に変更したい場合は、次の 2 方法がある。
 - ア) 頼みたいところを選択する。機関名の前の○をクリック
 - イ) 頼みたくないところは delete する。機関名の後ろの delete 欄をクリック
13. 全体を見直してから password を再入力する
14. send
15. うまく行ったら Requestnumber A○○○○と表示されるのでプリントアウトする。なお、この画面ではコピー依頼の場合ページ等は表示されない。必要な場合は D の ILL Profile で確認する。

C. 料金

1. 預託金制であったが、現在、海外の図書館はその制度を利用できなくなった。
2. 料金は次のように館によって異なる。単位は DM
normal 受付後 7 2 時間以内に処理
urgent delivery 受付後 2 4 時間以内に処理

TIB Hannover, SLUB Dresden, UBKarlsruhe, SLUB Saarbröten

| normal | general | | |
|-----------------|---------|--|----|
| e-mail | 13 | | 20 |
| mail(postal) | 20 | | 20 |
| fax | 25 | | 25 |
| urgent delivery | | | |
| e-mail | 25 | | 37 |
| mail(postal) | 28 | | 37 |
| fax | 35 | | 42 |

3. 毎回の依頼時に invoice single を選択すると、1 件ごとに請求書がついてくる。DM 表示なので、換算して処理する。換算レートはドルと同様、月はじめに先月の月末の中値を元としている。

D. 記録の確認

1. ILL Profile で発注記録を確認できる。
2. 発注と同様にして (A-6 までの手順で) データベースに入ったあと、画面上部の ILL-Info 選択
3. View ILL request
4. ID 入力
5. 確認したいものを選択
6. パスワードのみ再入力
7. Title presentation
8. 同様にここでパスワードの変更や預託金の確認もできるはず。

5.4. DBI-LINK

GBV-Direkt と同じように DBI-Link も利用できる。データは重複しているものが多いが、実際に試してみたところ、DBI-Link ではヒットしなかったものが、こちらではヒットした例もある。

料金的には各館で異なるのでなんともいいがたいが、利用する価値がある。World cat でヒットしないドイツ語資料については、この両者を利用していくと良い。

ID とパスワードを入力して発注し、オーダーナンバーの入った、送信済み画面をプリントアウトして、利用者の申し込み用紙にステイプラーで綴じておく。

5.5. Online発注を可能にする方法

海外の大学図書館にリクエストする場合に、所蔵館のOPACを検索する。当該図書館のホームページから依頼するために、上述したFAX番号を調査することになる。その際に、注意して見ていると、事

前に申請をしておくオンラインでの依頼を受けつける図書館がある。こまめにそれらの情報を収集し、登録図書館となっておくことが、次回以降の依頼を容易にするひとつの方法である。

5.6. Online発注の出来ない所蔵館への依頼

従来からの方法である IFLA 等の Order Form を郵送するより依頼に掛かる時間を節約するには、所蔵図書館のホームページから、FAX 番号を調査し送信する。次頁に、FAX 送信用紙の例を示す。



TELEFAX ORDER

Interlibrary Loan / Photocopy Request

Requesting library's address

Dept. of Accession Services
Waseda University Library
6-1, Nishiwaseda 1-Chome
Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050
JAPAN
FAX: 81-3-5291-8703

Client name: **Li, Sei**
Request no.: **01-107**
Date-of-service: **March 20, 2002**
Need-before-date:
Maximum-cost: **US\$49.00**
Delivery-service: Air Mail Fax

Loan or Photocopy or Microform

Signatur:

Author: **Doermann, Johannes**

Titel : **Neue Quellen zur Erforschung des Evolutionismus im neunzehnten Jahrhundert aus dem Nachlass von Johann Jakob Bachofen.**

48 s. 4° Munster, Kath. – theol.F., Diss. v.1. Dez. 1965 (Nicht f. d. Aust.)

Place-of-publication: **Munster**

Publisher:

Publication-date: **1985**

Edition:

ISBN/ISSN :

Verification-reference-source: **Jahresverzeichnis der deutschen Hochschulschriften, 1965.81
Jg. II 1969 p.979 <U 65. 10784>**

Note: The user has declared that this publication is required only for the purpose of research or private study.

Signature _____

Reason Unfilled

Responding library's address

Interlibrary Loan
Bibliothek
Westfälische Wilhelms-
Universität Munster
Fax: +49 (251)83-24813

- In Use
- Lacking
- Not Owned
- Not for Loan
- Cost exceeded
- Missing
- Not found as cited
- Other

Responder-note:

付 録

Japanese University's International ILL Policies Directory

First & revised edition

Noboru Takahashi
Ako Matsuo
Masahiro Takahashi
Katsumi Yoshida
Shizuha Hirai

Waseda University Study Group of ILL Policies Directory
Tokyo
March 2002

Published by Waseda University Study Group of ILL Policies Directory
Department of Accession Services Waseda University Library
6-1, Nishiwaseda 1-Chome, Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050

Copyright © 2001 by Noboru Takahashi

All right reserved. Reproduction of this book, in whole or in part without written
of the permission of the publisher is prohibited.

Printed and bounded in Japan.

Preface

This first edition of *Japanese University's International ILL Policies Directory* provides the most current information available on international ILL policies of 46 university libraries.

Questionnaires were sent to over 630 University Libraries in Japan. But only 51 libraries reply to us. And few library refuse to disclose their policy by printing. It is important to remember, however, library name, policies and all prices are subject to change without notice.

The arrangement is alphabetical by University Name.

If this policies data is not enough for you, please inquire the library individually.

Please communicate any errors, omissions, and suggestions for the first edition of the *Japanese University's International ILL Policies Directory* to:

Noboru TAKAHASHI
Department of Accession Services
Waseda University Library
Tel: +81-3-5286-1659
Fax: +81-3-3207-9224
aquarius@staff.waseda.ac.jp

Aichi Prefectural University

Library

etsuran

Address : 1522-3, Ibaragabasama Kumabari Nagakute-cho, Aichi Japan

Zip Code : 480-1198

Telephone No. : +81-561-64-1111

E-mail address : ill-borr@lib.aichi-pu.ac.jp

OPAC : <http://www.aichi-pu.ac.jp/library/index.htm>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:AHD)

Facsimile : YES, +81-561-64-1104

Air-Mail :

E-Mail : YES

Ariel : YES

SERVICE SUSPENDED : 12/28 to 1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 5 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Meiji-Era Books, Periodicals, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : YES, 45 yen

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 27

Azabu University
Center for Science Information Services
Library

Address : 1-17-71, Fuchinobe , Sagamihara-shi, Kanagawa-ken
Zip Code : 229-8501
Telephone No. : +81-42-754-7111
E-mail address : senta@azabu-u.ac.jp
OPAC : <http://turf.azabu-u.ac.jp/limediao/index.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol)
Facsimile : YES
Air-Mail : YES
E-Mail : NO
Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/12 to 8/18, 12/28 to 1/8

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :
Renewal :
Charge per copy :
Minimum Charge :
Handling Charge :
Postage Charge for all request :
Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :
Accept boxes only :
Insurance required for all returns :
Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO
Minimum Charge : NO
Handling Charge : \$10 or 1 IFLA Voucher
Charge for cost estimate : NO
Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES
IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis (Postal Giro Account
Bank check : NO
IFLA voucher :
Bank transfer :
OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 3

**Chuo University
Library**

Reference Room

Address : 742-1, Higashinakano, Hachioji-shi, Tokyo

Zip Code : 192-0393

Telephone No. : +81-426-74-2522

E-mail address : ref@library.chuo-u.ac.jp

OPAC : <http://www.library.chuo-u.ac.jp/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:UJZ)

Facsimile : YES

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/1 to 8/31, 12/23-1/10

AVERAGE TURNAROUND TIME : 5 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : YES

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher : YES

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Doshisha University

Library and Information Technology Center

Information Services Department

Address : Karasuma-Higashi-iru, Imadegawa-dori, Kamigyo-ku, Kyoto

Zip Code : 802-8580

Telephone No. : +81-75-251-3980

E-mail address : ji-servi@mail.doshisha.ac.jp

OPAC : http://duels.doshisha.ac.jp/main_en.html

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-75-251-3058

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : mid-August, 12/28 to 1/6

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 3 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Rare Books, Periodicals, Doctorial Dissertations, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual, Materials Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : 35 yen

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : YES

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 5

Hannan University

Library

Reference Section

Address : 5-4-33, Amami Higashi, Matsubara-shi, Osaka

Zip Code : 580-8502

Telephone No. : +81-723-32-1224

E-mail address : libmstr@hannan-u.ac.jp.

OPAC : <http://www.hannan-u.ac.jp/lib/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-723-35-7741

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/10 to 8/18, 12/26 to 1/8

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Meiji-Era Books, Periodicals, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$ 10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge+3,000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Hiroshima Institute of Technology

Library

ILL KAKARI

Address : 2-1-1 Miyake, Saekiku, Hiroshima Japan

Zip Code : 731-5193

Telephone No. : +81-82-921-3121

E-mail address : ill@cc.it-hiroshima.ac.jp

OPAC : <http://aps.cc.it-hiroshima.ac.jp>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:)

Facsimile : YES, +81-082-921-6694

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 2/23,8/6,8/14 to 8/16,12/28 to 1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 2,000 yen per copy if the number of pages 20 or less, and extra charged if the number of pages is 21 or more

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

**Hiroshima Jogakuin University
Library**

etsuran section

Address : 4-13-1 Ushita Higashi, Higashiku, Hiroshima

Zip Code : 732-0063

Telephone No. : +81-82-228-0392

E-mail address : libsanko@gaines.hju.ac.jp

OPAC : <http://library.hju.ac.jp>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:)

Facsimile : +81-82-222-7885

Air-Mail : YES

E-Mail : YES

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/14-8/16,12/29-1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3-4 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Periodicals, Doctorial
Dissetations, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audo-Visual Materials,
Computer Software, Reserved Books Etc

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : 30yen per copy, 100yen per color copy

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, charge+3000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Hiroshima Shudo University

Library

Reference and Information Service

Address : 1-1-1, Ozukahigashi, Asaminami-ku, Hiroshima

Zip Code : 731-3195

Telephone No. : +81-82-830-1112

E-mail address : tosho@js.shudo-u.ac.jp

OPAC : <http://library.shudo-u.ac.jp>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, (G3)+81-82-830-1327

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/14 to 8/16, 12/29 to 1/3

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 2 weeks

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES, 1200 yen

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Periodicals, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Doctoral Dissertations, Master's Thesis, Rarebooks, Books In Professor's Room

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1200 yen

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Hiroshima University of Economics

Library

Reference department

Address : 5-37-1, Gion, Asaminami-ku, Hiroshima

Zip Code : 731-0192

Telephone No. : +81-82-871-1662

E-mail address : ms-fuku@hue.ac.jp

OPAC : <http://opac1.hue.ac.jp/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-82-871-1499

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/14 to 8/16, 12/29 to 1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 2 weeks

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1,000 yen

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Meiji-Era Books, Periodicals, Doctorial Dissertations, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : 30 yen

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1,000 yen (Up to 20 sheets)

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

**Hosei University
Ichigaya Library**

Reference/ILL Services

Address : 2-17-1 Fujimi ,Chiyoda-ku ,Tokyo ,Japan

Zip Code : 102-8160

Telephone No. : +81-3-3264-9515

E-mail address : iref@hosei.ac.jp

OPAC : http://iwsrv.i.hosei.ac.jp/operate/english/index_e.html

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, (G3)+81-3-3264-9506

Air-Mail : YES

E-Mail : YES, iref@hosei.ac.jp

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/1 to 9/23, 12/27 to 1/7

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks

Charge per copy : \$24 or 3 IFLA voucher

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : NO

Postage Charge for First Class : NO

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Meiji-Era Books, Periodicals, Doctorial Dissertations, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : one photocopy of up to 15 pages \$12 or 1.5 IFLA voucher, every additional 10 pages \$4 or 0.5 IFLA voucher

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge + 3,000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 3

Hosei University

Tama Library

Reference/ILL Services

Address : 4342 Aihara , Machida , Tokyo , Japan

Zip Code : 194-0298

Telephone No. : +81-42-783-2272

E-mail address : tamaref@mt.tama.hosei.ac.jp

OPAC : http://iwsrv.i.hosei.ac.jp/operate/english/index_e.html

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, (G4)+81-42-783-7134,(G3)+81-42-783-2265

Air-Mail : YES

E-Mail : YES, tamaref@mt.tama.hosei.ac.jp

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/1 to 9/23, 12/27 to 1/7

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks

Charge per copy : \$24 or 3 IFLA voucher

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : NO

Postage Charge for First Class : NO

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Meiji-Era Books, Periodicals, Doctorial Dissertations, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : one photocopy of up to 15 pages \$12 or 1.5 IFLA voucher, every additional 10 pages \$4 or 0.5 IFLA voucher

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge + 3,000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 3

Hoshi University

Library

Address : 4-41, Ebara 2 Chome, Shinagawa-ku, Tokyo

Zip Code : 142-8501

Telephone No. : +81-3-5498-5827

E-mail address : library@hoshi.ac.jp

OPAC : <http://202.209.104.220/usswww/wwwmnu11.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, (G3)+81-3-5702-3907

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/1 to 8/31, 12/25 to 1/10

AVERAGE TURNAROUND TIME : 4 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 3

International Christian University

Library

Public Services

Address : 10-2, Osawa 3 Chome, Mitaka-city, Tokyo

Zip Code : 181-8585

Telephone No. : +81-422-33-3307

E-mail address : library@icu.ac.jp

OPAC : <http://opac.icu.ac.jp/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:ICU)

Facsimile : NO

Air-Mail : NO

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : Summer Vacation, Christmas Vacation

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE :

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Periodicals, Doctorial
Dissertations, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials,
Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Charge for cost estimate :

Postage Charge :

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE : OCLC IFM ONLY

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

International University of Japan
Matsushita Library & Information Center (MLIC)
Department of Accession Services

Address : Anaji-shinden 777, Yamato-machi, Minamiuonuma-gun, Niigata-ken
Zip Code : 949-7277
Telephone No. : +81-257-79-1450
E-mail address : mlic-cir@iuj.ac.jp
OPAC : <http://www.iuj.ac.jp/mlic>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES

Air-Mail : YES

E-Mail : YES

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : Aug.10 to Aug. 20 and Dec.25 to Jan.10

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1500 yen (10 Int'l reply coupons per article)

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 1

**Keiai University
Library**

Department of Accession Services

Address : 5-21, Anagawa 1 Chome, Inage-ku, Chiba

Zip Code : 263-8588

Telephone No. : +81-43-284-2307

E-mail address : kulir@u-keiai.ac.jp

OPAC : <http://www.u-keiai.ac.jp>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-43-284-4196

Air-Mail : YES

E-Mail : YES

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/1 to 8/31, 12/20 to 1/10

AVERAGE TURNAROUND TIME : 5 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 Weeks

Renewal : Yes, 2 Weeks

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION : Reference books, Rare books, Big books, Periodicals, News-papers, Multimedia materials.

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : AirMail Only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : YES, yen basis, Charge+3,000yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Keio University
Mita Media Center
Interlibrary Loan Service

Address : 2-15-45, Mita, Mitato-ku, Tokyo
Zip Code : 108-8345
Telephone No. : +81-3-5427-1657
E-mail address : staff-ill@mita.lib.keio.ac.jp
OPAC : <http://catalog.lib.keio.ac.jp>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES

Air-Mail : YES

E-Mail : YES

Ariel : YES

SERVICE SUSPENDED : 2/14-2/25, 8/9-8/15, 12/24-1/5

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) :

IPMO (International Postal Money Order) :

Bank check :

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE : Requests from the Document Delivery Pilot Project between U.S. and Japan member libraries ONLY.

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 23

Kobe College

Library

Interlibrary Loan Desk

Address : 4-1, Okadayama, Nishinomiya, Hyogo

Zip Code : 662-8505

Telephone No. : +81-798-51-8565

E-mail address : kclill@mail.kobe-c.ac.jp

OPAC : NO

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, (G3)+ 81-798-51-8567

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/14 to 8/16, 12/27 to 1/6

AVERAGE TURNAROUND TIME : 2 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : 35 yen

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE : Requests from the libraries ONLY. Supply made by Air-Mail ONLY.

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 4

Kobe Internarional University

Library

Etsuran

Address : 5-1-1 Manabigaoka Tarumi-ku Kobe-shi

Zip Code : 655-0004

Telephone No. : +81-78-709-7338

E-mail address : toshokan@kobe-kiu.ac.jp

OPAC : NO (Nacsis webcat)

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/10 to 8/20 12/28 to 1/7

AVERAGE TURNAROUND TIME : 2 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : 20yen / copy

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : Actual Expenses

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, YEN basis

Bank check : YES, YEN basis Charge + 3,000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

**Kunitachi College of Music
Library**

Reference Service

Address : 5-5-1, Kashiwa, Tachikawa, Tokyo
Zip Code : 190-8520
Telephone No. : +81-42-536-0326
E-mail address : ref@lib.kunitachi.ac.jp
OPAC : <http://www.lib.kunitachi.ac.jp/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol)
Facsimile : NO
Air-Mail : YES
E-Mail : NO
Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/8 to 8/31, 12/28 to 1/7

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :
Renewal :
Charge per copy :
Minimum Charge :
Handling Charge :
Postage Charge for all request :
Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :
Accept boxes only :
Insurance required for all returns :
Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO
Minimum Charge : NO
Handling Charge : NO
Charge for cost estimate : NO
Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES
IPMO (International Postal Money Order) : NO
Bank check : NO
IFLA voucher :
Bank transfer :
OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 13

Kwansei Gakuin University
Kwansei Gakuin University Libaray
Interlibrary Laon Section

Address : 1-1-155, Uegahara, Nishinomiya, Hyogo

Zip Code : 662-8501

Telephone No. : +81-798-54-6123

E-mail address :

OPAC : <http://opac.kwansei.ac.jp/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:KWG)

Facsimile : NO

Air-Mail : NO

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/13 to 8/204, 12/24 to 1/6

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$5

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : NO

**NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Periodicals, Newspapers,
Microforms, Audio-Visual Materials**

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : N/A

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : \$10, for 1-30 pp.

Minimum Charge : N/A

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM : YES

NOTE : We hope that the method of payment is IFM.

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 10

Kyoto University

Library

Interlibrary Loan Section

Address : Yoshida Honmachi, Sakyo-ku, Kyoto

Zip Code : 606-8501

Telephone No. : +81-75-753-2638

E-mail address : sogo@kulib.kyoto-u.ac.jp

OPAC : http://kensaku.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/ibibser1_en.html

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, (G3)+81-75-753-2629

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 12/29 - 1/3

AVERAGE TURNAROUND TIME : 1 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Charge for cost estimate :

Postage Charge :

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) :

IPMO (International Postal Money Order) :

Bank check :

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE : We accept requests ONLY for the materials in the Central Library

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 9

Miyazaki International College

Library

Department of reference

Address : 1415 Kano, Kiyotake-cho, Miyazaki-gun, Miyazaki-ken

Zip Code : 889-1605

Telephone No. : +81-985-85-1410

E-mail address : library@miyazaki-mic.ac.jp

OPAC : <http://mglbopac.miyazaki-mic.ac.jp/limedio/index-j.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:MYZ)

Facsimile : YES, +81-985-85-8189

Air-Mail : YES

E-Mail : YES

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/10 to 8/15, 12/28 to 1/5

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks, Up to 2 times

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Periodicals, Newspapers, Audio-Visual Materials

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge + 3,000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

**Nagaoka University of Technology
Library**

Service section

Address : 1603-1, Kamitomioka-machi, Nagaoka-shi, Niigata

Zip Code : 940-2188

Telephone No. : +81-258-47-9264

E-mail address : tosho@nalib.nagaokaut.ac.jp

OPAC : http://nalib.nagaokaut.ac.jp/linusnc_www_e.html

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, (G3)+81-258-47-9060

Air-Mail : YES

E-Mail : YES, order@nalib.nagaokaut.ac.jp

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 12/28 to 1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 2 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 1 month

Renewal : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Periodicals, Doctoral Dissertations

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Charge for cost estimate :

Postage Charge :

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES, Lending service only

IPMO (International Postal Money Order) :

Bank check :

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE : Please inquire for charge of photopublication service

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Nanzan University
Nagoya Library
Interlibrary Services

Address : 18 Yamazato-cho, Showa-ku, Nagoya
Zip Code : 466-8673
Telephone No. : +81-52-832-3707
E-mail address : illref@ic.nanzan-u.ac.jp
OPAC : <http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/OPAC>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:HU0)
Facsimile : YES, (G3)+81-52-833-6986
Air-Mail : YES, IFLA order form only
E-Mail : NO
Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/6 to 8/20, 12/23 to 12/25, 12/29 to 1/6

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 6 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : \$20/one volume(OCLC-ILL ONLY), 2 IFLA Full Voucher or 15 IRC/one loan

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : NO

Postage Charge for First Class : NO

NON CIRCULATION : Microforms, Reference Books, Newspapers, Maps, Periodicals, Audio-Visual Materials, Reserved Books, Thesis, Dissertations, Rare Books

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : \$1-20pp. \$10, 21pp.+ \$5/10pp.(OCLC-ILL ONLY), 1 IFLA Full Voucher or 8 IRC, 21pp.+ 1 IFLA Half Voucher or 4 IRC /10pp.

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher : YES

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 17

Nanzan University

Seto Library

Interlibrary Services

Address : 27 Seirei-cho, Seto

Zip Code : 489-0863

Telephone No. : +81-561-89-2028

E-mail address : s-lib@ic.nanzan-u.ac.jp

OPAC : <http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/OPAC>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:J9Z)

Facsimile : YES, (G3)+81-561-89-2031

Air-Mail : YES, IFLA order form only

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/6 to 8/20, 12/23 to 12/25, 12/29 to 1/6

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 6 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : \$20/one volume(OCLC-ILL ONLY), 2 IFLA Full Voucher or 15

IRC/one loan

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : NO

Postage Charge for First Class : NO

NON CIRCULATION : Microforms, Reference Books, Newspapers, Maps, Periodicals, Audio-Visual Materials, Reserved Books, Thesis, Dissertations, Rare Books

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : \$1-20pp. \$10, 21pp.+ \$5/10pp.(OCLC-ILL ONLY), 1 IFLA Full Voucher or 8 IRC, 21pp.+ 1 IFLA Half Voucher or 4 IRC /10pp.

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher : YES

Bank transfer : YES

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Nihon University, College of Commerce

Library

Division of Reference Service

Address : 2-1, Kinuta 5-chome, Setagaya-ku, Tokyo, Japan

Zip Code : 157-8570

Telephone No. : +81-3-3749-6742

E-mail address : toshojimuka@bus.nihon-u.ac.jp

OPAC : <http://www.bus.nihon-u.ac.jp:8000/limediao/index.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-3-3416-9179

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED :

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Meiji-Era Books, Periodicals, Doctorial Materials, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES

Bank check : YES

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Nishikyushu University

Library

Jouhou sabisu

Address : 4490-9, Ozaki, Kanzakig-machi, Kanzaki-gun, Saga, Japan

Zip Code : 842-8585

Telephone No. : +81-952-52-4191

E-mail address : asuka@nisiky-u.ac.jp

OPAC : <http://library.nisiky-u.ac.jp/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81(852)53-7869

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : YES

SERVICE SUSPENDED : 8/10 to 8/20, 12/28 to 1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Periodicals, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 1

Osaka Sangyo university

Library

Etsuran gakari

Address : 3-1-1, nakagaito, Daito-shi, Osaka

Zip Code : 574-8530

Telephone No. : +81-72-875-3001

E-mail address :

OPAC : <http://www.osaka-sandai.ac.jp/tosho/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:)

Facsimile : NO

Air-Mail : YES, IFLA Order Form

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED :

AVERAGE TURNAROUND TIME :

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : 35 yen

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Otani University

Library

Address : Koyama kamifusa-cho, Kita-ku, Kyoto Japan

Zip Code : 603-8143

Telephone No. : +81-75-411-8123

E-mail address : library@otani.ac.jp

OPAC :

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-75-411-8152

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/10-8/17,12/27-1/7,e.t.c

AVERAGE TURNAROUND TIME : 5-10 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer : Transfar Charge to Bank of Kyoto, Account Name Otani

University Account No. 82307 (Ordinary Deposit)

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

**Ryukoku University
Fukakusa Library**

Department of reference service

Address : 67 Tsukamoto-cho Fukakusa, Fushimi-ku Kyoto, Japan

Zip Code : 612-8577

Telephone No. : +81-75-642-1111

E-mail address : f-lib@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp

OPAC : <http://opac.lib.ryukoku.ac.jp/opacj.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol)

Facsimile : YES, +81-75-645-7899

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/11 to 8/18,12/29 to 1/5

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1,500 yen(yen basis)

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES,yen basis,Charge+3000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 2

Ryukoku University

Omiya Library

Department of reference service

Address : 125-1 Daiku-cho Shimogyo-ku, Kyoto, Japan

Zip Code : 600-8268

Telephone No. : +81-75-343-3318

E-mail address : o-lib@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp

OPAC : <http://opac.lib.ryukoku.ac.jp/opacj.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:)

Facsimile : YES, +81-75-344-0345

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/11 to 8/18, 12/29 to 1/5

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1,500 yen(yen basis)

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge+3000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 2

Ryukoku University

Seta Library

Department of reference service

Address : 1-5 Yokotani, Oe-cho, Seta, Otsu Japan

Zip Code : 520-2194

Telephone No. : +81-77-543-7751

E-mail address : setalib@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp

OPAC : <http://opac.lib.ryukoku.ac.jp/opacj.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol)

Facsimile : YES, +81-77-543-7769

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/11 to 8/18, 12/29 to 1/5

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1,500 yen(yen basis)

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge+3000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 2

Seisen University

Library

Reference Services Section

Address : 3-16-21, Higashigotanda, Shinagawa-ku, Tokyo

Zip Code : 141-8642

Telephone No. : +81-3-3447-5551

E-mail address : lib@seisen-u.ac.jp

OPAC : http://www3.seisen-u.ac.jp/lib/fra_bo.htm

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol:EL1)

Facsimile : YES, +81-3-3447-1675

Air-Mail : YES

E-Mail : YES(lib@seisen-u.ac.jp)

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 12/23 to 1/6, One week in early August and September

AVERAGE TURNAROUND TIME : 4 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks (by the conditions at that time)

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Book, Rare Books, Microforms, Audiovisual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only :

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher : YES

Bank transfer :

OCLC IFM : YES

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 1

Showa Women's University

Library

Sougo Kyouryoku

Address : 1-7-57, Taishido, Setagaya-ku, Tokyo

Zip Code : 154-8533

Telephone No. : +81-3-3411-5128

E-mail address : libadm@swu.ac.jp

OPAC : <http://www.swu.ac.jp/daigaku/library/index.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-3-3411-5404

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/10 to 8/31, 12/28 to 1/7, 3/12 to 3/26

AVERAGE TURNAROUND TIME : 7 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : YES, 40 yen

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge+3000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 2

Shumei University

Library

Address : 1-1, Daigaku-cho, Yachiyo-shi, Chiba

Zip Code : 276-0003

Telephone No. : +81-47-488-2124

E-mail address :

OPAC :

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : YES(symbol)

Facsimile : YES, +81-47-488-0260

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 12/24 to 1/7

AVERAGE TURNAROUND TIME : 4 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Soai University

Library

Department of ILL

Address : 4-4-1, Nankonaka, Suminoe-ku, Osaka

Zip Code : 559-0033

Telephone No. : +81-6-6612-5900

E-mail address : library@soai.ac.jp

OPAC : NO

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-6-6612-2995

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/11 to 8/17, 12/26 to 1/6

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : \$0.5 per 1 copy

Minimum Charge : \$10

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge + 3000 yen

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

**Suzuka University of Medical Science
Library**

Sougoriyou

Address : 1001-1, Kishioka, Suzuka-city, Mie

Zip Code : 510-0293

Telephone No. : +81-593-83-8991

E-mail address : lib@suzuka-u.ac.jp

OPAC : <http://suzuka-u.ac.jp/lib/index.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-593-83-9915

Air-Mail : YES

E-Mail : YES

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 5/6, 12/28 to 1/5

AVERAGE TURNAROUND TIME : 5 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : YES, 4 weeks

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Periodicals, Doctorial Dissertations, Master's Thesis, Newspapers, Audio-Visual Materials, Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Teikyo Heisei University

Library

Inter-Library Cooperation Section

Address : 2289, Uruido, Ichiharashi, Chiba

Zip Code : 290-0193

Telephone No. : +81-436-74-5207

E-mail address : toshokan@thu.ac.jp

OPAC :

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-436-74-7872

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 12/28 to 1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$10

Charge for cost estimate :

Postage Charge :

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Tenri University
Tenri Central Library
Service Department

Address : Somanouchi-cho 1050, Tenri City, Nara
Zip Code : 632-8577
Telephone No. : +81-743-62-1515(Ext.6760)
E-mail address : nishi@tcl.gr.jp
OPAC : <http://www.tcl.gr.jp>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)
Facsimile : YES, +81-743-63-7728
Air-Mail : YES
E-Mail : NO
Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 8/6 to 8/20, 12/27 to 1/6, 3/27 to 3/31

AVERAGE TURNAROUND TIME : varies in different cases

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :
Renewal :
Charge per copy :
Minimum Charge :
Handling Charge :
Postage Charge for all request :
Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :
Accept boxes only :
Insurance required for all returns :
Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : varies in different cases
Minimum Charge : NO
Handling Charge : NO
Charge for cost estimate : NO
Postage Charge : varies in different cases

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO
IPMO (International Postal Money Order) : NO
Bank check : YES, yen basis, charge+3000 yen
IFLA voucher :
Bank transfer :
OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 12

**The Jikei University School of Medicine
Medical Information Center
Department of Public Service**

Address : 3-25-8, Nishishinbashi, Minato-ku, Tokyo

Zip Code : 105-8461

Telephone No. : +81-3-3433-1111(Ext.2122)

E-mail address : libill@jikei.ac.jp

OPAC

<http://www.jikei.ac.jp/micer/journalf.htm> ; <http://www.jikei.ac.jp/micer/journalj.htm>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCCL : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-3-5403-7892

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 5/1, 10/15, 12/29-1/4

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 10\$(US\$)

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCCL IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN :

Toho-Gakuen School of Music

Library

Document Supply Service Division

Address : 1-41-1, Wakaba-cho, Chofu-shi, Tokyo

Zip Code : 182-8510

Telephone No. : +81-3-3307-4847

E-mail address : library-dss@tohomusic.ac.jp

OPAC : <http://www.tohomusic.ac.jp/librarySite/libIndex.html>

ACCPETABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES, +81-3-3307-4420

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 7/30 to 9/2, 9/22 to 9/25, 12/21 to 1/6, 3/18 to 4/8

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 1 month(Books, Scores, Periodicals), 2 weeks(Audio Materials)

Renewal : YES(If no one else has requested), 1 Month(Books, Scores, Periodicals), 2 weeks(Audio Materials)

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Current Issues Of Periodicals, Visual Materials, Special Collection

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : YES

Accept boxes only : NO

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : 10 YEN

Minimum Charge : NO

Handling Charge : NO

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : YES

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : YES

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 0

Tokai University

Library (Shonan Campus)

Department of Accession Services

Address : 1117, Kitakaname, Hiratsuka-shi, kanagawa

Zip Code : 259-1292

Telephone No. : +81-463-58-1211

E-mail address : lib01@tsc.u-tokai.ac.jp

OPAC : <http://www.time.u-tokai.ac.jp/index.html>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : YES (G3)+81-463-50-2059

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : Certain periods of the Summer and Winter vacations

AVERAGE TURNAROUND TIME : 1 Week

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : IFLA 1Voucher

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : NO

IPMO (International Postal Money Order) : NO

Bank check : NO

IFLA voucher : YES

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 2

Tokyo Medical University

Library

Department of ILL

Address : 6-7-1, Nishi-shinjuku Shinjuku-ku, Tokyo

Zip Code : 160-0023

Telephone No. : +81-3-5339-3747

E-mail address : library@tokyo-med.ac.jp

OPAC : NO

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol)

Facsimile : YES, +81-3-3349-8277

Air-Mail : YES

E-Mail : YES

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 4/13,12/29 to 1/3

AVERAGE TURNAROUND TIME : 3 days

LENDING SERVICE : NO

Length of Loan :

Renewal :

Charge per copy :

Minimum Charge :

Handling Charge :

Postage Charge for all request :

Postage Charge for First Class :

NON CIRCULATION :

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags :

Accept boxes only :

Insurance required for all returns :

Shipping method :

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : 1,500 Yen

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer : YES, Yen basis. Bank Account. Bank of Tokyo-Mitsubishi,

Shinjuku Shintoshin Branch. 055-1169843

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 5

**Waseda University
Central Library**

Department of Accession Services

Address : 6-1, Nishiwaseda 1 Chome, Shinjuku-ku, Tokyo

Zip Code : 169-8050

Telephone No. : +81-3-5286-1659

E-mail address : ill@list.waseda.ac.jp

OPAC : <http://wine.wul.waseda.ac.jp/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : Limited to the ARL Japan project Waseda members only.(symbol:LWU)

Facsimile : YES, +81-3-5291-8703

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : one week in August, the end of the year and New-Year holidays, the end of February to early March for inventory

AVERAGE TURNAROUND TIME : 5 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : Principally NO

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : Publ.in Japan:1,800 yen/ Publ.outside Japan:3,600 yen

Postage Charge for all request : YES

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books and Special Collection, Meiji-Era Books, Thesis, Periodicals, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials, CD-ROM and other machine readable materials, Oversize books, etc.

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : Publ.in Japan:1,200 yen and +600 yen per each 10 pages above 20/ Publ.outside Japan:2,400 yen and +1,200 yen per each 10 pages above 20

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : YES, yen basis, Charge + 3,000 yen

IFLA voucher : NO

Bank transfer : NO

OCLC IFM : Limited to the ARL Japan project Waseda members only.

NOTE : For details, see our web-cite (<http://www.wul.waseda.ac.jp/>)

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN : 530

**Yokohama City University
Library & Information Center
Sougo riyou**

Address : 22-2,Seto,Kanazawa-ku,Yokohama,Japan

Zip Code : 236-0027

Telephone No. : +81-45-787-2076

E-mail address : setoill@yokohama-cu.ac.jp

OPAC : <http://opac.yokohama-cu.ac.jp/opac/>

ACCEPTABLE METHODS OF TRANSMISSION :

OCLC : NO(symbol:)

Facsimile : NO

Air-Mail : YES

E-Mail : NO

Ariel : NO

SERVICE SUSPENDED : 12/27 to 1/5

AVERAGE TURNAROUND TIME : 5 days

LENDING SERVICE : YES

Length of Loan : 4 weeks

Renewal : NO

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$24 (3 IFLA vouchers)

Postage Charge for all request : NO

Postage Charge for First Class : YES

NON CIRCULATION : Reference Books, Rare Books, Periodicals, Doctorial
Dissertations, Master's Thesis, Newspapers, Microforms, Audio-Visual Materials,
Computer Software

PACKING REQUIREMENTS FOR MAILING :

Accept Jiffy bags : NO

Accept boxes only : YES

Insurance required for all returns : YES

Shipping method : Air-mail only

PHOTODUPPLICATION SERVICE : YES

Charge per copy : NO

Minimum Charge : NO

Handling Charge : \$16 (2 IFLA vouchers)

Charge for cost estimate : NO

Postage Charge : NO

METHOD OF PAYMENT :

IRC (International Reply Coupon) : YES

IPMO (International Postal Money Order) : YES, yen basis

Bank check : NO

IFLA voucher :

Bank transfer :

OCLC IFM :

NOTE :

NUMBER OF ANNUAL ILL(1999) LENDING TO FOREIGN

会員紹介 (所属館の五十音順)

関東学院大学図書館小田原分館 堀川 奈皇子

2年間で、研究テーマを絞り報告書を作成することは大変でした。でも、その分得たものは多く、メンバーの皆さんと知り合い、色々教えていただいたことが一番の収穫です！

(ネットワーク班)

清泉女子大学附属図書館 有本 みさ

初めての分科会参加だったので当初は不安もありましたが、会員の方達に恵まれ有意義な2年間で過ごすことができました。研究テーマに関する事以外にも、日常業務で疑問に思ったこと、自館で課題となっている事柄の取組み方や他大学の現状など沢山の事を教えていただきとても参考になりました。振り返るとあっという間に過ぎてしまったようで寂しい気もします。いろいろとお世話になり本当にありがとうございました。(ネットワーク班)

創価大学工学部図書館 半田 寛子

図書館だけでなく大学そのものが変化を余儀なくされているこの時にこそ、相互協力の重要性を感じています。開館数年の当館ではほとんど実績のない海外ILLについて学びたいと分科会に参加。参加館メンバーから教を乞いながら実務で挑戦したことが思い出されます。図書館相互協力といっても何より人的ネットワークだと実感、また感謝した2年間でした。今後ともよろしく願いいたします。(海外ILL班)

大東文化大学図書館 鶴田 香織

今期の分科会では、海外ILLについて研究を行いました。メンバー館からいろいろ貴重な意見を伺うことができ、業務に活かすことができました。また、分科会に参加した縁で、神奈川県内大学図書館相互協力協議会で発表する機会を得ることができ、良い経験になりました。本当に2年間ありがとうございました。(海外ILL班)

拓殖大学図書館 渡部 和夫

2年間相互協力分科会に参加させていただきましたが、この2年間の研究会の設定内容が非常に良かったと思っています。1年目は地域開放に取り組み、2年目は図書館ネットワークについて研究をしましたが、その中に2回程のすばらしい講演を取り入れた事が研究会として、バランスの良い研究会でした。

会員の皆さま、本当にありがとうございました。今後もよろしく願い申し上げます。

(ネットワーク班)

中央大学図書館 高杉 幸史

この2年間、海外 ILL とその周縁問題というテーマに取り組んできた。Web のめざましい進歩によって、国境の壁はますます低くなって、相互協力もさらなるグローバルな拡がりを見せている。今後数年の間にも画期的な進歩があると思う。しかし、依存型の ILL ばかりでなく、「相互協力」である以上、相手が海外の図書館であっても対等で均衡のとれた図書館利用に発展していくことをめざしていくべきことを痛感させられる。

あつという間に過ぎ去った2年間でしたが、活動が有意義にできたのも、この分科会にアットホームな雰囲気と忌憚のない意見交換の場があったからだと思う。活動を通して、得られた人的なつながりは、大きな収穫でした。みなさんに感謝いたしております。

(海外 ILL 班)

東京国際大学第1キャンパス図書館 加藤 亜矢子

海外 ILL の経験があまりなかったので、海外図書館ホームページなどを業務で利用している方から直接内容を伺うことができ、大変勉強になりました。

今後とも皆様よろしくお願いいたします。

(海外 ILL 班)

東洋大学附属図書館朝霞分館 前原 隆三

今回始めて分科会に参加させていただき、いろいろなことを学ぶことができ、2年間を終えてみてほんとうに参加してよかったと感じています。この分科会で学んだことをどのように業務に活かすかが今後の課題と思っています。

図書館の経験も浅く、知識も全くない私でしたが、いろいろと教えてくださった会員の皆様に大変感謝しております。また、アンケートに協力いただいた図書館の方々、特に群馬県立図書館の方には大変お世話になりました。ほんとうに有難うございました。

(ネットワーク班)

獨協大学図書館 内山 貴子

分科会に初めて参加しました。2年間はあつという間でしたが、会員の皆様からたくさん情報をいただき感謝しております。報告書にも載せた海外 ILL の事例を2、3年くらい過去に遡って調査していると、郵便でのやり取りが主流であったのに、今やインターネットでの依頼が普通になってしまいました。これからも情報交換をしていけたらありがたいです。

(海外 ILL 班)

日本女子大学西生田図書館 鈴木 通子

あつという間の2年間でした。その短い間にもいろいろと勉強になりました。世界が広がったと同時に、身近になった感じがしています。また会員の実務的なものも含むお話はとても有意義であり、また楽しく過ごさせていただきました。この2年間で得たものを仕事の中で生かせるようにこれからも努力したいと思っています。

(海外 ILL 班)

文化女子大学小平図書館 杉田 美香

今までは分科会に参加していても、研究部などの存在すら意識したこともなかったのに、今回表向きは代表ということで仕事をし、初めて影で支えて下さっている方々のおかげで研究活動ができるのだと痛感しました。色々とお世話になりありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。分科会も終わってみればあっという間の2年間でした。館種を越えた図書館ネットワークについて言えば、ちょうど小平市からネットワークについてのアンケートもあり、この研究が活かさればと思っています。会員の皆様と様々な情報や意見交換ができ、毎月1回の例会はとても勉強になりました。本当にありがとうございました。(ネットワーク班)

法政大学図書館 家村 真名

世の中のIT化が進み、図書館そのもののあり方や図書館員のあり方が、多様化し変化していっているように感じます。図書館での職歴が浅いままでこの分科会に参加させていただき、皆さんから得るばかりの2年間だったように思います。ありがとうございました。この経験を自館での仕事にも反映していけたらと考えます。(ネットワーク班)

立正大学大崎図書館 佐藤 研一

分科会第11期後半より出席させていただきました。2002年4月より、NACSIS-ILLシステムへの参加を予定しており、他大学の相互協力の現状、海外への問い合わせによる実際のやりとり、図書館見学等学ぶ事が多く、又忘れられない夏季合宿等楽しい思い出でもでき、得る事の多かった1年間でした。皆様、大変お世話様になりました。これからも宜しくお願いします。(海外ILL班)

相模女子大学大学事務部情報システム課 細野 由美

自館の地域開放への可能性を探ろうと、相互協力研究分科会へ参加しました。しかし、残念ながら途中退会。分科会活動では自主性が尊重されること、他館職員との情報交換は、自館の成長への近道だということを感じました。会員の皆様へ・・・、お疲れ様でした!

元帝京大学図書館 天野 和佳

当時の職場で新規の分科会参加者を募っていた頃、相互協力業務の担当になって半年が過ぎようとしていました。これまで相互協力業務は経験が無かったので、他大学図書館の事情も含めていろいろな事を知りたかったこともあり参加させて頂きました。残念ながら他課に異動になってしまい、半年で退会せざるを得なくなりましたが半年間の活動は私にとって貴重な経験だったと思います。皆さん、本当に2年間お疲れ様でした。そして短い間でしたがお世話になりまして有難うございました。

「相互協力研究分科会報告」バックナンバー目次

| | | |
|--|----------------|-----|
| 第1号 【第1期(1980～1981年度) 第2期(1982～1983年度) 1985.3発行】 | | |
| アメリカにおける図書館相互協力の周辺 | 奥泉栄三郎 | 5 |
| 慶應義塾大学三田情報センターにおける海外 ILL 実務の実際 | 松本和子 | 25 |
| 日本大学・総合目録について | 湯浅ツル | 35 |
| ライブラリー・インストラクションー効果的な図書館利用のためー | 古市健次 | 41 |
| 文献複写に関する諸問題と解決方法について | 文献複写グループ | 45 |
| 学内出版物の図書館での受入状況ー調査報告ー | 学内資料研究グループ | 51 |
| 米国における図書館相互利用について | 奥泉栄三郎 | 55 |
| 相互協力の現状・実態に一言! | | 79 |
| 相互協力分科会での二年間 | 前山富士子 | 82 |
| 分科会に出席して | 倉岡みち | 83 |
| 相互協力研究分科会設立の経緯 | | 85 |
| その他 | | |
| 第2号 【第3期(1984～1985年度) 第4期(1986～1987年度) 1988.8発行】 | | |
| 寄稿 オンライン目録(OPAC)の意義と現状 | 永田治樹 | 2 |
| 相互協力研究分科会第3期活動報告 | 鈴木誠 | 12 |
| 相互協力研究分科会における相互協力便覧の作成と各種便覧の比較から見えてくる ILLの現状 | 崎村俊夫 | 14 |
| 文部省学術情報システムのあゆみ | 学術情報システム研究グループ | 30 |
| 相互協力のためのレファレンス・ツール | ツール研究グループ | 38 |
| 相互協力マニュアル | 相互協力マニュアルグループ | 41 |
| 相互協力の歴史 | 相互協力の歴史グループ | 45 |
| 東京工業大学附属図書館見学記 | 平塚寿行 | 48 |
| 相互協力研究分科会第4期研究活動報告 | 高橋昇 | 50 |
| ネットワーク事例研究 分析と課題 | 事例研究委員会 | 52 |
| ネットワーク企画書 | 分科会参加者 | 57 |
| 国立国会図書館見学記 | 日吉加代子 | 123 |
| 故山口武義さんのこと | 麓常夫 | 126 |
| その他 | | |
| 第3号 【第5期(1988～1989年度) 1990.3発行】 | | |
| I 海外機関との ILL の手引き | | |
| 序論 (現状、手続きの流れ図、マナー、他) | | 2 |
| 第1章 BLDSC の文献複写サービス | | 8 |
| 第2章 IFLA ORDER FORM | | 22 |
| 第3章 各国事情 | | 32 |

| | |
|----------------------------------|-----|
| 第4章 海外送金 | 54 |
| 第5章 海外返送 | 60 |
| 第6章 その他(受付と対処法、著作権、その他) | 62 |
| Ⅱ 増え続ける ILL —アメリカ合衆国テキサス州の一私大の例— | 71 |
| Ⅲ 長期休暇中の開館日程表交換 | 80 |
| Ⅳ ネットワークその後 | 103 |
| その他 | |

第4号 【第6期(1990~1991年度) 1992.3発行】

| | |
|-----------------------|-----|
| 第1部 国内機関との ILL の手引き | |
| 第1章 依頼にあたっての原則 | 6 |
| 第2章 閲覧利用 | 28 |
| 第3章 文献複写 | 34 |
| 第4章 現物貸借 | 41 |
| 第5章 受付 | 47 |
| 第6章 オンライン ILL システムの動向 | 51 |
| 第2部 アンケート調査 | 58 |
| 第3部 海外事情と国内ネットワーク | |
| 第1章 BLDSC-IFLA ドキュメント | 222 |
| 第2章 海外向け紹介状 | 240 |
| 第3章 海外事情 | 247 |
| 第4章 ネットワーク | 261 |
| 主要書誌とデータベースの解題 | 268 |
| その他 | |

第5号 【第7期(1992~1993年度) 1994.3発行】

| | |
|---------------------------------|-----|
| 第1部 私立大学図書館相互協力の指針(試案) | 1 |
| 第2部 NACSIS-ILL の利用マニュアル<序論> | 10 |
| 第3部 NACSIS-ILL の利用マニュアル<実践編> | 30 |
| 第4部 ドキュメント・デリバリーによる ILL | 100 |
| 第5部 海外図書館との ILL サービス | 120 |
| 第6部 <参考資料・邦訳> ALA の ILL 業務目標リスト | 145 |
| その他 | |

第6号 【第8期(1994~1995年度) 1996.3発行】

| | |
|---------------------------------|-----|
| 第1部 地域と大学図書館ネットワーク | 6 |
| 第2部 主題による図書館相互協力 | 34 |
| 第3部 海外図書館との相互協力 | 50 |
| 第4部 資料編(分科会参加館図書館協定一覧表、その他) | 69 |
| 第5部 海外文献紹介(アメリカ図書館協会相互貸借規定、その他) | 120 |

その他

| | | |
|-----|---|-----|
| 第7号 | [第9期 (1996~1997年度) 1998.3発行] | |
| 第1章 | 相互協力における文献複写業務について —現状と今後の展望— …… | 1 |
| 第2章 | 海外 ILL —最近の動向— …… | 47 |
| 第3章 | 相互協力と著作権 …… | 93 |
| 第4章 | 私立大学図書館協会東地区部会研究会 平成9年度(1997)第1回研究会発表資料(原稿) …… | 123 |

その他

| | | |
|-----|---------------------------------|----|
| 第8号 | [第10期 (1998~1999年度) 2000.3発行] | |
| 第1章 | 大学図書館における地域開放について | |
| (1) | どうする、地域開放 —大学図書館と地域との係りについて— …… | 3 |
| ① | 地域開放を研究テーマとした経緯・目的 …… | 5 |
| ② | 調査方法 (項目) …… | 6 |
| ③ | 分析・評価 …… | 7 |
| | 立地 | |
| | 経緯 | |
| | 開始時期 | |
| | 利用資格 | |
| | 利用登録制・料金・範囲 | |
| | 利用範囲 | |
| | 変更点 | |
| | 学内への配慮 | |
| | 広報 | |
| | 規定集 | |
| | 公共図書館との連携 | |
| | 今後の課題・展望 | |
| ④ | 参考資料 …… | 19 |
| ⑤ | 事例一覧 …… | 21 |
| | 事例1 足利工業大学附属図書館 | |
| | 事例2 大阪経済大学図書館 | |
| | 事例3 国立音楽大学附属図書館 | |
| | 事例4 創価大学中央図書館 | |
| | 事例5 東京工芸大学中野図書館 | |
| | 事例6 東京理科大学図書館久喜分館 | |
| | 事例7 東洋大学図書館朝霞分館 | |
| | 事例8 文教大学越谷図書館 | |
| | 事例9 法政大学多摩図書館 | |
| | 事例10 武蔵工業大学工学部図書館 | |
| | 事例11 立教大学武蔵野新座図書館 | |

| | | |
|--|--------------------------------|-----|
| (2) 早稲田大学・所沢図書館の地域開放について (寄稿文) | | |
| | 早稲田大学所沢図書館 井口牧二 | 50 |
| 第2章 文献複写システムと ILL | | |
| (1) 東京電機大学理工学部における文献複写業務の機械化について (寄稿文) | | |
| | 東京電機大学総合メディアセンター 中野和廣 | 55 |
| (2) 工学系大学図書館における相互協力のあり方 | | |
| | — 学術情報センターに参加していない ILL の事例報告 — | |
| | 芝浦工業大学図書館 小貫有紀子 | |
| | 島美代子 | 84 |
| 第3章 相互協力研究分科会ホームページについて | | |
| (1) はじめに | | 95 |
| (2) ホームページの内容について | | 97 |
| 会員紹介 | | 100 |
| 相互協力研究分科会報告バックナンバー目次 | | 109 |

編集後記

2年間があつという間に終わった。1年目の合宿では報告書作成もまだまだ先のことと思えたが、2年目の合宿では、昨年12月に行われた分科会報告大会発表準備と報告書作成についての段取りで大詰めになっていた。

この報告書作成の真最中に、ちょうどアメリカのソルトレークシティでは冬季オリンピックが開催されていたが、アメリカと言えば同時多発テロがまだ生々しい記憶として蘇ってくる。あのまさに事件が発生した日に、我々は合宿2日目の夜を過ごしていた。翌日の朝、単なる合宿疲れとは違った疲労を感じたのは私だけではなかっただろう。9月の下旬頃に、アメリカから借受けしていた資料を返却するために郵便局へ持っていった時、「到着が遅れるかもしれません。」と窓口で言われた。また職場では、不信な郵便が届いた場合の対処法が記載されているホームページアドレスのお知らせもきた。洋雑誌の到着が遅れると、利用者から「テロ事件の影響ですか。」という質問まであった。

さて、今期は海外 ILL 班と地域開放班の2班に分かれて研究を行ったが、メンバーの人数は2班に分かれて行うにはちょうどよかった。海外 ILL と地域開放、どちらも切りは異なるがその大本の概念は同じであろう。図書館サービスの基本的な理念を示している「いずれの読者にもすべて、その人の図書を」(S.R.Ranganathan)という言葉、研究会活動中に常々思いだした。「(世の中に) こういう資料がある」という存在を知ってしまえば、それを見たいのは当然であろう。「こういう資料がある。でも利用できないよ。」というのは、あまりにも酷な話だと思う。

最後に、今回の報告書では、講演をお願いした方々にもご執筆いただき、また、OBの方々からは報告書作成のための資料、データ等をいただいたことに感謝申し上げたい。また、アンケートにご協力いただいた図書館、ドキュメントデリバリーサービス関連でご協力くださった方々にもお礼申し上げたい。次期では、分科会のホームページ公開により、更に相互協力が浸透して行くことに期待したい。(内山記)

相互協力研究分科会報告 第9号 (2000~2001) ISSN 0916-0078

発行日 2002年3月31日

発行者 私立大学図書館協会東地区部会研究部 相互協力研究分科会
第11期代表者 杉田美香 家村真名

印刷 株式会社 矢島印刷 TEL 0426-65-4331 FAX 0426-66-3379
